



会長方針
「我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。」



2021-2022 年度 釧路ロータリークラブ会報 (下期)

会 長 杉村 荘平
副会長 浅川 正紳
幹 事 市橋 多佳丞

クラブ会報・雑誌委員会
委員長 横田 英喜

2021-2022年度 釧路ロータリークラブ会報（下期） 目次

月日	回数	通算	プログラム内容	担当
1月6日	20	3647	新年交礼会	親睦活動委員会
1月13日	21	3648	上期を振り返って、下期に向けて	理事会
1月20日	22	3649	講師例会「ひがし北海道弟子屈町の地域おこしについて」	プログラム委員会
1月27日	23	3650	会員卓話「にちぎんって、最近なにやっているの!？」	プログラム委員会
2月3日	24	3651	年男大いに語る PART I	プログラム委員会
2月10日	25	3652	年男大いに語る PART II	プログラム委員会
2月17日	26	3653	会員卓話「私のこわいもの 1!2!3!」	プログラム委員会
2月24日	27	3654	釧路市長講話「つながる まち・ひと・みらいひがし北海道の拠点都市・釧路」	プログラム委員会
3月3日	28	3655	会員卓話「元町おてら食堂をはじめとする地域活動」	プログラム委員会
3月10日	29	3656	RIの現状について	クラブ研修委員会
3月17日	30	3657	講師例会「地域力を向上させるための子供たちの学力向上・キャリア教育」	プログラム委員会
3月24日	31	3658	嵯峨記念育英会奨学生卒業報告	嵯峨記念育英会委員会
3月31日	32	3659	転勤族フォーラム（桐島支店長、釧路に転勤だってよ!）	プログラム委員会
4月7日	33	3660	職場訪問例会「北海道旅客鉄道株式会社 釧路支社」	職業奉仕委員会
4月14日	34	3661	地区研修協議会に参加して	理事会
5月12日	35	3662	会員卓話「電子帳簿・インボイス対応研修」	プログラム委員会
5月19日	36	3663	いよいよ新時代へ～スポーツの力で切り拓く釧路の未来～	プログラム委員会
5月26日	37	3664	ロータリアン格付けチェック NIGHT	親睦活動委員会
6月2日	38	3665	クラブアッセンブリー	次年度理事会
6月9日	39	3666	嵯峨記念育英会奨学生新入生報告会・規定審議会報告	嵯峨記念育英会委員会
6月16日	40	3667	下期情報集会報告会	クラブ研修委員会
6月23日	41	3668	一年を振り返って	理事会
6月30日	42	3669	キャンドルパーティ	親睦活動委員会

2022.1.6 (木)
第20回例会
(通算3647回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副会長 浅川 正紳
幹事 市橋 多佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町5-3 ミツ輪ビル2F
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2021-2022年度
国際ロータリーテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022年度
RI会長 シェカール・メータ
第2500地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイRC)

月間テーマ	職業奉仕月間
本日のプログラム	新年交礼会 (担当: 親睦活動委員会)
次週例会	上期を振り返って (担当: 理事会)

- ロータリーソング: 君が代・奉仕の理想
- ソングリーダー: 米本 富夫君
- 会員数 104名
- ビジター なし
- ゲスト

会長の時間 杉村 莊平会長



皆さん、明けましておめでとうございます。今年もよろしく願いいたします。多数のご出席をいただきまして本当にありがとうございます。

コロナがまた何か流行ってきている形はありますが、このように大勢の皆さんの顔を見て新年を迎えられましたことを本当に嬉しく思います。い起こせば、昨年の7月からしばらく「夜例会も開催していない」、「アッセンブリーも延期」という状態からスタートをさせていただきましたけれども、あれから何とか『夜例会』を再開したり、『情報集会』をしたり、昨年の暮れに『クリスマス家族例会』もできて、そして何とかこのように本日『新年交礼会』を迎えられて、本当に嬉しく思っております。ありがとうございます。

また、今日の中村君の入会を入れて増強が8名となっておりますので、何とかあと2名頑張っておりましたが、これも皆さんのおかげだと思っております。本当にありがとうございます。

まだまだ半分でございますけれども、残り半分気を緩めることなくゴールを目指して何とか頑張っていきたいと思っております。

さて、『新年交礼会』ということで、皆さん、初夢はどのような夢をご覧になったのでしょうか。お正月ということで、今日は初夢に関するお話をして終わりたいと思います。

初夢で見た方が「縁起が良い」と言われている、これは皆さんご存じかもしれませんが『一富士・二鷹・三茄子』、この由来を皆さんご存じでしょうか。諸説あるようですけれども、これも江戸時代からあるようで、1つは徳川家康が駿河、いまの静岡県出身ということで「駿河の名物を並べた」という説があるようです。日本の象徴である富士山と、そこを飛んでいる鷹、そして家康が好きだったと言われている初物の茄子、これで一富士・二鷹・三茄子と言われている説です。もう1つは、富士山を語呂で合わせているという説。富士山が無事という『無事』、鷹が高く飛ぶという縁起が良い『高く飛ぶ』。茄子は『事を成す』ということで縁起が良い語呂合わせの説もあると聞いております。

ここでもうひとつ、ご質問ですが、その一・二・三の次に四・五・六があることをご存じでしょうか。大したことはありませんが、四扇・五煙草・六座頭というものが四・五・六で続くことがあります。四扇の扇は扇です。扇は形から「末広がり」で、子孫繁栄で縁起が良い。五煙草が煙草の煙がずっと上りますので「運気が上昇する」という五煙草。六座頭は、いわゆる座頭市の座頭です。他意はございませんが、毛が無いということで「怪我がない」で、四扇・五煙草・六座頭が続くという説がございました。

下期もこれに見習って、われわれも何とか運気が上昇するような縁起の良い1年にしていきたいと思っております。例会を充実させることはもちろんのこと、下期には「メイクアップ事業」、それから「研修事業」、昨年できなかった「野遊会」なども何とかやらせていただき、終了をしていきたいと思っております。改めまして、メンバーの皆さま一同の今年1年のご健勝とご家族や各企業の皆さまのご発展を祈念いたしまして今年はじめの会長挨拶に代えさせていただきます。本年もよろしくお願いたします。

幹事報告 市橋 多佳丞幹事

皆さま、明けましておめでとうございます。私から幹事報告をさせていただきます。お手元の例会案内をご覧ください。

本日1月のロータリーレート115円となっております。それに伴いまして下期の会費請求ですが、1月1日よりのロータリーレートは115円にて算出のうえ、皆さまへ請求をさせていただきます。速やかなご納入に協力をお願いいたします。

続きまして、先ほど紹介の大山事務局員の勤務時間の件を皆さまにご報告させていただきます。火曜日から金曜日までの勤務で、月曜日はお休みとさせていただきます。今までの勤務体系ですと火曜日がお休みでしたが、今後は月曜日が事務局のお休みとご承知をお願いたします。基本的に10時より3時までの勤務時間とさせていただきます。表にしておりますので、後ほどホワイトボードに掲示をさせていただきます。ご確認をお願い申し上げます。

最後にもう一点ですが、釧路北ロータリークラブでは職業奉仕に関する講演会で、2750地区のバスター新藤信之様をお招きして職業奉仕に関する講演会が1月12日に開催されます。来週の開催ということで急なご案内となってしまう申し訳ございません。こちらに掲示板に貼らせていただきますので、本例会終了後までご確認をいただき、ご出席をいただける方は私までご連絡をと思っております。

以上です。よろしくお願いたします。

新入会員紹介

新入会員紹介 スポンサー 西村 智久君



皆さん、明けましておめでとうございます。このおめでたい日にご入会をなさいます中村司君の紹介をさせていただきます。かねてより杉村会長がお誘い申し上げまして、口説き落として今日の運びとなったと聞いております。

私は、司君とは挨拶はするのですが酒を飲み交わしたことはないし、ほとんど知らないわけです。しかし、中村君のお父さんが数年ウチの会社に営業としていらっしゃいました。またその後、今はウチと同じような中村君の会社・東輪運輸工業という港湾土木の会社を興して一緒に仕事をした仲ということで、私もスポンサーの一員として杉村会長から指名をされ、いまに至っています。

会社は東輪運輸工業といいまして、鳥取北の仁々志別川沿いにあります。自宅は横に建ってまして、キンキラキンと光っている家ですので成金趣味だなと僕は思っていました。羨ましいと思っていました。ゴルフはするということです。スコアはまだ100を切っていないようで、今後の伸びしろがたくさんありますので、間違いなくNAYUTAに参加するものと思えます。麻雀はしないということでもあります。ご家族は、奥さん、長女・長男のお二人のお子さんがいらっしゃいます。上のお子さんは、吉田学園医療歯科専門学校に進学をされ、ご長男はまだ中学生ということで、今後まだ子育てに忙しい日々を過ごすものと思われま。

中村君が入会をするということで、J C青年会議所の知り合いの方みんなが喜んでおりました。懇親会で楽しい人らしいです。私も期待しております。たまたま今年度青年会議所のOB会がありまして、そちらの会長も務めるということですので、何か魂胆があってロータリーに入会をしたと思えますので、シニアクラブのメンバーは覚悟をしてシニアクラブに参加をしていただきたいと思います。以上でご紹介いたします。よろしくお願いたします。

新入会員挨拶

東輪運輸工業株式会社 中村 司君

皆さま、はじめまして。只今ご紹介をいただきました中村と申します。どうぞよろしくお願いたします。この度は、歴史と伝統あるこの釧路北ロータリークラブの入会のご承認をいただきまして誠にありがとうございます。



先ほど、ご紹介にあつたようなキンキラキンの家ではなく、多分反射か何かでそう見えたのではないかと思いますけれども、全然そのようなことはないです。あと事実と違うような、シニアクラブの会長も別にそのような魂胆はないものですから、たまたま偶然、会長にお会いしてのタイミングで入会をする運びとなったものですから誤解のないようにしていただきたいと思います。

今後は、先輩方のご指導をいただいた中で、ロータリークラブの活動をしっかりできるよう務めてまいりたいと思いますので、今後とも皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

歓迎の言葉 杉村 荘平会長



中村君、改めて入会おめでとうございませう。先ほど話にありましたが、青年会議所の平成9年入会で僕と中村君は同期でございます、待ちに待った入会でございます。本当にありがとうございました。

いつも同じ話ですけれども、このロータリークラブの出席は、「義務ではなく権利だ」と言われております。どうぞ取得した権利でございますので大いに活用して有意義に過ごしてもらえればと思います。

物おじしない性格ですので、問題はないと思いますが、一応、3カ月ぐらいは知らない人ばかりなので大変かと思いますが、何とかそこを乗り切って1日も早く馴染んでもらえればと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

配属委員会は、親睦活動委員会で瀧波委員長です。これもかつて知った顔だと思いますが、瀧波委員長



を頼りにしっかりとやっていただければと思います。

今日は、どうもありがとうございます。よろしくお願いいたします。

事務局員紹介 杉村 荘平会長

事務局員さんのご紹介をさせていただきます。かねてより青島さんのご後任を探しておりましたけれども、ご縁がありまして、それこそ皆さんかつて知った

る大山さんがぜひやってもらえるということで手を挙げていただきましたので、本当に助かりました。大山葉子さんでございます。

それでは、一言、ご挨拶をお願いしたいと思います。

釧路ロータリー事務局員 大山 葉子さん

また戻ってまいりました。青島さんの体調が悪いということで、次の後任の方が決まるまでのつなぎということで。

7年ぐらい離れていましたので体もポンコツですし、頭ももっとポンコツになっていますので、どれだけお手伝いができるか分からないのですが精一杯頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

■本日のプログラム■

新年交礼会

親睦活動委員会 瀧波 大亮委員長

皆さま明けましておめでとうございます。皆さん、喉がカラカラだと思いますが、もう少しお時間をいただきまして、まずは祝宴の部、開会のご挨拶を中島委員長よりお願いしたいと思います。お願いします。

開会挨拶

クラブ運営委員会 中島 徳政委員長



明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。クラブ運営委員会委員長をさせていただいております。年末年始にも関わらず親睦委員会が今日の段取りをさせていただきました。例年どおりの形となるかもしれませんが、中身としては新しい年を迎えた新しいスタートという形で進んでいきたいと思っておりますので、ぜひ皆さまのご協力をたくさん得まして楽しい会にしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

本日は、よろしくお願いいたします。

親睦活動委員会 瀧波 大亮委員長

中島委員長、ありがとうございます。続きまして新年を祝し、初春の舞をご披露いたします。踊りを披露していただくのは、日本舞踊花柳寿登芳会様です。皆さま、ステージをご覧くださいませ。

(日本舞踊花柳寿登芳会による新春の舞)

親睦活動委員会 瀧波 大亮委員長

申し遅れましたが、本日の司会を務めさせていただきます親睦活動委員会委員長の瀧波と申します。精一

杯やらせていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。

鏡割り

親睦活動委員会 瀧波 大亮委員長

それでは、これより新たな年をお祝いいたしまして、鏡割りを執り行いたいと思います。お名前を呼ばれた方はステージまでご登壇をよろしく願いいたします。

2021-2022 年度釧路ロータリークラブ会長杉村莊平君、副会長浅川正紳君、幹事市橋多佳丞君、会長エレクト滝越康雄君、次年度副会長清水輝彦君、次年度幹事中島徳政君、よろしく願いいたします。

少々狭いのですが、どうぞ皆さまステージにご登壇いただきまして軽く輪になるようお願いいたします。ご準備よろしいでしょうか。それでは、私が「せーの」と声をかけますので、「ヨイショ」のかけ声とともに景気よく鏡割りをお願いしたいと思います。会員の皆さまも一緒にご唱和をお願いいたします。

乾杯挨拶

吉田 秀俊パスト会長



皆さん、明けましておめでとうございます。今年もよろしく願いいたします。

今年度、私は会計という立場で理事の一人に名を連ねておりますけれど、会計というものはなかなか表舞台に立つ場面が少ないものですから、それを慮って杉村会長がこのような場を与えてくれたと思っております。会長の優しさを感じながら僭越でありますけれど乾杯の音頭を取らせていただきます。

皆さん、ご承知のとおり昨年・一昨年と2年間にわたりましてコロナ禍に翻弄されて、例会も幾度となく休会になりましたし、昨年は、『新年交礼会』も開催することができませんでした。幸い昨年の後半から感染者数が激減いたしまして、釧路市内でもゼロの日が続いておりましたので少し安心はしておりましたけれど、最近はまだ「オミクロン株」と言う新たな変異株が現れて、今後どうなるのか油断を許さないところがあります。

そのような状況の中で、明けました2022年ですけれど、今年は例会が休会になることなく杉村年度が最後まで務められること。そして7月からは、滝越年度がスムーズにスタートができますことを心から願っております。

それでは、釧路ロータリークラブの益々の繁栄と本日まで参加の皆さまを含め釧路クラブメンバー全員のご健

勝・ご多幸を祈念いたしまして声高らかに乾杯をしたいと思います。

新年ですので「おめでとうございます」のかけ声で乾杯をしたいと思いますのでよろしくご唱和願います。

それでは、

「おめでとうございます」

ありがとうございました。(拍手)

親睦活動委員会 瀧波 大亮委員長

皆さん、お酒の方は進んでおりますでしょうか。皆さまご歓談中のところ、ここで本年「賀寿」を迎えられる皆さまをお祝いし、クラブより記念品を贈呈したいと思います。お食事中の方もいらっしゃると思いますが、どうぞ協力のほどをお願いいたします。

本年は「還暦」を迎えられる方が6名、「喜寿」を迎えられる方が1名、「傘寿」を迎えられる方が3名いらっしゃいます。プレゼンターの杉村会長、ステージにご登壇をお願いいたします。

それでは、「還暦のお祝い」より進めたいと思っております。昭和37年生まれ、満60歳の皆さまをご紹介します。お名前を呼ばれた方はステージにご登壇をよろしく願いいたします。

4月22日生まれ・土橋賢一君、5月19日生まれ・篠原実君、6月2日生まれ・脇弘幸君、7月11日生まれ・今日お世話になりました木下正明君、9月15日生まれ・前田秀幸君、10月24日生まれ・われらがクラブ運営委員長中島徳政君、以上6名の個性たっぷりの皆さまです。それでは、記念品の贈呈を杉村会長、よろしく願いいたします。

(杉村会長より還暦を迎えたメンバーへ記念品贈呈)

年男・還暦を迎えられたメンバーのスピーチ

土橋 賢一君

皆さん、明けましておめでとうございます。逃げる気ではありませんけれども逃げられませんでした。今年もどうぞよろしく願いいたします。ありがとうございます。



篠原 実君

皆さま、明けましておめでとうございます。時間がありますので、私も同じく今年もどうぞよろしく願いいたしま



す。

脇 弘幸君

おめでとうございます。還暦といいますが何も考えもなくイメージもなく、このようになってしまいましたけれど、何とか良いお爺ちゃんになれるように頑張ります。ありがとうございました。



前田 秀幸君

昭和で言う敬老の日生まれの私でございます。今後とも可愛がってやってください。よろしくお願いいたします。



中島 徳政君

すみません。何度も登壇いたしまして申し訳ございません。この中では一番遅い10月末の生まれなので、先日59歳を迎えたのに今日もう60歳かという大変なヤバイ感じになっております。木下さんを含めて6名ということで、会員としては多いシェアがあるのかと思っておりますが、何の力もございませんので6人合わせてよろしくお願いいたしますと思います。よろしくお願いいたします。



喜寿を迎えられたメンバーのスピーチ

栗林 延次君

今日、喜寿と伺いましてびっくりした次第でございます。もう少し生きるつもりでございますので、皆さんよろしくお付き合いのほどをお願いいたします。ありがとうございました。



傘寿を迎えたメンバーのスピーチ

川合 隆俊君

皆さん、明けましておめでとうございます。この度はこのようなお祝いをいただきましてありがとうございます。

います。自分でもそのような歳になっていると全然及びもつかわずに、その入口で委員長に「あんた傘寿だよ」と言われて、自分でもうそんな歳なのかと思っていました。

本人は今日79歳とばかり思っていました。「79歳ではなく、数えだから傘寿だよ」と、そのようなことでそこでちょっと採めました。

兎にも角にもこのようなお祝いをいただいたので、歳にもめげずこれからもしっかりと頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞ皆さんよろしくお願ひいたします。



青田 敏治君

皆さん、明けましておめでとうございます。よろしくお願いいたします。私も川合さんと同じで、全然80歳になることは考えていませんでしたが、若いころはどんなに生きても75歳までだろうと自分では思っていました。相当デタラメなことをやってきたので、ところが何かしら健康なものですからこまできました。

最近、80歳に近づいてまた目標ができました。私がゴルフを好きなことは皆さんご存じだと思いますけれども、これからの目標は、僕は年齢の数と同じかそれ以下で上がるというエージシュートをしたい。80歳になったら非常に近づいてくるので今年から「シングルになるぞ」という目標を立ててゴルフをやりたい。そういうことで、ぜひ、エージシュートをやった節には皆さん盛大にお祝いをしていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



吉田 潤司君



皆さん、こんにちは。若い青田君の後に出るとは何か本当に寂しいですけれども。私も知らず知らずに無駄に歳を取って80歳になってしまいました。

私は75歳の時に、86歳になるまでは車椅子にも乗らずに国内旅行ぐらゐは元気でできるようになりたいな、という目標を持っています。86歳になると多分

ロータリーに入って50年になると思います。それぐらいまでは頑張っていきたいですから、残り6年～7年は頑張っていきますので、皆さま何か私が倒れそうになった時は助けていただき、叱咤激励をしていただきたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

(手に手つないで合唱)

締め挨拶

滝越 康雄会長エレクト

初仕事です。これは原稿のゲラは前からありましたけれども、清書をして3時～4時であまり良いものがないものから暗記をして来たつもりでしたけれど、すっかりお酒で飛んでしまいましたので、原稿と両方で安全に喋ります。



新年交礼会は、今日親睦委員会さまの大活躍で、このように和やかな会を催したことをまず感謝いたします。今年は寅年でございます。虎は縁起物ということで、決断力と才知がすおうな運の元らしいです。翻って私は亥年です。この寅年の天下の中での亥の活

動はちょっと危険だと思います。頭は寅年でエンジンは亥ですから猪突猛進で、7月から頑張っていきたいと思いますが、7月からの私の年度において、会員皆さまのご協力をお願いするにあたり、ことわざで表現したいと思います。以前に話したことがあります。復唱の方はご勘弁ください。

ことわざの1つに「鳥は木に住む、魚は水に住む、人は人情の下に住む」、ということで、私の頼りは皆さまの人情・やる気をお願いしたいと思いますので、何卒よろしく願いいたします。

最後に、杉村年度は織り返し点で、まだ半年ございますので、相変わらぬご支援をお願いしたいと思います。ということで中締めの挨拶を終わります。

皆さん、ご起立ください。三三七拍子で締めます。

"よーお"

(三本締め)

どうもありがとうございました。

本日のニコニコ献金

- 杉村 莊平君 残り半分頑張ります。宜しく願い致します。
- 浅川 正紳君 後半も頑張ります。
- 市橋 彦佳丞君 あけましておめでとうございます。下半期も宜しく願い致します。
- 滝越 康雄君 今年は寅年。世間は充分良くなって来ました。全力を尽くしたいと思います。
- 邵 龍珍君 今年も宜しく願い致します。
- 後藤 公貴君 明けましておめでとうございます。
- 吉田 秀俊君 今年もよろしく願います。
- 脇 弘幸君 明けましておめでとうございます。年男です。
- 中島 徳政君 今年もよろしく願います。
- 甲賀 伸彦君 本年もよろしく願います。
- 小野寺 俊君 本年もよろしく願います。
- 村上 祐二君 今年もよろしく。
- 瀧波 大亮君 明けましておめでとうございます。残る半年も親睦活動委員会をよろしく願います。

今年度累計 424,000 円

新年交礼会スナップ



2022.1.13 (木)
第21回例会
(通算3648回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副会長 浅川 正紳
幹事 市橋 多佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町5-3 ミツ輪ビル2F
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2021-2022年度
国際ロータリーテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022年度
RI会長 シェカール・メータ
第2500地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイRC)

月間テーマ	職業奉仕月間
本日のプログラム	上期を振り返って、下期に向けて (担当：理事会)
次週例会	講師例会「ひがし北海道弟子屈町の地域おこしについて」 (担当：プログラム委員会)

- ロータリーソング：四つのテスト
- ソングリーダー：池田 いずみ君
- 会員数 104名
- ビジター なし
- ゲスト なし

会長の時間 杉村 莊平会長



皆さん、こんにちは。先週の新年交礼会、多数の皆さん駆けつけていただきまして盛大に無事に終えることができました。いいスタートを切れたと思います。本当にありがとうございました。新年度が始まるころには、このクリスマスが終って新年交礼会が無事終わったころにはだいぶ肩の荷もおりて、気分的に少し楽になるのだらうと思っていましたが、まったくそうならないことに最近になって気付かしまして、自分の考えが甘いことを反省している今日この頃でございます。改めて、残り半分、よろしく願ひしたいと思います。

さて、先週の新年交礼会、賀寿のお祝いをさせていただきました。なにせ、皆さんのお若いことに驚かされました。僕が小学校・中学校ぐらいのときの「おじいさん」という感覚で思ったのですが、例えば小学校・中学校の時の校長先生がそんな感じかなと思っていました。当時は定年も早いので、小学校の校長先生も60歳にはいってなかったのだらうなと思います。そう考えると、先週の還暦を迎えられたお兄さまたちが大変若々しいなと思いました。喜寿の栗林さん、あと傘寿の川合さん、青田さん、吉田さんは本当に若くて。

人生こうありたいなと思い起こさせる人柄でした。釧路クラブの良いところは30代から90代まで、本当にメンバーが同じクラブの中でしっかりと交流できるところだと思っております。

ひとつ思い出したのは、僕が若かった入会当時のことです。山下将軍というベテランメンバーがいらっしゃいました。毎回、夜例会になりますと当時、五明さんが必ず山下将軍を車で二次会のセントポーリアにお連れして、恒例のカラオケをしていただいて軍歌を歌うのを毎回のようにはやっておりました。当時、五明さんは何も言いませんでしたけど、多分、五明さんは「良いか小僧ども、俺の姿を良く見とけ」と、何かを感じ取れという矜持を僕らも感じさせていただいて、拝見しておりました。こういう形で30代から90代までが一同に集うという機会を大切にしていきたいと思ひます。

今年はコロナの影響で例会の座席の抽選をやっていませませんが、ぜひ若いメンバーにおかれましては、もうそろそろ座席の新しいテーブルへのチャレンジをしていただいて、ベテランメンバーとの交友をもう少し深めていただいて、より良いロータリーライフを共有していただければと思っております。どうぞよろしく願ひいたします。

今日は「上期を振り返って」ということでございますので短めに終わりたいと思ひます。実は、「上期を振り返って」はクラブ協議会対応という大事な例会で

ざいます。私も含めてですが、心してスピーチしていただければと思います。
今日はどうぞよろしく願いいたします。

幹事報告 市橋多佳丞幹事

皆さま、こんにちは。幹事報告をさせていただきます。他クラブの今週・来週の例会につきましては配布の例会案内をご一読お願いいたします。
また、本日来場されました皆さまに手渡しで下期会費の請求書をお渡しさせていただきました。本来であれば郵送させていただくところですが経費削減ということでご理解・ご協力をお願いできればと思っております。私の方から幹事報告は以上となります。よろしく願いいたします。

■ 本日のプログラム ■ 上期を振り返って、下期に向けて

杉村 莊平会長



度々の登壇で恐縮です。上期を振り返ってということで少しお話をさせていただきます。まずをもちまして、上期を振り返るところまで何とかたどり着きましたこと、全メンバーの皆さんに感謝、お礼を申し上げます。ありがとうございます。
特に市橋幹事、浅川副会長、田内・得地副幹事におかれましては、まだ終わったわけではありませんが本当に支えていただいております。ありがとうございます。
振り返りますと、今年の7月にキャンドルもアッセンブリーもしていない中、スタートを切りました。何とかコロナからの離陸を目標にして、わがロータリーを楽しもうとスタートさせていただいたわけでございます。準備をなるべく早めに始めていたつもりでございますが、いざ予定者会議が始まりますと、やはりコロナに対する温度感、夜例会に対する温度感の意見の違いが大きく露呈しておりまして、この意見のとりまとめには本当に難しい対応をさせられました。
ものを申してほしいという意味で、浅川副会長には特にこの杉村にものを申してほしいとやってもらったわけですが、その当時は険悪な雰囲気が続きまして、浅川副会長には大変苦勞をさせたと感じております。この場をお借りしましてご容赦いただければと思っております。
そんなことで、こういう機会があるからこそ、夜例会が再会できた喜びはすごいものになるだろうと思っ

たり、あと昼例会だけでしたけれども会長挨拶を自分なりに工夫して、何とか釧路クラブの素晴らしさ・良さを伝えられればと思って考えたりして、上期を過ごさせていただきました。

僕は、ここを何とか半年間、やってこれたのは、釧路クラブに対する信頼感と釧路クラブは素晴らしいクラブだという自信があったので、自分を鼓舞しながらやれたのだらうと思っております。

前にも似たような話をしたことあるのですが、ここ5～6年くらい、僕がそういう思いを特に強くしたわけ

です。僕が入ったところ、3年目、4年目、5年目ぐらいまでは、ロータリーって何だろうな、何をするとところだろう、と。ロータリーはなんぞやと、かなり悶々としておりまして、何かスッキリしないところを抱えながらやっておりました。

当時、夜例会が終わった二次会で、矢沢さんに生意気ながら議論を吹っ掛けまして、「ロータリーってなにするところなのですか？」と、「寄付だけをしていりゃいいのですか？」と、「何か事業やらないのですか？」と話をしました。

そしたら矢沢さんが大人の対応をさせていただいて、「なあ、杉村、そんなに大上段に構えて、『ロータリーで何かをしよう』なんて考えなくてもいいのではないだろうか。よく考えてみる、クラブには100人も素晴らしいメンバーがいて、それぞれの業界とか、仕事とか、街づくりとか、みんながそれぞれのこと携わっている。そういう人たちと例会でゆっくり話をして、いろんな勉強をして、時にはその手伝いをしてみたり、時には会社や家庭に持ち帰って自分でやってみる。そういうスタンスで駄目かなあ」というお話を聞きました。

僕は「なるほど、ロータリーはそういう考えでいいのだ」と思いました。その時に、こんな小僧に本当にゆっくり親切に対応していただいた矢沢さん、ロータリーの先輩、本当にかっこいいなと思えました。

何となくそれでスッキリしながら迎えていたロータリーで、それが確信に変わったのが協会長年度です。副会長やらせてもらいましたが、その時にP E T Sの第一分科会に出させてもらいました。その時に当時の成瀬ガバナーと細川エレクトが講師をしていたわけですが、まったく同じようなことを言われるのですね。ロータリーの第一義は例会に出席してみんなといろいろ話をして心を豊かにすること、心を磨くことなのだ、と。奉仕や寄付というのは、そこから発露される第2義の考え方なのだ、と。とにかくロータリーを楽しめばいいんだ、ということ成瀬さんや細川さんも声をそろえて力説されていました。なるほどと、そこで確信に変わりまして、そういう考えでいいのだと。その当時、僕は入会からやっと13年目になって、本当に

すっきり自分の中でロータリー観が出来上がって、これは正しいかどうか分かりませんが、今に至っているところであります。

この釧路クラブは、そういう意味でロータリーを考えると、何万とある世界のロータリー界のど真ん中を行っている素晴らしいクラブなのだろうと感じております。だからこそ、こういう釧路クラブを未来永劫なくしちゃいけない。なくさないためにも地域の活力とロータリーの活動が連動していかなきゃならない。相乗効果をもっていかなきゃならない、地域が駄目になっちゃダメな訳ですから。そういう意味をもって「わがロータリーを楽しむ。わが地域を育む」というスローガンにさせていただいて、何とかこの半年やらせていただいた次第でございます。

時間がなくなっておりますが、改めて一つ一つは振り返りませんが、まずは最初、コロナが蔓延した時期に、まずは佐藤委員長の頑張りで野球大会が開催できたこと。あと10月に夜例会が本当に無事に再開できたこと。ついこの間ですが85周年の例会で清水先生をはじめベテランメンバーから素晴らしいスピーチを聞いたこと。本当に感動させていただきました。それに伴って、プログラムでは中島委員長と工藤委員長には大変お世話になっております。毎回のホームページ更新では横田委員長にはお世話になっております。

また、拡大につきましては、今これを誇示するわけじゃありませんが、結果として8名の拡大ができておまして、村上委員長と五十嵐委員長には本当に頑張っていたと思います。また、この間のクリスマス家族例会には出し物やらさせていただきましたが、これは甲賀委員長と小野寺委員長のリーダーシップがなければ、皆さんにお披露目できていなかったかなと思っておりました。大変感謝しております。名前を出せなかった皆さんにもあらためて感謝しております。本当にありがとうございます。

最後になりますけれども、僕の人生訓では「自分の身の回りで起きている全てのことは全て自分に原因がある」という言葉を人生訓のひとつにしております。今、自分の周りで起こっている良いことも、悪いことも、たどりたどっていけば全部自分に原因があるのだということです。そうすると、良いことが起こるような自分にしていかなきゃならないのだろうと。それをまた循環させていかなきゃならないのだろう、と思いながら何とか過ごしているつもりです。僕はロータリーの運営についても、そう思いながらなるべくいい循環になるようにしていきたいと思ってやってきました。それこそ先週の新年交礼会の後で、レラさんに結構、大勢の方に来ていただいて、若いメンバーもすぐく溶け込んで、楽しそうにお酒を飲ませていただきました。この循環を作っているのは、その場面については瀧波

委員長の器量、ウツワかなと思って瀧波委員長を頼もしく拜見させていただきました。

僕の手前味噌かもしれませんが、この上期の釧路クラブにはいい循環が回っているのかなと思っています。何とかそれを途切れさせないように、また下期も頑張っていきたいと思っております。改めて、わが釧路クラブを信じて、これからもロータリーを楽しんで頑張っていきたいと思っております。

どうぞ、下期もよろしく願いいたします。

市橋多住丞幹事

皆さま、こんにちは。上期を振り返ってということで、まだまだ半年が過ぎたところで、幹事職としての振り返りの時間を拝借させていただきスピーチさせていただければと思っております。



入会して5～6年しか経っていないこの若輩者に幹事職を与えていただいた杉村会長はじめメンバーの皆さまに心から感謝を申し上げます。1つ1つの例会を積み上げていくたびに、様々な気付きを会長、副会長、皆さま方からいただきながら、なるほどと自分の腹の中にしっかりと落ちていき、積み重なっていくような感覚を毎週のように感じさせていただいております。また、さまざまな団体等の会合に参加をさせていただくと、他クラブの方々にもお会いする中で「釧路クラブだからいろいろ人数も多くて大変でしょう」と言われるのですが、先ほど申し上げたようなこともありまして、私は逆に釧路クラブの幹事職をさせていただいたこの2021-2022年度を非常に嬉しく思っているのが率直なところでございます。

逆に、他クラブのメンバーの皆さまにも、そういう経験をしてもらいたいのではないかと、上から目線かもしれませんが、本当にこの釧路クラブの良さを気付きさせていただきました。

杉村会長が奉仕の中でも仰っているように、この釧路クラブのオンとオフ、この規律と寛容が見事に調和したものを肌感覚で感じさせていただいて、夜間例会は楽しむところはしっかり楽しむ、一般的なプログラムはしっかり学ぶところは学ぶ姿勢を皆さま方がしっかり体现されているのを見させていただいて、本当に釧路クラブで良かったなど、そのクラブの幹事職を務めさせていただいていることに心から感謝を申し上げる次第でございます。

昨年1月から予定者理事会を開催するような流れになっていると思っていたのですが、そのころは第何波か分からないようなコロナの最中で、あえなく第1回の予定者理事会がサクッと流会になってスタートした

のを記憶しております。

杉村会長には申し訳ないと思いながら、どのようにしたら理事会を開催できるのかと思案していた1月だったなと思っております。そのような流れの中で例会は休会中だったと思いますが、水面下で「何とか理事会だけでも開催しないと」と2月から開催させていただいて本日まで至っております。

P E T SもZOOMでのオンラインになりましたし、地区研修協議会もオンラインという流れになってしまい、非常に申し訳ないなと思っておりましたが、杉村会長は「ロータリーは集まってなんぼでしょ」とコロナ禍における大英断をいただきまして、キャッスルホテルさんに場所をお借りして、オンラインを対象者全員で見る新たな試みをさせていただいたことを思い出しました。

先ほど、会長も仰っていましたがコロナに対して職業柄、非常にガードのきつい浅川副会長と、ノーガードの急先鋒ともいえる杉村会長とのやり取りを、幹事職として一步引いた状態で見させていただいて、当然われわれ三役の中での取り決めもありますし、これを皆さまにどのようにお伝えをして、気持ちよく参加していただくかを、日頃考えながら年度当初は動いておりました。当該年度に入りましてクラブアッセンブリーを開催できずに年度に突入してしまうとか、9月に入って再び緊急事態宣言が発出され1カ月間の休会を余儀なくされ、それに伴ってガバナー公式訪問の延期もありましたが、皆さまのご協力をおもちまして、何とか時期をずらして開催させていただき、ここまで来られたと感じております。

先ほど会長も仰っておりました夜間例会も少しずつ開催をさせていただいて、10月から夜間例会を再開させていただきました。夏には佐藤委員長の方で野球大会もしっかり行っていただきましたし、11月から12月にかけては炉辺会合も開催させていただきました。少しずつ普段のロータリーへと舵を切りながら今の流れとなって来ております。

いまは少しずつ感染者が増えてきています。ぜひ、皆さま方、感染対策をしっかりとしていただいて、このいい流れを断ち切らずに年度の最後まで向かっていきたいと思っております。

クラブ概況ですが、会員数は7月1日時点で96名、現在は103名となっております。皆さまのご協力にお礼申し上げます。杉村会長が日々申しております、あと2名を拡大して10名の拡大に結び付けていきたいと思っております。合わせてご協力をお願いいたします。

また、下期の会費の請求書を本日お渡ししましたので会のスムーズな運営のためにも皆さまのご協力で早期の振り込みをお願いできればと思っております。また、ニコニコ献金は前回、新年交礼会の決算段階で約40

万円ちょっとで目標額の半分くらいを突破しております。残り半期ですので、ぜひ皆さま方のご協力をお願い申し上げます。

また、理事会の議事録はホワイトボードに綴っておりますのでご覧いただければと思っております。

また、青島事務局員が体調不良で退職されるという流れの中で、現在、事務局で新たな事務局員・大山さんと引き継ぎを行っております。皆さま方には会の運営でまだまだご迷惑をおかけする部分が多々あるかと思っております。少しでもその部分少なくするために頑張っております。ご協力をお願いできればと思っております。

この後、下期で2回目の炉辺会合も企画しております。職場訪問例会ももうすぐあります。また、暖かくなってきたころには、野遊会等々を企画して皆さまに楽しんでいただけるような事業を、これからも構築していきたいと思っております。

理事者の皆さま並びに各委員会の正副委員長の皆さまにこのような若僧からいろいろお願いをさせていただくことも多々あると思っております。ぜひ、杉村会長を男にするために皆さま、残り半期のご協力をよろしくお願いいたします。

私からの報告としては以上とさせていただきます。ありがとうございました。

クラブ運営委員会 中島 徳政委員長



最近、登壇の機会が多くて喋る内容がないのですが、なんせ会長・幹事で15分以上お話になりましたので、たしか杉村さんがロータリー

財団の大委員長だった時にTo Be Continuedで終わったのがありますので、甲賀さんになつぷり時間を残したいと思ひ短めにまいりたいと思ひます。

今年度、クラブ運営の大委員長をさせていただいております。まず、7月スタートの時に親睦委員会に無理をお願いしました。「クラブとしては親睦が必要だ」ということで、昼例会で親睦委員会の瀧波委員長にやっていただきました。「スタートアップパワーランチ」という名前でスタートさせていただきました。親睦が大事なのだ、とその時から思っております。

先ほどからお話が出ていましたが、9月は1カ月の休会があったのに10月からすぐ夜間例会がスタートできたことで、親睦委員会は夜も4回やっております。親睦委員会の夜の委員会に出ますと、すごい仲が良くて、これが釧路ロータリーの原動力だなど思う場面にたくさん出会っております。下期に向かってまたお願いしたいと思っております。

あと、工藤委員長のプログラム委員会ですが、いろいろな方を呼んでいただきました。釧路新聞の星匠様さんに始まりまして、JALのふるさとアンバサダーの小林千秋さん、それからk-Bizの田辺貴久さん、気象台の中山寛さん、ブランドの村尾隆介さん、あの方は本職なのでうちのロータリーのお礼では全然呼べる方ではなかった方をお話いただけただけなのは、クラブの人脈がすごく広いのかなと思っております。鉄道高架がありまして、12月の最後に工藤さんのやりたかったオンステージをしっかりとやっていただいて、皆さんをいじって、いじりまくったというところで、工藤さんも「やった感」があるのではないかと考えております。

あと出席委員会です。今年度、樋口さんに委員長をお願いして、毎月1カ月分の出席率を発表しております。クラブですので出席は義務ではなくて権利を行使できる場所です。ぜひ、その率も頭に入れて多くの参加をお願いしたいと思います。

下期にはメイクアップが用意されております。コロナがどうなるか難しいところもあるかもしれませんが、他のクラブに行って釧路クラブの良いところを宣伝し、また他のクラブとの友好を深め、他のクラブで握手攻めにあったり、今でもやっているのでしょうか、生でロータリーソングを歌ったり、生演奏で歌ったりがありますので、ぜひ体験していただければと思います。

対象としては3年未満の新入会員を中心に、その方をパスト会長の皆さまに引率して行っていただければと思います。そして、幹事にはメイクアップ料を全部クラブで負担してくれるようお願いしております。ご案内の際にはぜひ参加していただければと思います。

クラブ運営委員会からは以上となります。下期もまたよろしくお願いいたします。

クラブ広報・会員組織委員会 村上 祐二委員長

皆さん、こんにちは。クラブ広報・会員組織委員会の委員長を務めております村上です。委員会の名前がなかなか覚えきれなくて大変失礼いたしました。当委員会、上期を振り返りますと、今カメラで撮っていただいている横田委員長率いるクラブ会報委員会、それから五十嵐委員長率いる会員増強委員会。この委員会のメンバー、皆さんお力いただいた中で素晴らしい活動ができた半年だったと考えております。

私、自分のことを振り返らせていただきます。私



自身、この上期を振り返ると、何を言っても「会員増強」「会員増強」だったと思っております。予定者段階から杉村会長に促されて「リストアップはどうなっている」「情報は集めたか」、そして行動をして、まさにPDCAの繰り返しです。随分と杉村会長に導いていただいたと思っております。

その会員増強にあたって思ったところは、私の年代のせいなのか分からないのですが、釧路クラブもそうですが他クラブに知人が非常に多いのですよ。そうすると勧誘など対象にしている人が被るのですね。他のクラブの人もその方を（言い方悪いけど）狙っている。私も狙っていると、しょっちゅうそういう話になってしまうのですよ。そうは言っても釧路クラブに来てくれるだろうと思っていたら、その方からの電話が鳴って、「よし来たか」と思ったなら、「村上さん、他クラブの誰々さんからも誘われていて、決められないのです。なので、ライオンズクラブに入りました」と言うのですね。こういう逃げ道があったのだなと思ってびっくりしましたけど。

そんなこんなもありまして、やり方を考えなきゃいけないと思って、会員増強の係だから、役割だからというスタンスで口説くのか、それとも、自分はこの釧路クラブに在籍して良かった、入会させてもらって良かったと思っていますし、いま釧路クラブで楽しく活動させてもらっています。その気持ち、釧路クラブは楽しいなと思っているその気持ちで会員増強に当たるのか。ここだろうなと思っているのです。それからは、「自分はこの釧路クラブで楽しめている」という、その直球だけを投げ続けて、それから少しずつ結果が出てきたのを実感した半年でありました。

これまで上期にご協力いただいた皆さまに感謝申し上げますとともに、下期も変わらず活動を続けてまいりたいと思っています。最後までご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

最後に、いつの例会か忘れちゃったのですが「私の怖いもの ベスト3」というテーマの会員卓話があったのですが、コロナの影響でなくなっちゃったのです。その時、私がスピーチの準備をしていたことがありまして、その時は、私の怖いものって面白くないなって思ったので、全く違うSDGsの取り組みについて話をしようと思って用意しました。今日は全くそのことではなくて、せっかく与えていただいたテーマなので「私の怖いものベスト1・2・3」の1つだけお伝えして、話を終わりたいなと思っています。私の怖いものは、冗談の通じなかった時の浅川さんです。

以上で私のスピーチを終わらせていただきます。ありがとうございました。

奉仕プロジェクト委員会 小野寺 俊委員長

皆さん、こんにちは。奉仕プロジェクト委員長の小



野寺です。奉仕プロジェクト委員会が統括する各委員会の上期の活動を振り返りますと、年度早々、毎年恒例の夏に開催

されました青少年奉仕委員会の全道中学硬式親善野球大会は佐藤委員長のご尽力により無事に開催することができました。会場を提供していただいた釧路工業高校、また釧路リトルシニア球団の保護者や関係者の皆さまにも改めて感謝をいたすところでございます。

国際奉仕委員会ではコロナ禍により、郵送等でのやり取りになりましたけれども、台北中央クラブとの姉妹クラブ締結の更新は荒井委員長を中心にして行っていただきました。

菅原委員長率いる社会奉仕委員会では「クラブ創立85周年の記念事業」として釧路市へコロナ対策関連備品の寄贈の窓口となっただき、無事その事業を終えることができました。職業奉仕委員会の活動ですが、当初、上期中に予定しておりました職場訪問例会がコロナ第5波の煽りを受ける形で中止となりました。こちらは吉岡委員長のもと、下期に開催できるよう再検討していただいていますので、その例会には皆さんのご参加をお待ちしています。

ということで、各委員会の皆さまがとても優秀な方々ばかりで、大委員長である私が出る幕がほとんどなかったわけです。その余力はクリスマス家族例会でのシンクロナイズドスイミングで発揮できたのかなと自負しています。

残り半年、委員会としての活動はあまり残ってはおりませんが微力ながら杉村会長を支え、時には後ろから鉄砲を撃つ覚悟で全うしていきたいと思っております。

皆さまのご協力を引き続きよろしく願いいたします。ありがとうございました。

ロータリー財団・奨学推進委員会 甲賀 伸彦委員長

時間調整ということで最後です。ロータリー財団・奨学推進委員会の委員長を仰せつかっております甲賀と申します。



まず、ロータリー財

団、米山、嵯峨記念ということで、今年の理事会の中で「炉辺会合でお話するテーマありますか」ということがあって、ちょうど公益財団の嵯峨では石田理事長に変更になりました。いろいろ変えた方がいいかなという部分もありまして「何とか炉辺で」とお話をしたところ、先般の炉辺会合（8組）でお話をさせていただきました。通常は炉辺会合で15分ぐらいすると、違う話をして「ギャー」と盛り上がるのですが、どのテーブルも2時間きっちり嵯峨の話をさせていただいたということで、非常にありがたいと思っています。

あと、個人的にですが、栗林さんに「五明さんに副委員長をやっていたらどうか」とお願いしていたところ、五明さんが去年2月にご逝去されましたので、市橋幹事に「誰が残っている方いませんか」と言ったら、「大物しかない」ということで、隣に住んでいる栗林さんに「何もすることないから、副委員長に」とお願いしたのですが、さっそく出張と当たってしまい、活動計画の時に栗林さんを壇上にあげさせてしまったこと。「1回だけです」と言ったのですが、今度ガバナー公式訪問の時に私が出張に当たっていて、その時にも出席していただいたこと、本当に申し訳ないと思っています。

せっかくの機会です、お話ししたいのですが、経済団体でもありますので。今年の令和4年1月1日から電子取引、簡単に言いますとAmazonでポチッと買ったら、紙での保存は税法上認められなくなりました。いわゆるPDFで保存しなきゃいけないのです。やっとなりの時代に来たかなと。紙のない時代なのですが、幸い、釧路クラブには2名の税理士がおりまして、どちらも紙のない時代に対応している税理士がおりますので電子取引の保存・帳簿保存につきましてご心配の方は、時代に対応した税理士に聞いていただければと思います。

ちょうど時間となりましたので終わらせていただきます。どうもありがとうございました。

本日のニコニコ献金

■清水 輝彦君 無理はしませんが、「何事も前向きに」と思っています。

今年度累計 426,000円

2022.1.20 (木)
第22回例会
(通算3649回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副会長 浅川 正紳
幹事 市橋 多佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町5-3 ミツ輪ビル2F
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2021-2022年度
国際ロータリーテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022年度
RI会長 シェカール・メータ
第2500地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイ RC)

月間テーマ	職業奉仕月間
本日のプログラム	講師例会「ひがし北海道弟子屈町の地域おこしについて」(担当：プログラム委員会)
次週例会	「日銀の業務と役割」(担当：プログラム委員会)

- ロータリーソング：我等の生業 ■ ソングリーダー：濱口 憲太君
- 会員数 103名
- ビジター なし
- ゲスト 弟子屈町地域おこし協力隊シティープロモーション活動支援員 川上 椋輔様

会長の時間 杉村 莊平会長



皆さん、こんにちは。お食事の方はそのままお続けください。

今日は、以前から新聞等で拝見しておりました川上さんをお迎えできまして、本当に楽しみにしております。わざわざ弟子屈からありがとうございます。

僕の新聞の受け売りであります。川上さんは花形であるUHBのアナウンサーをスパッと辞められて、弟子屈町の地域づくり協力隊に応募して、現在頑張っているというお話です。実は今日もう一方来られる予定だったのです。これもまた新聞等で拝見しての受け売りですが、川上さんの小学校からの同級生でJR東海に務められていた高橋さんという方、その方を誘われたら高橋さんも偉いもので、JR東海をスパッと辞められて弟子屈に来られたというストーリーに大変注目しておりました。

工藤プログラム委員長には、年度が始まる前から、願いをして楽しみにしていた例会でございます。本当に楽しみにしております。細かいお話は後からゆっくりお聞きできるかと思いますが、やはり僕は常日頃から地域の活性化のためには、川上さんたちのように外からの目線を持った熱意のあ

る方と、その活動を理解し応援する地域住民の高い意識との相乗効果が不可欠と思っております。今年のテーマでも、地域を育むというテーマを掲げさせていただいておりますので、われわれもその意識を高められるように今日はしっかり拝聴したいと思います。

僕も弟子屈へよく行きますけれども、昨年10月に美留和駅から硫黄山を眺めまして、川湯温泉駅までトレッキングをしてきました。3時間ぐらいかけてトレッキングをしましたが、最後は川湯温泉駅の中にあるレストラン『オーチャードグラス』で夕食を食べました。駅前は大変賑わっておりましたし、その前日は、川湯に泊まりました。エコミュージアムの前で「川湯の森ナイトミュージアム」というイベントが開かれておりました。そこでクラフトビールや弟子屈町ワインなどを堪能させていただきましたけれども、ここもすごい賑わいでした。

屈斜路湖周辺エリアは、すごい温泉や自然があり、キャンプ・カヌー・登山などのアクティビティも充実しておりますので、いまニセコや富良野がすごい注目を浴びておりますけれども本当の可能性としては、それに匹敵する地域ではないかと考えております。

観光セミナーの受け売りですけれども、この釧路・根室エリアは、千歳発着の道外からの北海道ツアーを2泊3日や3泊4日ぐらいで考えると、十勝エリアまではギリギリそのツアーの範囲内に入りますけれども、釧路・根室エリアは、どうしても千歳発着の2泊3日

ぐらゐのエリアからは届かないエリアだと。ですから、釧路・根室地域が見習うべきは石垣島や宮古島など、その地域を最初から目的にして来る人、この旅の目的となるエリアを目指さなければいけない。そのようなことが重要だと聞いたことがあります。

ですから見ますと、釧路・根室地域ちょうど真ん中に弟子屈町がありますので、川上さんに頑張っていただけ、この弟子屈町を中心としてこの釧路・根室エリアが一体となってどんどんと活性化を図ってもらえればと願って、今日の講演を拝聴したいと思います。

本日は、どうぞよろしく願いいたします。

幹事報告 市橋多佳丞幹事



皆さま、こんにちは。私から幹事報告をさせていただきます。他クラブの今週の例会は、お手元にお配りしております例会案内のご一読を

お願いいたします。

また、昨日2月の例会プログラムを皆さまへ送信させていただきました。また夜間例会の案内も皆さまへ送付させていただきましたが、昨日、北海道からまん延防止等重点措置の申請をするという報道等もあり、状況がまだ見通せないところでございます。この後、様々な状況を鑑みて例会スケジュールの変更等があった際には早急にご案内をさせていただきます。多少流動的になるかもしれませんが、ご容赦いただければと思っております。

もう1点です。先日の白幡博君のご母堂様の葬儀に際して、白幡博君よりクラブに対してお礼ということでお気持ちをいただいておりますので、ご報告をさせていただきます。

誠にありがとうございました。以上でございます。

■本日のプログラム■ 「ひがし北海道弟子屈町の地域おこしについて」

プログラム委員会 木下 正明君

委員の木下でございます。杉村会長にご本に他の経歴をほとんど喋られてしまいましたので、簡単に本日も講演いただきますのは、弟子屈町地域おこし協力隊の川上椋輔様です。NHKのテレビも数多く取材をされまして、会員の皆さんはすごく興味深く思っているところだと思いま



す。

題名は『弟子屈での実践、そしてひがし北海道の可能性』。「ひがし北海道」の可能性となっておりますので、ぜひ良い話をお願いいたします。川上さんよろしく願いいたします。

弟子屈町地域おこし協力隊シティープロモーション活動支援員 川上 椋輔様

皆さん、こんにちは。平日のこのような時間に素敵



な機会をいただきましてありがとうございます。UHBをキッパリ辞めてきました川上椋輔と申します。

限られた時間ではありますが、いま弟子屈町で私が行っている活動やこのひがし北海道の可能性というところでお話をさせていただければと思います。

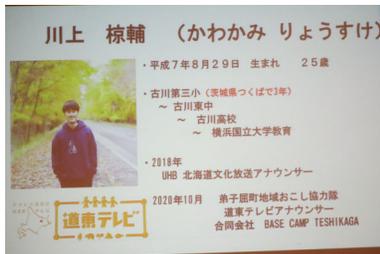
かなりポンポンいきます。私は、川上椋輔という名前です。平成7年生まれで26歳になりました。宮城県で生まれ育ちました。赤字で書いてありますけれど、茨城県のつくば市という所に親の仕事の都合で転校をして3年間過ごしまして、宮城に戻ってきて横浜の大学を出ました。その後、2018年、胆振東部地震が起きた年にUHB北海道文化放送でアナウンサーとして3年ほど務めた後に、現在にいます弟子屈町で地域おこし協力隊、そして道東テレビというインターネットを使ったこの道東全域の情報を発信しているテレビ局ですけれども、この会社でもアナウンサーとして活動をしています。そして何より、実は、今日この講演が終わり次第、法務局へ行き『合同会社ベースキャンプ弟子屈』という会社の設立をしてきますので、この3足のワラジを履いているいろいろと活動をしています。

宮城県が出身地ですけれども、大崎市という所に古川という駅があるのですけれども仙台の次に新幹線が停まる街で育ちました。完全に米処です。僕は日本酒が大好きですけれども、「伯樂星」というお酒を造っている会社が僕の実家の近所にあります。

私には、夢があります。日本の地方をより良くしていきたいという思いが小学生ぐらいの時からありました。地方の発展と存続なくして日本の未来はないということも僕は身に染みて感じていました。それが先ほど赤字で書いてあった「つくば市への転校」が大きな大きなきっかけになっています。

何が起こったかという、僕は宮城県の小さな田舎町で育ちました。つくば市は、JAXA宇宙センターがあり、研究学園都市といって研究所がたくさんあって、

医者の息子たちなど高学歴層の子どもたちがたくさん育つ街です。僕はそこで、小学校と中1・中学2の期間を過ごして、成績も普通の成績で淡々と過ごしていましたが、地元の宮城県に戻った時にテストを受けたら、なんとダントツの1位でした。これがもうおったまげで、茨城県のつくばにいた時は100番ぐらいの



順位の間人が宮城県のド田舎に帰ったら1番になる。生まれた場所によってこんなにも子どもが育つ環境、周りの環境を含め大きな差がある

のかというところで、僕は地方格差というものを身に染みて感じました。

その後に東日本大震災がありまして、3・11にモロに被災を受けています。そこで政治家の力や行政の力の強さを身に染みて感じました。そのようなところで、小学校6年生にして政治家になりたいという夢を持ち始めました。

そこで「なぜアナウンサーなんだよ」という話になるのですけれど、さらに掘り下げると『しんしん（伸身）の新月面が描く放物線は、栄光への懸け橋だ！ 日本金メダル』という実況を聞いた時に憧れを持った仕事のアナウンサーでして、そこから3・11の時にもテレビを見て、電気がやっとな復旧してテレビに映るアナウンサーを見て、「日常の一部になるアナウンサーは素敵なお仕事だな」と思いながらも、何よりもアナウンサーからいま東京の都知事をやっている小池百合子さんや政界へ進む人間に非常に多いルートでもあることで、迷わずして僕はアナウンサーの道を選びました。「では、なぜ北海道なのか」というところですけど、宮城県のアナウンサーになりたいという思いが一番強かったのですが、アナウンサー試験は毎年あるものではなくて、僕の年は宮城県の採用がそもそもなくて、そのような中でいうと、やっぱり北海道というこの場所自体が日本における地域の課題の本当に先進地であって、第一次産業から諸々の産業のいろいろな幅広い分野で活動が行われる方もたくさんいますので、まずはマスメディアというこのテレビの世界から日本の地域の北海道の現状を知りたいという思いでUHBのアナウンサーとしてキャリアを進めました。

UHB時代にいろいろお仕事をさせてもらいました。やはり何よりも、僕が入社して半年後に胆振東部地震が発生しました。この辺りもブラックアウトの被害がおそらくあったかと思いますが、私自身は札幌の清田区の里塚地区という所の取材と中継をずっと続けていました。まさに液化化現象の被害で、半年以上ずっと家が傾いたようなかなり悲惨な状態だった街の取材をしていました。あとは、やっぱり北海道はスポーツが

盛んですので、まさにいま『BIGBOSS』で盛り上がっています北海道日本ハムファイターズやコンサドーレ札幌などのスポーツの実況にも関わっていました。あとは、地域を見たいという思いが非常に強かったので、おそらく皆さんが働かれている間に放送をしている番組・夕方の情報番組で「道の駅を完全制覇自転車でしょう」というプロジェクトをしまして、自転車ですいろいろな道の駅を巡りながら各地域の現状を取材していました。

簡単に言うとアナウンサーとは、やっぱり情報を発信することが何よりも重要であり、使命であり、どちらかというと舞台はスタジオになります。その辺りで、いろいろと気付き始めるのですが、そこでとうとうコロナがやってきました。コロナがやってきて世の中の大きな変容が様々なところで起こり続けていると思うのですが、そうやってきた時に、アナウンサーが新型コロナウイルスになってしまうと結局大バッシングを受ける。一時期、報道ステーションのアナウンサーがコロナになって世間的に「情報を発信する人間がなぜコロナになっているのだ」という大批判があったのですけれども、それによってとうとう「アナウンサーは地域へ取材に行くな」という期間がスタートしました。すると、とうとうコロナ状況下で取材すらできない今の立ち位置は意味があるのだろうか、というところでアナウンサーを辞めよう。ここでキッパリUHBを辞めて、まさにこのコロナ禍といういろいろな社会の変革が起こっている時期に地方・地域の実態を肌身で感じたいという思いで様々なご縁があったこの道東、そして弟子屈町へやってきました。

「なぜアナウンサーを辞めた」といつも質問などをいただく話から簡単にここまで駆け足でお話させてもらいました。

僕は現在、「地域おこし協力隊」という立ち位置で、弟子屈町で活動をしています。ちなみに釧路の皆さんだと身の回りで地域おこし協力隊の方とつながりがある方などはいらっしゃるでしょうか。特にないですかね。地域おこし協力隊という制度、これは総務省の制度でして、まさに人口が集中している都心部から日本のまさに地方・過疎地域と言われる場所

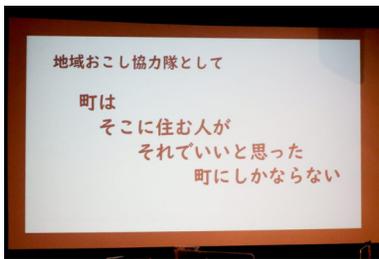


にいろいろな人を送り込んで、国の予算の下で、その地域で様々な活動を行ってくださいという制度になります。ちょっと前までは、役場の一職員として活動をする地域おこし協力隊というイメージが結構強かったのですが、私自身は「個人事業主」という形で弟子屈町に入っています。ですから、弟子屈町役場とは雇用関係は全くない状態なのですが、個人事業主として

国の総務省の制度の下で幅広く活動をさせていただいている状態になります。

何を行っているかという、地域の情報発信ということで、インターネットを使っていろいろな情報が流れていますけれども、その YouTube で弟子屈町の公式チャンネルという形で情報を発信しています。毎週3本ぐらい弟子屈のニュースを配信したり、生配信という形でLIVE配信・生中継をいろいろな場所から行ったりしています。

現在、弟子屈の人口が6,800人ぐらいになってきたのですが、チャンネルの登録者数が3,200人ぐらいなので、もうまもなく人口の半分ぐらいの方がチャンネルを登録してくださっている状態になると思います。ぜひチャンネル登録をしていない方がいらっしやいましたらこの場をお借りしてチャンネル登録をいただけたらと思います。



どのようなことを行っているかという、本当に幅広い分野でニュースをつくっています。右上のニュースは、まさに弟子屈で育った昭和

の横綱大鵬関のお孫さんにあたる王鵬関が先日十両に昇進しましたが、このニュースは実はもう既に60,000回ぐらい再生されています。たった6,000人の街の小さなニュースが60,000人という世界中の人に見られているところに僕はますますごくロマンを感じています。

左下は、これも全国的にはほぼはじめての取り組みだったのですが、弟子屈町の徳永町長に生配信に出てくださいました。正直なところ、徳永町長はYouTubeをあまり分かっていないので、すぐに「出るよ、出るよ」と言っていました。意外と自治体のトップがYouTubeの生配信に出ると大体が炎上します。「なぜ街のあれをやっている」とか「街の情勢はどうなっている」という話になりかねませんが、そこは徳永町長、あまりよく分からないという状態がラッキーでして、出てください地元の皆さんから直にいろいろな質問をいただきました。良い面も含め悪い面も含め、そのまま僕が間に入って町長に質問を投げかけるといったことが、かなり全国的にも新しい取り組みということで、いろいろなメディアでも取り上げていただきました。大きく炎上をすることもなく無事に終わったので、また次回行いたいと思っています。

先ほど、お話をいただきましたが、NHKさんや地方メディアの皆さんもこのチャンネル自体は注目をしていただいている、先日1カ月間密着の取材なども行われました。「この情報発信をしている理由は何でしょうか」とよく問われますが、もちろんこのひがし北海

道や弟子屈町の魅力や現在地を世界中に広めたいという思いはありますが、それ以上に、僕自身が非常に大切にしている言葉があります。それはこの言葉です。「街は、そこに住む人が、それで良いと思った街にしかない」という言葉でして、これは何の言葉かと言うと、僕が東日本大震災で被災をした時に、沿岸部の石巻にボランティアに行った時に、街の60代ぐらいのおじさんから言われた言葉です。いまでも鮮明に覚えていて、いまでも僕の中で一番大事にしている言葉ですが、3・11の被災を受けた津波の現場で、僕自身も若い何物でもない自分がいろいろなことを行っていく中で、最後の最後に挨拶をした時に、「ボランティアをしてくれてありがとう」という言葉を受けるのかなと勝手に思っていたら、そこでおじちゃんが「お前はこのボランティアをしてくれたけれど、この街にとっては何にもならないから、お前らがどんなことをやってもこの街は変わらないから」と言われました。このおじは何を言うのだと僕は思いましたが、その後その男性が言った言葉が「ここに住んでいる俺らが、この街をどうするのかをきちんと考えないと、この街は変わらねえんだ」と、ザクッと言われたわけです。その時に僕はもうまさにそこにすべてがこもっているという思いでこの言葉を大切にいまも活動をしています。

なので、いろいろな弟子屈やこのひがし北海道の情報を発信はするのですが、僕らの気持ちとしては、誰に届けているのかということ、まさに弟子屈の皆さんに届けています。改めて地域のことを知ってもらいながらも、意外とその街に住んでいると自分が住んでいるエリアを全く知らない。弟子屈に住んでいる方は、摩周湖にあまり行ったことがない、とか硫黄山、川湯温泉に入ったことがないという方がかなりいらっしやいます。僕らからすると、なんてことを言っているのだという状態です。改めてその地域に住んでいる地域の皆さんの心が、どういう思いでその地域を思うのかが、何よりも大事なのではないかと思っています。そのようなところで、いまも、今後も弟子屈そしてこのひがし北海道の情報の発信を続けて行けたらと思っています。

かなり駆け足になっていますが、これから何を行っていくのかということ、まさに『今後のひがし北海道の可能性』も踏まえてお話をさせていただきます。おそらく釧路市さんも含めて、この道東一帯も同じような状況なのではないかと思いますが、いま弟子屈で顕著に起こっていることとして、圧倒的に若い移住者が本当に増えています。今年の4月だけでも20代の方が15人ぐらい移住をして来ています。また今月も5人ぐらい僕の知り合いがやって来ますが、とうとうインターネットの環境が整ってきて、コロナによってリモートワークが進んだ中で、特に若い世代が自然の

中で豊かに生活をしながら仕事をしたいという思いから若者の移住者の声がどんどん挙がってきています。

そうした中で、街の現状に目を向けてみると、どの事業者さんと話をしても「そもそも働き手がない」「後継者すらいない」「次期社長を本気で探している」という事業者の皆さんもたくさんいらっしゃいます。かつ「住む場所がない」。釧路市さんはまだまだたくさんあるのかもしれませんが、弟子屈町は賃貸住宅がほぼ終始満員状態で、気軽に弟子屈に住もうと思った時に住める場所がいま全くないような状態になっています。ですが、空き家は非常に多いというところに僕自身も非常にジレンマを感じています。

そうした中で、何が重要になってくるのかというと、とうとうこちらへ来たい、こちらで生活をしたい、という方々と実際に現地で活動をされている事業者の皆さまをマッチングすることができるかどうか非常に重要になってくるのではないのかと感じています。ということで、場所と人をしっかり確保したいというところで、いま自分自身が弟子屈町の役場の人間でもあり、個人事業主として民間の人間でもある、という非常に特殊な立ち位置にいますので、この立場を上手く使いながらこのマッチングができる場所、そしてマッチングができる制度をしっかりと形にしていけたらと思っています。

実際に僕も空き家を買いました。街の中心部にある整骨院ですけれども摩周駅から徒歩1分ぐらい。弟子屈町役場から徒歩1分ぐらいの場所にある立地的には良い場所です。この場所は元々整骨院の店舗兼住宅で、弟子屈ならではの温泉付き住宅美容室もセットで、言ってしまうと非常に広い軒家になっております。この場所を今後リフォームして、先ほど言ったようなマッチングができるような場所に変えて行こうという状態にいま入っています。

勝手に工事を行って「完成しました。マッチング、人と人がつながる場所です」と言っても正直あまり面白くないというか、ただ「若い奴らが何かをやって、できたっばいね」となってしまうので、いま街の皆さんを総動員して改装作業を行っています。美容室部分はこのように感じに変わりました。右側はいま街の情報発信のスタジオとして使っています。そしてもうひとつは整骨院だったので、おおよそ30畳ぐらいある広いスペースなので、このエリアをいま街のいろいろな人々を巻き込んでリフォーム・リノベーションを行っています。

今日この講演の機会があったので、いままで関わってくれた方の人数を調べたら89人で、残り1カ月ぐらいで完成を目指しているのですが、100人ぐらいはいきたいといういろいろな人に声をかけながら一緒に作っていきたくと思っています。いまこのような感じになっています。

この場所を4月からは、いろいろな用途で使っていくのです。一番上にあるコワーキングスペースというのが俗に言うインターネットの環境を整えて、特に若い世代がここに集って仕事ができる環境として定住をしていくということと、フリースペースということで、ここは逆に言うと街の皆さんにも使ってもらえるような場所。夜は僕が、お酒が大好きなので、BARを開きたいと思っています。

この下の3つが非常に重要になってくるのですが、そのような民間のお店でありながらも行政側の視点を持った施設として動かしていきます。移住・定住の総合窓口として、かつ空き家の相談窓口として、そしていま既に始まっている情報の発信拠点として。なので、弟子屈と何かの関わりを持ちたいと思った方々が、とりあえずは玄関口としてこの場所を使ってもらえれば、まずは移住、そして定住、働き手・働き口、そして住まいの情報もここは行政側としっかりタッグを組んで提供できるような場所にして行けたらと思っています。

最後になってくるのですが、ひがし北海道・弟子屈での活動を通して1年ぐらい過ごした中ですごく感じる部分ですが、特にひがし北海道はここに当てはまると思っているのです。いまコロナ禍を経て、特に20代30代前半の方々とお話をしていると、「高級車を所有したい」「港区にある高級マンションに住む」「会社で出世をする」「俺は名声を獲得してこういう地位に上り詰める」という話があり出て来なくて、どちらかというと本当に皆さん心の底から「いまコロナ禍での自分自身の生き方はどうなのだろうか」「自分はいまどう社会に貢献しているのだろうか」「身の回りの地域や身の廻りの人との関係性」「SDGsを含めた持続可能な今後の地球の未来について」「今まで日本で語り継がれてきた歴史・背景をどう今後に紡いでいくのか」と、簡単に言うと「公」精神を持った若者が非常に多いと僕自身すごく感じています。

そうやってきた時にひがし北海道は、実はすごく「関わりしろ」がたくさんある場所だと思っています。関わりしろは、実際に僕が現地で過ごしていると本当に「後継者がいない」「働き手もない」「いろいろなものを若い人に含めて託したいけれども託す先が見当たらない」など、いろいろ課題はあると感じています。逆に道東の課題が何かということがあまり本州にいる人間は見えていないところもあると思っていますので、この「助けてほしい」というところをきちんと見える化していくことも非常にこのひがし北海道においては大事だと思います。どうしても「釧路から大きな会社が撤退した」というニュースばかりが流れてしまって、その先に釧路はいま何を求めているのかが正直あまり見えてこないのも僕はひとつ課題だと思っています。アナウンサー時代、よく取材をさせていただきました

鈴木直道知事は、よく「ピンチをチャンスに」と口酸っぱくおっしゃるのですが、僕個人としてはピンチをチャンスと言うより、「いま置かれたピンチをどうクイズにして、そしてそのクイズを解き明かす答えにどのような人を巻き込んでいけるのか」という発想がいまこのひがし北海道には求められているのではないかと感じています。

いま自分自身が、弟子屈町、そしてこのひがし北海道という舞台で社会の1つのピースとして活動ができていることにすごくやりがいを感じていますし、そこにご支援をいただく街の皆さんや、様々な地域の皆さんの助けてくださるお気持ち、そのような支援をしていただけたところもひがし北海道の魅力だと思っています。このような「公」がすごく近くにある環境で、20代から活動を幅広くできるのだよと今後も日本全国の若年層に向けて届けていきたいと思っています。そうした中では、弟子屈だけと言うよりも、このひがし北海道で多くの事業を行っている皆さまとの連携というところも来年度は、僕自身の法人も踏まえている模索をしていきたいと思っております。

いきなりお仕事みたいなお話になりますが、今日も道東テレビという会社でお仕事をしています。午前中は津別町で番組の撮影を行った後に釧路へ来て、このあと清里町へ行ってお仕事をさせていただきます。弟子屈町の徳永町長も「弟子屈だけの活動に止まるな」と。弟子屈の協力隊という立場ではありますが、「道東一帯、このひがし北海道を含めて連携をして活動をして行け」と町長からもお話を伺っていますので、まずは情報のPRみたいなところ、個人的には、来年度は不動産事業も含めて空き家の問題にかなりフォーカスを置いて活動をして行こうと思っています。空き家に関して言うと、この釧路管内も含めてかなり深刻な問題と思うので、広域な活動を視野に入れて動いています。連携ができることなど、逆に僕たちの方で協力ができることがあれば何かしらの形で連携をさせていただければと思っています。

中標津の方で既に、空き家の先駆的な事例を行っている会社さんが1つあります。そこが行っていることは、空き家自体を買い取ってしまうという所です。やっぱり「空き家を手放せない」「手放すきっかけがない」「手放すことがすごく面倒くさい」が所有者の皆さんの核心めいたところだと思うので、そのあたりの情報収集をしっかりとしながら、こちらのリスクはありますが、一旦買い取って、いまの若い人たちはリフォームが大好きで、リノベーションという言葉があるように不動

産を完璧な状態にしない方がいい、ニーズが高いと中標津の会社が実際に示しています。昨年だけで80軒の空き家を買って、既に75軒稼働しているという意味が分からない状況になっていまして、そこ絡みながら弟子屈の方でも空き家の事業を進めていきたいと思っています。

そのほかにも弟子屈の非常に潤っているある会社ですが、後継者に来てほしい、東京の同業者の若手が来て跡を継ぎたいという案件もあり、それだけこの地域が密接に関わっている、かつ人口が減少しているこのひがし北海道というエリアでは、何かそのような打ち出し、そのような層にきちんと届くことがあれば、その人材の問題や後継者の問題も何かしら面白いアプローチができるのではないかと考えています。そのような見える化も来年度はしっかりやってみて、どのような結果になるかは分かりませんが、その後継者問題も少し深く介入をして活動をして行けたらと思っています。

かなり駆け足にはなりましたが、ぜひ今後とも私自身も弟子屈そしてひがし北海道で様々な活動を続けていきますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。本日は、ありがとうございました。

会長謝辞 杉村 莊平会長

川上さん、今日はありがとうございました。期待をしていた以上のお話をお聞きできまして、われわれも気付きというかヒントというか、われわれも頑張らなければいけないと皆さんが思う例会になったと思っております。

その街は、その街に住む人が、それで良いと思った街にしかならないということで、まさに本当にそのとおりだと思います。いわゆる民度と言いますか、街に住むわれわれ人間の民度を上げていくと言いますか。意識を上げていくことは本当に大事なことだと思います。

僕も取って付けた訳ではないですが、このロータリークラブがあるにはやっぱり地域がある。地域を育てロータリーを楽しむと思っております。

本当に良いお話を聞けたと思います。ぜひまた今後とも釧路・根室・ひがし北海道のために頑張ってください、ここには力のあるおじさんたちも結構いますから、何年後か分かりませんが、政界進出の暁には応援してくれる方がいろいろいるのではないかと思いますから、それも含めてぜひ地域に根を張ってこれからも頑張ってくださいと思います。

本日のニコニコ献金

■白幡 博君 御礼

今年度累計 456,000円

2022.1.27 (木)
第23回例会
(通算3650回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副会長 浅川 正紳
幹事 市橋 多佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2021-2022年度
国際ロータリーテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022年度
RI会長 シェカール・メータ
第2500地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイ RC)

月間テーマ	職業奉仕月間
本日のプログラム	会員卓話「にちぎんって、最近になにやっているの!？」(担当:プログラム委員会)
次週例会	「年男大いに語る Part I」(担当:プログラム委員会)

- ロータリーソング: それでこそロータリー
- ソングリーダー: 竹村 康治君
- 会員数 103名
- ビジター なし
- ゲスト なし

会長の時間

杉村 莊平会長

皆さん、こんにちは。コロナの関係でございませう。今日から座席数を4席に再度させていただいております。少し寂しい感じはありますけれど、気持ちを切らさぬように、しっかり有意義な例会を重ねて行きたいと思っております。今日から20日までの期間に来ていただいた方には「プレミアム特典」みたいな、具体的なことは何も考えていませんが、勇気ある出席賞みたいなのを設けたいと思っております。可能な限りぜひ例会に来ていただければと思っております。



今日の会長挨拶はご報告を2点と思っております。1点目です、改めまして青島事務局員の退職の件でございます。今年に入ってから何回か引継ぎで来ていただいておりますが、1月もちまして、正式に退職とさせていただきます。振り返ると、吉田秀俊年度から8年以上にわたって事務局を支えていただきまして、仕事も的確、にこやかで気配り上手という青島さんで、退職されるのは大変残念なことではございますが、体調の面ということもありまして、少しごゆっくりしていただければと思っております。実は、今日ここにきてくれているはずなのです。今、

向かっている途中だとお話をいただいております。クラブを代表しまして青島さんにはお礼したいと思っております。来てくれればもう一回ご挨拶したいと思っております。

後任につきましては大山さんに気持ちよく引き継いでいただいております。なにせ急遽の登板で、かなりの負担を強いていることだろうと思っております。今のところ、積極的に前向きに取り組んでいただいております。先日もお話しましたが事務的なことも当然なのですが、事務的なこと以外に多少ブランクがあります。知らないメンバーが多いということで、一生懸命に手帳を見比べながら顔を覚えていただいております。作業を行っていただいているようです。大山さんにご挨拶がまだだという方は、積極的にかつ優しくご挨拶をしていただければと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

2点目はコロナの件ですが、いよいよ釧路地域もまん延防止措置となりました。考え方はいろいろあると思いますが、今年の理事会で決めたルールに則りまして、この期間中の夜例会は休止とさせていただこうと思っております。つきましては早速ですが、次週の例会は親睦委員会も本当に力をいただいております。僕も楽しみにしておりました「節分にちなんで」という夜例会予定なのですが、プログラムを変更したうえで昼例会とさせていただきます。どうぞご理解いただければと思っております。

極力、ルールに則った中で可能な限り柔軟的に考えまして、休止になった夜例会につきましては後日なるべく復活開催していただけるように会長権限を使いながら、開催していきたいと思っております。親睦活動委員会の皆さん、申し訳ございませんが引き続き抜かりなくお願いしたいと思います。

このコロナにつきましては、年当初も同じような話をしていました。いろんな考え方がありまして、これに対するこの答えをひとつにするのは本当に難しいと思っております。引き続き、三役・理事会の中でしっかり議論・協議していく中で判断していきたいと思っております。

皆さんにおかれましては、何とかこのキャビネットを信頼いただきながら、この運営を引き続きお任せいただけるようお願い申し上げます。本日の会長挨拶とさせていただきます。

本日もどうぞよろしくお願いたします。

幹事報告 市橋亨佳丞幹事

皆さま、こんにちは。幹事報告をさせていただきます。いま会長からスピーチありましたけれども、例会のスケジュール等に変更が掛かっております。昨日、皆さまに配信しました2月3日に行われる予定でした夜間例会「節分にちなんで」を休止させていただき、昼例会へと振り返らせていただきました。

これに伴いまして、「年男大いに語る」というプログラムを2週にわたって開催させていただき変更となっております。ホワイトボードに張って皆さまにご案内させていただいておりますのでご確認をお願いいたします。

また、その「節分にちなんで」の節分に使う豆まき用の豆を用意していたのですが、開催できなくなったことで、本日皆さまにお配りさせていただきました。こちらは、鳥取神社さんで十勝の特級大豆を宮司の方々が丹精込めて炒った御利益のある豆です。ぜひ、ご家庭にお持ち帰りいただいて、2月3日の節分の際にはご家庭の中でご使用いただければと思っております。その豆ですが、そのまま食べることができます。歯の状態がよろしくない悪い方は多少うるかして柔らかくして食べることもできますと、鳥取神社の木下宮司からことづかっておりますので、ぜひご賞味いただければと思っております。

もう1点ですが、南ロータリークラブから「第7分区のIMのご案内」ということで、「現状、4月3日に開催する予定です」とご案内が来ております。実際の開催の可否につきましては、2月中に判断をしたうえで私たちにご連絡をいただくとなっております。このご案内をホワイトボードに掲示しておりますので、詳細のプログラム等が載っておりますのでご覧いただければと思っております。以上でございます。

■本日のプログラム■

「にちぎんって、最近になにやっているの!？」

プログラム委員会 工藤 彦夫委員長

こんにちは、プログラム委員会です。本日の例会は毎年恒例の日銀支店長の講話です。ちなみに去年は熊谷支店長が三都物語、帯広・釧路・函館の三都を比較しながら経済の話をしていただきました。今日は日銀支店長の「日銀って最近になにやっているの」という変わった題名です。楽しみにしております。それでは、今年、年男の二宮支店長、よろしくお願いたします。

日本銀行釧路支店 二宮 拓人支店長



本日は、歴史と伝統ある釧路ロータリークラブでお話させていただく機会を賜りまして、誠にありがとうございます。くだけた題名で

恐縮ですが、本日は日本銀行の業務運営面での最近の取り組みについてお話をさせていただこうと思っております。なお、本席でのお話は、私個人の見解であり、必ずしも日本銀行の見解ではない点、ご承知おきいただければと存じます。

まず「はじめに」です。そもそも日本銀行は何をやっている組織なのかを分かりやすく一言で説明するのは、私自身この組織で25年働いて、意外に難しいことだと感じております。もちろん、教科書的には、「発券銀行」であり、「政府の銀行」であり、「銀行の銀行」と習うわけで、そのために全国で約4,600人の職員が日々励んでいるのですが、その3つの機能の説明だけですと、そもそも中央銀行とは何なのか、この3つの機能がなぜ一緒にあるのかは必ずしも自明ではありませんし、なにかスッキリしません。諸外国を見ても、中央銀行がどのような機能を担って、どう運営されているかは、歴史的な経緯にも依存して様々ですし、見直されることもあります。

そうした中で、この点を割と直感的に説明しているかなと思ったものを抜粋してまいりました。日本銀行の新卒採用者向けのホームページからの抜粋です。

その目的は、端的に言えば「人々が安心してお金を使えるようにすること」と説明しております。具体的には、1つ目、「お金を最も使いやすい形で間違いなく提供していくこと」、すなわち銀行券の発行の機能です。2つ目としては、「その価値の安定に努めること」、物価の安定であります。そして、3番目に「お金の流通ルートである金融システムが安定的・効率的に機能し、経済活動に必要なお金が世の中の隅々までいきわたるようにすること」と整理しています。

そのうえで、次のものを日本銀行の主な業務として挙げています。まず、「金融政策」と「信用秩序維持政策」、これは政策機関としての機能です。金融政策は、時々テレビにも映りますけれども、総裁が記者会見して「追加緩和します」などと説明しているものです。それから信用秩序維持政策は、主に金融機関に対するものですので、多くの方にはあまり馴染みがないかもしれませんが、皆さまに金融機関と安心してお取引いただけるよう、平素から金融機関の経営状況をウォッチし、究極的には「最後の貸し手」になる、単純化するとそういう機能です。

ただ、もちろんそれだけでは中央銀行としての目的が達成されるわけではありません。政策を行うためには、判断のための情報や実行手段が必要です。「調査・研究」は、景気の動向や経済構造の変化、金融市場の動きなどの情報収集や分析をする仕事です。『日銀短観』を作成しているのも、広い意味ではそうした調査・研究の一環です。

それから銀行としての実務の運営です。日本銀行は政府の省庁ではございません。銀行として、主に金融機関と取引をすることによって世の中に働きかけています。政策を実行可能なのは、この銀行実務を遂行する能力をしっかりと持っているからに他ならない、ということなのです。

さらに、政策や調査、銀行実務にはITが不可欠ですし、海外の中央銀行や通貨当局との関係も発生します。また、政策は人々の行動に働きかけようとするものである以上、その意図を皆さまに理解していただけるよう広報を行うことも大変重要な仕事です。実際には、4,600人ほどいる職員の多くは、政策機関としての最初の2つの仕事よりも、後から紹介した5つの部分の普段は目立たない地道な仕事に携わっているのが実態です。

地域におきましては、こうした業務の出先として支店の機能がございます。釧路支店を例にとりますと、総務課は、取引先金融機関の情報収集、金融経済動向の調査、それから広報を担っております。発券課は、銀行券の発行や貨幣の受け払いを担っております。そして業務課は、当地の金融機関との金融取引の実務や国庫金の受け払いを担当しています。

そこで本日は、普段は地道で見えにくい、しかし皆さまの生活と深く関わる仕事の中から、銀行としての業務運営の面に焦点を当てて少しお話をさせていただこうと思います。とはいえ、教科書的にこういう業務がありますとご説明してもあまり面白くありませんので、近年、日本銀行がチャレンジしている取り組みをご紹介します。

具体的には、銀行券の改刷、中央銀行デジタル通貨の検討、国庫金の取り扱いの電子化の取り組みです。これらを紹介することで、日本銀行の仕事は普段目立た

ないけど生活と関連していることを感じていただけないか、というのが本日の狙いです。上手くいくか分かりませんが、技術的なこともなるべく平易にお話しできればと思いますので、少々お付き合いいただければと思います。

まず、銀行券の改刷です。ご承知かと思いますが、政府は、2019年4月に、約20年ぶりとなる銀行券の改刷を行う方針を公表しております。改刷の実施時期は2024年の上期をめどということで、約5年かけて行うプロジェクトです。

どう変わるのか簡単におさらいさせていただきますと、まず1万円札の肖像は、日本資本主義の父と呼ばれる渋沢栄一。昨年大河ドラマ「青天を衝け」の主人公です。裏側は東京駅の丸の内の駅舎になります。次に5千円札ですが、津田塾大学の創設者である津田梅子。裏側は藤です。最後に千円札ですが、感染症の研究で功績を残した北里柴三郎で、裏側は北斎の富嶽三十六景のひとつ、神奈川沖浪裏になります。なお、新券の発行を開始した後も、現行券は引き続き通用いたしますので、念のため申し添えます。

ご参考までであります。昨年の11月には500円貨の改铸も実施されています。新貨は色が二重の構造になっております。

話を改刷に戻しまして、財務省や国立印刷局と進めている準備の状況です。現状は折り返し地点を少し過ぎたところなのです。新しい銀行券の品質確認等を行う作業を進めてまいりましたが、三券種とも様式が事実上確定して、国立印刷局において夏ごろから量産体制に入っていく状況です。ちなみに、銀行券は近年では年間30億枚ほど製造されています。古くなったものを廃棄して、新しいものに順次入れ替えていくことで、クリーンで偽造されにくい銀行券を皆さまにお届けしております。新券の発行開始に向けましては、新券の在庫も作っていく必要があるということになります。釧路支店でも、新券が入って来ると現行券と分けて保管しなければなりませんので、限られた金庫のスペースをどううまく使っていかなど、業務運営面等で皆さまに準備や工夫をしなければいけないことが出てきます。

素朴な疑問として、5年もの随分と長い時間がかかるのだなと思われるかもしれません。ただ、銀行券はさまざまな偽造防止策を備えたものであり、改刷には万全の準備が必要です。ユーザーの側におかれても、例えばATMやスーパーのレジ、自動販売機、鉄道やバスの券売機や両替機など、多くの機械について偽造を的確に検知できるよう対応進めていただくことが重要です。本年入り後、民間の金銭機器メーカー向けに、日本銀行が主催する観覧会を開催していきます。今後、そういった対応が加速していくことが見込まれます。

関係者の皆さまが余裕をもって準備を進められるようにリードタイムを長めに確保しています。

このように改刷につきましては、社会全体としてコストがかかりますので、世の中でキャッシュレス決済が普及し、政府もそれを推進している中で、そもそも改刷は必要なのか、と思われる方がいらっしゃるかもしれません。

この点に関連し、ではそもそも銀行券は使われなくなってきているのか、最近の動向を確認しますと、確かに決済手段としては、近年、クレジットカードや電子マネーの利用が進んでいます。しかし同時に、銀行券の発行高はというと、実は経済規模との対比で見ましても、むしろ増え続けているのが現状です。

特に感染症の拡大後は、ネットショッピングをはじめとして非接触のニーズが高まる中で、アンケートの結果などをみてもキャッシュレス決済のニーズは一段と強まったようにうかがわれますが、銀行券も、前年比の伸び率にみられるように、むしろ急激に増加ペースがはやりました。

このやや逆説的にも見える現象は、実は海外でも似たようなことが起こっておりまして、日本国内だけの話ではありません。背景については、日本銀行のエコノミストを含めて国内外で分析が行われているのですが、低金利で銀行券を持つことの機会費用が低下していること、不確実性に備えて手元に現金を持っておこうという予備的需要が強まっていること、それから、現金選好の強い高齢者が増えていることなどが指摘されています。特にコロナ禍の下では、予備的需要が強まったことが、銀行券発行残高を一段と増加させた可能性が指摘されています。

いずれにしても、カードや電子マネーが普及したからといって、銀行券がその役割を終えつつあるのかと言いますと、少なくとも現状では、海外を含めそうした状況にはないと言ってよいと思います。

では、「足元、偽造券が大幅に増えているのか」と言われますと、そうした状況にはないことも事実です。ただ、印刷技術の進歩のスピードは速いですし、現在有効な偽造防止技術も、いずれ陳腐化していく可能性は否定できません。偽造が増加した場合の社会的コストは非常に大きいものです。改刷の実施は財務大臣の判断ですが、銀行券への信頼を確保する上では、中長期的な視点に立って高い偽造抵抗力を確保できるように取り組んでいく必要があると判断されたものと承知しています。

ちなみに、わが国の改刷の頻度を諸外国と比べますと、わが国では前回から2024年でちょうど20年になりますが、他国と比べ間隔は同じくらいかやや長い印象です。諸外国では、より期間が短かったり、もしくは券種ごとに時期をずらして改刷することが行われているようです。

2つ目の話題です。銀行券の役割に大きな変化がないとしても、社会のデジタル化が急速に進んで行く中で、そうした社会にふさわしい決済のあり方、決済の将来像はどういうものかという議論は、それとは別に出てきます。そうした議論のひとつが中央銀行デジタル通貨の検討、英語で言いますと、Central Bank Digital Currency ということでC B D Cと略しますけれども、そのC B D Cの議論です。

多くの方には馴染みのない言葉かと思いますが、誤解を恐れずにざっくり申しますと、中央銀行が発行する電子マネーとイメージしていただければと思います。現時点では、あくまで「概念としてそういうものがあり得る」ということだけで、わが国では発行されておりませんし、海外でも一部の新興国を除き、正式に発行した例はありません。

このC B D C、既存の通貨とどこが違うか、です。C B D Cの定義を厳密に行うことはなかなか難しいのですが、広く一般的な決済に用いられることが想定されるC B D Cは、第1に、当たり前ですがデジタル化されている、第2に、円などの法定通貨建てである、3番目に、中央銀行の債務として発行される、この3つを満たすものだと言われます。

類似の機能を持つものと比較しますと、まず第1のデジタル化されているという点で、紙の銀行券とは違います。また、円建てで電子データであるという意味では、金融機関の預金は円建てで電子データであるわけですが、あくまで民間金融機関の債務ですので、日銀券と同様に法律で裏打ちされた信用力があるというわけではありません。

最近では民間の電子マネーも普及しています。交通系や流通系のICチップ型のもの、スマホを使ったQRコード型のものなど様々あり、お使いの方も少ないのではないかと思います。

これらの決済手段は法律的には預金と異なり、前払式支払手段と呼ばれるものです。その価値は円建てですが、これもあくまで民間企業の債務です。もちろん、安全性を担保するために法律上一定の規制がかかっています。非常に便利でポイントもたまったりしますので、私もよく使っておりますが、現状では、銀行券のように、誰でもどこでも受け取ってもらえるわけではなく、残高があっても預金口座への出金には制約があるものもあります。

さらに、話題の暗号資産。誰かの債務でもありませんし、法定通貨ではなかった価値は大きく変動するものもあります。最近ではその価値が法定通貨に連動するような仕組みを持ったステーブルコインと呼ばれるものも増えてきており、まさに百花繚乱といった状況ですが、いずれにせよ、中央銀行が発行する銀行券のように強制通用力を持ったものではありません。

では、諸外国の中央銀行は、C B D Cにどう取り組んでいるのか。ここではユーロを使っている欧州、米国、中国の3つを紹介しています。それぞれ一言で申しますと、ユーロエリアにつきましては2年間の調査フェーズ、2つ目の米国も研究はしているけれどもまだ態度をはっきりと表明していない、といった状況です。中国は、実際の多くの人や企業を巻き込んだパイロット実験を進めています。ただ、その中国も、今のところは正式な導入時期を決めている状況にはありません。

では、日本銀行はどうしているのか、ですが、2020年の秋に方針を公表しております。一言で言いますと、C B D Cに対する社会のニーズが急激に高まる可能性があります、したがって現時点では発行する計画はないけれども、しっかり準備はします、と宣言しています。

その上で、内外の関係者と連携しながら、実証実験と制度設計面の検討を進めていくことにしております。今、まさにそのフェーズの途中であります。新しいデジタル社会の決済のあり方としてどういう姿が望ましいのか、難しい検討が必要になってまいります。同時に、大変重要なポイントですが、現金に対して需要がある限り、今後も責任をもって供給し続けていくということも、明確に表明しています。

少し難しくなりますが、ではC B D Cにはどんな特性が求められるのかを単純化してご紹介させていただければと思います。

1点目、ユニバーサルアクセス。現金と同様にできるだけ「誰でもどこでも」使えることです。皆さまも、お店で電子マネーで支払う時に、レジに貼ってあるたくさんマークを見て、自分が使いたいものがあるかどうか迷われることもあるのではないかと思います。銀行券ではそういうことは起きないわけです。もちろん、C B D Cもデジタルマネーですので何らかの機器は必要になると想定されますが、幅広くC B D Cが使える・普及するという意味では、簡便かつ低コストで機器が用意できるかが重要なポイントになります。

2点目、セキュリティです。これも言わずもがなですが、銀行券にはさまざまな偽造防止技術が使われています。C B D Cは電子データですので偽造や複製は容易にもなり得ます。数年前に民間の電子マネーで不正アクセスが増えた例もありました。そういうことでは困ってしまうということです。

3点目、強靱性です。これは、「いつでも」使えることとご理解いただければと思います。夜中は使えません、システムメンテ中です、電波がない、電池がないと使えません、ということでは使いづらいということでもあります。

それから4点目、即時決済性。これは決済が短い時間で素早く完了するという事です。銀行券であれば、

相手に渡せば決済は終わります。C B D Cですと、ボタンをクリックしたらずっと砂時計が出たまま待たされる、ということでは困ってしまうということです。5点目、相互運用性。ご説明したとおり、預金や電子マネーなど決済の手段は様々にあり、それぞれが利便性の高いサービスを提供しています。そうしたサービスと相互に連携してやり取りができること、それから将来に向かって新たな技術が出てきた時にそれをスムーズに取り込めるようにしていくことも重要であります。

こういう論点は、必ずしも「全か無か」ではなく程度問題の面もありますので、仮にC B D Cを発行することになるとしても、どのようなタイミングで、どの程度こうした特性を満たしていくのか、ということ自体に議論の余地があります。ただ、いずれにしましても、現金と同じような機能を期待するならば、こうした点に十分に配慮していく必要があるということです。

少し話が難しくなりましたが、銀行券のようにできるだけ誰でもどこでも安心して使えるというC B D Cを実現するためには、検討課題が多くありまして、日本銀行では現在、実証実験を進めている状況です。

実証実験は3つの段階を想定しております。第1段階は、システム環境を構築してC B D Cの発行・流通・還収といった基本的な機能を検討します。第2段階では、それに周辺機能を付加して、さらに実証実験を進める。第3段階では、さらに必要と判断されれば、ですが、民間事業者や消費者の皆さまが参加する形でパイロット実験を行うことも想定しています。本年度は、第1段階を順調に進めている状況です。

これと並行しまして、制度設計面の検討を進めています。金融システムの安定等との関係は大変な重要な論点です。歴史を振り返ると、金融機関の取り付け騒ぎは窓口の人が並んで現金を引き出すことで起きるわけですが、C B D Cがありますと、スマホのワンクリックで預金からC B D Cに引き出せるかもしれません。極端な例は別にしましても、他の決済手段とC B D Cの間で大幅な資金シフトが起こることで、金融システムが不安定になってしまうことがないように、セーフガードのあり方を考える必要があります。

それから、プライバシーの確保。皆さまが物を買った時のデータを、誰がどのようにどこまで利用できるのか、その裏側で、マネーロンダリングなど犯罪防止等の観点からの要請をどう満たすか、大変重要な論点です。

そのうえで、民間事業者との協調・役割分担について少しだけ付言させていただきます。現在でも民間の事業者が利便性の高い電子マネーを提供していますので、それとは別に中央銀行が新たにC B D Cを発行することは本当に必要なのか、といった議論も、当然にあると思います。

この点、日本銀行はわが国で唯一、法貨として無制限に通用する銀行券を発行する組織であり、公共性の高いサービスを提供しています。その裏側で、決済手段としては、この国の隅々まで誰でもいつでもどこでも銀行券を使えば決済できる、という利便性が確保されています。将来のことは分かりませんが、少なくとも現状では、民間の電子マネーでそこまで普及しているものはないように思います。

他方、銀行券は紙ですので、それ自体にサービスを付け加えるのは難しいのに対して、電子マネーは、決済の手段という機能とは別に、創意・工夫で様々なサービスを付加することが可能です。例えば、ポイントの付与、購買履歴データを基にしたクーポンの発行や広告の表示、買い物履歴の検索など、さまざまな便利な機能が皆さまお使いの電子マネーでも提供されていると思います。中央銀行は公的機関ですので、仮に決済手段としてのC B D Cを発行する方向に進むとしても、付加的なサービスの部分まで提供するのは、私自身は現実的でも効率的でもないように思います。そう考えますと、様々な主体がどういうふうに役割分担していくのかがとても大事になります。もちろん民間事業者の提供するデジタルマネーがさらに普及して、C B D Cは要りません、という結論になることも可能性としてはあり得ます。そのうえで、ここにお示した図は、もしC B D Cを発行するなら、という仮定のイメージですが、日本銀行はC B D Cの発行などの基本的な機能を提供することに特化して、ユーザーの皆さまとの接点は仲介機関やサービス事業者が担う、間接的な仕組みが適当だろうと考えています。同時にC B D Cの発行は、銀行券やその他の決済手段、例えば預金や既存の電子マネーなどを排除するものではありません。使い手の利便性が高まるように、縦軸と横軸の両方向で、それぞれの決済手段の特徴を活かしながらうまく住み分け、協力・連携していくということが重要と考えています。こうした点も含めまして、日本銀行では、現在、政府や民間事業者の方々と協議会を設置するなどして、議論しています。

3点目の話題、最後になりますが、国庫金の取り扱いの電子化について、簡単に触れさせていただこうと思います。

日本銀行が政府の銀行として取り扱う国庫金ですが、年金など個人や企業への支払いが年間で3.9億件、税金や社会保険料などの受け入れが1.6億件と、膨大な件数の資金のやり取りが行われております。皆さまとの間でこうした受け払いが、日本銀行を通じて、全国の日本銀行の代理店である金融機関などを経緯する形で行われています。

当然、こういう膨大な件数の受け払いを円滑に処理するために、日本銀行は政府と協力して、かねてから電子化を進めてきています。その結果として、政府からの支払い、皆さまの所にお金が届く方向のものは、ほぼ全て電子的に処理できるようになってきています。では、受け入れは、といいますと、キャッシュレスでなされるものは半分強に過ぎません。銀行窓口やコンビニなどでの現金の納付によるものが、なお多いというのが実態です。

受け入れの中でも現金納付が多いものは、国税・国民年金保険料・交通違反反則金の3つです。特に国税では、金融機関窓口での納付が多くなっており、効率化の余地が大きい部分です。そうした状況も踏まえ、金融機関や税理士会などのご協力もいただきながら、さらなるキャッシュレス納付を推進しています。国税につきまして、実は申告の電子化は進んでおりまして、7割ぐらいの企業が既に電子申告をお使いになられています。ただ、納付までキャッシュレスで行われているのは全体の3割程度に止まっており、残りの7割は現金納付になっています。

キャッシュレス納付は、初めての時は面倒だな、分かりにくいなどお感じになられるかもしれませんが、いったん慣れてしまえば、いつでもどこでも便利に納付が可能ですし、政府や日本銀行・金融機関を含めた社会全体の効率化にもつながるものです。ぜひ、ご検討いただきますと大変ありがたく存じます。

私からのお話は以上になります。日本銀行といたしましては、将来にわたって、お金を皆さまに安心してお使いいただけるよう、不断の努力を続けてまいる所存です。今後とも温かいご支援を賜れますと誠にありがたく存じます。

ご清聴ありがとうございました。

本日のニコニコ献金

- 得地 哉君 先週、北海道新聞釧路地方版に弊社製品を掲載して頂きました。
- 小野寺 俊君 釧路新聞「番茶の味」残り2日間もお楽しみ下さい。
- 佐藤 貴之君 新聞に掲載されました。ありがとうございます。
次は「番茶の味」に出たいと思います。

今年度累計 462,000円

2022.2.3 (木)
第24回例会
(通算3651回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副会長 浅川 正紳
幹事 市橋 多佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2021-2022年度
国際ロータリーテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022年度
RI会長 シェカール・メータ
第2500地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイRC)

月間テーマ	平和と紛争予防／紛争解決月間
本日のプログラム	「年男大いに語る Part I」(担当：プログラム委員会)
次週例会	「年男大いに語る Part II」(担当：プログラム委員会)

- ロータリーソング：君が代・奉仕の理想
- ソングリーダー：田中 弘明君
- 会員数 103名
- ビジター なし
- ゲスト なし

会長の時間 杉村 莊平会長



皆さん、こんにちは。早いもので2月に入りまして、まん延防止期間2回目の例会でございますが、勇気あるご出席を引き続きありがとうございます。有意義な例会を引き続き重ねていきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

今日は、『年男大いに語る』という例会でございます。年始に祝賀のご紹介をさせていただきました。そう思って新聞を読みましたら、日本の長寿に関する記事が出ていましたので、今日は歳に関するお話をさせていただければと思っております。ちなみに私は昭和40年生まれの56歳です。私のライバルには、元シブがき隊のモックンこと本木君、香川照之さん、吉川晃司さんあたりがライバルとして存在をしているわけです。この50歳代も「老けた」と言っていけないところなんです。というのは、この50代のお仲間にいよいよ大型新人が入って来るところで、今年は木村拓哉君が50歳を迎えるということでございます。50歳と言ってもまだまだ老けてはいられません。しっかりしなければいけないということです。というのも、日本の個人資産が2,000兆円あるらし

いのです。その2,000兆円の大半を握っているのが50代以上だということにして、この50代以上がこれからの日本で旅行や趣味など、どのような行動を取るかによって今後の日本経済を左右するというような記事が出ておりました。ですからここにいるおじさまたちもあまり貯め込み過ぎず、どんどん地域経済のためにぜひお金を使ってもらえればと思っております。そう思って年末の紅白歌合戦を見ていましたら、郷ひろみさんが70歳に近いということで、何じゃそれは、という感じなのですが。ということで、僕も60歳・70歳・80歳を迎える芸能人を調べてきました。今年60歳を迎える芸能人は、石橋貴明さん、田原俊彦さんが60歳ということです。70歳は、岩城滉一さん、中村雅俊さんが70歳を迎える。80歳は、石坂浩二さん、倍賞千恵子さんこのあたりが80歳を迎えるということで、年齢に関する認識を改めなければいけないということです。そう思って新聞記事を見ていましたら、2050年に日本で100歳以上を迎える方が、53万人になると。ということは、1990年に金さん銀さんが「金も100歳、銀も100歳」と言っていたころから60年で100歳を迎える方が140倍にな



るという記事を拝見しました。

また今、100歳以上の方に称号があることは知っていますか。『センテナリアン』という格好いい称号があるらしく、ぜひメンバーの皆さんにおかれましては、やっぱり清水先生が一番近いところにいらっしゃいますが、釧路クラブ第1号のセンテナリアンを目指して、ぜひ日々切磋琢磨していただければと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

このような話も真面目に締めたいと思いますが、

65歳以上で日本の労働参加率が25%、65歳を過ぎても「社会で働きたい」という方が7割を超えることで、欧米に比べてダントツの多さでございます。これは



日本人が持っている美德といいますか、社会のために役立ちたいという美德が多いと思っております。どちらにしても日本人がこのようにどんどん働いていくということであれば、65歳以上の方を確率的に高齢者と呼ぶ時代はもう終わったと思っております。

そう考えると、まさにここがロータリーの出番だと僕は思うわけですが、この職業奉仕を掲げて、このような世代が多く交流できるロータリーで、地域活性化に向けて楽しく活動をして行くことがどんどんできれば、まさにロータリーの未来は明るいと考えた令和4年の年始めでございました、というお話でございます。

今日は『年男大いに語る』ということで、素敵なお話をお聞きしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

幹事報告 市橋多佳丞幹事



皆さま、こんにちは。幹事報告をさせていただきます。お手元の例会案内をご覧ください。各クラブの今週の例会につきましては記載のとおりと

なっております。また2月のロータリーレートは先月と変わらず1ドル115円と案内がきております。また、1月分の『ロータリーの友』をこちらの管理ミスがありまして、配ることができませんでした。本日パーソナルボックスへ入れさせていただきますので、ご覧になっていただければと思います。2月号は、来週届く予定と聞いております。また『ガバナー月信』につきましても1月号・2月号をパーソナルボックスの棚の上にまとめて置いてありますので、ご入り用の

方はお持ちいただければと思っております。以上でございます。

司会

本日のプログラムは、プログラム委員会担当例会となっております。それでは、プログラム委員会工藤委員長、本日もよろしくお願いいたします。

■本日のプログラム■

『年男大いに語る Part I』

プログラム委員会 工藤 彦夫委員長



こんにちは。プログラム委員長の工藤です。3週続いてということで、このままいくと8週連続プログラム委員会がやるという話なので、結構大変です。

今日の例会『年男大いに語る』ということで、毎年恒例となっておりますけれども、今日2月3日は節分ということで、本来、夜例会でお酒を飲みながら『年男』に、例えば脇君や土橋君に鬼の面をかぶらせて豆をぶつけたかったですけれど、本当に残念です。

でも『年男大いに語る』ということで、11名の年男さんがいます。今日はPart Iということで、まずちょっと暇なので音楽でも聞いてください。(アニメ「タイガーマスク」主題歌を聴く)ということで、今年の干支は寅ということで、タイガーマスクをかけてみました。しょうもなくすみません。

今年の『年男』を発表いたします。悪の軍団の方ですね。ブラックタイガーやキングタイガーの方です。歳の順に石田博司君、25年生まれ、久島貞一君、吉田秀俊君、同じですね。37年の土橋賢一君、篠原実君、脇弘幸君、木下正明君、前田秀幸君、中島徳政君。49年は石井孝行君、二宮拓人君。の11名がおります。多いので2つに分けたところ、今日は4名しか来られなく、だいたい5分~6分話をさせていただくことになると思います。ただもっと話をしたくても時間内に収めたいので、6分を過ぎますとチンと鳴ります。あとは大人の対応で終わらせていただければと思います。

では、はじめに石田博司君、昭和25年2月23日生まれよろしくお願いいたします。

昭和25年生まれ 石田 博司君

今年は、「五黄の寅」という年回りですが、私は昭和25年「五黄の寅」の生まれです。あの年あの時に、ウチの父は8人兄弟で、父の兄弟の石田家、その父のいとこのあおき家があります。あおき家・石



田家合せて子供が13人いるのですが、男の子は生まれていなかった。先に生まれているのは、昭和20年代、私のいとこは全員が女性ばかりでした。

私が一族の中で初めての男児誕生。しかも「五黄の寅」ということで、随分期待があったようなのです。「博司は五黄の寅か」「五黄の寅」と随分言われて、初めての男ですから。僕が生まれて4年経ってやっと男のいとこが生まれ始めて、ずっと年上の女のいとこから「博にいちゃん」や「博にい」と言われていたので、そのような期待があったのだらうと幼心に分かりますけれども。

小学校に上がってから、おじのひとりが「博司は虎ではなくて猫だな」と言いました。猫だなと言われた時には、何となく嫌な気もしないし、嬉しくもないですけれども。さらにそれから数年経ち、「博司は大器晩成だな」と、おじ・おばたちが言うわけです。それは何となく大器晩成という言葉の響きから褒められたのかと思っていましたが、大人になって辞書を調べてみますと、決して子供に言う言葉ではない。努力はするけれど芽が出ない人に対して「大器晩成ということがあるから」と慰めてみたり、あるいは時期が遅くなってから志を成した人に対して「彼は大器晩成だな」というほめ言葉。子どもに言う言葉ではないわけです。現に私、これまで大器晩成と言われた小学生を私以外に知りませんから。

一体どういうことなのか、60歳を過ぎてから気になります。おじ・おばに聞こうと思いましたがもう他界しておりません。両親も他界しておりません。小学生で大器晩成と言われる、その先を占ったような、予言をしたような、振り返ってみますと寂しい人生であったと思います。晩年を迎えていますけれども、いまだに大成はもちろんしておりません。

60歳になってから自分の人生を振り返った時に、これは真面目な反省です。嫌なこともありました。嫌なこともされました。だけれども、されたことよりも自分がしたことの方に非常に心が痛む。60歳になってから感じていることです。あの時にもっと手を差し伸べていたら良かったのではないかと。あるいは、あれは裏切りではなかったか、といろいろなことが胸に去来するわけです。そして70歳を近くして、さらにそれが。でも自分がしたことの後悔が実は自分の人格を作っているのではないかと考えております。これは真面目なひとつの反省です。

「大器晩成」、良い言葉で「未完の大器」もありますので、これから先は未完の大器のままで過ごしてい

たいと思います。

どうぞロータリーの皆さん、長いお付き合いをよろしくお願いします。ありがとうございます。

昭和25年生まれ 吉田 秀俊君

皆さん、こんにちは。お話の上手な石田さんの後と、勇気ある皆さんの前で話すような内容は持ち合わせていませんが、今日は私と寅年との関係を話してみ



たいと思っております。私の人生を振り返ってみますと、寅年はいろいろと節目の年だった気がしております。

まず、12歳の時、阿寒小学校の6年生で児童会長を務めておりました。この頃が私のピークだったと思います。非常に田舎でしたので、田舎のぼくとつな真面目な少年であったと、そう自分で言い聞かせております。

24歳の時に家業を手伝うために茨城県から釧路に戻ってきました。日立にいたものですから、家電の設計者から新聞販売店の社員と華麗なる転身を遂げてまいりました。その時の新聞販売店は極端なロングランでして、帰って来た次の日の朝3時に起きて新聞を配った経験があります。

その後、12年ほど経って36歳の時、このころには社員も増えておりましたし、極端なロングランも解消されておりましたので、義理の兄の勧めもありましてJ Cへ入りました。

それから、また12年経った48歳の時に、白幡さんに誘われて釧路ロータリーに入ってわけでありませぬ。J Cの在籍期間は4年間という短い期間でしたけれど、非常に中身の濃い時期を過ごしました。特に新入会員のころは、新入会員の研修や委員会が週に3回～4回あり、ほとんど家にいない時期がありまして、家族と過ごすよりもJ Cメンバーと過ごす方が多い時期がずっと続いておりました。

そんなある日のことですが、会社から帰ってきてJ Cの会合に出ようとした時に、息子が「お父さんまた来てね」と。この一言を言われた時に「J Cは人づくりや地域づくりを旨とする会なのに、自分の家庭を守れないのではないかと不安に駆られましたけれど、何とか家庭崩壊もせずに多くの仲間を作ることができました。それで、J Cで同期入会をした者が21人いて、そのうち5人が釧路クラブに入会しました。いま残っているのは、私と舟木君と浅野君、武石君と石井君です。彼もいましたけれど残念ながら亡くなってしまいましたし、浅野君は病氣療養中で休会中です。

舟木君は闘病中でなかなか例会へ出られない状況ですので2人の1日も早い復帰を願っているところであり
ます。

ロータリーは、48歳の時、白幡さんに誘われて入
りました。私が自慢できることは、スポンサーではない
かと思います。後のガバナーの小船井さん、後のガバ
ナー補佐の白幡さん、この2人がスポンサーです。ス
ポンサーは全く問題がないのですけれど、あとは本
人だけ、ですけれど。

入会から5年後に、藤井会長・青田副会長の下、幹事
を経験させていただきました。15年後に脇幹事・甲
賀副会長など多くのメンバーにサポートされながら会
長を務めることができました。皆さんもご承知のよう
に、脇君は完璧な資料とそつがない会の運営に長けて
おりました。甲賀副会長は、軽妙なスピーチで例会や
理事会をスムーズに進行してくれましたので非常に助
かった記憶があります。ですから、いまでもロータリ
ーに誘ってくれた白幡さん、脇君、甲賀君、それから私
を会長に指名してくれました五明さんに感謝の気持ち
でいっぱいあります。

そして、60歳の時ですけれど、鳥取に30年間住ん
でいましたけれど、30年後に鳥取地区から昭和に家
を建てました。その時にハウスメーカーから「この家
は頑丈ですから60年もちます」と言われたけれど、
家ももっても私をもたないと思いながら、60歳に60
年を足すと120歳まで生きなければいけない。先ほ
どのセンチタリアンではないのですけれど100歳まで
頑張っても無理だと思いながらいま住んでいます。何
とか長生きできるように頑張っていきたいと思ってお
ります。

今年72歳になるわけですが、ゴルフをされる方
はピンとくるかと思えます。72、ゴルフコースのパー
プレーのことです。先日の新年交礼会で青田さんが「今
年はエイジシュートを目指している」と。彼は79歳
ですから79を目指している、私も72を目指そう。
ただしグロスではなくネットです。ネットとは、叩い
たスコアからハンディキャップを引いたスコアがネッ
トと言いますけれども、このネットで72を目指そう
と思っております。ここ数年100を切れないゴルフ
がずっと続いておまして、NAYUTAの会でも今日
来ている尾越君、今日は来ていませんけれど栗林延次
さん、それから先日退会されました本間先生、この3
人といつも「ビリ」とか「ブービー」や「ブービーメ
ーカー」を争っていましたから、今年は何とかそこから
抜け出して上位に食い込みたいと思っておりますの
で、NAYUTAの会の皆さん、ぜひ温かいご声援を送
っていただきたいと思っております。

6廻り目の72歳ですので、あと何回寅年を迎えられ
るか。次回は84歳、さらに次回で96歳、ちょっと
今のままでは無理かと思えますけれど、皆さんとの縁

を大事にしながらロータリーを楽しんでいきたいと思
いますので、引き続きよろしくお願いたします。
ありがとうございました。

昭和37年生まれ 篠原 実君



皆さん、こんにち
は。前のお二方、い
いスピーチをしてい
ただきましたけれど
も、私は、ちょっと
変えまして、お題は
『大いに語る』では
ありませんけれども

大いに語れない、少し恥ずかしい、直近であったお話
をさせていただきます。

先週の土日、職場が休みで天候も良く、特別するこ
ともなかった。家でんびりして、夕方買い物へ行っ
て帰って来て、普通どおりの日を過ごしていました。
普通どおり寝ましたが日曜日、朝起きる時に何か腰に
違和感を覚えました。起きようと思ったら痛くて全く
起きられない、これはまずいと思いました。

今まで人生の中で3回ほど腰を痛くしたことがありま
したが、あの時のあれがまずかったと必ず原因が分
かったのですが、今回に限ってはなぜこのようになっ
たのかが全然分からない状態です。でも、やっぱり痛
いから動けない。午前中、ベッドで横になってゴロゴ
ロしていましたけれども、昼から何とかベッドから起
きるまでに20分～30分かかって何とか痛くない格好
を探しつつやっと起きて、歩こうと思ったらやっぱり
歩けない。秒速30cmぐらい。ヨチヨチ歩きのような
状態ではまずいと思って、とりあえず日曜日はゆっく
り休んでいた方が良くと思って過ごしていました。月
曜日には治るだろうと安易に考えていました。

月曜日の朝、やはり起きるのに30分ぐらいかかりま
した。顔を洗うことも大変で、腰を痛めたことがある
方は分かると思いますが屈めません。もう、人が見る
と笑ってしまいそうな格好でやっと顔を洗って、ご飯
を食べるまでいきましたが、歩けない。ですから、朝
7時前に職場に電話をかけて「全然歩ける状態ではな
いので、今日は休ませてくれ」と、31日の月曜日は
休みをいただき、その日も家でずっとゆっくりしてい
ました。

1日は、外部の監査があったものですから這ってでも
出て行かなければということで、少しは回復するだろ
うと思っておりましたが、やはり1日の朝も起きるまで
に30分ぐらいかかり靴下も履けない状態で、靴下を
履くまでに20分ぐらいかかりました。

1日は何とか職場に出て、出てもソロソロという
歩き方しかできない。何とか監査が終わりまして、午
後からは少し調子が良くなってきたので、日に日に少

しずつ良くなるのだと思いながら過ごしてきました。いま、私はこのように立っていますけれど、立てられることが3日前は信じられない状態で、今日のこのスピーチもお話をいただいていたので、工藤さんに「ちょっと行けません」と何度も電話をしようかと思っておりましたが、何とかこの日を迎えることができて、ホッとしている状態です。まだ完全に元気よく走ることはできませんが、恐る恐る歩きながらという感じではあります。

今年60歳・年男・本厄ということで、私いままで厄払いを行ったのが1回目の24歳の本厄の時、その1回しか行ったことがありません。今年は年明け当初から嫁には「今年は絶対厄払いに行きなさいよ」と言われておまして、2月3日、今月は行こうと思っていた矢先にドカンと腰にきてしまったというような状態です。

これで厄が落ちてくれたら良いのですけれど、落ちるわけがないということもあります。今年は真面目にお参りへ行って厄払いをして、腰も何年かに1回このようなサイクルが回ってくるものですから腰回りの筋肉を鍛える運動もしつつ、人には見られたくない姿は2度としたくないと思っている今日この頃でございます。このようなあまり面白くない話かもしれませんが、大変申し訳ありません。

私がクラブに入らせていただいたのが、昨年の5月6日で、もう少しで1年経ちますけれども、毎週木曜日が楽しみでやって来ております。年が明けてからはちょっと参加される人数が少なく、コロナの影響もあるかと思っておりますけれども、今後も毎週木曜日、特に夜例会の木曜日は張り切って参加をしたいと思っておりますので、今後とも皆さんよろしくお願いたします。

どうもありがとうございました。

昭和49年生まれ 二宮 拓人君



2週連続で、ここに立たせていただきまして大変恐縮でございます。先週も割と長々と話をしまして、すでに大いに語ってしまったところもございます。つま

まらない話なのに時間もオーバーしてしまい申し訳ないと思い、今日は手短かと思っておりましたが、どうやら時間もあるようですのでお時間をいただければと思います。

今日ここで何を話そうかと正直思おまして、まず寅年と自分にどのようなエピソードや思いがあるかと振り返ってみましたけれども、あまり。寅という干支についてはすごく気に入っていて、何となく強そうですし

良い干支だと思っていました。それにまつわるエピソードというと、すごく塩っぱい思い出しかなかったという感じです。

小学校へ入ったところに、当時は野球が流行っていて、まだサッカーがブームになる前でした。友だちがみんな野球の帽子を持っているので、「自分にも野球帽を買ってくれ」と親にねだった記憶があります。その当時はファンのチームがありませんでしたので、どこのファンになるかと思っておりまして、母親から「あなた寅年なのだからタイガースにしたらいじゃない」と言われて、何となく自分もその気になりタイガースファンになりました。当時の阪神は掛布と岡田はいましたけれども、バースが来る前の弱いころの阪神でして、ユニフォームが白の縦縞のころでして、私も白の縦縞の帽子を買ってもらった記憶があります。

ただ何となく応援を始めましたけれどもイマイチ成績がパツとしないと思っていたまま、小学校3年生に上がった時に仲の良い友だちができました。その友だちが2人とも大の巨人ファンでした。それで、その友だちに言われたことが「お前、何で阪神ファンなんかやっているのだ。巨人ファンにならないと口も利かないぞ」と言われまして、私はあっさり巨人ファンに転向するという情けない思い出があります。

ここでお話をしてしまいましたが、何を話そうか考えている時は、この話をしてはとても恥ずかしいと思って別のことを話さなければと思おりました。すみません、話してしまいましたけれどもそうであります。

寅のエピソードで良いエピソードがないとすると、何を話そうか考えた時に、年男とは何だろうと思おしました。そもそも年男の年とは良いことあるのか、悪いことがあるのか、どのような年なのだろうと思お、例によってネットで調べてみました。そうしますと、これは諸説あると書いてありまして、良い年だという意見と悪い年だという意見があるようで、よく定まっていないようであります。

では、自分の場合はどうなのだろうと。先ほどの吉田さんのお話のように、私自身も吉田さんに比べると少し短い期間ですけれども、それぞれの年男の年に自分に何が起こったかを思い返してみました。

まず、12歳の時です。何が一番自分の記憶に残っているかといいますと、中学受験をして受験に落ちたことが一番の思い出であります。あまり準備もせずに思いつきで受けたことでもありましたが、私、先週、皆さんにハッピーバースデーを歌っていただきまして、2月生まれです。たまたまですけれども中学受験の初日が自分の誕生日であり、誕生日に受験をして誕生日を祝ってもらえないうえに「落ちる」ことが最初の年男の記憶であります。

12歳は良いことはありませんでしたけれども、その次の24歳の時はどうだったのだろうと思おしました。

一番思い出にあることは、いまの妻と出会ったことです。いまのと申しましたけれど、別の妻がいるわけはありませんので、いまでも婚姻関係自体は維持しております。いまの妻とその時、出会ったということがあります。私は24歳で妻と出会って25で若くして結婚して、その後23年間夫婦を続けております。そのあとの36歳の時を振り返りますと、何をやってたかほとんど記憶がないのであります。もちろん今の組織で働いておりましたし、どこの部署にいたかは覚えているのですが、割と忙しかったこともあります。プライベートで何をやってたか全然思い出せない感じです。子どもが何歳かは分かるのですが、あまり印象的なことがないなということで、つまらなくて仕事ばかりしていた36歳だったなと思います。短いわけではありますが、3回の年男を振り返りました。何もいいことがないじゃないかと、年男っていいことがない年なのだと思いかけたのですが、そのうえで先日、4回目の年男で48歳になりました。そう思って今年の滑り出しを振り返りますと、釧路の地にまいりまして単身で一人暮らしをしています。食事を作ったり、洗濯したり、掃除をしたり、全部自分でやらなければいけなくて、面倒くさいと思わないことはないのですが、釧路に来て自然に囲まれて、1月から毎週休みのたびにあちこち遊びに行っております。非常にいい経験をさせていただいていると思っております。そうやって振り返ってみると前の3回の年男はあまりパツとしない感じですが、今年の1年は釧路で素晴らしい1年にしたいなと思っております。先ほど会長からご紹介がありました個人の金融資産が

2000兆円というのは、日本銀行の出している統計であります。何年か前にその統計を作っている部所の責任者をやっておりましたが、残念ながらその2000兆円の一部が自分の手元にあるような感覚がないわけですが、それに関わらず当地で、プライベートで遊びまくって、仕事はしっかりして、当地を楽しむ1年にしたいと思っております。それが今年の抱負です。以上でございます。

プログラム委員会 工藤 彦夫委員長

4人の皆さま、大変ありがとうございます。来週Part IIは、今日出していない土橋君、脇君、木下君、中島君、石井君、ということです。

ちょっと調べてきました。年男の一般的な性格ということで。

良いことから言います。

- ・正義感が強い
 - ・逆境に負けない強さを持つ
 - ・強い信念を持つ
 - ・サービス精神が旺盛
 - ・チャレンジ精神が旺盛
 - ・情熱的
 - ・ロマンチスト
- 短所としては
- ・目立ちたがり屋
 - ・負けず嫌い
 - ・感情的になりやすい
 - ・協調性に欠ける

ただ、寅年の欠点は、繊細で傷つきやすいということで、もしも寅年の年男をいじめたいならば繊細で傷つきやすいので、いろいろな所でいじると結構弱ってくると思います。

以上、今日の例会でした。

司会をそちらに返します。ありがとうございました。

本日のニコニコ献金

■天方 智順君 やっと出席出来ました。今年も宜しくお願い致します。

今年度累計 416,000円

2022.2.10 (木)
第25回例会
(通算3652回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副会長 浅川 正紳
幹事 市橋 多佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 三ツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2021-2022年度
国際ロータリーテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022年度
RI会長 シェカール・メータ
第2500地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイ RC)

月間テーマ	平和と紛争予防／紛争解決月間
本日のプログラム	「年男大いに語る Part II」(担当：プログラム委員会)
次週例会	「私のこわいもの 1!2!3!」(担当：プログラム委員会)

- ロータリーソング：四つのテスト
- ソングリーダー：織田 亨君
- 会員数 103名
- ビジター なし
- ゲスト なし

会長の時間 杉村 莊平会長



皆さん、こんにちは。決まり文句ですが本日も勇気あるご出席をいただきまして、ありがとうございます。非常にアットホームな空気が漂っておりまして、これはこれでいいなと思って食事をさせてもらいました。ありがとうございます。

北京オリンピックも始まりまして、連日、日本選手団の活躍が報道されています。スキージャンプの「小林選手が2月6日の日曜日に金メダルを取った」ということで。これ実は、同じ日と曜日に、前回の札幌オリンピックの時に「笠谷・青地・今野の日の丸飛行隊が金メダルを取った日と全く同じ曜日と日時だった」と大きく報道されていまして、不思議な縁だなと見て思いました。

僕はそこで違うところにビックリしました。当たり前のお話なのですが、前回の札幌オリンピックが50年前、半世紀前なのです。それに僕はビックリしまして、そうか、あれから50年か。「光陰矢の如し」と軽くショックを受けた自分がおりまして、そっちの方が報道でビックリしました。

そんなことで北京オリンピックも始まっていて、報道

でこれから楽しみな競技もいっぱいありますが、たぶん今日ニコニコも出るかなと思います。われわれロータリアンに一番近いところで、一番近いオリンピックということでは、三ツ輪運輸さんにお勤めの女子アイスホッケーの浮田選手ですね。本当に連戦で活躍されておりますが、われわれに一番近いオリンピックとして、これからの活躍を注目していきたいと思っております。ぜひ、皆さんも注目して見てください。

2月の半ばを過ぎてきてまして、ニコニコの累計金額が少し気になってきたところでございますので、今日はニコニコのお話をさせてもらう会長挨拶をと思います。

このニコニコですが、6月のアッセンブリーの時に皆さんにお伝えさせていただきましたが、今年からニコニコの予算への繰り入れ方を変更させていただいております。これまで事情はいろいろあったのだと思いますが、このニコニコの予算は、これまで集まるかどうかかわらなかつた金額、集まらないかもしれない金額を、その年の予算に無理やり入れて処理してまいりました。ここ数年来、やり方には無理があるのではないだろうか、変更した方がいいのでは、という議論がありましたからコロナで多少予算に余裕があるうちに、変更すべきということになりまして、僕の年度から変更させていただいております。

僕の年度は、前の前の天方会長年度のニコニコの実額を予算に繰り入れさせていただいております。僕の年

度が無事に終われば、僕の年度で集まったニコニコの実額は、決算が終わったあとで次々年度、後藤ノミニ年度の予算に繰り入れるやり方に変更させていただいております。皆さんにご了解いただきながら、改めて3月・4月はいやらしいようですが、入学・卒業・就職とお祝い事が多い時期になってくると思います。ぜひ、次々年度に向けて奉仕活動への貴重な財源だということと、また、皆さんのクラブへのご報告を兼ねて、改めてニコニコの意識を高めていただいて、この時期にニコニコを少しでも多くお願いできればとお願い申し上げます。

少し時間もありますので付録で、ニコニコの歴史を調べましたのでご紹介して終わりにしたいと思います。ニコニコ、いつから始まったかという、「昭和10年に東京ロータリークラブで始まった」と僕の調査ではなっておりました。どういうことかという、東京ロータリーでは、関東大震災があって、その当時に東京の遊園地・多摩川園ができたばかりで、震災の被災孤児たちをそこに招待をしたいというクラブの企画が持ち上がって、その資金をどうするという話になったようです。その時に東京クラブの関さんという方が、例会場で段ボール箱を持って、「今日はあなたの誕生日ですね」、「今月はお嬢さん結婚されましたね」なんて言いながら、当時の月給の10倍ぐらいのお金を皆さんから集めて、その多摩川園に無事招待をしたというのが事の始まりのようです。

関さんを含めて東京ロータリーはこれを恒例化して毎回の例会で集めていたので、段ボール箱が汚れてきたものですから、当時の三越で恵比須様の顔を彫った綺麗なニコニコの箱を作ったことがニコニコボックスの始まりだと聞いています。

そうは言っても当時の大学の給料の10倍、200万円ぐらいがすぐに集まったということですので、東京クラブはさすがだなと感心して記事を見ていました。ニコニコ、こういう形でやっていきますが、改めてニコニコは集めるばかりではなくて、わがクラブとしても貴重な財源、皆さんからの善意のお金ですので、このニコニコのお金で予算確定できますから、次々年度どうやって使うか、何を有効的に使っていくかの議論をもう少し大きくして行こうと思いつつ、しっかり引継ぎたいと思っております。

今日は工藤委員長にご苦勞をおかけする例会になりますが、工藤委員長にはまた小ネタを用意しているだろうと期待しながら例会お願いしたいと思います。

本日もよろしくお願ひいたします。

幹事報告 市橋夢佳丞幹事

皆さま、こんにちは。幹事報告をさせていただきます。各クラブの今週の例会につきましてはお手元にお配りした例会案内でご確認をお願いいたします。本日、

ご来場の皆さまにロータリー財団の寄付控除の領収書をお配りさせていただきます。まだ受け取られていない方は私、も



しくは副幹事にお申し付けください。よろしくお願ひいたします。本日、「2021-2022年度、今年度のガバナーノミニデジグネートが決まりました。帯広西ロータリークラブの小谷典之（おたにのりゆき）さんがガバナーノミニデジグネートになられた」というご案内が来ました。後ほど、ホワイトボードに掲示させていただきますのでご覧になっていただければと思います。

続きまして、ヒューストン世界大会についてクラブ事務局に旅行パックのご案内が来ております。ぜひ、ご興味のある方は、私までご一報いただければ資料お届けさせていただきますので、よろしくお願ひ申し上げます。

また、先日ご案内した、4月3日に予定の第7分区のIMですが、こちらは「正式に中止」というご案内が南クラブより届きましたのでご報告させていただきます。中止のご案内につきましてはホワイトボードに記載させていただきますので後ほど、ご確認をお願いいたします。以上でございます。

■本日のプログラム■

「年男大いに語る Part II」

プログラム委員会 工藤 彦夫委員長

こんにちは。先週、「年男大いに語る Part I」で、幼稚園でいったら年長さんの石田さん、吉田さん、年中組の篠原さん、年少組の二宮さんに大変貴重なお話をいただいたと思いま



す。先週ははじめに寅年ということで『タイガーマスク』をかけましたので、今週も期待を持って、ちょっと1曲聞いていただきたいと思いま

す。（『タイガー & ドラゴン』を聴く）

はい、クレイジーケンバンドのタイガー&ドラゴン、5分だけでいいという話です。なかなかいい歌ですね。今週は、年中の木下君と中島君です。同い年の37年、時間たっぷりあります。ゆっくり話してもらいたいと

思います。
まずは最初に木下君、よろしくお願いします。

昭和 37 年生まれ 木下 正明君

皆さん、こんにちは。還暦を迎えました木下でございます。基本的には旧暦のお正月の 2 月 1 日を超えたら還暦ということ



で、多分お母さんのお腹の中にある十月十日も含めての話じゃないかなと思います。一応、還暦ということでネクタイを赤にして、裏地も赤で、今日はこういう形で、カメラ良いですか、ありがとうございます。すみません、小ネタの小ネタでございました。

私は一応、仕事は神主をしております。去年の 3 月 18 日の例会の時にも「ひがし北海道」のこと、どうやったら釧路が発展できるか僕なりの考え方を話させていただきました。その中で、年が明け 3 月になっていたのですが「今年の運勢は」ということでお話させていただきました。

今年の旧暦のお正月は 2 月 1 日ですので、まだ年明けの 10 日ですから、今日は旧暦の 1 月 10 日なので年が始まったばかり、運勢が始まったばかりですので、今年はどうなるのかをお話させていただきたいと思います。皆さん、最近だと SNS とかで「寅年の時は金運がいい」とか、お話を伺っています。

当社では毎年特別な方法で占いをさせていただいています。暦のデータを当然取り入れるのですが、最後にこちらでちょっとした占いをし、その中身を足したのが今年の運勢ということでお参りに伺うお宅に紹介させていただいたりしています。当社では、だいたい年間で 6 千軒のお宅にお伺いを述べてしますが、そこに伺った時に「今年はこの運勢ですよ、こういうふうにご利益があって、良い 1 年になるのではないですか」とお話をさせていただきます。一昨年の占いは「悪いものが全部表に出る」という年回りでした。武漢ウイルスの関係もあって中国がいろいろと他の国に横やりを入れ、無鉄砲というところが公になってしまった年回りではないかなと思います。去年は「新しいことにチャレンジすると確実に芽が出る」年回りでした。コロナで大変な中だったのですが空いた時間、飲み会がだいぶ減りましたし、宴会や総会などで時間が減った関係で、皆さん時間がすごくできたと思います。

その中で新商品を開発して、いろんなチャレンジをした方は、非常に良い芽が出ているのかなと思います。佐藤君のところの「ひがし北海道ブランド化協議会認定・おみやげラーメン」は「まっまっ売れている」と

いうことで、すみません、無理やり作っていただいて恐縮でございます。皆さんそれぞれ去年はいろんなチャレンジをして、芽が出たかなと思っている方も多いのではと思います。

では、今年はどうなる年回りの年かということ、今年「努力するものすごく花開く」年周りです。非常にチャンスなので、釧路では日本製紙の撤退ですとか、いろんなことがありますけれども、皆さんお一人お一人がいま一度努力していただいて、大きな花を開かせていただければいいなと思います。

お一人お一人が売り上げを 5% 増やせば、釧路市にも大きな影響があるのかなと思います。ここだけ覚えていただいて、今年努力するととても上手くいく年回りです。

小船井さんに会長をさせていただいております「ひがし北海道ブランド化推進協議会」。この地域を『道東』と呼びますと、「それは『同じ』という意味ですか」とか、東京の方は分からないのですよ。それを『ひがし北海道』と呼んで周知力とか訴求力を増やして、皆さんにこの地域を知っていただくこと。釧路は当然、秋刀魚や鮭があります。厚岸はウィスキーや牡蠣。白糖はタコや毛ガニでしょうか。そうすると、東京の方は全部が同じ地域にあると思っていないのですよ。今、ふるさと納税では弟子屈が何十億とすごいふるさと納税をしています。一番売れているのはカニ・鮭・いくらなのです。この間、会長がお話されましたけれど、同級生の加藤さんという方が、「弟子屈町に海がある」と全国の方は今思われていると思います。

本当に良い物がたくさんあるけれども、同じ地域だと思われないので来られない。ということで、「ひがし北海道」と呼んでブランド化しようとしています。去年もこんなことやっています、あんなことやっていますとお話をさせていただいたかと思います。歌舞伎座で物産展を鮭やつぶ貝のテーマでやらせていただきました。あと、今はフェイスブックやインスタも用意していて、ホームページも先日できました。皆さんぜひ見ていただいて、どんな活動しているかを知っていただければと思います。そこでいい記事があったら、フェイスブックをやっている方はシェアをお願いしたいと思います。

並行して、ブランド大学を毎月 7 日の午後 7 時から 77 分間やっていて、2 月 7 日が 10 回目でした。3 月 7 日で今年の年度は終わります。来年も地域の人が自分の地域の情報を学んで、地域を活性化していくことを続けたいと考えています。

あと今年、『台湾の方が選ぶ、ひがし北海道の物産コンテストアワード』をやらせていただきました。珍味部門の 1 位は「柔らかチーズホタテ」でした。私どもはシシャモがイチオシだったのですが、小川さんの干したシシャモは残念ながらビリになってしまったので

す。やっぱり台湾の方は、干した物とか、生臭いというか、魚慣れしていないので残念ながら最下位になってしまった。お菓子部門では中島製菓さんの「釧路チーズケーキ」が2位に入りました。おめでとうございます。「夕日」と僅差だったのですが、夕日が1位で2位が釧路チーズケーキということになりました。台湾のいろんな方の意見もお聞きしましたので、それをフィードバックしていただいて、また製品作りに生かしていただければと思っています。

そんなこんなをさせていただきながら、来年度は何をするかです。ひがし北海道の関係で関わった方がいて、海藻の養殖をやってみようと思います。魚の養殖は海が荒いので難しいのですが、ここは食べる昆布の日本の生産の8割ぐらいを生産している所ですので、そこで海藻の養殖をやるのは有益なのかなと思います。比較的簡単にできるそうです。去年の10月と12月に若い兄ちゃんたちが来て、海に潜って海藻を取って、種を取って、どんどん培養していただいているので、今年10月や11月に定植させて養殖を開始することになっています。ですから、「昆布を使った料理のメニュー開発なども込で行ったら面白い」ということで、J Cさんとコラボしてやることになっております。

あとは、「つづ貝」のブランディングをやっております。J A Lとカルディさんとコラボして、今年10月から12月に「つづ貝の商品」が全国のカルディで販売されることになっております。最終選考でもしかしたら落ちるかもしれないけど、今その予定で進んでいますので、皆さん楽しみにしていただければ。

あと、この地域は地酒『福司』がございまして、福司のブランディングをさせていただいて、もっといろんな方に知っていただいて、価値が高くなるようにと考えております。

2011年に展覧会「増田誠展」を行い、地域起こしをやってきて60になっちゃったのですが、このあと10年ぐらいは頑張れるかなと思ひまして、地域のために少しでも努力していきたいと思ひますので、皆さん、よかったらご協力のほどお願いしたいと思ひます。皆さん、お疲れさまでございました。ご清聴ありがとうございました。

昭和37年生まれ 中島 徳政君



中島でございます。ここでのスピーチが最近なかったものですから、だいぶ緊張しております。ちょっと木下さんと被ったのですが、赤目のネクタイをして来ましたが、その程度

です。どちらかというと、年男と赤いチャンチャンコというよりは、バレンタインデーが近いから赤かなというので選んで着けてきました。木下さんほど赤いチャンチャンコをまだ着たいと思っております。若者扱いでぜひお願いしたいと思ひます

用意した話の内容は少し古いお話になります。一応、年男ということで私が生まれたのは昭和37年(1962年)で、私は釧路生まれです。

父がお菓子屋に勤務していて、母がその従業員寮の寮母をしております、そんなところで生まれさせていただいております。そこのお菓子屋さんではなくなくなってしまったのですが、続いていけば工藤さんの会社と同じように100年を超える会社になっていた「丸三宮地菓子舗」という所です。昔からいらっしゃる方をご存知だと思います。そういうお菓子屋さんです。そのお菓子さんは北大通の「浦田」と同じころの創業になっております。創業者の宮地米蔵と浦田さんを創業された方はどちらも寿登芳さんのお母さんの所の料亭といひますか、置屋でお料理を出していた、調理をされていた二人がそれぞれ市内でお菓子屋として独立されました。どちらも100年を超えていたはずなのですが残念ながら宮地菓子舗はなくなってしまいました。

その宮地菓子舗さんから独立されたのが「甘味処ミヤチ」さん、のちのケーキショップ「マリアンマリー」さんをやられていた方です。それから工業高校の近くにありました洋菓子屋「ボンヌール」さんもそうです。それからNHKの前にありましたお菓子屋「豆の木」さんも和菓子の方で父と一緒に働いていた職人さんです。今は、シヤモパイを製造されているお菓子屋「ピゼリ」と私の会社だけが宮地の出身で流れをくむ市内のお菓子屋となっております。

釧路市内のお菓子の業界は、今ご紹介したように北大通の「浦田」と南大通の「成田餅菓子店」さんが100年を超えてご創業されております。その他には市内で複数店舗展開されている「クランツ」さん、「ぶちどーる」さん、それから「夕日」が出てきました阿寒の「松屋」さんなどが市内で数店の店舗を出されて営んでおります。あとはご夫婦とか、ご家族でやられているケーキ屋さん、パン屋さんが50軒弱だとは思ひますがいらっしゃいます。菓子商組合あるのですが、そちらはいま、加盟店が20件ほどしかなくなってしまいました。

私が釧路に帰ってきた35年前は、50件を超えていましたので半分以上となっております。今は「スイーツ」と呼ばれたり、職人さんがいつのまにか「パティシエ」と呼ばれるようになってテレビに出たり、人気者になったり。大手のお菓子屋さんやコンビニ・スーパーで売られるお菓子も、流行のスイーツみたいにテレビで紹介されております。皆さんの消費の中でもお

菓子は昔から比べると、数はそれほど買われていないですけど、消費金額としてはそこそこお使いになっていると思っております。地元の小さなお菓子屋さんとしては結構厳しい時代になっているのかなと思っております。

そういうお菓子屋さんとはどちらかという季節のお菓子、今月は「桜餅」や「うぐいす餅」ですとか、バレンタインのチョコレート・クッキーなどを売って商売を成り立たせています。

ですので、釧路の人口の減少は大変気になるところで、私は37年の10月24日に生まれたのですが、父が11月5日に市役所に出生届を出した時に釧路の登録人口が「16万人目」ということで釧路市からなぜか表彰状をいただきました。馬の額をもらっていて、うちには飾っております。

「16」という半端な数字がどうしてそれほど記念だったのかよく分からないのですが、16万都市ということで、当時、珍しかったようなのですが。

うちの近くの振興局の隣にある、いま釧路小学校となっているのですが、数年前に3校合併して10年という記念の展示会をやりたいと、旧釧路小学校の日進小学校の資料を探したところ、その頃に幣舞橋とこの上空を撮った航空写真が見つかって、見せていただくことができました。

幣舞橋は今の5代目の1つ前の4代目で、女性の像がない幣舞橋が写っておりました。まなぼつとの所には市立病院。周りに警察署・保健所・裁判所、それからNHKさんの横には气象台も写っておりました。大通りは舗装道路だったのですが、一本裏になると砂利の道路と土そのままの道路が写っておりました。今の「EGG」の所がキャッスルホテルの前身である「商工会館」があり、結婚式場として流行っていたと聞いています。隣のMOOの所が釧路市の魚市場となっております。

幣舞橋の釧路川に漁船が両岸から縦列のように横に何隻もあって、真ん中に少しだけ水面が見えて、ほぼ船が一隻通れるのか通れないのか、そんなたくさんの船がそこで水揚げされているのが分かる写真でした。

その7年後から9年間にわたり、釧路市は「水揚げ日本一」という水産業の繁栄の時代がやってくるわけです。なかなか今とは考えられないような形になっていると思っております。

爺さん臭い話になってしまったのですが、釧路市のホームページを見たら昨年12月の人口は16万3,000人だそうです。日本製紙のこともありました。昨年1年間で3,000人程度の人口が減少していることになりまして、今年の年末には16万人を切ってしまう可能性があるのかなと思っております。私の還暦の話と釧路の歴史をリンクするように喋ってしまいましたが、釧路生まれで釧路育ちとしてはもう少

し頑張っていきたいなと思っております。よろしくお願ひしたいと思ひます。

用意した原稿はここまでなのですが、工藤さんに「ちょっと足して」と言われておりますので。

今、私は中小企業の青色申告会の会長をさせていただいております。自分のところは法人なのですが、個人事業主さんが今やっている「確定申告を青色で出しましょう」と、「企業と同じような帳簿をつけて出しましょう」という会の会長をさせていただいております。いま一番の問題、「インボイス」はご存じでしょうか。適格請求書保存方式ということです。私は税理士じゃないので、詳しいことはそれぞれの会社の税理士さんや甲賀さん、横田さんにお聞きになってください。

その適格請求書の番号をいま消費税払っている方も改めて取っていただいて、その番号の付いた請求書と領収書を使わなければ消費税の申告の時に、その金額が載せられない・認められないこととなります。皆さんの会社は会計士さんがしっかりやっていると思いますが、来年の令和5年10月からスタートしますので、請求書の様式、領収書の様式も消費税の金額が10%・8%それぞれ分かるものに変えなければいけませんので、もし印刷等がそろそろという方は税理士さんに確認していただきたいと思ひます。

そんな中で、個人事業主の青色申告会がどう困るかといひますと、まず1,000万円以下の事業主さんは消費税を払う義務がありませんので、消費税の申告をしていないのですが、そのインボイス式の領収書を発行するためには、改めて消費税の申告をしなくてはいけません。

例えば、近所の駐車場を個人の人から借りて駐車場代を払っているところはサラリーマンなどで1,000万円に満たないので消費税の申告はしていないので、その分の事業の所得税申告には使えますけれど、消費税の申告にはそれが使えない形になったりします。ぜひ、間もなくですので、その登録番号の受付もすでに始まっておりますので、ぜひお考えいただければということになります。

残り5分となりましたので年男のスピーチとしては離れてしまいましたが、本日は大切なお時間どうもありがとうございました。失礼します。

プログラム委員会 工藤 彦夫委員長

中島さん、ありがとうございます。5分余ったので来週の予告ということで。来週は『私のこわいもの1.2.3』ということで4人の方に発表してもらいます。今まで怖かったこと、今の怖いこと、ということで自分を知ってもらうというのが主題でございます。今日はお手本として田内副幹事にやっていただきます。田内君よろしくお願ひいたします。

「私のこわいもの 1.2.3」 田内 康章君

皆さま、こんにちは。こういう状況なので会社の者に見られてしまうとあれなのでマスクをしたままで失礼いたします。



「私のこわいもの」ということで、来週のプログラムに先立ちまして私から軽くお話をさせていただければと思います。

私のこわいものと考えた時に、1つ目は何と言ってもコロナ禍というか「コロナウイルス」です。会長も仰っていましたけども、昨日も釧路で180数名出ている。そこに対する認識の違いとか、会社としての対応もいろいろ戸惑っているところもありまして、そういう知識を自分たちひとりひとりが持たなきゃいけないなど改めて思っております。

そんな中で皆さんご存じかと思えます。マスクのウイルスを通す透過率を調べますと、一番良くないのはウレタン素材で、スポンジみたいのがあまりよろしくない。二番目が布マスク、洗って何度でも使えるというものです。一番良いのが私も着けている使い捨ての不織布で、こちらが良い。いま話題になっているアベノマスクは布マスクと同じくらいで、あの厚さと費用に関していかなものかなと思っております。

怖いもの2つ目は、今のコロナの話と被るのですが、私が怖いと思っているのが「軽い先端恐怖症」といいますか、鉛筆やボールペン、割りばしもそうなのですが、自分に向けられると変な汗が出てくるのがあります。先ほども言ったのですが、コロナウイルスでワクチン3回目の接種が始まっていますが、去年の1回目・2回目接種の時に、テレビでもよく肩にプスプス刺している映像が流れていました。そのたびに目をそらし、チャンネルを変え、嫁と子どもに馬鹿にされるといったところで、そこは本当に自分自身でも怖

いところだなと思っております。

3つ目なのですが、今後どうなるのかなといったところで、昨年1年、私は副幹事やらせていただいております。会長からお話をいただいて受けさせていただいたのですが、皆さんが経験されていると思うのですが、こんなに忙しいものだなと、改めて思っております。

昨年の1月から私たちサントリービバレッジの会社の中でも、働き方改革の推進室を立ち上げてまして、私も北海道エリアの室長をやらせていただいております。そこも、毎月いろんなことをやる、次の月はこうする、その予算配分や人員配置もすべてやっていたのです。本来であれば各事業所を回っているところの悩みとか、できていないところをピックアップして全道に発信しました。リモートでしかできなくて、リモートはメリット的には手軽にできるのですが、デメリット的にはその空気感、熱量が伝わらず、苦勞しておりました。

少し怖いものとか離れているかもしれないですが、私の怖いもの 1.2.3 というので、来週もお楽しみによろしく願いいたします。

プログラム委員会 工藤 彦夫委員長

田内さん、ありがとうございました。終わりということで、来週は4名の方、村上君・佐藤君・篠原君・荒井君、よろしく願いいたしますね。怖いもの、何が出るか楽しみです。

司会をお返しします。ありがとうございました。

本日のニコニコ献金

- 栗林 定正君 北京オリンピック、釧路出身の選手も多く参加している女子アイスホッケーが予選Bを1位通過しました。決勝トーナメントは今週土曜日、テレビ北海道にて午後5時半より放送されます応援よろしく願いします。

今年度累計 470,000円

2022.2.17 (木)
第26回例会
(通算3653回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副会長 浅川 正紳
幹事 市橋 多佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町5-3 三ツ輪ビル2F
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2021-2022年度
国際ロータリーテーマ



幸仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022年度
RI会長 シェカール・メータ
第2500地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイRC)

月間テーマ	平和と紛争予防／紛争解決月間
本日のプログラム	「私のこわいもの 1!2!3!」(担当：プログラム委員会)
次週例会	釧路市長講話 「つながる まち・ひと・みらいひがし北海道の拠点都市・釧路」(担当：プログラム委員会)

- ロータリーソング：我等の生業
- ソングリーダー：小西 卓哉君
- 会員数 103名
- ビジター なし
- ゲスト なし

会長の時間 杉村 莊平会長



皆さん、こんにちは。本日も多数のご参加をいただきました。ありがとうございます。少し席が足りなくなるぐらいの嬉しい悲鳴で、本当に

ありがとうございます。

先ほど、ネットを見ていたら政府のコロナ専門チームから発表があり、「第6波が2月上旬でピークを過ぎた」という発表があったようです。まだまだ気をつけなければいけません。何とか出口の明かりが見えてきたという気がしております。まん延防止が少し延びて3月6日になったようですけれども、引き続き十分気をつけながらも前を向いてしっかりやっていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

ネタに困ってきている昨今でございますが、2月に入りまして、2月と言えば『バレンタイン』ですが、皆さんはもうあまり関係がないかもしれません。僕も歳のせいなのか、コロナやオリンピックのせいなのか、昔に比べてこのバレンタインが盛り上がり欠けてきているようでございます。

思い起こすと、僕の小学校・中学校ぐらい、40年ぐらい前が、一番バレンタインがガチンコで盛り上がっていたころかなと。そのころはまだ義理チョコなる制

度もなくて、結構真剣にチョコのやり取りが行われていたような気がします。ということをお考えますと、当時の小学校・中学校ぐらいの思春期男子においては、貰えた方は良いですけれども、私を含めて貰えなかった大多数の男子において、このバレンタインデーとは、このロータリー精神とは相反する真逆な「人生とは不公平なものだ」ということを学ばせていただいた大事な日だった、なんて思ったりしております。

あと、お知らせいたしたいことは、本日は『こわいもの1.2.3』ということで例会を行います。そのコロナに関して夜例会や事業が中止になったり、地区の事業もなくなったりしてしまっていて、工藤委員長をはじめとするプログラム委員会の皆さんには、本当にご苦労をおかけしております。来週の蝦名市長は来ていただくと聞いておりますけれども、やはり会員卓話中心の例会になるかと思っておりますので、声をかけられたメンバーにおかれましては、まさにせっかくの機会・ロータリーを楽しむということで、気持ち良くご協力をいただければと思います。これからも引き続きよろしくお願いたします。

僕の「怖いもの1」を話して終わりたいと思っております。少し考えますと僕がいま怖いものは、地震と津波です。というのも、自宅は少し高台にありますから大丈夫だと思っておりますが、僕の事務所は街の真ん中に小さい平屋で建っています。多分、地震と津波が来たら一巻の終わり、向かいに防災庁舎がありますから、これを目

がけて社員一同で退散して行くしかないと考えているところ。そう思って釧路沖の地震を調べてみたら、やはり専門家側からすると、先日は週刊誌などにも大きく出ていましたが「間違いなく100%来る」ということのように。

この根拠は4つあるようで、1つは「沈降」といって、沿岸部の沈み込みがあり、これが1955年の調査以来ずっと沈み込みが進んでいるようで、マグニチュード8や9ぐらいにならないと沈み込みが治まらないことがひとつ。

もう1つが、「引っかかり」というものです。本来、陸側のプレートに太平洋プレートがうまく滑り込んでいる状態が普通ですが、釧路沖が解析調査の結果、うまく入っていない状態で、この大きい引っかかりがあることが2つ目。

3つ目が、内陸地震の頻発。東北の震災を例にとると、東北の震災は内陸で大きな地震があった3年後に大地震があったのですが、これを北海道に当てはめると2018年に胆振東部地震が起こっています。ということで、北海道はしっかりその段階に入っているようです。

4つ目、最後が周期的な問題です。釧路沖はこれまでの調査の結果、間違いなく350年に一度ぐらい大地震が起きているようで、最後の大きい地震からもう400年経っていることが根拠のようです。「100%来る」と言っても、明日来るのか、10年後、20年後に来るのかが分からないことがつらいですが、皆さんもせっかくだから家と会社の防災用具ぐらいいはしっかり準備していただいて、備えをと思っております。

最後に、不動産に関して地震と津波についての市況をご報告したいと思います。最近、いわゆる「釧路の山の上」と言われる「緑ヶ岡・宮本・浦見・住吉・鶴ヶ岱、この辺りに移りたい」と、家に移りたい、土地を求めたいという方が多くいる傾向になってきております。ただし、「上に行きたいけれどもあまり奥には行きたくない」という皆さんの要望が強く、そうなると、そのエリアが山や坂が多く、平坦な土地がないことで、皆さん探していますけれども「希望に合う土地が見つからない」ことが多いと思います。

また、事務所・事業用地については、山の上は元々住宅が多かったことがありまして、都市計画で『用途地域』というもの指定されています。そもそも事務所・事業所を建てられる用途地域の指定が少なく、土地が空いていても「ここは事務所や倉庫は建てられない」という地域が結構多いのです。そういうことで、「事務所も山の上に」という方も結構いらっしゃいますが、まとまった土地もない中で見つけられずにいるのが最近の不動産市況でございます。

釧路の街づくりを考えた場合には、やっぱりこの需給ギャップをしっかりと捉えた上で、これからの都市計

画・街づくりをしていただければ、と思っております。

本日は、バレンタインから都市計画の話まで大変高尚な会長話を披露させていただき、お終わりにしたいと思います。

ネタに大変困ってきておりますので、皆さん何かありましたらぜひアドバイスをいただければと思います。今日はよろしく願いいたします。

幹事報告 市橋多佳丞幹事



皆さま、こんにちは。津波が来ると真っ先に飲み込まれる会社が私の会社です。海辺に建てられていますので、津波が来ないことだけを

願っている者でございます。

本日の幹事報告です。他クラブの例会は、お配りしております例会案内をご覧ください。また、本日例会後に第8回の理事会を開催させていただきます。理事者の皆さまにはローズホールへご移動をお願いいたします。

以上でございます。

■本日のプログラム■ 会員卓話「私の怖いもの。1! 2! 3!」

プログラム委員会 工藤 彦夫委員長

プログラム委員会です。5週の連続になります。今日は『私のこわいもの』ということで会員卓話ですけど、趣旨については先ほど会長から言われたとおり、夜例会ができないので夜例会で話すようなことに題をつけて何回か行いたいということです。夜例会が始まれば行きません。この会員卓話については、会長が「年間アワードを誰か1人選びたい」と、自腹でお金を払っていただけるというお話を聞いたので、ぜひとも。今日は4名の方に話をさせていただきますけれども、よろしく願いいたします。

今日のお題は『私のこわいもの1.2.3』ということで、いままで怖かったことや昔に怖い経験をしたという話をしていただきます。6分ぐらい話をさせていただき、6分以上話すと「チーン」と鳴ります。その方はフェードアウトをして次の方へ回していただきます。

まず1人目、村上祐二君、よろしく願いいたします。

村上 祐二会員

皆さん、こんにちは。ご紹介いただいた村上です。トップバッターということで少々緊張しております。『私のこわいもの1.2.3』という



ことでお話をしたいところですが、1月の例会でこの会員卓話がなくなったものと思って、とっておきの私のこわいものをそこで言ってしまったものですから、今日は全然違う話、SDGs についての話をさせていただきます。

もう皆さんご存じのとおり 2015 年に国連で採択されたこの SDGs です。17 の目標を掲げて持続可能な社会を目指そうと行っておりますけれども、きっと「日ごろ争っている国々、紛争地域の人々もこの 17 の目標だけは一緒に行おうではないですか」がポイントだと思います。私もその SDGs を最初見た時に、ウチみたいな零細企業には関係ない話だろうと思って見て見ない振りをしておりました。

それから月が経って、5 年ぐらい前に広島隣の福山市のとある会社に企業視察に伺いました。その会社へ行ったのは、別に SDGs のことを知りたくて行ったのではなく、他に目的がありました。

ところが、その会社の説明が始まると、その当時、既にこの SDGs を会社にうまく取り入れていて、びっくりしました。簡単にいうと近江商人の「売り手・買い手が満足するのはもちろんのこと、社会に役に立ってこそ良い商売と言え」ということを SDGs とくっつけてうまく作り上げていました。「これはすごい」と思い、影響されやすい単純な私ですからすぐに会社へ戻って私もやってみようと思って、やり始めました。現在ウチの会社では今、この 17 の目標のうち 13 の目標に取り組んでおります。その中で、10 番目の目標に「人や国の不平等をなくそう」というものがあります。これを最初見た時に「これはパスだ、ウチでやれることはない」と思いました。でも、何か気になって「ウチみたいな小さな会社がこれを 10 番目の目標として取りかかるにはどうしたら良いか」と考える時があって、いろいろ考えているうちに行き着いたのが、障害者の雇用です。

単純ですから、これをやってみようと思いやってみました。障害を持った方々は働く意欲があっても働く場所が足りないことは私でも分かっておりました。でも、それこそ見て見ない振りでした。いざ、彼らの仕事をウチの会社でどのようにできるかを考えて、いろいろとチャレンジはしてみるのですけれどもなかなかうまくいきません。工場の中での安全性などを考えるとうまくいかない。いろいろ試行錯誤、紆余曲折があっ

て行き着いた「OA 機器の分別解体」をいま仕事にしてもらっています。

これは使われなくなったパソコン類を企業から出されてきて、それらを様々な道具は使いますが手作業で素材ごとに分解をしていきます。そうすることによってリサイクルがされやすい形状になりますので、売却するときの価格がグンと上がります。そのように言うとうまいことをやっていると思われるかもしれませんが、これもまた大変でした。大変というのは社長の私が未熟だったから大変だったのですけれども。

つまり、障害を持たれた方の仕事と健常者の仕事を比べてしまうのです。例えば 1 kg あたりの処理コストを健常者の方と障害を持たれた方を比べてしまうのです。そこでマイナスのところが出る。そのマイナスのところを切り取って「これはいけない」と悩みます。そうこうしているうちに、なかなか解決もしない。そして「もうこの事業を辞めてしまおう」というところまで行きますけれども、いろいろなことがあって「マイナスの部分は果たしていかほどなのか」に考えが着きました。会社全体の中で、マイナスの部分はいかほどなのか。会社の中のマイナス部分を改善できないことは良くないことですが、まずはそこに行き着きました。そして次に思ったことは、ロータリークラブでいう職業奉仕で良いのではないかと。比べてマイナスの部分があればこれは職業奉仕として考えれば良いのではないかと、というところに行き着きました。それからいろいろな歯車がうまく回って、おかげさまで今はうまく行っています。

今日お話をしたかったことは、SDGs はなかなか取っ付きづらい。これから始める方、あるいは始めているけれども少々問題を抱えている方、そのような方がもしかするとこのロータリークラブでいう職業奉仕を照らし合わせるとうまく丸く収まることもあるかと、そのような話をさせていただきました。

最後に、今日私の怖いもの、浅川さんの次に怖いものをお伝えして終わらせていただきます。私の怖いものは、「SDGs 掲げた会社 持続せず」。

以上でございます。ありがとうございます。

篠原 実君



皆さん、こんにちは。村上さんの立派なお話の後、私のくだらない話に少しお付き合いいただきたいです。『こわいもの 1.2.3』と

いうことですがけれども、いままで少々怖い思いをした。それといま考えてもゾクッとする体験談をお話したい

と思います。

まず、1つ目です。30年ほど前、十勝の清水町で暮らしていました。そのころ上の子がまだ2歳ぐらいでした。嫁の実家が旭川の隣の当麻町にあるものだから、金曜日に仕事が終わって、夕暮れに家を出て向かいました。狩勝峠の登り口の所で、長時間の運転をするからトイレに行こうと思い、後ろに乗っている嫁と子供に「トイレ大丈夫か」と聞くと「寝ているから大丈夫だよ」。「僕、行ってくるね」とトイレへ行って、戻って、そのまま峠へ上がって行きました。僕は普段車を運転するとあまり喋らない方ですけども、ちょうど頂上辺りで後ろに声をかけたら全然応答がないのです。消えたのです。娘と嫁が消えました。あれ、どうしたのだろう。

そのころはまだ携帯電話もないので、「あれ、ひょっとしたら」と思い、峠の下のトイレまで降りて行くと、2人が立っていました。それをいま考えると、そのまま嫁の実家まで無言のまま到着して「着いたよ」と言って振り返って、いなかったら、といういま思ってもすごく怖い、ゾクッとする思い、それが1つ目です。

2つ目です。これは6～7年前です。私が小樽に単身赴任をしていたころ、旭川の家に戻って普通に夕食をとり「疲れたから今日は先に寝るね」と2階の寝室で寝ました。グッスリ寝たつもりだったのですが、普段はそのようなことはないのに気配を感じ、何だろうと目を開けると、僕の目の前10cmぐらいに前に顔があるのです。わ～っと思い、何だろうとよく見ると、嫁が覗いていたということがありました。いま単身でいますけれど、いまでも夜、目を開けることが怖いのです。嫁がいないことは分かっていますけれど、目を開けて何かが見えたらというトラウマの思いが2つ目、いまでもちょっと嫌だと思っています。

3つ目です。これもあまり面白くない話ですけども。これも30年ほど前、十勝にいるころです。私は電気の仕事をしておりますので、新得町のサホロに小さな水力発電所があるので、そこの電気のメンテナンス関係でお邪魔をしていたころ、「夜10時30分から朝2時30分過ぎぐらいまで、電力さんの配電線の工事があるので発電所を止めてくれ」と申し受けまして、僕がその時担当でした。夜1人で、コンクリートダムですけども、ダムの下の下流の方に車を止めて、ダムの中へ入って発電所を止めに行きました。発電所を止めるまではダムのでっぺんには照明が付いていて結構明るいのです。周りには何も照明がありませんけれど、発電所を止めてダムの中の百何十段もある階段を出てきて車までたどり着くまでが真っ暗なので非常に怖いです。

気が小さいから怖かったのかもしれませんが、車にたどり着くまでに「何かの手が伸びてきたらどうしよう」とか、いろいろなことを思いながらやっと車

までたどり着いて、とりあえず一旦、家に戻りました。今度は、発電機を回しに行く時明け方2時30分ぐらいの丑三つ時。その日は霧雨が降っていて、超怖いシチュエーションのときでした。同じようにダムの下まで車で行って、車から降りて車のライトを消すと当然真っ暗です。川の流れる音が聞こえて、雨が降っていて風が吹くと葉っぱが「サラサラサラ」と。もうどうしようと思うぐらいに怖い思いの中、ダムまでたどり着いて発電機を立ち上げて、出たころには照明が付いているので、少しホッとした状態でした。いままで40年近く、この業務を行っている中で一番怖い思いをした状況でした。以上でございます。

ありがとうございます。

佐藤 貴之君

佐藤です。先週、急に代打のお話がありまして、私に怖いものがあるかなと考えていましたけれども、ちょっとロータリーネタになってしまいます。



いまから4年前、邵さんが会長の年度に私は副幹事を仰せつかっておりました。当時は邵さんが会長、副会長が工藤さん、幹事に後藤さん、もう1人の副幹事がキャスルの浅野さんの5名でやっていました。このメンバーで、昨年12月、「後藤会長ノミニ」が発表になった時に「これはめでたい。お祝いをしよう」というお話で邵さんから招集がかかり『鱗』に集まったのですけれども、その場に集まった人が邵さんと後藤さんと私の3名だけでした。ちょっと怪しい雰囲気ですけれども、3名しかいない。工藤さんも集まりましたけれど、ちょうど情報集会があって始めだけ顔を出して情報集会へ。浅野さんは全く来る気がなく函館にいるという感じで。3名で夕方6時ぐらいからお祝いをスタートして本当に楽しい。私も本当にお世話になって、すごく尊敬をしている先輩ですので3人で12時ぐらいまで6時間ぐらいいました。

楽しかったですけれども、途中お酒が入ってくると、後藤さんから当時の邵年度のお話が出てきました。当時、私と浅野さん副幹事で、いま思えば全く仕事ができなかったと。後藤さんから「当時、工藤さんが『副幹事をあまり使い過ぎるな。副幹事がアップアップしている。もう副幹事は限界だ』というようなお話をしていた」と。それが後藤さんは私と邵さんと3人いる場所で「全く腑に落ちない、俺は納得していない」みたいなお話をされまして、3人しかいない間で、私からしたらもう「サーッ」ですよ。皆さんは後藤さんの人柄を分かっていると思うので、面白おかしく当時

のことを言っていましたけれど、私からしてみたらもうサーッとこのロータリーの先輩後輩の立場を思い知らされたというか。

少し話が長くなるかもしれませんが、当時どのようなことを私と浅野さんが行っていたかという、副幹事をやられていた方は分かるように、日報を書いたり例会の準備をしたり。そのころ親睦でちょっと委員長がいなかったり、メンバーがなかなか集まらなかったり、という機会が多く「まずは『ロータリーの友』が来ていたら親睦がやる前に、まずやれ」と棚に2人で入れたり、最近はありませんけれども夜間例会の度にお金の徴収、それから司会、それもいま思えば、得地さんや田内さんもやられています。あとは『地区大会PETS』へ行ったら、まずは朝早く起きて、朝早く釧路へ戻る方がスーツを着た段階でお見送りをする。皆さんがお食事をする時には、入口に立って待っているという感じ。それは何だろう、次の年、村上さんと市橋さんが副幹事をやられていましたけれども、その方たちも『くしろナイト』の時も一切ご飯も食わずにずっと直立で立って仕事をされていました。いま思えば本当に当たり前のことばかりですけども、当時の私たちは本当に限界だった。アップアップしていた。それを工藤さんが察したのかなということがあって、多分、いま思うと後藤さんは全く納得をしていなかったのだらうと思います。

どうなのだろう。『地区大会』、今日は吉田潤司さん本人がいらっしゃるの、話しづらくて。本人には、「今日、話題にさせていただきます」とお断りをしています。

潤司さんの時の地区大会、皆さんもご存じの方がいると思いますけれども、以前いらっしゃる馬場さんが、皆さんの印鑑をついているところで、公開で怒られたのではなく強めに指導をされた感じ。私は市橋さんと国際交流センターの担当だったので全く分からないのですけれども、聞いた情報によると。それは全体の流れを考えて成功させるための指導だったというか。

後藤さんは「全体を見て美しくなければいけない」という言葉をよく言います。当時、私たちが副幹事をやっていた時も「『ロータリーの友』が置いてあるのに誰もやらないのは美しくないよね」、多分、そういうことだったと思います。私たちは来てプラプラしているだけだったので、後藤さんは当時から、来たらずぐパソコンをガツと。仕事量がすごかったです。それに比べると私たちは本当に何もしてなかった。全体的な美しさと流れを考えてやっていたのかと少々強く感じておりました。

本当はもっと喋りたいことがたくさんありますけれども。すみません、1.2.3の1で終わってしまいますけれども。

私もそうですし、工藤さんもそうですし、もちろん邵さんもそうですし、すごく尊敬をしている先輩たちでございます。邵さんももちろん後藤さんのことをすごく信頼していらっしやいます。私、できれば何かをやらせてくれというわけではなく、これからは機会があれば後藤さん・工藤さん・邵さん・浅野さん、また同じメンバーと一緒に仕事ができればという思いが強くなります。いまでも当時のグループLINEがあって、誕生日には「おめでとう」など、本当に良い仲を保っていて、できればまた一緒にお仕事がしたい。どなたかがガバナーになっていただけると私はまた何かができるという思いがございます。

私は市橋さんと違い、あまり仕事はできませんので、私はできれば副幹事の位置が一番力を発揮すると思います。できれば副幹事を何度かやらせていただくと良い仕事をすると思いますけれども、そのような立ち位置で、怖かったと言いますか、ピリッと気持ちを入れられたお話でした。

お時間が来てしまいましたので、以上とさせていただきます。ありがとうございます。

荒井 剛君



皆さん、こんにちは。荒井です。『こわいもの』というテーマとあまり関係なく喋っても良いのだと思いましたが、一応『こわいもの』というテーマをいただきましたので考えてきました。1番目・2番目は本当に軽いものですが、3番目は過去に怖い思いをした経験談をお話したいと思っております。

最初は、簡単どころでいうと高い所。私以外でもたくさんいらっしゃると思いますけれど、いわゆる『高所恐怖症』、極度の高所恐怖症なので2階へ行くのも怖い、階段を上ることも怖い。例えば、スカイツリーの上へ行くと、下が透けて見える透明なガラスがあって、そこを歩くことをみんな喜んで行っていますが、頭がおかしいのではないかとと思うほど本当に僕は怖いのです。

こちらではあまりありませんが、東京に住んでいたころは、よく横断歩道の代わりに陸橋があって陸橋を渡らないと行けない所があるのですが、その陸橋の幅も向こうから人が来ると避けなければいけない狭い所で、あそこを渡ることが本当に怖い。この思いを共有していただける方がいれば嬉しいですが、高所恐怖症だということで1つあります。

ただジェットコースターは大好きです。あれは自分がそこへ行っているわけではなく、勝手に機械が動いて

くれるからです。例えば自分がホテルの高層階の窓辺から下を見るなどはあり得ない。そこがちょっと嫌だということが1つ目です。

2つ目は、本当かと思われるかもしれませんが、いわゆるゾンビです。ゾンビ映画は最近ではよく出ていますし、Netflixでもゾンビが出てくるようなドラマが流行っていたりしていますが、ゾンビ映画を見てちょっとしたトラウマになった。

少々篠原さんの話と似ているかもしれませんが、2007年に公開された映画で、ウィル・スミスが主演をしていた『アイ・アム・レジェンド』という映画がありました。当時釧路のイオンシネマで、確か妻だったと思いますが観に行っただけです。

どのような映画だったかという、時代設計は2012年でした。世界の人類がウイルスに冒されてほぼ絶滅している。唯一、ニューヨークで生き残った1人がウィル・スミス主演のその人だということで、どのように生き抜くかということです。では、ウイルスに罹った人類はどうなっていたのかという、汚染されてしまっただけで太陽光を浴びられない、太陽の光を浴びたらすぐ死んでしまうような、退化したのか進化したのかよく分かりませんが、太陽の光を浴びると死んでしまうから暗い所にしかいない。

そうやって人類の一部が汚染されてゾンビ化したものを「ダークシンカー」という言い方をしていたのですが、その映画の中でウィル・スミスがダークシンカーに襲われる場面があります。それがものすごく怖くて。それ自体はそのような映画もいろいろあるから良いのですが、その映画も「怖かったね」「面白かったね」という感想を言っていましたけれども、問題はそこから2〜3週間後でした。

ある夜に、自分の夢でダークシンカーが出てきました。ダークシンカーに襲われる夢を見て、僕は「ギョッ」として大声を上げているのですが全く声が出ない。これはいわゆる金縛り状態に初めてあったのがその時でした。それでも本当に怖かったから、頑張って大声で「ギャー」と叫んでいるつもりですが、ただ口がパクパク空いている状態だったのですが、それでもさらに力を振り絞った時に、ふと金縛りが解けたのです。解けてしまった方が良いのですが、そのままの勢いで「ギャー」と叫んでいて、夜中に自分の声にびっくりして飛び上がって起きたのです。冷や汗をかいて。一番びっくりしていたのは隣に寝ていた妻だったと思いますが、それが一度だけではないことが怖いのです。しばらくしてまたどこかの時点で、また同じような夢を見て金縛りにあって、声が出ないという体験をしたので、ゾンビ映画を観たりすると、そのトラウマがまた襲ってくる。それが怖いということ、いわゆるゾンビで怖いという意味になります。

3つ目は体験談です。若気の至りだったのだろう。

それが言ってみれば怖いと思う話です。30年前の話です。私が高校生のころ。

高校生のころは父親の転勤でアメリカに住んでいました。アメリカのカリフォルニア州は当時16歳で車の免許を取得することができましたので、私も生意気にも車の免許を取って、生意気にも少々スピードが出る車に乗っていた時の話です。

アメリカに住んでいたのも、とにかく人から「何があっても謝るな。アムソーリーを絶対に言うな」と叩き付けられていた時の話です。

ある国道を二車線で走っていた時に、僕の横の車が信号待ちをしていた時に、パッと見るとアジア系の僕と同じくらいの高校生がかわいい彼女を隣に乗せていました。腹立つなと思いながら、しかも車がトヨタのスポーツカーだと思えますが、僕の車より明らかに速いですが、生意気だと思いながら、腹立つなと思いながら、信号が青になった瞬間に彼の車がスッと行ったので「ふざけるな」ということで追い越して、抜きつ・抜かれつのレースをしました。そうすると直線道路だから信号が赤になって結局停まってしまうわけで、パッと隣を見ると向こうもこちらを意識して何か「グダ、グダ」文句を言っていることは分かってきます。でも窓は閉めていたし、放っておこうと思っていましたが、まだグチャグチャ言ってきたので止めれば良かったのですが、私は彼に対して指であるジェスチャーを示しました。そうしたら車から降りてくることを察したのですが、降りるばかりではなくて、トランクまで行ってトランクを開けてバットを取り出して襲いかかろうとしてきました。

さすがに横に彼女もいるのだからそのようなことはしないだろうと思っていましたが、すごい表情で迫ってきたので「絶対にアムソーリーと言うな」と言われていましたが、これは仕方ないと思って、窓を開けて「アムソーリー」と言ってスッと逃げた、ということがまず1回目の事件です。

だけれど私も若いので「喉元過ぎれば熱さを忘れる」ということわざがあると思いますが、それからまた3カ月から半年後だったと思います。また同じように国道を走っていました。

そうすると隣に中古の車、単なるゼダンだったと思います。こちらも調子に乗ってスピードを出していましたが、それでも付いて来ました。すぐに前へ出るから「なに」と思ってこちらもスッと出たら、また付いて来て「なんだ、このおっさん」と思って横を見たら典型的なアメリカ人で中年だったと思います。変なおっさんがいるなと思って、それでもいいやと思ってさらに抜かして行ったら、やっぱり直線道路なので信号待ちで停まってしまうのです。私はその交差点で左折をしようと思ったから左端の左折専用レーンで停まっていた。そのアメリカ人は1つ車線をおいて右側の車線

で直進をしようと停まっていたと思います。そこで私がチラッと見たら、またこちらを見ているのです。全然、言ってもいないですけども「このアジア人、なんなのだ」と言っているように私は感じたわけです。私も止めればいいのに、また先ほどのジェスチャーをしたわけです。そうしたらモゾモゾしているなと思ったら、後部座席から取り出してきた物がライフル銃でした。おもちゃのライフル銃は見たことがないし本物ではないか。ここはアメリカだよな。アメリカでは銃はOKなはずだから、これは本気だ。ライフルをこちらへ向けて撃ってはいないと思いますけれども、向けたのでこれは本当にヤバイ、自分は死んでしまう

と思ってあまり記憶はありませんけれど赤信号でしたが、信号無視をしてすぐに左折してそのまま猛ダッシュで逃げて何とか逃げ切ったというお話です。これが、「若気の至りは怖い」という私の経験談が3つ目ということです。このような話ですみません。以上です。

2022.2.24 (木)
第27回例会
(通算3654回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副会長 浅川 正紳
幹事 市橋 多佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2021-2022年度
国際ロータリーテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022年度
RI会長 シェカール・メータ
第2500地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイ RC)

月間テーマ	平和と紛争予防／紛争解決月間
本日のプログラム	釧路市長講話 「つながる まち・ひと・みらいひがし北海道の拠点都市・釧路」(担当：プログラム委員会)
次週例会	会員卓話「元町おてら食堂をはじめとする地域活動」(担当：プログラム委員会)

- ロータリーソング：それでこそロータリー
- ソングリーダー：廣部 雅資君
- 会員数 103名
- ビジター なし
- ゲスト 釧路市長 蝦名 大也様

会長の時間 杉村 莊平会長



皆さん、こんにちは。残念でございますが、まん延防止期間が延長になりましたので引き続き、期間中は夜例会を中止させていただきたいと思っております。3月31日に夜例会再開日を指して準備していきたく思っております。なかなかコロナから離陸しての安定飛行が続かないところでございます。こういう時だからこそ、しっかり気持ちを切らさず、こうやって皆さんにお会いできる例会をしっかりと続けて重ねていきたく思っております。何とかご理解・ご協力をよろしくお願ひしたいと思います。このコロナに関しまして、前の会合つづりを見てもありましたら、ちょうど天方年度の2月27日当時の例会の後から、コロナによる例会休止が始まっております。そう考えるとロータリー活動がコロナの影響下に入って丸2年という節目になります。改めてこんなに長くなるとは思っていませんでしたが、これまで多くのものが犠牲になったことを考えますと、いま市長ともお話ししていましたが、もうそろそろコロナに関する考え方を進化・成熟させていって、このコロナに対する対応策も次の新たなステージにしていかなきゃならないのかなと個人的には思っているところでござい

ます。コロナの話が続けたいと思います。このコロナに関してロータリーが影響を受けたということで前に1回お話ししましたが、この1年ぐらいい入会された方々が、そもそもロータリーで夜例会を経験したことがない。ロータリーでお酒を飲んだことがないということになってしまったお話をしたことがあると思っております。考えてみますと、もうひとつロータリーが影響を受けていることがあります。この2年以内にロータリーに入った方は例会の食事中に、回るテーブルを経験していないことに思い当たりました。多分、もうそろそろ、まあまあの数になってきているんじゃないかなと思っております。そう考えると、懐かしい感じがしますが釧路クラブの例会は回るテーブルにお櫃に入ったご飯と何品かのおかずが乗ってしまっていて、声をかけながらテーブルの人数を確認しながら絶妙に取り分けをして、上手く余らないようになるのですね。なおかつ、食後もこのテーブルにいる若手が率先して(圧力じゃないですよ)コーヒーを入れて、皆さんにお配りするという素晴らしい社会学習システムが機能していたわけでございます。如何せん、これが最近できていないことに気付きました。そう考えると青田パスト会長が当時の青田会長年度のご挨拶の時にこんな話をしていました。「他のクラブにお邪魔すると、結構黙々と食事をしてるんだ」と。釧路クラブはテーブルが回る仕組みが

機能しているおかげで、この食べ物以外にもテーブルの中で何か温かいものが伝わっていくのではないだろうか。だからこそ釧路クラブは例会中に穏やかな談笑ができていないか。釧路クラブは食事をしながらロータリー精神を培っている素晴らしいクラブなのだ。というお話を会長の時にされていました。全くそのとおりだなと思っておりまして、当面の目標として、回るテーブルを何とか今年度中に杉村年度に復活させて釧路クラブで何十年続いた歴史が分かりませんが、早くその文化を復活させたいなと思っております。

本日はこのコロナの影響を全く感じさせず、蝦名市長が来ていただいております。本当にお忙しいところありがとうございます。

蝦名市長と私は青年会議所で平成9年入会同期でございます。お知り合いになって25年になります。私が見ている限り、25年間市議・道議・市長と本当に釧路のために休みなく25年間働き続けてこられた方だと思っています。

釧路クラブも今年度は地域を育むというテーマを掲げておりまして、この釧路市に本当に待たないのいろいろな課題を持っている所だと思っております。市長におかれましては、長年この釧路の課題に向き合っていた中で、本日は忌憚のなくその辺のこともお話しただいて、有意義な時間にしたと思いますので、改めて、本日よりよろしくお願いいたします。

それでは、本日の例会よりよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

幹事報告 市橋多佳丞幹事

皆さま、こんにちは。例会の幹事報告をさせていただきます。皆さま方にお配りしております例会案内ですが、他クラブの例会につきま



しては3月の釧路東さん、ベイさん、北さんのプログラムが事務局への配信が間に合わなくて記載できませんでした。最新のお話では、東・ベイ・北さんともすべて例会を通常通り開催されるとお聞きしております。プログラム等お知りになりたい方いらっしゃいましたら、私にお声がけいただければと思います。

また、3月の例会プログラムは本日、皆さまに配信をさせていただく予定となっております。先ほど、杉村会長からもご挨拶ありましたが、コロナのまん延防止と重点措置の進み具合・解除具合によっては、また多少プログラムの変更等々せざるを得ない場合もあるかと思っております。現状でのご案内をさせていただきますのでご一読をよろしくお願いいたします。以上

でございます。

■本日のプログラム■

市長講話「つながるまち・ひと・みらいひがし北海道の拠点都市・釧路」

蝦名 大也 釧路市長



皆様こんにちは。そしてまた、本日は誠にありがとうございます。釧路ロータリークラブの例会の中で、お話をさせていただく機会をいた

だきましたことに、改めて感謝を申し上げる次第であります。そして今、杉村会長から大変温かいご紹介をいただき、本当に感謝に堪えないところであります。用意しておりますのは予算の関係なのですが、忌憚のない話しということでもありますので、資料以外の違う話もしながら、新年度のポイントになるところをお話できればと思っている次第であります。

現在のコロナの状況は、3月6日までまん延防止が続いておりますが、何とかこれを最後にすべく、釧路市全体で取り組んでいかなければならないと思っております。私は、空気ができ上がった時に、中々違うこと言いつらい環境になってしまっていて、どうしても自粛という空気が多くなってきた時に、それ以外のことを言う「それはおかしいのではないか」というように言われる流れというのは非常に恐ろしいものだと思っております。

例えば、今、オミクロン株が主流となる中、テレビでは「重症化率は減っている」と報じるとともに、死者も増えていると報じています。重症化率が減って死者が増えるというのはおかしい話なのです。本来であれば、それはなぜかを説明しなくてははいけません。重症化率が上がって死者が増えるのが一般的であって、重症化率が下がっているのに死者が増えているということは、「突然、容態が急変するケースがたくさんあるのか」となりますが、こういった説明はテレビなどでは一切してくれないのです。

言い方を変えると、亡くなった方を検査した結果、「新型コロナウイルスで亡くなった」という情報がない限り、言葉として成り立たない話になります。そういった意味で実態が公表され、それをしっかり皆で議論するべきだろうと。私は、以前から3次医療圏ごとの重症者数等の詳細な数字を公表するようお話をしています。しかし、個人情報ということで、公表されておりません。ここまできたら、そのような話ではないだろうと思っております。

もう一つ、先日の新聞にこういった記事がありました。「原油の高騰」という中で、当初は「石油元売り会社への補助金で対応」とされていたところ、国会の議論

も踏まえて、トリガー条項を発動させてガソリン税を約25円下げること視野に入れた検討について、国会で触れられたというものです。

このことについて、昨日の日本経済新聞では、トリガー条項を発動すると地方自治体の収入が減ると報じられました。ガソリン税は国税の揮発油税と地方揮発油税の2つに分かれており、軽油引取税は地方税で都道府



県に入る仕組みになっています。トリガー条項はこれらにかかっており、地方の収入が5,000億円ぐら減るとされているため、発動には、地方自治体が皆、反対するだろうという記事が出ておりました。

トリガー条項発動による影響額は1兆5,000億円程度となっており、そのうち3分の1が地方に入る仕組みとなっています。このうち地方揮発油税は全国で300億円程度、釧路市では2,000万円程度となっており、軽油引取税は5,000億円程度、都道府県に入る仕組みになっています。

地方よりも国の方が減収になる実態があるにもかかわらず、報道機関が「地方に影響が及ぶのでトリガー条項の解除ではなく、国が補助金を5,000億円出せばいいのではないか」、「地方と相談しながら、痛み分けしましょう」という論調をつくっているように、私は感じたのです。今、地方が大変だという時にこういうロジックですよ。

地方交付税につきましては、私が自民党の道議会議員であった当時、小泉首相が「みんなで我慢していこう」と三位一体の改革を行ったところであり、あの時の論点はこういうことなのです。それまで地方交付税は、大体1年間で2兆円ぐらのお金の規模の中でやっています。ところが、地方交付税の財源については、例えば、所得税、法人税、酒税が何%と決まっております、それが大体1兆5千億円なのです。

原資が1兆5千億円にもかかわらず、地方に配っているお金が2兆2千億円となっており、7兆円合わない。だからこれを俗にいうプライマリーバランスみたいなものですが、合わせるのが目的で合わせないとおかしいというロジックだったのです。

財源は1兆5千億円で、今は2兆2千億円使っている。これは出す側の理屈としては一見正しい。しかし、国全体を考えた時に、地方自治体というのは積み重ねて現場で様々なことを行って、そこでトータル2兆2千億円が必要なのです。自治体が積み重ねてきたことを抜きにして、1兆5千億円に合わせていきましょうという論点は絶対おかしいと、道議会の中から、当時は青年局長でしたから色々と言ってまいりました。最終的には、地

方の力が及ばない状況の中で、引き下げられました。そういったものが非常に多い。

ですから、今回のトリガー条項発動については、「今、原油が100ドルを超えた」という状況の中、しっかり頑張ってくださいのために一番簡単にできることは税金を下げることで。であれば、1兆5,000億円といっても1兆円は国に入る仕組みとなる中、5,000億円補助を出せば燃油価格が下がるのだから、それを「地方と相談しながら、痛み分け与えましょう」というロジックが報道によってつくられるのは、私はどうなのかなという思いをしながら、見ておりました。ですから私は、正しい情報を少なくとも釧路市内の情報についてはごまかさず、適切に全部出して行って、そして全体の中で考えられる環境を作っていくことが望ましいと思っています。

例えば、「我慢は美德」は間違いなくそうだと思います。このことに関し、歴史学者の加藤陽子さんの本を読んで、私が一番印象に残っている戦争についての話があります。第二次世界大戦の際のドイツ軍と日本軍について、どれだけカロリーを接種していたか比較対照された文章がありました。すると、日本は当たり前のように物がありませんから、どんどん接種カロリーが低下した一方、ドイツを含めて海外の軍人は、カロリー消費が上昇したのです。確かに、昔日本も「腹が減っては、戦は出来ぬ」ということで、「色々やるのだから食べよう」というようになった。それが、どんどん「我慢していくことが美德だ」という方向に進んでいった。「武士は食わねど高楊枝」ということわざもありますけど、それはもうちょっと違う意識の美意識だと思っておりますが、段々と「みんなで我慢することが正しいよね」という風潮になってきて、その結果、摂取カロリーが下がっていったということ、加藤さんの本を読んだ時に思ったところがあります。

コロナ禍により、経済は大きな打撃を受けました。例えば、あるお店で100万円の収入で運転していたものが、コロナ禍で収入が50万円に半減したのでお金を借りました。無利息ですからね。それを返すためには、収入が100万円に戻るだけではなく、100万円以上にならなければ返済できません。であれば、そういった状況を迎える前に借金の返済が始まるのか。そんな馬鹿なことはないだろうということ、色々な場面で声を上げて、しっかりやっていかなければならないと考えております。

このことは、我々の市政についても同じであります。様々なご意見をいただきたいと思っております。ただ、私たちの場合は力の限度がありますので、どういったことができるかということはありません。しかし、課題については徹底的に検討を進めていきたいと思っております。それでは、用意した資料に入っていきます。最初のページは新年度の予算規模について、その次の

ページは公共事業の状況、そして、3ページ目は、これから経済を立て直していくための各種事業について記載されております。令和4年度予算の記者発表の際に、記者の方から「子育てを重視する」のは、初めてではないかと言われました。私が子育てと言ったことに違和感を持ったようで、これは失礼だなと思ったのですが、私は「子育てが重要であることに違いはないが、子育て環境を整備することでは、人口減少社会には対応できない」という言い方をしているのです。「人口減少社会に対応するためには、経済・企業活動の活性化が必要である」というお話です。そして、「経済活動・暮らしを充実させていくために、しっかりと子育て環境の整備に取り組んでいく」という考えのもと、各種施策を進めているところであります。例えば、他地域から人を確保するのにも、働く所は良いが、子育て環境や教育環境が悪ければ、子どもや家族を連れて来ません。

あわせて、人口減少社会の原因である少子化の問題です。合計特殊出生率、「一人の女性が一生の間に子どもを何人産むか」という数値が1.4台だと思います。現状の人口を維持するためには2.07という数字が必要ですが、まち・ひと・しごと創生総合戦略では、世界の上手くいっているフランスの1.8を目指しているところですよ。

もう一つ、結婚した人の出生率という指標があって、これは絶対に新聞は書かないのですが、これは、ほぼ2人となっております。そして、その中で婚姻率が下がってきているのです。どうして下がっているのか、相手の問題など色々あります。しかし、経済的に先々の展望が開けないがために、結婚に踏み切れない事例もたくさんあります。このため、将来の展望を持つことができる環境を作っていくことが望ましいということなのです。

ですから私は、この地域の中で所得が確保できるよう経済の活性化を図る必要があります、そのために子育て環境を充実させていくという言い方をしています。

こういったお話をする場面がないところですが、実は一つひとつにこういった意味・意義・思いを込めながら、この予算編成等々を行っているところであります。次のページはPRを含めてお話しします。デジタル・トランスフォーメーションの推進につきましては、釧路市の情報をLINEで発信ということで、釧路市ホームページにQRコードが掲載されておりますので、是非ご登録いただきたいと思っております。

こちらの取組は、子育てに関する情報が市民の皆さんにしっかり伝わっていないという中で、LINEの活用によるプッシュ型の情報発信を行っていくということからスタートし、去年から取組を進め、完成できたところですよ。今後、防災やコロナの情報なども発信するなど、少しずつ充実させていきたいと思っております。

今朝の段階で、まだ4,000人台の登録者数となっており、市役所内でも「月末までに職員全員登録を」ということで進めておりますことから、ぜひ皆さんもご登録いただき、使いづらいですとか、こういう情報が欲しいなど、ご意見をいただきながら、バージョンアップさせていきたいと思っております。

その他の個別の部分については様々ありますが、その中でもこれから大きな議論になってくるであろう「鉄道高架を含めた釧路駅周辺のまちづくり」の考え方についてお話しします。

このまちづくり計画のポイントをすごく乱暴な言い方をしますと、「車社会からの脱却」という考え方がベースにございまして、車社会が地方の疲弊を加速したという立ち位置から始まっているものであります。「車社会の世の中で、何を言っているんだ」と言われるかもしれません。

しかし、今まで歩んできた歴史を振り返った時に、車中心で物事を進めていって、その結果どうなってきたのかという考えから、この議論がスタートしております。昔は釧路の北大通はもっと狭かったのです。しかし、物流・経済も含めてでありますけれど、そこを車が通行しやすくしていきましょと道路を拡大していったのです。併せて、昔は住むところと働くところが一緒だったものを、そこに都市計画の中で職・住分離という考え方のもと、郊外に良好な住環境を作り、住むところと働くところを分離していった。そうするとどうなるか。まちの中からは住む人がどんどんいなくなり、小学校の中で一番大きかった旭小学校がなくなってしまったのです。

世界に目を向けてみると、自分が行ったことがないのですが、特にヨーロッパに行くと、通過型の交通をまちの中に入れないまちづくり・都市計画が成り立っています。ある意味、人がたくさんいるところは通行しづらい、交差点も車道に段差が設けられており、スピードを落とさなければならぬようになっています。このような観点を駅・北大通の900m、リバーサイドのエリアに取り入れて通過型の車を排除していく、もちろんこのエリア内を目的地とする車は排除しません。通過型を排除し、駅・北大通に賑わいをつくっていくという考え方で行っているのが、この釧路駅周辺の計画であります。

この背景については、もう1点あります。私も様々な会社を企業誘致の営業活動で回ってまいりまして、その時に北大通の図面を持って行ったり、空きビルの情報を持って行ったりして、ぜひこういう所に進出してほしいと説明に行きました。市長という立場をいただいておりますので、初めて行った所でも社長などのクラスの方がみんなお会いしてくれます。営業する時にトップとお話しできるのは、大変ありがたいことでもあります。

そして、営業して回った結果、釧路市に来てはくれるのだけれど、北大通・中心地は絶対選ばれないのです。全部、全敗しました。どうしてなのだろうと。皆さんそうだと思いますが、会社が出店する時には判断の基準がありますよね。将来展望や見込み、1日当たりどれだけの人がそこを歩いているか、歩いているかですよ。

例えば、1日当たり4,000人か4,500人、これぐらいの人が通っている所だったら出店ができるよねという基準です。とある会社を訪問した時に、「私も平日、頻繁に行きますよ」と言ったら、先方は「平日はそうですが、土日は人がいませんよね」と言われまして、ここで北大通・中心地は基準に該当しないのです。逆に考えれば、平日も土日もこの中心地に人がいたら、敢えてこちらから誘致しなくていいのかなど。思い上がった考えではなく、ビジネスの環境を作れば、間違いなく様々な企業が自らの判断で「ここに来よう」となるという意味合いでのお話です。

また、全市的な施設を中心地に持ってくる。今までの釧路の都市計画では、まちが拡大していく中で、各施設を川に分断された3つの地域それぞれに作って、それぞれの地域を充実させていきましょう。若しくは、こちらの地域にこの施設を作ったから今度はこちらの地域にというように、バランスを取るような感覚の中でまちづくりを進めてまいりましたが、全市的に使う施設は全てまちの中心地に設置する。例えば、市民文化会館であるとか、既に実施した例で言えば図書館を持ってきました。今度は、子育て環境の充実という観点から、MOO5階の多目的アリーナに乳幼児の遊び場を作って、これも次なる展開もあるのですが、アベレージ的に4,500人なのか5,000人という人の流れをこのまちの中に作る事ができれば、色々な企業がビジネスチャンスとして捉えて来るのだろうと考えております。何を中心地に誘致してくれば人が集まるのかという今までの考え方ではなく、人がいる環境を作った時に企業が中心地に進出してくるという考え方です。ですから、そのために北大通の歩道をぐっと広げ、車道を狭くするというように、土台となる社会基盤を整備して賑わいの創出につなげていく。車が少なくなれば、交通事故の観点からも子どもを連れて来やすくなります。

例えば、富山市ではライトレールを道路の真ん中に作りました。この事業をスタートした当時の森市長は、公共交通のことで色々取り組まれていた方です。富山市の事例におきましても、やはり道路を狭くするのがベストだったと考えます。公共交通を守る上で、道路を狭くして車を排除することによって物事がうまく進んでいます。こういったことをしっかりと進めていくということなのです。

中心市街地の活性化に関する法律が施行されたのは平

成10年。実はその前から中心地の活性化に取り組んできているのです。平成10年から24、25年。しかしながら、20年も30年もやって成功していないことは、そもそもやり方が間違っているのではないかと、根本を考えた方が良いのではないかとという視点に立った上で、さっき言ったようなビジネスの環境などについて、しっかりと説明をしていく必要があると考えています。今までの都市計画が間違っていたとは言いません。その時には適切であったものが、現在の状況にどう影響しているのかを検証しながら進めていった時に、車社会が地方の中心地の疲弊をどんどん加速したのではないかと。だから車を賢く使っていきながら、このまちの中で賑わいをつくる。そのためには、市民の皆さんに中心地に来ていただくしかありません。市民の皆さんが来てくれた時に、初めてその環境ができてくるわけでありますので、この達成に向けて計画・プランニングしていることをご理解いただければありがたいと思います。

北大通と共栄新橋大通の接続がL型であるとか、様々なご意見があります。しかしながら、根本的・基本的な考え方のところをご理解いただき、こういった中で可能性が出てきた時、世の中の見方などが変わってくるのだろうと思っております、これをしっかりと成し得ていきたいと考えているところであります。

釧路駅周辺の整備については、令和5年に計画をまとめて、令和6年に国からの承認をもらうよう進めているところでございます。

こういった趣旨で進めてまいりたいと考えておりますことから、釧路の経済をお支えいただくとともに、地域に対する温かい心を持ちながら様々な取組を進めていただいております釧路ロータリークラブの皆様方に、ご理解とご協力を心からお願い申し上げまして、私からの新年度予算のポイントを含めたお話とさせていただきます。

ありがとうございました。

2022.3.3 (木)
第28回例会
(通算3655回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副会長 浅川 正紳
幹事 市橋 多佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町5-3 ミツ輪ビル2F
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2021-2022年度
国際ロータリーテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022年度
RI会長 シェカール・メータ
第2500地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイRC)

月間テーマ	水と衛生月間
本日のプログラム	会員卓話「元町おてら食堂をはじめとする地域活動」(担当：プログラム委員会)
次週例会	RIの現状について(担当：理事会)

- ロータリーソング：君が代、奉仕の理想
- ソングリーダー：佐藤 貴之君
- 会員数 103名
- ビジター なし
- ゲスト なし

会長の時間 杉村 莊平会長



皆さん、こんにちは。お食事の方はお続けください。3月に入りまして、多少暖かくなってきたと思っておりますが、まん延防止期間が残念ながら延長になってしまいました。そうはいつでも4月には、気持ち良く暖かい春を迎えられることを信じて引き続き前を向いてしっかりやっていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

また、長くは述べませんが、ロシアによるウクライナ侵略については大変な事態になっていると思っておりますが、世界平和を希求するロータリーとして、またひとりの人間としても、この事態が速やかに終息することを強く願いたいと思っております。ご理解いただければと思います。

本日は、3月3日ということで、桃の節句でございます。本日であれば、この話を話題とするところがありますが、この話はスルーいたしまして、3月7日が「サウナの日」と見つけました。少し無理がありますが、サウナの話題をしたいと思っております。

昔は、サウナと言えはちょっと怖いおじさんがいらっやあって、なかなか行きづらい雰囲気があったと

思いますが、最近は若い人中心に『とどのう』というキャッチフレーズの下に大変なサウナブームになっております。我が家もちょうどそのくらいの息子がいて、息子の影響があり、ここ1～2年、釧路近郊のサウナを少し開拓させていただいておりました。

皆さん行ったことがあるかもしれませんが、塘路の駅前に『THE GEEK (ぞぎーく)』というゲストハウスを兼ねたサウナがありまして、釧路湿原をドーンと目の前に眺めながら休む場所もあり、サウナと水風呂を楽しめる場所があります。

経営しているのが東京の上場会社を辞めて行っている達川さん、まだ30歳ぐらいの若い方です。人と人が集まる場所を作りたいとして、この場所にたどり着いたというお話です。

僕は昨年12月ぐらいに行きましたけれども、その時も大阪から来た5人組の大学生と静岡から来たおじさま1人が一緒になりまして、それはそれで、このサウナに感動をして「本当に素晴らしい」とお話をしていました。その後、達川さんと少しお話をしましたが、「まだ開業をして1年と少しですが、少しずつこの地域にも慣れてきて交流も増えてきた。弟子屈のまちおこし協力隊の川上さん(先日こちらの例会にも来ていただきました、例のUHBを辞めて来られた方です)なども交流があって、地域活性化のアイデアを出し合いながら一生懸命頑張っています」という話をしておりました。

そうこうしているうちに新聞を見ていますと、今度は鶴居の小学校の跡に、これも「本州から来た方がクラフト工場を立ち上げる」という記事も拝見しました。厚岸のウィスキーから釧路・根室の地酒とコラボしながら行っていくと素晴らしい観光資源になるのではないかと考えております。

以前も話をしましたが、このような地域活性化の種を大きく育てられるかどうかは、われわれ地域住民の温度の高さ・民度になってくるかと思いますが、また、無理くりですが本日の藤井さんの『元町青年団』の活動とはこの地域の民度から生まれたものと思っておりますので、われわれもこの活動をもっと応援していく、温度を高めていきたいと思っております。

元町青年団ということで、この「元町」という名前はご存じのとおり釧路地域には元町という地名はありませんが、釧路地域発祥の地を総称して元町という名前を付けたと聞いております。

この元町という存在しない地名つながりで、最後にひとつウンチクをご紹介します。終わりにしたいと思います。

実はトヨタ自動車発祥の地が愛知県の豊田市になります。この豊田市に昔からあるトヨタの主力工場がありまして、これが『元町工場』と言います。豊田市に元町という名前がないのになぜ元町工場か、ですが、これが「いい話」でして「もと・まち」でしょ。『元町工場』なのです。トヨタの創業者が「いくらトヨタが大きくなってでも町工場だった時の精神を忘れるな」という意味で主力工場に元町工場という名前を付けたということです。

また、無理くりですが、元町青年団の活動も釧路の歴史をしっかりと受け継いで、引き継いで行こうという思いから生まれたものだと思いますので、少しニュアンスが違うかもしれませんが、このトヨタの思いと共通の思いがあるのではないかとと思っております。今日の話の締めさせていただきます。本日の話を楽しみにしております。どうぞよろしくお願いいたします。

幹事報告 市橋多佳丞幹事



皆さま、こんにちは。幹事報告をさせていただきます。他クラブの例会につきましては、お手元の例会案内をご一読ください。東クラブ、ベイクラブの「せいせい」の「せい」の文字が間違っておりました。生きるという文字ですので訂正をお願いいたします。

また、3月のロータリーレートは、1ドル116円

となっております。

昨日、事務局より会員の皆さまへ案内をさせていただきました「迷惑メールが非常に横行している」という問題です。会員の中にも「何件か来た」という方がいらっしゃると思います。非常に悪質な内容、化けることがうまい、地区のガバナー事務所の名前を語って添付ファイルを開かせる内容になっているものがあります。とても近い、少し勘違いをしやすい内容になっていきますので、ぜひ皆さま、パソコンでメールを受信した際には、メール自体を見ただけでは感染はしないと聞いておりますので、送信者をだけではなく、添付ファイルを開かれる前には内容、文面等をしっかりと確認をした上で、ご自身で安全を見守っていただければと思っております。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

■本日のプログラム■ 「元町おてら食堂をはじめとする地域活動」

大成寺副住職 藤井 敬亮君



ご紹介に与りました大成寺の藤井敬亮でございます。持ち時間が25分の中でどこまでお伝えできるか分かりませんが、先ほど会長からお話があったよ

うに『元町青年団』、その活動の一環で、青年団の活動ではありませんけれどもいろいろ関連してございます。そのようなところをご紹介します。深い話をすると時間が足りないので、本当にこの場ではご紹介という感じになるかと思っておりますけれどもお付き合いください。『元町おてら食堂をはじめとする地域活動』ということでございます。

私がこのようなことをいま行っています。具体的に5つありまして、『元町青年団活動』『元町おてら食堂』『釧路元町てらこや』『元町講座』、そして『くしろフットパスを広め隊』と、このような団体活動を行っております。

先ほど、ご紹介があった「元町青年団活動」は2015年から始めていますけれども創立以来、関わっています。でも、私は青年という立場ではありません。中心で動いていらっしゃる方は30代前半の方です。私としては、少し渋い意見を言ったり、「頑張ってそれをやってみたらいいじゃない」というような立場で、極力協力をする立場で、この青年団の活動に携わらせていただいております。

『元町おてら食堂』が本日の主題ですが、これは、私が言い出しっぺで始めました。この元町青年団で知

り合った方と組んで行いましたけれども、これが足かけ6年続いています。

「元町てらこや」も閉園した明照幼稚園、前の藤井正信がこの会員でしたけれども、閉園をした明照幼稚園を2019年から活用して子どもたちを集めて毎週土曜日に開催をしております。

「元町講座」、これは元町青年団から派生したイベント、講座です。

「くしろフットパスを広め隊」、これも元町青年団発足時から釧路公立大の学生さんや教授と共同で「フットパスをやろう」と進めてきた事業です。

これが、いわゆる元町です。元町という地名はありませんけれども、強引に元町という名前を付けさせていただきました。この左下に米町・寺町という所がございます。そこをアップすると、赤丸で囲んだ所、もう分かると思いますけれどもお寺と神社。下の方に4つ重なっていますが、下から「西端寺」さん、そして「定光寺」さん、そして「大成寺」、ウチです。そして日蓮宗「法華寺」さん、その上は「巖島神社」。向かいの方には菅原さんの「本行寺」さんと「聞名寺」さんがあります。これがだいたい元町青年団というか、私が活動している足元、地域となりましょうか。

さらにアップします。これが大成寺の航空写真です。下の方に赤い屋根、園庭があります。そこが、明照幼稚園があった所。とても広い園庭です。この園庭では毎年、夏になると町内会の盆踊りなどの催しは何十年も前からここで開催されておりました。その幼稚園の園庭の上の方に寺があり、本堂と左側に3階建ての納骨堂がございます。この1階が広い会館になっております。そこでは昔、葬儀などを行っておりましたけれども、いまは大手の葬儀会社の会館でとなり、ほとんど使うことがなくなりました。

場所もある、キッチンもある、すべて設備は整っているのになかなか利用されない。活用されないもどかしさがありました。明照幼稚園は64年続き、根付いておまして地域の人々に親しまれていたという自負があります。やっぱり寺があって、寺町であって、そこでみんな育まれて、そしていまのように大きな大社などに育っていったという歴史がある場所と思わせていただきました。

ここを活用しよう。やっぱりこの地域を活性化させるには、特色である寺が動かなければいけないだろう。そう思って始めた様々な活動でございます。

「元町おてら食堂」です。2017年9月に元町おてら食堂実行委員会を立ち上げる。隔月に1回、毎月ではありません。毎月だと辛くなります。持続可能なやり方で行っております。隔月に1回開催、現在16回活動。当初、「大成寺」「釧路市社会福祉協議会」「釧路市包括支援センター」「釧路市生活相談センターくらしごと」の4団体で立ち上げました。後に、このよ

うなことを行うけれども協力をいただけるかと、「まちおこし」さんにもお話をしてお待ちしておりました。「本行寺」さん、そして「元町青年団」があと付けで参加をされて、いまは仲良く活動をさせていただいております。調理スタッフはすべてボランティア、現在20名ほど登録をされていて、ボランティアと言っても昔から地域にいるおばちゃん方です。僕の小さいころも知っているような同級生のお母さんなどが集まって、キッチンスタッフとして参加してくださっております。その他、「道警学生ボランティア」、北海道警察の方でもご理解ご協力をいただきまして学生ボランティアを連れてきてくれます。檀家や地元企業からの食材等の提供なども度々ございました。小規模なフリーマーケットのコーナーなどを設置して賑やかに行っていたところです。

会場を他の寺院に代え、寺町全体の活性化を目指してできればいいなということです。そのような活動が大まかな概要です。

これは、第1回目の食堂が終わった時に、私個人のSNSで投稿した文章です。自分でもうまくまとまったと思いながら書きましたので、ここで紹介をさせていただきます。

過疎地域での多世代地域交流を目的に初の『おてら食堂』が開店しました。開店直前からたくさんのお客様。用意したメニューは、あっという間に売り切れ、80食以上は出たようです。閉店予定の14時まで持ちませんでした。古い写真や遊びコーナーも好評でした。大成寺の宣伝イベントではなく、月に1回くらいの地域の居間として福祉情報・地域情報の発信の場を目指します。近隣のお寺の会場を借りて共同開催ができればいいなとも思います。将来の夢ですが、ということです。まだこの時は広がっていませんでした。大成寺の過疎地域の悩みである独居・高齢者の引きこもり・若年層の貧困・単身者の会話不足などは、地域住民の定期的な顔合わせによる情報交流によって多くの問題の解決の糸口となるのではないのでしょうか。包括センターさん・社協さん・くらしごとさん・お檀家さま、皆さんの温かい慈悲のお気持ちで初回が大成功となりました。ありがとうございました。改めてお礼とこれからのご協力をお願いしましてご報告いたします。ということでもあります。

この地域福祉に特化した団体が集まっております。包括センターさんは、お年寄りなどに詳しい方。社協さんは、福祉全体。くらしごとさんは経済困窮者の支援センターです。そのようなところから知恵や人脈をつないでいただき、協力をして行っていたいております。

簡単な目的としては、全体を包括すると地域活性化が目的。もうこれに尽きます。地域の公共資源としてお寺を活用していただけたらいいなということ。地域の

明るい話題として多世代交流の場づくり、居場所づくり、情報提供の場、を目的としております。

一番下に書いてありますけれども、このようにどこかで活動していることが、「自分が住んでいる地域で何かを行っている」と聞くだけでもその地域の人は、この地域は生きているなど感じると思います。そのように「生きている地域に住んでいる」という実感を持ってもらうということで、ささやかな活動ではありますけれども続けて行って行かせていただけたらなと思っております。

会議と進行、ふた月に1回ですから「開催日を始め」とすると、それから1週間以内に振り返りと次回内容、次々回の開催場所の決定。次の開催日の1週間ぐらい前には直前内容を確認・決定。在庫確認・買い出しリスト、前々日に買い出し、前日に仕込み、そして開催する。

この青い所だけが会議です。会議は2カ月に2回だけで、やっぱり、あまり力を入れ過ぎると。各団体は、これを業務として携わってくださっています。ボランティアとして私に協力をしてきているのではなく、各包括さん・社協さん・くらしごとさんは業務として担当を決めて、きちんと携わってくださっているのです。そのようなところを普通の業務に支障をきたさないように、肩の荷が軽い状態で続けられるように2カ月に2回の会議で収めております。

これがだいぶ昔の会議風景ですけど、すごく和やかな感じですね。奥の方に地域の人、おばちゃん・おじちゃん。そして手前の方は包括さんです。奥の右手はくらしごとさん。手前に社協さん。これがこれまで大なり小なり関わってくださったところですよ。

チラシはこのように感じて配らせていただいております。これも「おてら食堂実行委員会」として予算を付けて、チラシを配るのではなく、各団体事業者様が自分の中の責任で、自分のできる範囲で告知して、チラシを配ってくださっております。当日は、『お寺の大広間を地域の居間に』がコンセプトとして、元町おてら食堂は、来た方みんな交流をしながら楽しく食事ができる場です。運営は地域ボランティアで成り立っています。スタッフと参加者の境目はありませんので、みんなで一緒に楽しい場所をつくりましょう。このようなコンセプトで行っております。やっぱりその場にいるすべての方々参加者であり、事業者です。もう、食事を提供する側・される側というような境目はなくそう。みんなで和やかに行動するというコンセプトをつくらせていただきました。

これは告知先です。

このような過去のデータもあります。これが、第1回です。2017年9月24日、参加者96名。僕は、おてら食堂を始めるとき30名～40名集まれば良いかな。それが毎月でもできれば、いろいろなお寺ででき

て、みんなが和やかに過ごせるのではないかと考えていましたけれども、初回からいきなり96名集まりました。キャパの問題がありまして、皆さんにお願いをすることが心苦しくなりました、いまできるころは限られていますけれども、これが第1回目です。

第2回目、参加者74名。少々減ったなどお思いでしょうが、この時は釧路市内が「暴風雨警報」ということで、小中学校が臨時休校になりました。それくらい酷い雨風の日でした。前日までに仕込みをしていたので、「開店休業だね」ということで開店しました。フタを空けてみれば、もう雨風の中をびしょ濡れになりながら74名の方が集まってくださって、とてもありがたく感じました。

第3回、108名。この日は1月、お正月だったので子どもに餅をつかせて、会館のステージの上ではカルタを行いました。

第4回、106名です。これは3月8日、ひなまつりということで、ちらし寿司のようなメニューとパチンコの『夢屋』さんから賞味期限近くのお菓子を。何度か提供いただきましたね。そのお菓子を来た子どもたちに「おもちゃのお金でお買い物訓練をしてもらおう」と行って、左下の写真ですけども、子どもの相手をしております。

第5回、これは菅原さんの本行寺さんで行ったところですよ。参加者が爆発的に増え、240名です。これも右下でお買い物体験を行っています。左下では、あれがおもちゃのお金かな、子どもたちがみんな楽しんで遊んでおります。

第6回、これも本行寺さんです。参加者91名。この時あたりから「片隅で何かやらせてくれ」と。右上の写真、「大きい麻雀牌の麻雀をやろう」という人がいまして、やっていただきました。左上が、これは後に紹介しますが、「フットパス」という元町地域の街歩き団体、それを無理やりこのおてら食堂に合わせて開催し、街歩きを行った後にお昼をここで食べていただくというように、お寺をぞんぶんに活用していただきました。

第7回、273名です。ステージの上に卓球台を置いたり、このあたりからフリーマーケットを何軒か出すようになりました。ささやかな小物ですが。

第8回、これは西端寺さんです。この時もフリーマーケットの方々、そして子どもたちのお買い物体験。左下の写真の奥に子どもの居場所づくり「JUMPプラン」というものがありますけれども、これは北海道警察JUMP隊という学生ボランティアの方が来てくださって手伝っていただいております。

第9回、261名。これは大成寺です。これも1月だったので、餅つきをしてカルタ大会です。このあたりから、いろいろところで聞きつけた大学生が「手伝いたい」ということで集まってきまして、「どうぞ、子

ども担当でよろしくお願ひします」ということで子どもは大学生に任せたりしました。

第10回、これは道警さんで、子どもたちに警察のコスプレ衣装を着せて写真を撮ってあげるイベントを行いました。これは西端寺さんです。

これは、本行寺さん、228名。右下は「音別ふき露団」代表の伊藤まりさん。この時フキの即売会を行って、持ってきた分はすべて完売しました。

第12回、これは本行寺さんです。左下は道警マスコットキャラクターの『ほくとくん』が来てくれました、子どもの相手をしてくださいました。右上は、ほくとくんのぬりえです。

第13回、これは大成寺です。カレーを食べました。第14回、これも大成寺です。

第15回、217名。コロナ前の1月19日。この後、コロナ禍に突入します。釧路小にマスクキット300個を寄贈いたしました。

その2カ月後には、「おてら食堂を振り返る」ということで、各団体の広報チラシと、いままでどのようなことを行ったかのアンケートを書いたり、写真を添えて報告する、ということに登録していただいた方に送付させていただきました。

「居間で食事がありなら、居間で勉強もありだろう」と、元町おてら食堂ではなく、食堂の所に「×」を付けて講座として、郷土史家・佐藤宥紹先生や観光センターの木村さんや私が講師となって、『元町おてら講座』という講座を開かせていただきました。

「食事を提供することもやってみようか」ということで、昨年7月にテイクアウトでカレーをやってみました。でも、お寺の居間でくつろいでいただくことがコンセプトなので、食糧配給とは違う、ちょっとずれているね、ということでこのテイクアウトは1回で終わっております。

第16回、これが今年の1月9日。2組・入れ替え制で、50名50名の100名限定で、対策をして開催させていただきました。

過去のアンケートからこのようなアンケートがありました。下から3番目、「たくさんの方と一緒にご飯を食べることがあまりないので楽しかったです」、このように老人の方からいただくやって良かったと思ひます。

これが、おてら食堂に関する新聞記事です。この「子ども食堂、昨年の1.6倍に」と。これは昨年新聞記事ですけれども。道内は1.4倍の161カ所、その下に「孤立防止も担う」と書いてあります。

私の中では、この孤立防止、この地域交流が主目的で、子ども食堂が従です。やっぱり人が集まって何かをする所に子どもが集まる、そのようなことを元から主眼としておりました。いうならば、子ども食堂という扱いであれば、西洋医学のピンポイント手術のようなも

のです。この下の「孤立防止・地域の居場所提供」とは、東洋医学の全体療法のような感じでしょうか。そのように考えておりますので、子ども食堂にも意味合いとして足を踏み入れております。

これは、いろいろなところで講演、ご紹介しましたよ、ということ。

もうひとつ、『くしろ元町てらこや』、これは大成寺の事業です。毎週土曜日12時30分から15時まで、地域の子どもたちを集めて開いております。民生委員さんのご了解、地区町内会のご協力、おてら食堂のキッチンスタッフさんも手伝いに来てくださいます。教育大学釧路校の地域・環境教育専攻地域教育分野という難しい所からゼミ生が毎週10名ぐらい、多い時は14名~15名が来て子どもたちの世話をしてくださっております。

これは、始めた時の告知記事です。釧路明照幼稚園は昭和30年に大成寺第6世住職の藤井正亮が始めました。終戦より数年が経ち、復興の機運が高まっていたころでした。先に各宗連合の仏教協和会が仏教幼稚園を富士見町に設立していましたが、6世住職は「いわゆる下町地区にこそ教育が必要だ」と、大成寺の境内で釧路明照幼稚園を始めました。その幼稚園が少子化と地域情勢の変化により平成30年に64年の歴史に幕を下ろしました。長きに亘り地域に親しまれた幼稚園の設立時からの指針「あかるく・たたく・なかよく」をいまに引き継ぎ、広い園舎と広大な園庭を子どもたちと地域の方のために活用することが一番良いことだと思ひます。ということで、「てらこや」を始めた動機でございます。

これが、『Haport』さんに紹介をした記事です。閉園した幼稚園の施設や用具、広い園庭をそのまま活用しています。子どもに限らず地域の居場所をつくる活動として大成寺が園舎を開放しています。教育大生のゼミ活動の場ともなっており、学生が毎回参加をして、時には企画をし、子どもたちと関わってくれます。勉強も教えてくれます。地域の大人もお茶を飲みながら子どもたちを見守ります。「何かさせる」という場所ではありません。これが大事なのです。何かをさせる場所ではないですね。家族以外の大人、歳の違う友だち、知らない友だちと一緒に過ごす中で、子ども自身が考え、解決し、成長する場所を目指しています。就学前のお子さんとは責任者同伴でお願いしています。というような意味合いで行っております。

これが、幼稚園と園庭で、教室とホールです。これは大学生が子どもたちと一緒に縄跳び、奥の方では跳び箱をしています。マットも出しています。柔らかい積み木で子どもたちと遊んでいる様子です。これは教室で黒板に落書きをしています。

これは夏に行った花火大会です。この時も子どもだけで30名ぐらい。親御さんを合わせると60名~70名、

もっとかな。ご両親が集まって本当に夏らしい花火大会でした。

これは暗くなってから園舎をお化け屋敷にして「きもだめし」の大会です。学生さんがいろいろなことを考えて脅かしてくれました。これはクリスマスです。スノードームのようなものをペットボトルで作った時です。スライドを見たり、これは学生さんが企画をしてみんなで遊ぼうということで遊んでくれました。多い時では、子どもたちが30名ぐらい、1クラス分ぐらい来ます。ですから10名ぐらいの学生さんが来てくださるととても助かります。

それと「元町講座」の活動。これは遊郭を特集した時の講座で、160名ぐらい集まりました。この時も北陽高校の放送部に協力をいただき進行をしていただきました。これはコロナ禍で少し席数を減らして行いました。これも大学の先生に1コマを持ってもらって社会的な見地から、この元町のことについて発表をしていただきました。これもディスカッションです。郷土史家・佐藤宥紹先生、左側には釧路公立大学の神野先生です。右側には生徒と地域の方でディスカッションを行いました。

これがつい先日、2月27日に行い新聞記事に載った元町講座です。これには、釧路北陽高校の放送部、湖陵高校の放送部、そして釧路公立大学の神野ゼミの3年生・4年生が2組ずつです。公立大学の北島ゼミの3年生から2組、卒業の研究発表ということで場を設けました。これが元町講座です。

これが「フットパス」。これが街歩きです。これは高校生と大学生共同の街歩き、「元町界隈を歩こう」と行いました。これは灯台の裏の所で説明を受けているところです。終わりにお寺の会館でディスカッションを行います。これは一般の方を招いた時、このような食事会をしたり。この時は、米町公園に集合して弁天ヶ浜の清掃活動を行いました。

このようなことが私の活動ですけれども、この『青年団活動』を始めとして、『おてら食堂』『てらこや』『元町講座』『フットパスを広め隊』、そのような活動はそ

れぞれが独立しているわけではありません。執行部や参加者や学生ボランティアなどがお互いにいろいろなところで重複し合っています。これ1つ取ってどうだということではありません。これが、この元町の地域でいろいろなところで活動をしていることが、この地域に住む人々にとって、「生きている街に住んでいる」と評価されるのではないかと考えております。「地元」に根を張る」という言葉がありますけれども、根を張るには、足元でなければ根は張れません。土の中は潜りこんで行かなければならない。その土というのは、そこに住む人々なのです。その人の中に自分自身が飛び込んで行かないと木として大きく成長することはできないと思います。その木の日陰の下で、遠くから来る方々もそこで一息付けるような場所をつくるということ。そのような大きな木がいろいろ重なり合うことで、ひとつの地域が温かく活動的になっていくのではないかと思います。

これはバラバラですけれども、これを無理やりひとつにまとめない。ひとつにまとめて責任を負ってしまうと、疲れた時にもう終わりになってしまいます。ですから、できるだけ・できる限り・できるときに・できる人がこのようにひとつの地域を活性化するという漠然とした目標の中で協力をさせていただくということは、持続可能なSDGsの精神にもつながるのではないかと思います。

このようなことは、お坊さんの視点や僧侶の視点など、いろいろなことから話をすればもう話は尽きませんが、この辺で終わらせていただきたいと思います。これからも、ここにいる皆さまのご協力をいろいろ仰ぎたいと思いますけれども、何かありましたらお気軽に声をかけていただきたいと思います。どうぞよろしくお祈りします。

以上で終わります。失礼いたします。ありがとうございました。

本日のニコニコ献金

- 杉村 莊平君 三月になりました。引き続きよろしくお祈りいたします。
- 栗林 定正君 五輪女子アイスホッケー 浮田留依選手、中島谷友二郎コーチ 隔離を終え、無事帰って着ました。改めて応援ありがとうございました。
- 藤井 敬亮君 新聞に掲載されました。本日も宜しくお祈り致します。
- 中村 司君 夫婦で今月誕生日です。

今年度累計 478,000円

2022.3.10 (木)
第29回例会
(通算3656回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副会長 浅川 正紳
幹事 市橋 多佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町5-3 ミツ輪ビル2F
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2021-2022年度
国際ロータリーテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022年度
RI会長 シェカール・メータ
第2500地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイ RC)

月間テーマ	水と衛生月間
本日のプログラム	RIの現状について (担当: 理事会)
次週例会	「地域力を向上させるための子供たちの学力向上・キャリア教育」(担当: プログラム委員会)

- ロータリーソング: 四つのテスト
- ソングリーダー: 二宮 拓人君
- 会員数 103名
- ビジター なし
- ゲスト なし

会長の時間

杉村 莊平会長



皆さん、こんにちは。本日もご出席いただきましてありがとうございます。今日は、少しゆったりとした時間が流れている

ような気がします。ゆっくりお話させてもらえればと思います。

年度末に入りまして、引越し・転職のシーズンとなってきました。うちのクラブでも何名か異動のお話がちらほらと届いているところでございます。引越し・異動となれば「不動産の出番だ」ということで、本日もこじつけですが僕の1年間の中で1回は触れてみたいと思っていた僕の生業・不動産取引についてお話したいと思います。話そうと思えばいくらでも話せますが、小船井パストガバナーにご迷惑かからないように早めに終わりたいと思います。ゆったりとお話させてもらえればと思います。

なかなか知っているようで知らない不動産取引でございます。まず、流れからお話します。売主側、例えば皆さんが、自分の中古住宅を売るという目線で考えてもらいます。

まず、何かからすればいいかという、不動産業者の何社かに声をかけて、自分の家を見てもらって査定をし

てもらいます。中身を見てもらって「こうだね、ああだね」という話になります。その時にゆっくりという質問をして、その業者が信頼できるのか、相性が合うのか合わないのか、その辺を見極めてもらって業者を選定します。

価格が決まって「この業者で」となれば「この業者に依頼しました」という「媒介契約」を結んで販売活動がスタートします。

業者は販売活動をスタートして、買い手希望者を見つけて価格交渉したり、買い手側のローンの手続きをして、買い手と条件が折り合えば「売買契約」を締結します。契約を締結した後、売主側の責任になりますが測量をします。無事に測量が終わってから、「引き渡し」「登記手続き」「残金決済」で終了となります。

最近、『買い取り』というのを良く耳にするかもしれませんが、『買い取り』というのは転売を前提として買い取りますので。買い取ってコレクションで持っていたとしてもしょうがないですから、転売を前提としますので、通常の取引よりかなり安くなってしまいます。その辺はご注意ください方が良いかなと思います。

不動産取引を私たちがやっている中で、いま非常に多くなってきている注意点・トラブルを4つぐらい参考までにご紹介したいと思います。

まずは『敷地境界』です。不動産を売る場合にはさっき言ったように「売主側の責任で測量しなきゃならない」となっています。何十年かぶりに測量するもので

すから、実は「ここにあったと思った杭がなかった」とか、「測量が終わってみたら、思っていた敷地の測量と違って自分の塀や物置が出ていた」とか、もしくは「隣の屋根がこっちに出ていた」とか、これかなりの確率でこの越境が出てきます。測量をしながら「塀が出ていたから今すぐ撤去してくれ、壊してくれ」という話にはなりません。この場合には一般的には「出ていることは認めるけども、近い将来リフォーム・立て直しをする時にはやり直します」と覚書を交わして終わらせるのが一般的な状況です。しばらく敷地などを気にかけていない方は、ぜひ注意しながらやってもらえればと思います。

2つ目、『相続登記』です。「家を売ろう」とした場合、実は登記名義が亡くなった方の名義のままになっているのもよくある話です。ここで面倒なのが、これは相続登記をするしかないのですが、何十年かぶりに相続登記しようとしたら代替わりが起こっていて、孫は九州にいる、子どもは四国にいる。何人も兄弟がいて、大阪にいるという話になって、相続登記を終わらせるのに半年も1年もかかって「売るに売れない」という話がよくあります。最近では「相続登記も近い将来義務化される」こととなります。思い当たる方は尾越司法書士事務所にご相談いただければと思います。

3つ目、これも多くなってきた『地中埋設物』というのがあります。これまた、取引が無事終わって一安心と思って、しばらく経ったころ、買う方は工事を始めます。工事を始めたら「以前の基礎が出てきた」「地中からいっぱいごみが出てきた」とかがトラブルの原因になります。この場合、その辺の規定がない契約を交わしてしまった場合には、かなり面倒なトラブルになりますので、この場合は荒井法律事務所にご相談いただければと思います。

そういうのが最近多いので、「取引が終わって1年以内であれば売り主の方で責任をもって出てきた埋蔵・埋設物を撤去しなさい」という契約書を付けるのが一般的です。そこは売主側の責任になってしまいますが、対応していただければと思います。

おじいちゃん・おばあちゃんの代から持っていて、ほっておいて今までの履歴が全然分からないような土地を売る場合には注意をされたほうがいいと思います。これも地中埋設物が出てきた場合にはぜひ村上商店さんにご相談いただければと思います。

最後に4つ目が『契約不適合責任』です。ちょっと前にいわれた瑕疵担保責任です。これもまた面倒な話なのです。契約前に聞いていなかったことが、契約が終わってから出てきたという問題です。例えば「聞いていなかった雨漏りがあった」、「手抜き工事が見つかった」という物的なところから、最近は心理的瑕疵といまして、「近所に聞いていなかった反社会勢力の事務所があった」とか、もしくは「自殺や死亡の告知」

です。実は聞いていなかった、そんな事件があったという場合、これも売主側の責任になってしまいます。本当に気を付けていただくのですが、取引する場合には不利になると思って「あまり悪いこと言わない方がいいかな」ではなくて、悪いことから積極的に公開していかないと後になってから大変になってしまいます。それが最近多いトラブルですので、ぜひ注意をしていただければと思います。

あまり法律論争を私がぶつと荒井さんに怒られますから、ぶてません。やっぱり不動産取引というと「買う方は弱い、売る方が強い」という買主保護がありまして、売主側には責任が伴う場合が多いとなります。ぜひ気を付けて取引していただければと思います。

取引の場合にはユタカコーポレーションさんか拓殖不動産に相談していただけると嬉しいなということでございます。大変失礼しました。

本日は小船井パストガバナーの『R Iについて』というお話でございまして。大変楽しみにしております。本日もどうぞよろしくお願いいたします。

幹事報告 市橋多佳丞幹事



皆さま、こんにちは。幹事報告させていただきます。まず、サントリー酒類の長瀬君ですが、先月の2月28日付けでご異動になられたと通知がきました。転勤先は本州ということで、その後任の方が入っていただけるという話を聞いておりますので手続き選定が終わり次第進めていきたいと思っております。まず、ご報告でした。

続きまして、ウクライナの件です。ガバナー会ならびにロータリー財団管理委員会から「ウクライナ問題への緊急支援について、会員の皆さまご寄付をいただきたい」とご案内が来ております。そちらにボックスがありますので例会中に皆さまにお渡しさせていただきますので、ぜひ皆さまのお気持ちを頂戴できればと思っております。お願い文章等に関しましては後ほどホワイトボードに貼らせていただきます。ぜひ、よろしくお願い申し上げます。

また、本例会終了後、2階ローズホールにて今年度の理事会を開会させていただきます。よろしくお願い申し上げます。以上でございます。

■本日のプログラム■
RIの現状について

小船井修一パストガバナー



こんにちは。まず、今日は私を指名いただいておりますが、いつもは清水幸彦パストガバナーがこういう形でやられておりました。そういう

意味で、清水先生が来られない状況ですので、私がやらさせていただきます。立って喋ると、このごろ過呼吸になるので座らせてもらいます。パワーポイントを用意させていただきました。

これは幹事からお話があったとおり、先月25日、ウクライナがロシアに侵攻された翌日にジョンジアーム、あるいはRI理事会で災害での災害義援の要望があった。これが最新の情報であります。

今日、私がお話させていただくのは左側、これは『ロータリーの友』、ご存じだと思います。知らない方はいないと思います。ロータリアンには購読の義務があります。購読です、購買ではないです。購買というのは「買うだけで読まない最大の雑誌がロータリーの友だ」というお話がありますが、ロータリーの友を購読することをお願い申し上げたいです。

ということと、左側の6ページはいつも同じなのですが、「ロータリーとは」「ロータリーの誕生とその成長」「日本のロータリー」、右側の上が「RI国際ロータリーの会長のテーマ」、そして下には「ロータリーの目的」。皆さんよくご存じだと思います。簡単に言ったら、国際ロータリーの定款の中にある条項の大事な部分と4つのテストがいつも載っています。この6ページを皆さまに知っていただければありがたいし、読んでいただければ十分だと思っています。

今日お話をさせていただく順番は、「国際ロータリーの現況」ということで、国際ロータリーの過去の経過、そして今の会員の現況、特に世界中のロータリー、そして国別にどうなっているのだろうか。それから、いま国際ロータリーがどういう考え方をもって、どういう具体的な政策を持っているのかという中で、柔軟性の導入、そしてDEIと未来形成計画、この4つに関してのお話を時間内でさせていただければと思っています。

「国際ロータリーとは」。皆さんご存じだと思いますが先ほどの6ページで1905年2月23日にシカゴの4名が最初に会合してロータリーが誕生した。それが1905年でありました。

1910年、ロータリーの場合はシカゴの次がたぶんサンフランシスコやロサンゼルスだと思います。全米の

中で、全米ロータリークラブの会合ができたのが2010年でした。そして、それを受けて1912年8月にダラスで全米ロータリークラブ連合会の中で、まず1つは国際ロータリークラブ連合会と改称され、そして地区、ディストリックという言葉は後ほどなのですが、ディビジョンという地区の組織を作り、そしてアメリカに5つ、カナダに2つ、英国に1つを設立されました。

1914年、イギリスとアイルランドとロータリー地域連合会でBARC、今のRI B I。国際ロータリーのBritish（ブリティッシュ）とアイルランドは地域組織ですので、RI B Iは陣頭分担金の半額を自分たちが使う形で独立した組織を持っています。われわれの陣頭分担金はすべて国際ロータリーに取られています。1915年、サンフランシスコ大会で国際ロータリークラブ連合会の新しい定款を採択しました。定款を最初に作ったのが1915年であり、そして地区・ディストリック、私たちが現状使っている地区の英語名・ディストリックが確定したのが今から107年前です。その中で19地区が設定され、地区ガバナーという名前も1915年に確定しました。

後ほど、私からお話させていただくSRF、組織の改定という中で2030年には地区という名前がなくなるかもしれませんし、ガバナーという名前もなくなるかもしれないとわれわれは考えています。

「国際ロータリー」はどこにあるのか。シカゴにあります。シカゴに行かれた方ご存じと思いますが、シカゴでハブになっているオヘア空港からシカゴのダウンタウンまでは高速鉄道で40～50分で着くと思います。ミシガン湖の方で、名門のノースウェスタン大学があるのですが、そこにエバンストンという街があります。エバンストンの駅前にエドクォーター国際ロータリーの本部があります。そしてオオクブルクと赤い部分に書いてありますが、これはライオンズの国際本部がオオクブルクにあります。ということは、世界で大きな奉仕団体であるロータリークラブとライオンズクラブは同じシカゴに本部があることを皆さんご理解いただければと思います。

これは歴史的背景もあります。ライオンズクラブの創設者のメルビン・ジョーンズはロータリークラブにいて、それをロータリークラブからライオンズクラブに変えてしまったという歴史があるゆえだと思っています。これは左側の組織図で、国際ロータリーの組織で、左側、ロータリークラブは三角形が逆になっていますけれど、これは皆さんお受けいただいていると思いますRLIのテキストから引っ張ってききましたが、ロータリークラブは3万6,397クラブ、ローターアクトクラブは1万1,077クラブ。そして、「ロータリークラブ」が上にあり、「地区」は地区委員会とガバナーとガバナー補佐がロータリークラブに対して支援をす

る。そして、「地域リーダー」はロータリーコーディネーターや、さまざまな部分でパストガバナーがやっているゾーン別の役職といってもいいでしょうね。

そして、次の下に、「R I 理事」。今のところ 19 名おられます。そういう R I 理事がいて、R I 会長がいるという意味での「国際ロータリークラブ」は、ロータリークラブを支援するための基本的な機能があるはずだというのが、われわれにとって本来の意味だろうと思っています。

下に矢印で書いていますが、現実には上位が勝たず。要は、逆三角形から三角形になっているのだろうと。今、こういう状況になっていることを皆さん知っていただ



ければと思います。今、全世界に地区・ディストリクトは 523 地区あります。そのディストリクトと地区をまとめていくうえで 34 のゾーン

という分類をいま持っています。34 のゾーンの中で 4 年に 1 回ずつ理事を出しますので 17 名の理事と会長と副会長で 19 名の理事で国際ロータリーは構成され、その赤い字で C E O ・ 事務総長と書いてあります。C E O は皆さんご存じだと思いますが、Chief Executive Officer。企業でいうと、昔のカルロス・ゴーンですよ。基本的には会社の経営トップ、あるいは実質的な権限を持っている人の名前の中で、今は基本的に 2019 年の規定審議会で事務総長の呼称を C E O に変更になった。これは私にとっては非リアリティ構造の中で象徴的な事件だったと思います。もちろん、私どもは反対しましたが、それは採択されちゃいました。この国際ロータリーの組織はこういう状況であります。

それから、「今の状況・会員の現況と課題」と書いてあります。これは去年の 7 月 1 日現在、半年前の話です。ロータリークラブ、今は 116 万 2,763 名です。そして、クラブは 3 万 6,614 クラブがあり、女性比率が 24%。そしてローターアクトクラブが 22 万 427 名です。これは赤い字で書いてありますが、1 年間の中で 1 万 7,689 名増えているのです。左側、ロータリーのメンバーは 1 万 2,127 人減っています。そういう意味でローターアクトは世界的に見て増加傾向にある。日本は違いますが。クラブが 1 万 310、女性比率が 52%、そういう現況であります。

今のロータリークラブの会員 116 万人と申し上げましたが、会員減少が 7 年ぐらいい続けているのです。2015 年で 120 万 4,000 人、2016 年で 120 万 3,000 人、2017 年で 120 万 2,000 人。これは微減というか横ばいといってもいいかもしれません。2018 年から急激に減少を見ていて 119 万 5,000 人。

2019 年には 118 万 9,000 人。2020 年に 117 万 5,000 人。そして 2021 年の 1 年には 117 万人。この 6 年～7 年の中で 3 万 4,000 人ほど減少しています。

これは、私どもは問題だと思っているのですが、国際ロータリーの事務局 C E O は「基本的には COVID19 のせいである。われわれの努力はしっかり報われている」という言い方をしています。

地域別にアジア・アメリカ・欧州・中南米、グレートブリテン・R I ・ B I、先ほど申し上げた、オーストラリア・ニュージーランド・オセアニア地区ですが、増えているのがアジアプラス 26%、北米・カナダ・カリブ海地区はマイナス 20%。これは 10 年間の中です。そして赤い字でグレートブリテン、アイルランド、R I、B I がマイナス 30%。それからオセアニア・オーストラリア・ニュージーランド地域がマイナス 25%。この 10 年間で会員が減少していても増えているのがアジア、特にインド・バングラデシュ。特にインド亜大陸の会員増が激しい状況であります。

国別に見ていきます。一番右、傾向ですが、アメリカが最盛期に 44 ～ 45 万人いました。10 年の 3 月で 36 万人のアメリカの会員が今は 28 万人になり、インドの 10 万 7,000 人が今は 15 万 8,000 人なり、たぶん 22 年には 16 万人から 17 万人になると思います。日本が 10 年には 9 万 2,000 人が 8 万 3,000 人になり、韓国・ドイツは増え、いろんな意味で国別によって傾向は違いますが、特にアメリカの減少が激しいです。われわれの日本、私にとってはこの 10 年間においては横ばいだろう、健闘していると思っています。特に 2500 地区は今、2,200 人から 2,300 人の会員を維持しております。特に私ども釧路ロータリークラブは常に 100 人を超えていて本当に検討しているのではないかと考えております。

国際ロータリーは、会員の減少を改善・改革するために様々な施策をとりました。ひとつが柔軟性の導入です。この柔軟性の導入は 20 年前からやっていますが簡単に言います。皆さん、ご存知の方おられると思います。標準ロータリークラブ定款はそれを受理すること、要は受け入れることがクラブにとっての義務になっています。そういう意味では標準ロータリークラブ定款に従わないクラブは自動的に除名されます。そういう中で 2001 年、20 年前の規定審議会で「違反しても除名されない試験的なプログラムのクラブを作りましょう」と採択されました。E クラブができました。E クラブというのはインターネットを通して例会をするクラブであります。

それから C L T ・ D L T は戦略計画。いろんな意味でブランディングや 4 つの試験的プログラムだとか。規定審議会の中での 2016 年の規定審議会はある意味では画期的だったと思います。柔軟性の導入、例外規

程、会員の身分、あるいは例会の出席、あるいは例会のあり方、出席のあり方、についての柔軟性を持つ。要は、「標準ロータリークラブ定款に従わないクラブの細則を作ってよし」とする。そう決まったことが大きなことであったと思います。

2019年規定審議会では、いま問題になっているという話題になっているローターアクトクラブのR I加盟が決まり、そして柔軟性の推進が進められました。このオンラインとハイブリットの例会、ニーズに合ったテクノロジーを選ぶ云々と書いてあります。

これは私どもの釧路クラブが、2019年の規定審議会で「オンライン例会・リアルの例会について開催することができる制定案」を通した結果がこういう形になったと皆さまにはご記憶に留めていただければと思います。

いま国際ロータリーはさまざまな新しいクラブを作ろうとしています。例えばクラブの種類、衛星クラブ、パスポートクラブ、法人クラブ、活動分野に基づくクラブ。何かよく訳の分からない話なのですが。

『従来型クラブ』は、われわれのクラブです。伝統的な例会を行っているクラブです。

『パスポートクラブ』は、会員が自分のクラブの例会に出ないで、他のクラブの例会に参加、あるいは奉仕活動に参加することができるクラブ。

『法人クラブ』は、いみじくも1つの会社の中でロータリークラブを作る。具体的にはイギリスのベントレーという高級車メーカーの中で法人クラブができたという案内がありました。

『活動分野に基づくクラブ』は、例えば「エコでやっていきましょう」、「緑の食事をしましょう」などという目的を持ったクラブ。

『学友』は、もちろん米山や様々な財団での学友のクラブ。

『関心に基づくクラブ』、よく私も分かりませんが、まずそういうものができそうな雰囲気があるという話です。私もよく分かりません。

『国際的クラブ』、今の広尾ロータリークラブが例示という形で国際ロータリーが見ているようです。広尾ロータリークラブは英語でやっております。アメリカ人や海外の方たちが約半数、日本の方が半数という英語クラブをやっているのを国際的なクラブと称しているような感じです。

『D E I』は、先ほど栗林さんとも話をしたのですが、女性、ジェンダー、基本的には女性の魅力と比率を高めることを推進しようと言われていました。多様性・公平さ・インクルージョンについて。上がひとつの企画・統一された自転車です。それに乗る人が車いすの人、体の大きい人、普通の体格の人、あるいは子供のような体格・身長が短い人など個人の違いを視野に入れず、全員に平等な自転車を渡すというものとは概念が違う

のが下です。個人の違いを考慮したそれぞれに公平な機会が提供されている。例えば身障者の方にはその自転車を、大きい人には大きな自転車を。そして、小さな人には小さな自転車を提供することが公平であるという概念の中での取り上げながら。

そして、インクルージョンは、たぶん大企業の皆さんはD E Iをよくご存じだと思います。会社で取り組んでいるところもあると思います。読んでみましょうか。「地域社会にはあらゆる種類のリーダーがおり、彼らとつながりを築くことが大切です。リーダーとして活動し、行動人としての資質を有する人たちを探し、ロータリーに参加することの利点について話してみよう。ジェンダー・パリティ、男女平等指数の強調ということ」

これは国際ロータリーのホームページの中で目標を設定しています。会員の性別、いま国際ロータリーは男性が69%、女性が29%。そして左側の下に「2050年、ロータリージェンダー・パリティ達成予定」と。

「2050年には女性比率を50%にしよう」が国際ロータリーの目標の1つになっております。

それから会員の年齢。現状、ロータリーは61歳、ローターアクトは25歳、そしてロータリーリーダー、これは国際ロータリーのリーダーで、シニアリーダーは元会長とかですが96%が60歳以上。地域リーダーはR I理事やT R F・財団管理委員という人たちの構成の中で60歳超の人が76%。国際ロータリー会長以上が73%、国際ロータリーの委員会のメンバーは70%が60歳を超えている。それから左側に書いてありますが地区ガバナーは400のタスクを実行予定、期間は約4年間。「忙しい」という中で地区ガバナーの70%が60歳以上である現実。これをどうやって若返らせるかが責務だというのがひとつであります。

これは1ページに書いてあります。3月号の1ページには同じことが書かれています。参加者の基盤を広げる多様性・公平さ・インクルージョン。来年の会長であるジュニア・ジョーンズが『22年・23年度会長イニシアチブ』ということによって言っていることは、「ロータリーにおけるD E Iについて詳しく学ぶこと。自分のクラブや地域にとってD E Iが重要である理由と、これから原則を取り入れることがクラブの成長と発展に役立つかを理解する。D E Iについて認識を高め理解を深める。クラブ内や地域社会内でD E Iに関する行動を起こす」と。D E Iに関して極めてフォーカスを当てていることを理解いただければと思います。来年の滝越さんはどうするか分かりませんが。次に「S R Fプロジェクト」も実行しようとしています。「Shaping Rotary's Future」、未来形成計画と日本語で訳されています。地区ガバナー制度の廃止、新たなフラットな中間管理組織への創設。2022年4月にハイブリットで開催される規定審議会の中で（上の

写真や規定審議会の風景を貼り付けましたが、規定審議会はシカゴで開催されます) 理事会が提出する制定案がSRFプロジェクトです。

この制定案が3分の2以上の賛成を得て採択された場合には、2022年7月から施行され、28年7月にプロジェクトが終り、2028年規定審議会でSRFプロジェクトを全世界に実行させることが制定案として出ると思います。2030年7月から全世界で実施されるかもしれません。これは決定ではなく、採択されればそうなります。

提出制定案の趣旨ということで、これは立法案集の趣旨から抜粋しました。下の部分を読ませていただきます。

現在のロータリーの組織構造は70年以上前に設けられたもので、当時はコミュニケーションや意欲を高める方法は直接会っての方法に限られた時代でもあった。現在の組織構造は、追加して積み重なってきたボランティアの階層や長年にわたって積み重ねてきた役割をもつ堅調な非リアリティ組織になってしまった。三角形ですね。それは国際ロータリーだと私は思うのですけどね。今日のグローバル市場において最も現代的な組織はかなりフラットな組織構造になっており、組織のリーダー層と草の根層の間はより気軽で非常に風通しが良くなる組織構造になっている。ヘテラルキーという言葉、皆さんあとでご興味があればググってみてください。ヘテラルキー、これはフラット組織ということで今は大企業の中で流行っている言葉ですね。

どういう形なのだろうか。左側の図は、ロータリーの友にある日本の地区組織図ですが、2つのゾーン、青い色とオレンジ色のゾーンに日本は分けられています。それで、34の地区に分割されています。右側に書いてあります「地区とガバナー組織の機能不全」、これは国際ロータリーの認識です。地区とガバナー組織の機能不全があるがゆえに衰退を加速している。よくありますよね、「売上げが伸びない、毎年売上げが減少していて減益だ」という会社に「やることは何か。意識革命だ、組織を変えていこう」と考える経営者、中にはいると思います。

私は、国際ロータリーは国際ロータリーの組織そのものを見ないで、基本的なディストリクト・地区組織に問題があるのだと。ガバナーが悪いのだ、と。ガバナー制度が悪かったという前提でSRFをやられているのかなと思います。

私が申し上げているのは、国際ロータリーの中そのものを簡単に言ったらフラットな形にするべきである。事務総長もCEOという形で「経営者のトップだ」となっていること自体に問題があると思っていますので、国際ロータリーも、地区も改革するべきだろうと思っています。

34前後のリージョンに分割して選挙で選出された3年任期のリージョンカウンシルという職位を作り、日本は1つか2つのリージョンになり、リージョンも1500から1600のセクションに分割し、選挙で選出された2年任期のセクションリーダーにする。日本は120人前後ですからこの2500地区は3つぐらいにリージョンは分割されると思います。そうすると1リージョンには20~25ぐらいのクラブを担当するセクションリーダーの制度ができるかもしれません。それから地域リーダー、ロータリーコーディネーター、RRFC (Regional Rotary Foundation Coordinator)、ボランティアカードで奉仕中核専門グループという変な言い方ですけれど、地域リーダーはもともとパストガバナーが当て職でやられていましたが、パストガバナーを選ぶのではなく、RIの本部サイドでボランティアカードとして若い人を指名しながら、能力のある方、経験のある人、を指名していく形にしていきたい。実績・能力中心に選抜する方向性を持った改革をこのSRFでやろうとしています。

そして、パイロット地区はRIBIとゾーン8。この下のマイナス30%、マイナス25%、最も減少している地域の中でRIBIと、オーストラリア・ニュージーランドの地域にパイロット地域を指名しようとしています。施行するのは2030年ですから、私たちこのうち何人いるか分かりませんが、8年先の話ですので忘れて結構だと思いますが、そういう方向で向かっている。

特に私どもが注目しているのはRIBIです。独立した組織なのです。国際ロータリーと別に予算を持ちながら、RIBIにも会長がいます。自主性を持った地域をどう改革していくか。ということは、地域ごとに自主性を持たせていく方向になっていくべきだというのが私どもの考えですので、地域的な自主的な持った中で、ロータリーを地域に合わせて成長させていく方向性になるかどうかをわれわれは注目しているところであります。

ちょうど時間になりました。こういう形での国際ロータリーの現況にさせていただきます。ご清聴ありがとうございます。

国際ロータリーの現況

- 国際ロータリー
- 会員の現況と課題
- 柔軟性の導入
- DEIと未来形成計画

SRF計画・2029年度導入

国際ロータリーとは

2021年7月1日現在
ROTARY INTERNATIONAL



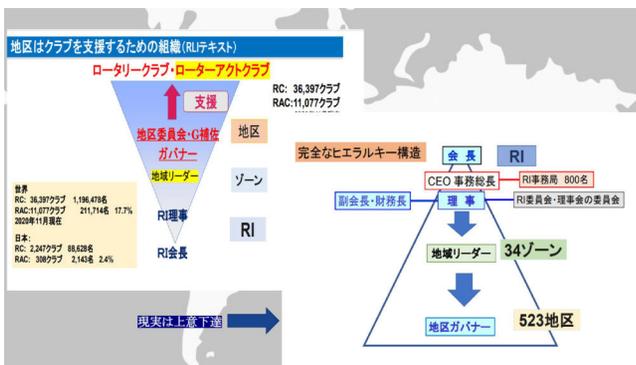
国際ロータリーの誕生 1922

1912年8月、Duluth大会にて、全米ロータリークラブ連合会
"The National Association of Rotary Club" を国際ロータリークラブ連合会
"The International Association of Rotary Clubs" に改称。
地区 District の前身 Division を設ける。(区、境界)
(米国に5、カナダに2、英国に1を設立)。
1914年 イギリスとアイルランドのロータリー地域連合体でBARC
(RIBIの前身)の設立
1915年サンフランシスコ大会で、国際ロータリークラブ連合会の
新しい定款を採択。
"Division"を地区 "District" と改称、19の地区が設定。
地区ガバナーの名称確定。地区大会のプランも採択。
1922年 連合会がRIに改組。RI定款・細則改正。標準RC定款。RIBI。



国際ロータリー (RI)

エバンストン RI headquarter



会員現況と課題

2021年7月1日現在
ROTARY INTERNATIONAL



ロータリー	ロータリーアクト
1,162,763 2020年7月1日から12,127人減	220,427 2020年7月1日から17,689人増
36,614 2020年7月1日から455クラブ増	10,310 2020年7月1日から282減
24% 女性	52%

2021年7月1日

会員減少は続く

7年間の会員数の推移 (7月1日現在)



2015年 120万4千
2016年 120万3千
2017年 120万2千

会員数 120万人

2018年 119万5千
2019年 118万9千
2020年 117万5千
2021年 117万

地域	世界に占める会員の割合	2011年からの推移
アジア	34%	+26%
米国、カナダ、カリブ海地域	27%	-20%
欧州、アフリカ、中東	25%	-3%
中南米	8%	-8%
グレートブリテン、アイルランド (RIBI)	3%	-30%
オーストラリア、ニュージーランド、太平洋諸国	3%	-25%

国別会員数推移

国	06年6月	10年03	14年3月	17年1月	19年7月	20年7月	21年7月	傾向
1 アメリカ	383,697	361,551	336,732	324,446	309,260	298,428	283,304	↘
2 インド	91,089	107,454	123,988	142,032	146,771	149,744	158,337	↗
3 日本	101,370	91,976	88,427	89,249	87,873	85,487	83,679	↘
4 韓国	52,003	59,726	59,798	63,244	61,472	60,994	62,411	↔
5 ドイツ	45,094	49,087	52,693	54,856	56,387	56,697	57,044	↗
6 ブラジル	50,925	53,223	55,763	53,955	52,278	52,238	51,076	↔
7 イタリア	41,845	42,458	40,119	39,456	39,467	38,977	37,995	↘
8 イギリス	49,106	42,942	41,088	37,772	34,276	32,702	30,563	↘
9 台湾	17,088	19,601	28,503	34,510	32,659	32,390	32,936	↔
10 フランス	33,546	33,442	32,530	31,432	30,095	29,217	28,219	↘
11 オーストラリア	34,422	33,230	30,900	28,828	26,556	25,349	24,683	↘

※米国 1994年 421,823名 35.9%



柔軟性の導入

2021年7月1日現在
ROTARY INTERNATIONAL



- 2001年 規定審議会 試験的プログラム E-club
- 2004年 CLP (2002年 DLP義務的)
- 2007年 RI戦略計画発表 (2004年GOL)
- 2011年 ブランディング戦略 (2017年第2弾)
- 4つの試験的プログラム (衛星・法人・準M・柔軟性)
- 2014年 ロータリー行動規範の改定
- 2016年 規定審議会 柔軟性導入[例外規定] 会員・例会・出席
- 2017年 RI戦略計画 新ビジョン声明 (2007, 2009, 2010, 2017)
- 2018年 RI戦略計画 新優先項目と目標
- 2019年 規定審議会 RACのRI加盟、柔軟性推進



オンラインとハイブリットの例会

- ・ ニーズに合ったテクノロジーを選ぶ
- ・ スキルをもった人から成るチームをつくる
- ・ 研修とサポートを提供する
- ・ 議題を調整する
- ・ 明確な期待事項を定める
- ・ 全員が参加できる選択肢を含める

[ROTARY.ORG/ONLINEMEETINGS](https://rotary.org/onlinemeetings)



クラブを新しい方向へ

クラブは未来に適應する準備ができていますか？
衛星クラブ、パスポートクラブ、法人会員に関する新しいリソースを参考に、**すべての会員**が充実した体験ができる環境をつくりましょう。

[ROTARY.ORG/JA/FLEXIBILITY](https://rotary.org/ja/flexibility)

クラブの種類

衛星クラブ 会員はスポンサークラブと連携して運営されるが、独自のクラブ構成を有することができる	パスポートクラブ 会員は、特定のクラブではなく、地元や世界中にあるクラブの例会に出席する	法人クラブ 会員(またはその大半)は、同じ職場で勤務している	活動分野に基づくクラブ 会員は特定の分野に基づいて活動する
---	--	--	---



DEIについて

2021年7月1日現在
ROTARY INTERNATIONAL



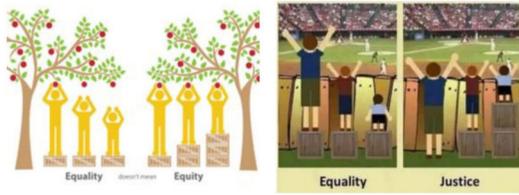
ROTARY.ORG/DEI

多様性 あらゆる背景、文化、経験、 アイデンティティ をもつ人びとを歓迎します	公平さ 一人ひとりが 成功するために必要なリソース 、機会、ネットワーク、サポートを利用できるようにします	インクルージョン 自分が大切にされているとすべての人が感じ、帰属意識 を持てるような文化をつくれます
--	--	---

私たちは、高潔さと透明性をもってDEIの進展に取り組み、学習と改善を続けていきます

Equityとは「公正」を指す言葉

Equity(=公平さ)とよく似た言葉にEquality(=平等)があります。両者は似ていますが、意味しているところが違います。



インクルージョン 参加者の基盤を広げる

地域社会にはあらゆる種類のリーダーがおり、彼らとのつながりを築くことが大切です。リーダーとして活動し、行動人としての資質を有する人々を探し、ロータリーに参加することの利点について話してみましょう



ジェンダーパリティ(男女平等指数)の強調



SRFプロジェクト (未来形成計画)

地区・ガバナー制度の廃止、新たなフラットな中間管理組織の創設
2022年4月開催規定審議会、理事会提出制定案
2022年7月～28年7月
2028年規定審議会採択を前提に2030年7月から全世界で実施



国際ロータリーの現況

ロータリーとは

ロータリーの歴史と使命

ロータリーは、1905年に米国で設立された、世界最大のボランティア組織です。112カ国、350万のメンバーが、1190万のプロジェクトを通じて、世界をより良くするために活動しています。

ロータリーは、1905年に米国で設立された、世界最大のボランティア組織です。112カ国、350万のメンバーが、1190万のプロジェクトを通じて、世界をより良くするために活動しています。

● 国際ロータリー

● 会員の現況と課題

● 柔軟性の導入

● DEIと未来形成計画

SRF計画・2029年度導入

提出制定案の趣旨

現在のロータリーの組織構造は70年以上前に設けられたもので、当時は、コミュニケーションや意欲を高める方法は、直接会っての方法に限られた時代でもあった。

現在の組織構造は、追加して積み重なってきたボランティアの階層や長年に亘って積み重ねられてきた役割を持つ**顕著なヒエラルキー組織**になってしまった。

今日のグローバル市場において、最も現代的な組織は、かなり**フラットな組織構造**になっており、組織のリーダー層と草の根の層の間が、**より気軽に非常に風通しがよくなるような組織構造**になっている。

地区・ガバナー組織の機能不全

⇒衰退を加速している？

- 34前後のリージョンに分割し選挙で選出された**3年任期のリージョンカウンシル**を決定
(日本は1~2)
- リージョンを1500~1600のセクションに分割し、選挙で選出された**2年任期のセクションリーダー**
(日本は120前後)
- 地域リーダー(RC, RRF, RPIC)はボランティアカードレ(奉仕中核・専門グループ)として

実績・能力中心に選抜
(ロータリー経歴に無関係に)

リージョン番号	リージョン名	メンバー数
2101	北海道	1,200
2102	東北	1,500
2103	関東	2,000
2104	中部	1,800
2105	近畿	1,600
2106	中国	1,400
2107	四国	1,200
2108	九州	1,500
2109	沖縄	1,000

パイロット地域はRIBIとゾーン8

地域	割合	変化率
アジア	34%	+26%
米国、カナダ、カリブ海地域	27%	-20%
欧州、アフリカ、中東	25%	-3%
中南米	8%	-8%
グレートブリテン、アイルランド (RIBI)	3%	-30%
オーストラリア、ニュージーランド、太平洋諸国	3%	-25%

2022.3.17 (木)
第30回例会
(通算3657回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副会長 浅川 正紳
幹事 市橋 多佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町5-3 ミツ輪ビル2F
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2021-2022年度
国際ロータリーテーマ



幸仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022年度
RI会長 シェカール・メータ
第2500地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイRC)

月間テーマ	水と衛生月間
本日のプログラム	「地域力を向上させるための子供たちの学力向上・キャリア教育」(担当：プログラム委員会)
次週例会	嵯峨記念育英会奨学生卒業報告 (担当：嵯峨記念育英会委員会)

- ロータリーソング：我等の生業 ■ ソングリーダー：水口 喜文君
- 会員数 103名
- ビジター なし
- ゲスト 特定非営利活動法人スクール・アドバイス・ネットワーク 理事長 生重 幸恵様
公益財団法人日本数学検定協会 専務理事兼事務局長 高田 忍様
特定非営利活動法人スクール・アドバイス・ネットワーク 事務局長 生重 亮様

会長の時間 浅川 正紳副会長



お食事中の方は、そのままどうぞお続けください。本日、杉村会長が欠席のため代行させていただきます。決して感染で1週間休むという病気

でもありません。出張と聞いております。先ほど会社に車がいったような気がいたしますが、出張だと思えます。

もしかすると脇さんあたりから「いつも副会長は嘸んでばかりいるから、会長はたまに休んで副会長に喋らせる」という温かいお話とか悪魔のようなささやきがあったのではないかと伺っておりますが、しっかりと仕事をさせていただきたいと思えます。杉村会長に「何を話せば良いでしょうね」とお話をしたら、「私もやりましたけれど、自己紹介をしたらどうですか」と言われましたので、今更ですが自己紹介をさせていただきたいと思えます。

浅川正紳と申します。昭和40年2月16日釧路に生まれました。生まれた時は、今のパステルパーク(駐車場)の出入口がある辺りに昔は『くろんぼ』という喫茶店がありました。そこは祖父が開いた喫茶店です。ネーミングは今の時代にはふさわしくない気がします

けれども、昭和28年ぐらいに開店したと聞いていて、釧路で3番目に古い喫茶店だと思えます。そこで生まれた時は、私、母と父と祖父・祖母の5人が小さな喫茶店の2階で過ごしていたと聞いております。

小さいころ、家が鶴ヶ岱に引っ越して、おばあちゃんの所に遊びに行くと、下の喫茶店からガラスの器に乗ったアイスクリームやクリームソーダが飲めるので「遊びに行きたい」とよくせがんでいました。しょっちゅう「アイスクリームを食べたい」と言っている割には、斜め向かいに石田さんの『笹園』があるので、その「噴水のある喫茶店に行きたい」とか、子どもにはゾウの鼻に似せた長い風船がもらえたので「ゾウさんの風船をもらいたい」とごねたと聞いております。「自分の家が喫茶店やっているのにどうして行かなければいけないの」と祖母も思っていたらしいのですが、孫の言うことですからやってくれたのだと思えます。城山小学校と東中学校へ進みました。その三役席の5人のうち田内君は転勤族ですが、その他の4人が偶然にも東中学校卒業です。この中にも東中学校を卒業された方がたくさんいると思えますが、非常に厳しい学校です。全校集会で並んでいる時、一番前で振り向いている担任と目が合ったら、その場で「顔を動かすな」と殴られるような厳しい学校だった覚えがあります。その反動がいま出ているのか、何か物事に沿いたくない部分が少し自分の中にあるような気がいたします。

高校、札幌の大学と進み、アルバイトで知り合った女性が家内で10年ぐらいい距離恋愛をして結婚しています。

そうこうして、89年に釧路へ帰って来て、自分の会社に入社をするのですが、父親に「何も街のことが分からない。若者との接点がないのだから、何かに入らなければいけない」と言われて、96年に青年会議所に入会させていただきました。その翌年の97年に杉村君が入会してきます。その時はお互いほとんど話すこともなく、いつもニコニコして元気な人が入ってきた程度しか交流はなかったのですが、96年に父親が釧路クラブの会長を務めていたのかな、60周年だったと思いますので会社にはいない。私も青年会議所に入っていて会社には親子でないものですから社員は大変苦労をしたのではないかと考えております。

そうこうしているうちに、2001年、青年会議所には委員会配属がありまして、その時に偶然、脇さんと杉村会長と同じ委員会になり、そこに新入会員で得地君もいました。いま思えばよくお会いする人たちとその時に初めて会ったのだと。まさかその時は脇さんと会長・幹事をやるということも、杉村会長と会長・副会長、そして得地副幹事と一緒にいるということも思っておりませんでしたけれども、それも何かの縁でお会いできたと思っております。

そのような意味では、今日もこのように一緒にお昼を食べながら過ごしている皆さんとの縁も、もしかしたら数年後にすごいビッグビジネスのお付き合いをしているかもしれませんし、いろいろな出会いがあるのかと思います。

また、最近のテレビなどを見ておると、非常に暗い。コロナ感染がやっと終わったと思ったら世界情勢のいろいろな映像を見て、毎日、ちょっとどうかなという映像もあります。昨日は夜中に地震があって少々不安もありましたが、でも、やはり一番は皆さんとたった1時間ですが、一緒にお昼ご飯を食べながらの出会い。これを1日1日、重要に思って過ごさなければいけないとつくづく思いました。

どうして私がなかなかロータリーに入らなかったかをお話をしたいところですが、ちょうどお時間になりましたので、この続きは機会がございましたらご紹介をさせていただければと思います。

本日は、1日どうぞよろしくお願いたします。

転勤挨拶

日本生命保険相互会社道東支社

支社長 廣部 雅資君

ただいま、ご紹介をいただきました日本生命の廣部と申します。ロータリーには、2年前の7月からですので、2年満了とまでは行けませんでした。以前に会長が、「地元の方は土の人、そして転勤族は



風の人」と。私がここで挨拶をさせていただく時に「土になりたい風の人です」というような自己紹介をしたことがありますけれども、あつとい

う間の、コロナとともにやってまいりまして、コロナと共に去って行く。もう風どころか突風で終わったというような2年間で、このロータリーに参加させていただき、皆さんに良くしていただきまして、この道東生活を本当に楽しく過ごすことができました。

徳島県に日本生命の支社長として転勤となりました。また、海があって山がある土地に行かせていただくので、ぜひこの釧路

で学んだことを徳島でも頑張りたいと思っています。

後任は、名古屋から伊藤淳という者

がやってまいりますので、後任ともども日本生命をどうぞ引き続きご愛顧いただきますようによろしくお願いたします。

本当に、2年間どうもありがとうございました。



■本日のプログラム■

地域力を向上させるための子供たちの学力向上・キャリア教育

プログラム委員会 木下 正明君

皆さん、こんにちは。今日の講師は、生重幸恵先生でございます。生重幸恵先生は、教育を改革して前向きに良い日本をつくって行こうという先駆者的な方でございます。各地でバケモノと言われております。なんと申すか、すみません。現在は、子ども家庭庁の野田聖子大臣のアドバイザーもお務めになっていて、地域の発展のカギはやはり学力向上やキャリアアップなどに通じると思っていますので、皆さんも参考になるのではないかと思います。

特定非営利活動法人スクール・アドバイス・ネットワーク理事長兼子ども家庭庁大臣アドバイザー

生重 幸恵様

ありがとうございます。与えられた時間が結構短いので。簡単に自己紹介をします。私は平成14年に私



が居住している杉並区の学校教育をコーディネートするというので、5年間に亘って行政を上げて審議をしてきた中でできた仕組みの第1号で、「学校教育コーディネーター」に就任いたしました。

その時にとっても理解を示してくださったのが城西ロータリークラブです。私が特にお世話になったのは大成ユーレックのトップを務めていた方ですが、その方は私たちの活動にすごく近しさを感じてくださって、自分の城西ロータリー、それから親しくしているロータリアンに声をかけて、ロータリアンの学校教育へのコーディネートをその方がやってくださって、杉並区を中心にロータリアンがいろいろな学校へ行って講義をしたり、都立高校で職業講話をしたり、自分の体験を語ったり、自分の会社の社員を連れて行き「このような仕事にはこのような価値があるよ」みたいなことを語ってくださる、とても意義のある「働くこと」「大人の姿」を子どもたちとつないでくれたとても素晴らしい方で、いまも実は杉並区の学校で委員をしてくださっています。

スライドのタイトルが少々難しかったのですが、私の紹介は冒頭ありました通りなので割愛しますが。

20年に亘って文科省・厚労省・農水省などのいろいろな委員をやってきて、それで声がかかって、昨年からは野田さんから「大臣アドバイザー」ということで、4名が選ばれ月に1回ズームで会議を実施しています。いまは国会中なので次は4月開催になりますが、野田大臣といろいろな情報共有をして活動をしています。

時間がなくて、ものすごく走りながら話します。経営者の皆さま方なので、よくお分かりと思いますが、日本は確実に変わって行かなければいけないし、変わっている。コロナ禍で激変していることをご存じだと思います。学校はIT化され、タブレットPCを子どもたち全員が持って学習をする状況に既になっているわけで、それができていないとしたらばかなり遅れているということです。

実を言うと、アジアの中で日本はその面では本当に負けています。立ち後れていると言っても過言ではない。そして少子高齢化の進展、社会格差の増大、地域社会と家族が変わってしまっている。産業構造・雇用の変化がある。グローバル化が進展している。もう経営者の皆さま方はよくお分かりのことだと思いますが、これは地方だけの問題ではなく、アジア圏全体にこの問題はあるのですが、今、日本の中でこの課題と真剣に向き合っていない限り、街というものが成立していかなくなってしまうと思います。

これも20年前から言われています。「今から20年以上後には、いまの子どもたちは、大学を卒業してもいまは存在をしていない職業に付くことになる」と言われている。おまけに私たちの生活の中も、これだけ

IT化が進んでいるわけです。私と同じくらいの世代の方は、駅では「ピッ」とやらなくても、人がいて、カチャカチャとやってくれたでしょ。銀行も30分も40分も待って、書いた物で下ろしたり振り込んだりしたじゃないですか。いまは4桁「ピッピッピッ」とやれば何でもできます。それだけ日常の身近なところに時代の変革は必ず自分が体感をするところに来ている。

これは、内閣府がホームページで示しています。これからは新たな社会、『society5.0』に入っていきます。私たちはずっと時代をさかのぼって農耕から工業化社会で、つい先日まではクラウドに情報を上げて、それを下ろしてきて自分たちで編集して、世の中の物事を考え次の推移を読んで、展開をしていく。皆さま方がまさしくそういうところの最前線にお立ちになっている方々ですよ。でも、いまからは、情報処理はすべてスーパーコンピューターがやってくれて、私たちはそれをどう活用していくかをいち早くどう解決するかを考えなければいけない。おまけに環境問題、釧路は海と山に囲まれていますから特に釧路湿原の問題もありますし、日々いろいろ考えていることがあるでしょう。けれども、私たちの周りで取り組まなければいけないSDGsもあります。これは、2030年までに解決しなければならず、どの事業体も、それから私たち一人ひとりの人間もこれに向き合わなければいけないのです。

まさしく、先ほどの城西ロータリーがやってくれたことを、釧路ロータリーの方たちが学校へ行って、自分たちの仕事の中にどうSDGsを活かしているのかを話していただくだけでも、「なるほど、SDGsは身近な仕事の中で、このように考えられて、私たち・僕たちが生きていく社会を良くするために様々な工夫がこらされている」ということがリアルな学びとして子どもたちに伝わるのがとても大切ではないかと思っています。

これまでの社会とこれからの社会。いまから求められる力というのは、「ドリルが解ける」「問題集が解ける」「人よりもたくさん練習をしたら、難しい問題が解けます」ということではないのです。自分で考えて、自分たちで答えを見出して・果敢にチャレンジをする人材です。そのような人材を育成しない限り私たちが住んでいる街に未来が生まれません。

それは、学び続けられる人を育成していくことが重要だというのが一番のポイントになっていく。そのためには、「学校・教育委員会に教育はお任せだ」ではなく、皆さま方のように社会の中で活躍している方たちが、いかに「君たちみんなが学んでいることが未来につながるのか」を問いかけて、自分から答えを探していけるようなつながりを子どもたちと持っていくことが必要です。小学校・中学校・高校・大学といろいろな形

でつながりを持っていただくことがとても重要なのです。それが生涯に亘って学び続けられる。新しい仕事を生み出していくことも、学び続けられて物事を考えられる素地があるからであり、それは次を生み出していくことにつながっていく。

これは今回、釧路におじゃまをするにあたって釧路のデータをいろいろ見ました。唯一、1枚だけ入れて来ました。こんなに人口が減っていくのですよ。釧路が消滅しちゃうかもしれません。私は全国へ講演で訪問しています。そこで感じるのは、若いお姉さんが魅力を感じて住んでくれない街は、若い男が残らない街になるのです。

なるほどねと思います。香川県へ行った時に校長会の研修で呼ばれたのですが、「なぜ香川は割と小さな街で、元気があると思いますか」と校長先生たちに質問をしたら、みんな首をひねるのです。香川はいたる所におしゃれなカフェがあって、ちょっと小高い山の上には素敵なお店があります。香川大学と一緒に開発をした『太らないレアシュガー』というものがあって、それを使っていろいろなデザートを生み出しています。もちろんそれはダイエットが主目的ではなく、糖尿病など病気のために開発されたもので、希少糖と言います。それから、うどんが安くて190円で食べられる。町中におしゃれなブティックがある。中国四国の中で唯一のブランドショップが香川県にはある。それだけ若い子たちが住んでいる。女性が魅力を感じる街になっているから、心の中で「住んでいて、良い」と思う面白い街であるのです。ただまだまだ生まれ変わらなければいけない課題を私の中では感じているのですが、香川県も15～16年関わりながらいろいろなことを一緒にやってきていて、日々変革を起こしてくれていると思います。

この社会の変化に追い付いて行くためには、これからの社会で生きていく・働く子どもたちをどう街につなぎ止めることができるのか。ひいてはそれが「従来と同じ教育内容で本当に良いのか」「上から一方的にブラック校則で、俺たちの言うことだけ聞いていけば良いのだと言って押さえつける教育で良いのか」「自分たちで考える頭を持てる子どもたちを育てるのではないのか」という論点に通じるところがあるます。その様な論点を解消していくことにより「学び」が変わっていきます。

この学びの変わりについて文部科学省もきちんと教育課程の変更で、いまから小・中・高の教育はかなり劇的に変わって行きます。「個別最適化」といわれる一人ひとりに向けた教育をどう提供していくのが大事です。私は中央教育審議会に10年所属していて、大学入試改革にも携わったのですが、やはり変化に対応して、自ら課題を設定して、答のない問題に解を見出すために他者と協働をする。実行・実現することがで

きる力を身に付けてほしいから大学に行かせる、大学教育とはそういうことだと考えている。大学入試の志願者の能力、意欲や適正を多面的総合的に評価していくことが重要ということが打ち出されたわけです。

新しい学力観としてこのようなことが示されています。かつては十分な知識技能を習得していれば良かったのです。そこに、「思考して判断力がついて、表現できた方が良い」ということがプラスされて、これからの教育には、「主体的に関わり、多様性を認めつつ協働していくことが大事なのだ」と。それは学校だけでできるのでしょうか。社会全体が一丸となって取り組むことこそが次代を担う子どもたちを育てていくということにつながっていきます。

では、釧路で何ができるのか。教育委員会は、ここにいるお歴々、素晴らしい皆さん、才能を持っているいろいろな仕事をしている方たちを受け入れてくれるのか。いまは受け入れられないのです。教育関係者の方がいたらごめんなさい、釧路は割と固いのです、固い。面倒くさいのかな。本当は年間スケジュールの中で、素晴らしい経営者の方に来ていただいて、いろいろなお話をさせていただくこと、体験をさせていただくことは子どもたちにとってものすごい刺激になって、何を学ぶかに気付くことにつながっていくので、東京城西ロータリークラブのトップの方が杉並区の教育への理解が深かったから首長とマッチングして、どんどんいろいろな展開ができたこともあります。でも皆さま、諦めていたら釧路から若い人が消えてしまうじゃないですか。大学で外へ出たら戻って来ないじゃないですか。

でも先ほど、ご挨拶をしていた方の話を聞いていて、なるほど札幌へ出ていたけれど釧路へ戻って来た。そういうことが大事なのです。「カムバックサーモン」、釧路に魅力があって、戻って来て、いま釧路のロータリーアンになっているということは、釧路に大きな貢献をしているということですよ。そういう人材をわれわれ・皆さん方とともにどう育てていくかということが大事なのです。

これからの学びの方向性はこのようになっています。「何を知っているのか」「何ができるのか」「知っていること、できることをどう使うのか」「どのようにより良く社会・世界と関わって、自分自身がつかみ取り、いい人生を送るのか」「変化の中に生きる社会的存在としての力を付けることが大事だ」と文部科学省は全面的に打ち出しているわけです。なおかつ学習指導要領、これは学びの基本で、打ち出されたものの方向性で学校が動きます。

学校の学びは、将来につながっているのか。志望大学へ合格するためだけの学びではない、そこから先が大事なのです。皆さま方は十分な経験の下で、そう思っています。いくら東京大学を出ても何の役にも立たな

い人たちも世の中にはいるわけです。
中卒だって、高卒だって、こんなに街のために貢献をする事業を展開していることもある。仕事をするのは、様々な可能性を秘めていることの方がより重要なのです。生きる力をどう身に付けるのかが大事です。だから人工知能がすごく進んでIT化が進んでも、文部科学省は言っています。「そうではないよ。人間の学習だよ。人として自立して、人として魅力を増やすことが大事だよ」と。でも、親だけで、学校の先生だけが関わっていてもそれは育ちません。より多くの人に関わり、より多くの方のお話を伺ったり、生きる姿を見せていただいたり、お仕事の現場を見たり、「なるほど」と自分自身が心を揺さぶられることが大事なのです。そうではない限り、自ら学びたいという主体的な学びにならないです。だから体験を取り入れた教育が必要なのだということで、『キャリア教育』という言葉が一般に普及しだしたわけです。このようなことを繰り返し行っていくことの中で、体験・経験をして、それでキャリアというものを考える。キャリアという言葉は別にキャリア官僚でもキャリアウーマンを指す言葉ではない、生きていくということです。キャリアの元々の語源は、荷馬車を引いた後にできる『わだち』を指してキャリアと言います。どう生きていくのかという自分自身の指針、自分自身の進む道、それを自分自身が考え続けることが『キャリア・生きていく』ということです。
この写真は、皆さまのような方たちを学校にお呼びして、子どもたちがそれぞれの教室に分かれて授業をした後、最後にまたお礼を言っている。コロナの前だからこんなに密ができましたけれども、企業の方たちに入っただけで様々なことを行ったりもしていません。これからの学校教育は、実社会につなぐ企業のリソースを活かす。学習意欲・習慣形成につなげる地域ならではの故郷のアイデンティティーをどう確立するのが大切ですか。
私は、釧路をすごく魅力的な街だと思うのですが、釧路の学校は、釧路湿原についても、今日午前中におじゃました猛禽類医学研究所についても、いろいろな被害にあって保護されている鳥たちが飼われている所ですけど、そのことを学んだりもしない。マリモのことも見たことも聞いたこともない。「なんでやねん」というところに置かれている。どうして教育と地元が離れているのかすごく不思議なのです。
こうやって他者へ働きかけて、他者と協働して、外部との相互作用を起こしていくことで子どもたちが気付いていくことが大事なのです。子どもを中心に、学校教育・家庭教育・社会教育を意識する中で、皆さま方こそが社会教育の最前線にお立ちになっている方たちです。そのような皆さんと学校をつないで地域のネットワークを作ることがすごく大事なのです。

いま釧路ではまだ一般的ではないのですが、文部科学省はコミュニティ・スクール（地域運営学校）というものを全国に推し進めようとしています。この良さは、体験をしてみないと分からないのです。その体験をしていくことの中から地域とともに学校経営をしていくということは、子どもたちの次の段階に対しての未来が開けていくこととなります。

今日は、もう時間がないのでここを詳しくは言えないのですが、これは日立製作所が入ってユニバーサルデザインを行っているところです。これは野村総合研究所さんと一緒にお店を経営することを授業で行っています。これはバンダイさんと一緒にエコについて学んでいるところです。このようなことを行いながら子どもが身近に体験することを通して、企業が伝えたいことが、即ち学んでいることのベースにつながっています。それが社会・地球すべてを良くしていくことにつながっていくのだということを意識して、一緒に行うことによって子どもたちは確実に変わっていきます。

私が釧路と一緒にやりたいと思っていることは、非認知能力を高めるというものです。学校で学んで成績が付くことを認知能力と言います。認知能力を高めていくためには、非認知能力を高めていく必要がある。非認知能力というものは、「やってみた」「成功した」「失敗した」というものです。皆さま方は小さいころ、山に登る。木の上に基地を作る等、子どもたち同士でいろいろな体験を積んできた、という方もたくさんいるはずなのです。しかし、いまの子どもたちは何ひとつできません。全部危険だからと、禁止されています。その割に、「ゲームばかりやっている」と大人は文句を言います。そんな文句を言っている場合ではないのです。「ゲームだけを学んで、何億円を稼げる人になっていくか分からない」という社会がもうここに来ている。では、どのような体験をさせるのか。うんと小さいころには、体を使ってバランス感覚を整えながら自分自身が解き放たれるようなことをしなければいけない。

この人は「非認知能力」というものを提唱した経済学者さんです。この投影資料が必要な方は、送ってありますのでもらっていただければいいと思います。ここにも書いてありますが、この『非認知の社会情緒的スキル』というものを伸ばしていくことが、将来チームで仕事をするとか、自分自身が誰にも頼らずに判断できるとか、そのようなところに結び付いていくことになっていきます。これを私は某企業と一緒に『アンクス・プロジェクト』と名付けています。

認知能力を伸ばすためには、非認知的能力を伸ばしていくことが大事なのです。あまり身近に感じたことがないかもしれませんが、発達障がいといわれる「すごくとがって、ものすごくいろいろなことができるのに、

ここだけ極端にできない」とか、「なぜこの判断が付かないのか」ということが今かなりの確立で、いろいろな年齢層の中に存在しています。「なぜ、俺がこれだけ親切に教えてやったのに、どうしてこれだけ意識ができないのだ」と思われた経験がある方もいるかもしれません。しかし、それは決して社会の中で生きないわけではないのです。その方に対してどう対応していくのが一番問題で、そのようなことを一緒に判断しながら学校教育の中で、それぞれの適正、個別最適化という学びをし、子どもたちが力を付けて、それがいずれ社会・経済の発展・発達につながっていくと思うと、より多くの大人が児童青少年の個性特性を理解して、関わることの重要性をご理解いただけると思います。

本当に短い時間だったので、今日は私からは以上ですが、また何かの機会がございましたら、もう少し長いバージョンでいろいろなことを丁寧に話しますので、そのような機会がありましたら、また聞いていただけたらと思います。

本日は、お耳をお借りして、いろいろなお話を聞いてくださってありがとうございました。失礼いたします。

副会長謝辞

それでは、謝辞をさせていただきます。まずは、生重様、本当に短い時間でグッと詰めてお話いただきまして申し訳ございません。限られた時間で本当にありがとうございます。

他地域のロータリー活動や釧路の人口減による衰退に

も危惧していただきまして、本当にドキッとするようなお言葉もいただきました。

その中で、いまも認知能力と非認知能力の言葉も含めて、この街に住む私たちがこれからもここで生活をしていくわけですが、若い人が残るような街づくりをしなければいけないというところでは、若い人が働きやすい雇用も必要ですし、雇用の安定を心がけていければ、その先には私たちの会社が発展をします。そうすると街の発展に結びつく。グルグル回るものだと思いますが、やはりどれが欠けても困ることだと思いますので、これからも私たちがロータリアンとして、また一企業の経営者、もしくは重要な方々がたくさんいらっしゃると思いますので、機会があれば若い人のお話を聞いたりすることも必要だと思います。

また機会がございましたらこの続きのお話をお聞きできればと思いました。

本日は、本当に短い時間でありがとうございました。

本日のニコニコ献金

■浅川 正紳君 本日杉村会長の代わりを務めさせていただきます。閉会の点鐘はしっかり頑張ります。

今年度累計 472,000円

地域力を向上させるための 子供たちの学力向上・キャリア教育

NPO法人 スクール・アドバイス・ネットワーク 理事長

生重 幸恵

<https://www.sanet.jp/>

北海道出身

P T A 活動から出発し、子供たちの教育活動（学校教育・学校外教育）支援を通しての「地域活性化」を目指して、近隣学校の P T A 会長経験者とともに特定非営利活動法人スクール・アドバイス・ネットワークを設立し、以来代表を務めている。2016年より、カンコー教育ソリューション研究協議会の学校担当理事として、全国の学校を回り、学校を中心に地域を巻き込むキャリア教育の啓蒙活動に邁進。

- ◆ 【文部科学省】 中央教育審議会 第9期中央審議委員
中央教育審議会 生涯学習分科会委員
中央教育審議会 高大接続特別部会委員
中央教育審議会 実践的な職業教育を行なう
新たな高等教育機関の制度化に関する特別部会委員
中央教育審議会 地域とともにある学校の在り方に
関する作業部会委員
中央教育審議会 学校地域協働部会委員
コミュニティ・スクール企画委員会委員及び推進員
(CSエグゼクティブ)
- ◆ 【内閣府】 地域活性化伝道師
- ◆ 【農水省・文科省・総務省】 三省連携事業
「こども農山漁村交流プロジェクト」推進協議会委員
- 特定非営利活動法人スクール・アドバイス・ネットワーク 理事長
- キャリア教育コーディネーターネットワーク協議会 代表理事
- カンコー教育ソリューション研究協議会 理事

社会が変わる

少子高齢化の進展

- 将来の負担が次世代へ
- 社会全体の活力低下

社会格差の増大、固定化

- 一人一人の意欲衰退、社会の不安定化

地域社会、家族の変容

- 社会の絆の喪失、個々人の孤立化

産業構造・雇用の変化

- 失業率、非正規雇用の更なる拡大

グローバル化の進展

- 国際競争力の低下・産業等の空洞化が懸念経済規模の拡大のみの限界

現在の職業の多くは、今後なくなっていく

今後10～20年程度で、約47%の仕事が自動化される可能性が高い

マイケル・A・オズボーン氏（オックスフォード大学准教授）

子どもたちの65%は、大学卒業後、今は存在していない職業に就く

キャシー・デビッドソン氏（ニューヨーク市立大学大学院センター教授）

人工知能AI



金融

三菱UFJ信託、AIが運用する
投資信託

(2016年5月8日 日本経済新聞)

芸術

人工知能が描いた
「レンブラントの新作？」

(2016年4月14日 WIRED)

サービス

新宿伊勢丹で「人工知能」による接客サービス

利き酒、ソムリエ、ファッションアイテムの提案・・・
(2016年10月13日 SENSORS.jp)

教育

ジョージア工科大、TAが人工知能だったことに
学生が誰も気づかなかった (2016年5月12日 Gizmodo US)

料理

IBMのワトソンシェフが創作レシピを考案
料理本を出版へ (2015年4月10日 CBS Interactive)

医療

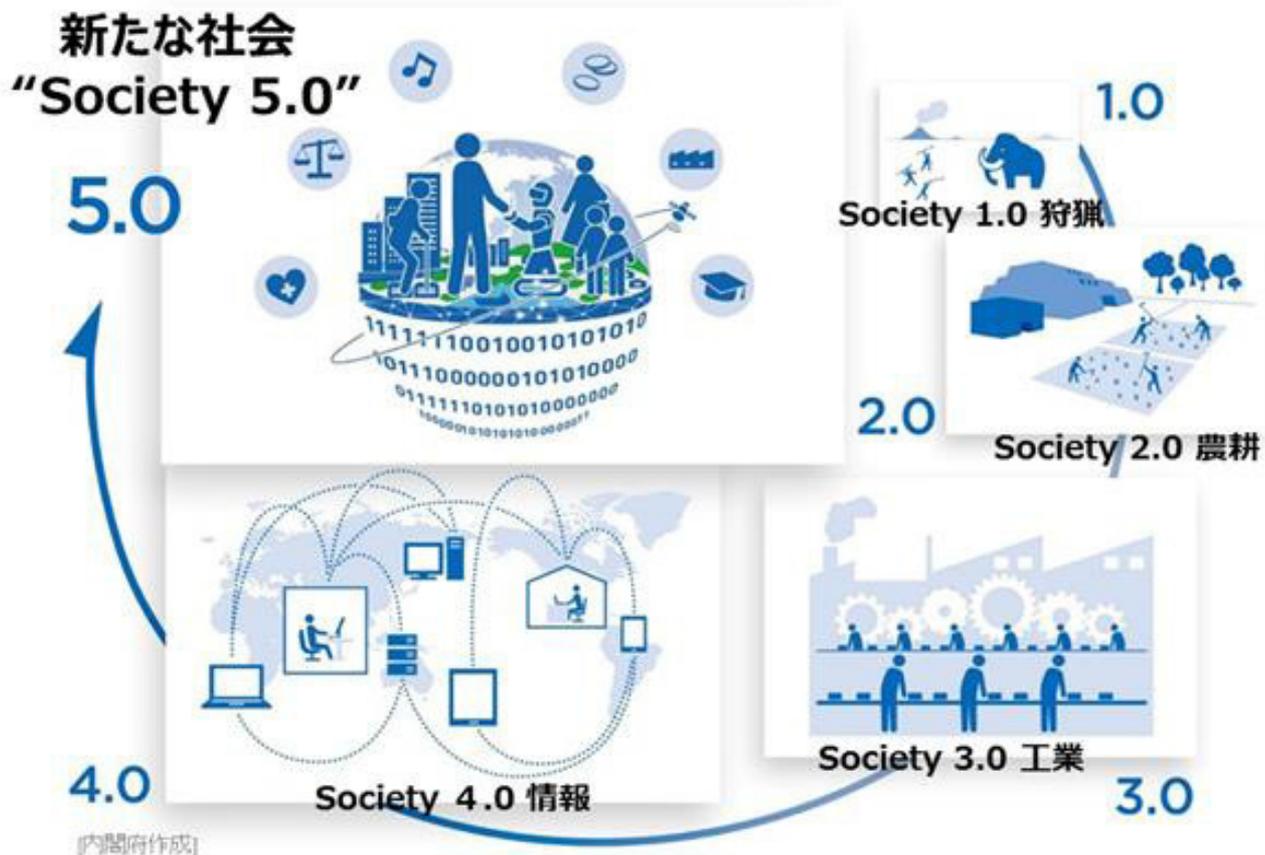
人工知能で病名突き止め患者の命救う

国内初 東京大学医科学研究所 (2016年8月4日 NHK)

経営

日立製作所 企業の経営判断を支援する人工
知能システムの実現へ

(2016年6月2日 日立製作所ニュースリリースより)



サイバー空間とフィジカル（現実）空間を高度に融合させたシステムにより、
経済発展と社会課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society）

※日本が目指すべき未来社会の姿として内閣府が提唱

2015年9月の国連サミットで全会一致で採択。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年を年限とする17の国際目標(その下に、169のターゲット、232の指標が決められている)。特徴は、以下の5つ。



- 普遍性** 先進国を含め、**全ての国が行動**
- 包摂性** 人間の安全保障の理念を反映し「**誰一人取り残さない**」
- 参画型** **全てのステークホルダーが役割を**
- 統合性** 社会・経済・環境に**統合的に取り組む**
- 透明性** **定期的にフォローアップ**

前身:ミレニアム開発目標 (Millennium Development Goals: MDGs)

- 2001年に国連で専門家間の議論を経て策定。2000年に採択された「国連ミレニアム宣言」と、1990年代の主要な国際会議で採択された国際開発目標を統合したもの。
- 発展途上国向けの開発目標として、2015年を期限とする8つの目標を設定。
 (①貧困・飢餓, ②初等教育, ③女性, ④乳幼児, ⑤妊産婦, ⑥疾病, ⑦環境, ⑧連帯)
 - ✓ MDGsは一定の成果を達成。一方で、未達成の課題も残された。
 - 極度の貧困半減(目標①)やHIV・マラリア対策(同⑥)等を達成。
 - × 乳幼児や妊産婦の死亡率削減(同④, ⑤)は未達成。サブサハラアフリカ等で達成に遅れ



これまでの社会

工業化社会

知識・技能の「習得」と「再生」

【情報処理力】

価値の持続継承

1人のリーダーとフォロワー

同質化社会で積み上げるキャリア

同一文化の中で暗黙の理解

これからの社会

知識基盤社会

知識・技能の「活用」

【情報編集力】

新しい価値の創造

個々人がリーダーシップを発揮

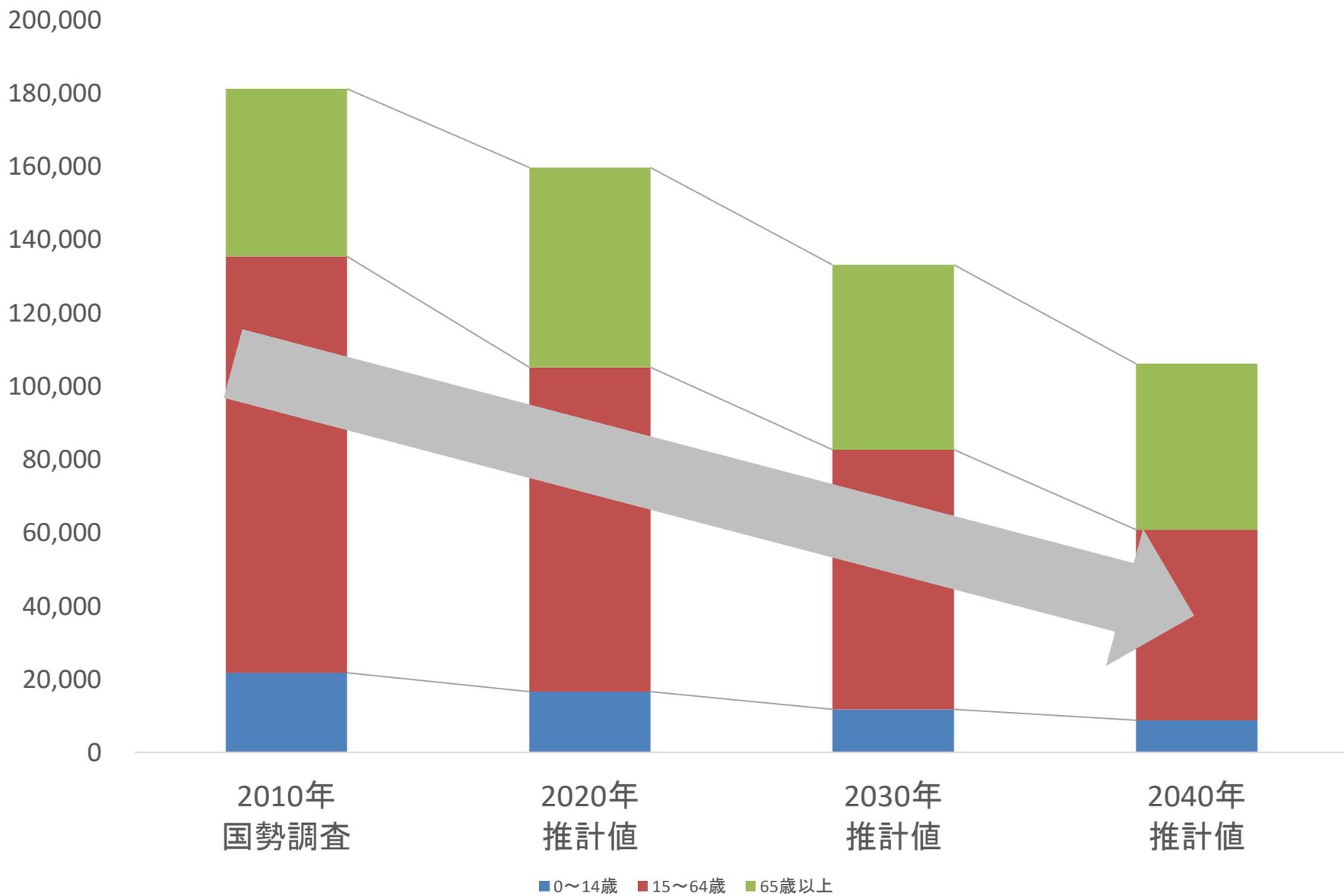
自分のキャリアを切り拓く力

異文化の中で多様性の許容

変化が激しい、予測できない社会において、必要とされる知識・能力は？

「学び続けられる人」の育成

釧路の状況 (将来人口の推移)



出所: 釧路市HPデータより

社会の変化



これからの社会で生きて
働く子どもたち



従来と同じ
教育内容、授業でいい？

学びが変わる

これからの時代においては、知識・技能とともに、
**変化に対応して自ら課題を設定し、答えのない問
題に解を見い出し、他者と協働するなどしつつ、
実行、実現していくことのできる力**などが特に重要で
ある。大学入学者選抜においては、各学校段階を通じたこ
のような能力等の意育成が促進されるよう、大学入学者志
願者の**能力、意欲、適性等を多面的・総合的に評価**
するものに転換していくことが求められる。

新しい学力観～学力の3要素～

知識・技能

十分な知識・技能を習得する

思考力 判断力 表現力

自ら課題を発見し、その解決に向けて探求し、成果等を表現するために必要な「思考力・判断力・表現力等の能力」を育む

主体性 多様性 協働性

これからの時代の社会で生きていくために必要な「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を養う

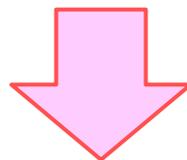
キーワードは、「**社会に開かれた教育課程**」

資質・能力の**要素を3つの柱**とする。

**何を知っているか、
何ができるか**
(個別の知識・技能)

**知っていること・できることを
どう使うか**
(思考力・判断力・表現力)

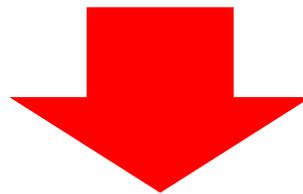
**どのように社会・世界と関わり
よりよい人生を送るか**
(学びに向かう力・人間性等)



**変化の中に生きる社会的存在として、
力をつける**

第1部 学習指導要領改訂の基本的な方向性

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「主体的な学び」が実現できているか。子供自身が興味をもって積極的に取り組むとともに、学習活動を自ら振り返り意味付けたり、身についた資質・能力を自覚したり、共有したりすることが重要である。



学校での学びが将来につながっているか。
志望大学へ合格するための学びでは決してないはず。

第1部 学習指導要領改訂の基本的な方向性

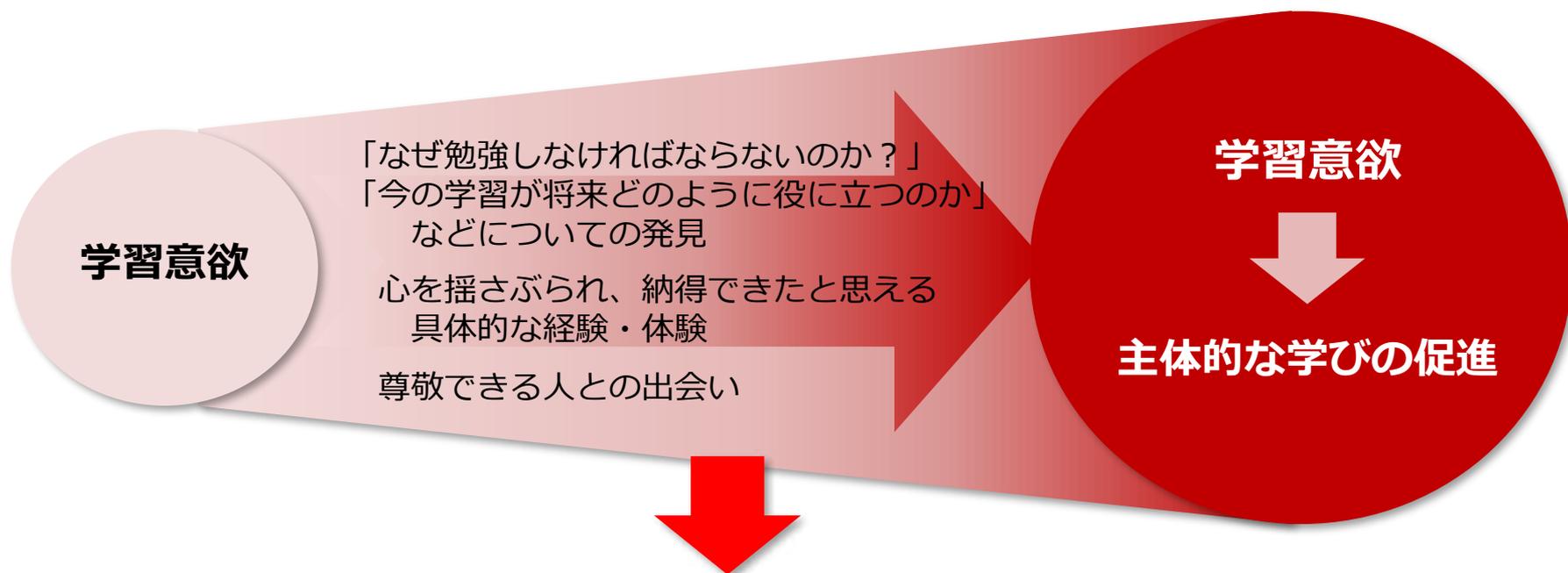
人工知能がいかに進化しようとしても、それが行っているのは与えられた目的の中での処理である。一方で人間は、感性を豊かに働かせながら、どのような未来を創っていくのか、どのように社会や人生をよりよいものにしていくのかという目的を自ら考え出すことができる。

多様な文脈が複雑に入り混じった環境の中でも、場面や状況を理解して自分の考えをまとめたり、相手にふさわしい表現を工夫したり、答えのない課題に対して、多様な他者と協働しながら目的に応じた納得解を見いだしたりすることができるという強みを持っている。

このために必要な力を成長の中で育てているのが、**人間の学習**である。

現代の子どもたちが抱えている課題

- 学びに対する興味関心の希薄さ
- 体験や経験の少なさ
- 将来との関連性が見えないままでの学び
- 受験勉強偏重型が起こす、受験終了後の学びへの意欲の低下



体験を取り入れた教育が必要

- 教室が「リアルな世の中」と直結する
- 外部人材が使命感や誇りをもっている「本物の姿」に接する

体験

自らがやってみること

経験

体験により、ものの見方や考え方が形成されること

キャリア

個々が生涯にわたって遂行する様々な立場や役割の連鎖及びその過程における自己と働くこととの関係付けや価値付けの累積

豊富な体験による価値観の変容

地域と学校の連携・協働による教育の必要性



① 実社会につなぐ

- * 社会で役立つ経験をするプログラム
- * 多様なロールモデルや「本物」に触れるプログラムの充実

他者への
働きかけ

② 企業のリソースを生かす

- * 学校教育だけでは教えることが難しい
実社会の経験を踏まえたプログラム
- * 環境教育、キャリア教育、国際理解等の
企業の特性を生かしたプログラム

外部との
相互作用

③ 学習意欲・習慣形成につなげる

- * 就学前の子供たちが学ぶ楽しさに出会うプログラム
- * 振り返り学習や発展的な学習の充実

他者との
協働

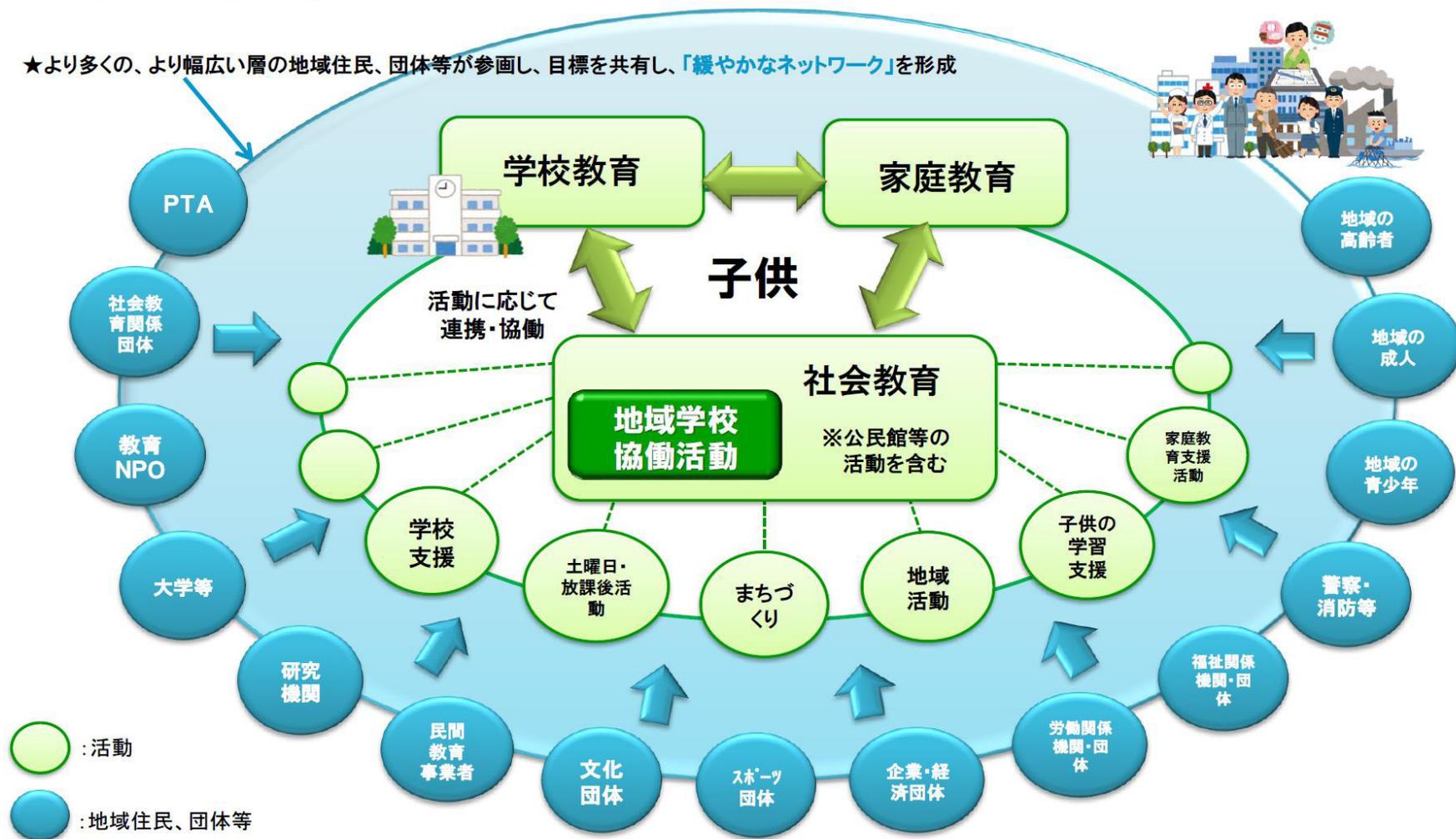
④ 「地域ならではの」

- * 地域の目標を踏まえ「ふるさと教育」や「学力向上」などの
地域の特性や課題に応じたプログラム
- * 多様性を重視したプログラム等

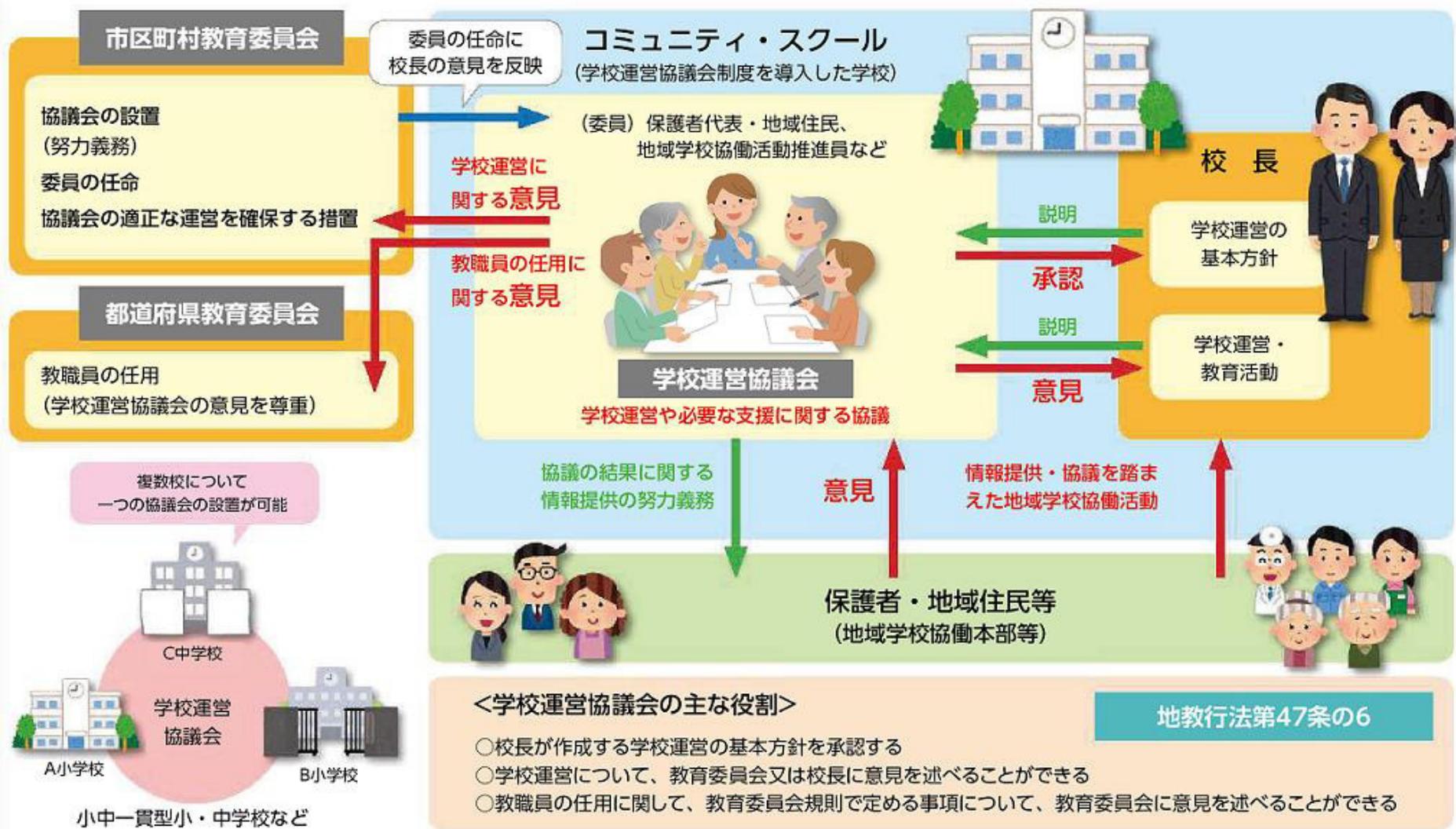
地域全体で未来を担う子供たちの成長を支える仕組み

- ◎ 次代を担う子供に対して、どのような資質を育むのかという目標を共有し、地域社会と学校が協働。
- ◎ 従来の地縁団体だけではなく、新しいつながりによる地域の教育力の向上・充実は、地域課題解決等に向けた連携・協働につながり、持続可能な地域社会の源となる。

★より多くの、より幅広い層の地域住民、団体等が参画し、目標を共有し、「緩やかなネットワーク」を形成

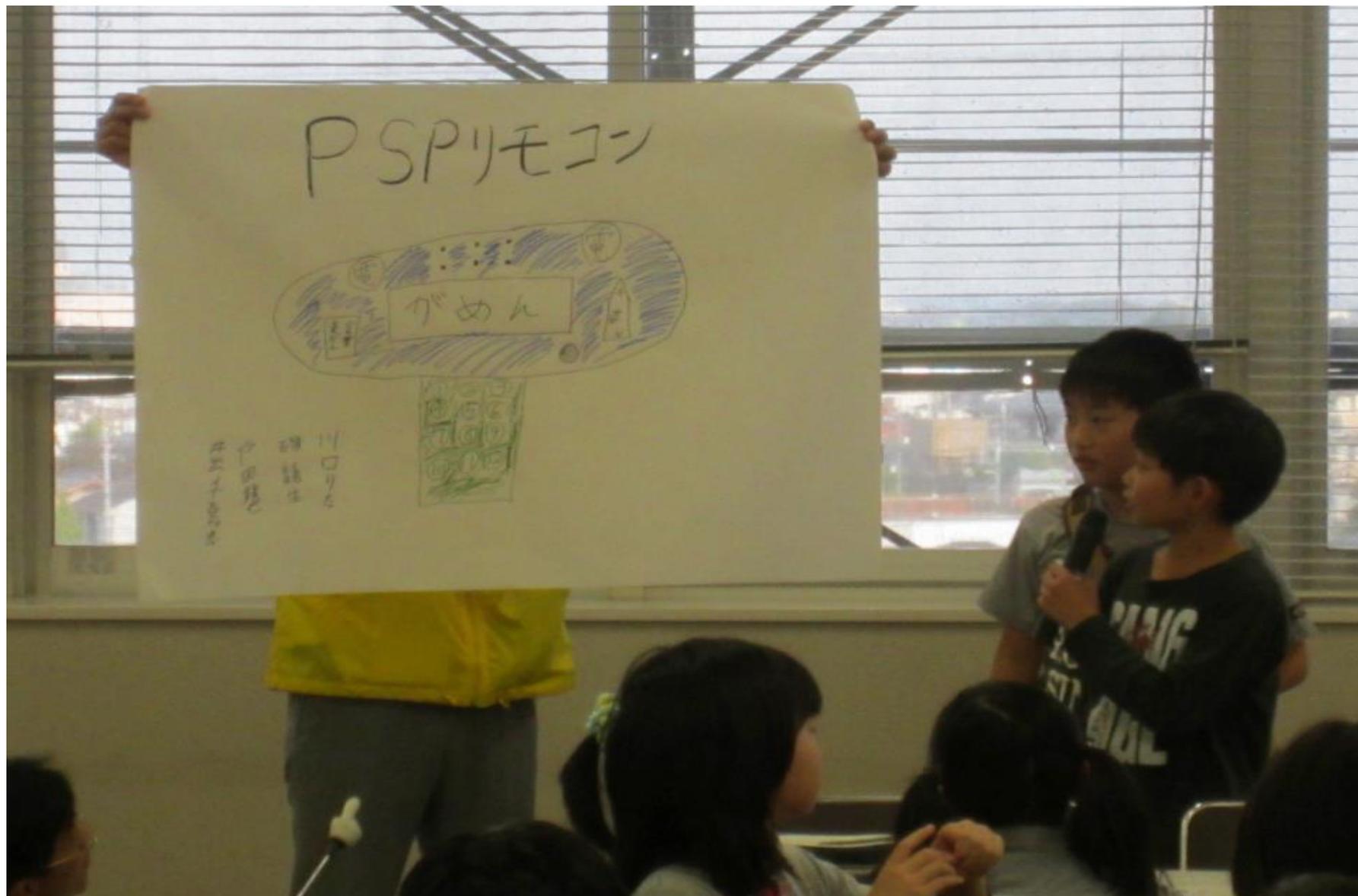


コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の仕組み



授業導入事例











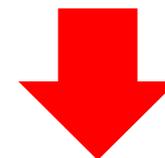




ドリームズカムトゥルー



生徒一人ひとりが
興味を持つ職業の方を訪ね
仕事の内容・仕事に
就くために必要なことを聞く



自分が夢に見る職業を
身近に感じることができる

新しい商品やサービスを企画し提案するPBL型プログラム

テーマの確認・情報収集

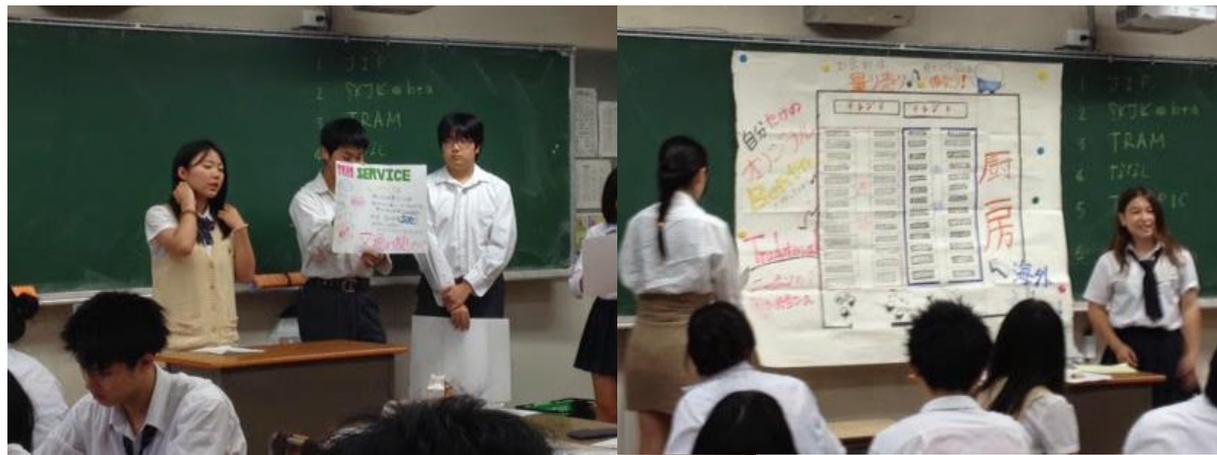
マーケティングリサーチ
(ニーズの調査)

ビジネスプランを考える

テストマーケティング
(ヒアリング)

【中間発表会】相互評価を行う

【最終発表】
社会人から評価をもらう



◆ チームで活動し、乗り越えることで他者との関係の中で役割を果たす必要性を知る（人間関係形成・社会形成）

◆ 社会人からビジネス視点の評価をもらうことで、社会に求められる能力に気づく（課題対応能力）

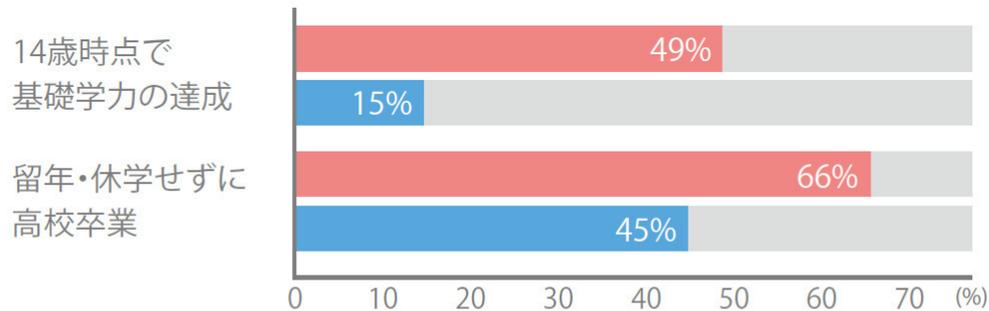


- ◆職業について調べることで、自身の将来について考える。
- ◆働く人から直接話を聞くことで、働くことや職業について理解する。
(キャリアプランニング能力)

WHAT'S NON COGNITIVE SKILLS ?

非認知能力の向上が子どもの将来に影響を与える

教育的効果

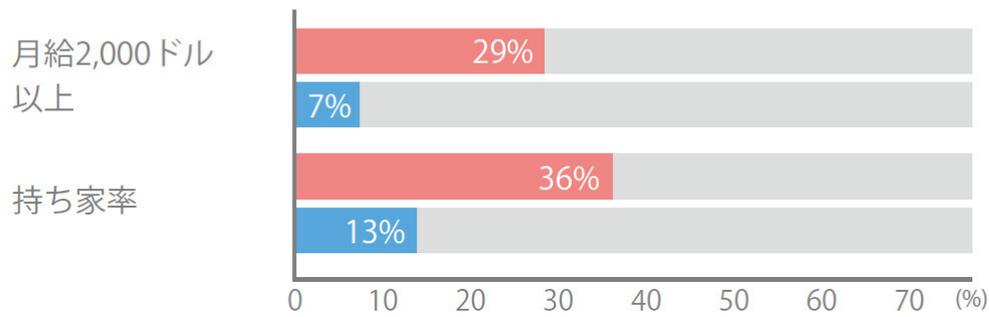


これからは意欲や自信、
自制心やおもいやりなど
目にみえにくい
非認知能力に着目して
高めていかなければいけない



ジェームズ・ヘックマン

40歳時点での経済効果

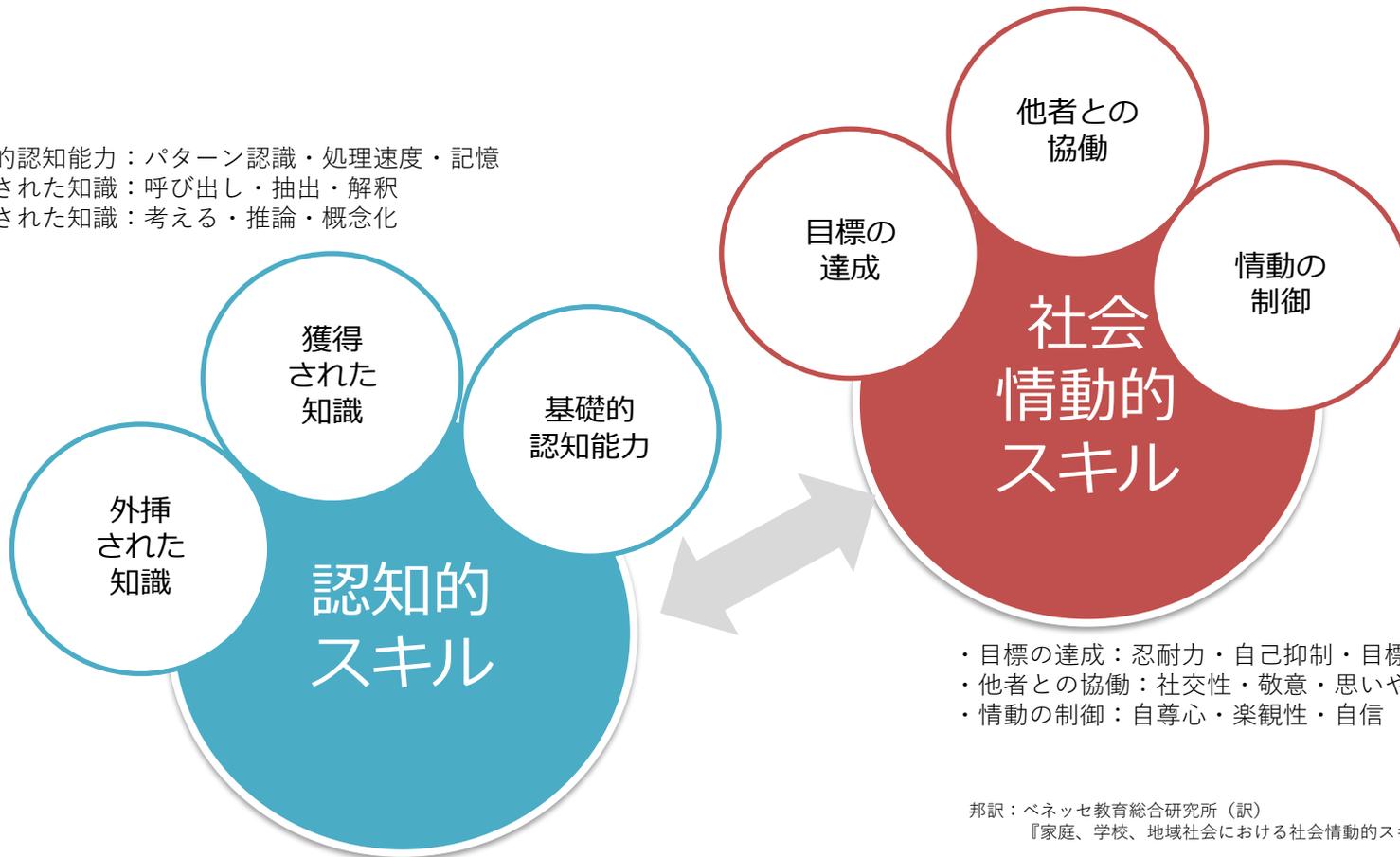


■ 就学前教育を受けた子ども
■ 就学前教育を受けなかった子ども

WHAT'S NON COGNITIVE SKILLS ?

OECD (2015) による社会情動的スキル

- ・ 基礎的認知能力：パターン認識・処理速度・記憶
- ・ 獲得された知識：呼び出し・抽出・解釈
- ・ 外挿された知識：考える・推論・概念化





Ancs
program

認知的能力
Cognitive Skills

IQ（知能指数）や学力など
数値化が可能な能力

相互作用的
関係にある



非認知的能力
Non Cognitive Skills

生きていくために大切な情緒
目標に向かう力・他者協働の力
（社会情動的スキル）



プラスの影響
（情緒の安定・意欲や向上心 ¥ 他者とのかかわり）

2022.3.24 (木)
第31回例会
(通算3658回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副会長 浅川 正紳
幹事 市橋 多佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2021-2022年度
国際ロータリーテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022年度
RI会長 シェカール・メータ
第2500地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイ RC)

月間テーマ	水と衛生月間
本日のプログラム	嵯峨記念育英会奨学生卒業報告 (担当：嵯峨記念育英会委員会)
次週例会	転勤族フォーラム「桐島支店長、釧路に転勤だってよ (担当：プログラム委員会)

- ロータリーソング：それでこそロータリー
- ソングリーダー：杉浦 裕之君
- 会員数 103名
- ビジター なし
- ゲスト 嵯峨記念育英会奨学生 釧路北陽高等学校 3年 森山摩乙さん、保護者 森山 由紀様
// // 桜井野々花さん、保護者 桜井なお様

会長の時間 杉村 莊平会長

皆さん、こんにちは。本日も多数のご出席いただきましてありがとうございます。

先週は所用でお休みをいただきまして、大変申し訳ございませんでした。その分、浅川副会長が素晴らしいご挨拶をさせていただいて、お務めをしっかりと果たしたと聞いております。ありがとうございます。引き続きしっかり会長職を全うしていきたいと思っております。

さて、まん延防止期間が終わりましたので、本日から少し卓数を増やして例会对応させていただいております。これでコロナが落ち着いてもらえればと思っておりますが、これから6月末までの間、コロナに気を付けながらも通常に近い運営に戻して、次年度に引継ぎしていければと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

これから通常に戻したいという気持ちの中で、これまで少し延期になってきた例会、事業の紹介を今日はしてみたいと思います。

まずは来週の3月31日、夜例会を再開させていただきます。これも振り返れば、1月6日の新年交礼会以来となります。久しぶりの夜例会で、親睦委員会も満を持しての登場となりますので、皆さん、ご期待していただければと思います。

続きまして4月7日には、山田支社長の絶大なるご支援の下、J R北海道さんの操車場などを見学させてい

ただけることになっています。その中に「S L冬の湿原号」「ノロッコ号」「新型の特急列車」など、全部見られると聞いております。小野寺君あたりは説明しなくても全部わかっていると思いますが、鉄道オタである方も、そうでない方もぜひ楽しみにして参加していただければと思います。これもよろしく願いいたします。

続きまして、4月9日から旭川で「地区研修協議会」がリアルで開催されます。これも振り返ってみると2019年の脇年度で、当時は吉田ガバナーエレクト向けの地区研修協議会を開催して以来、もっと言うと出物でいうと、その前の2018年、帯広での地区大会以来の出物となります。これまで過去4年間に入会してもらった方にはたぶん出物の経験がないと思います。締め切ったかもしれませんが、ふるってご参加いただいて、行き帰りの車両も大変楽しいですし、大変楽しい1泊2日になると思っておりますので振るってぜひご参加いただければと思います。

4月中旬からは、これも久しぶりの「メイクアップ体験会」を市内5クラブの例会に参加することをやらせていただきたいと思います。これもまた、2014年の吉田秀俊年度にメイクアップ体験会を開催して以来の久しぶりの事業ですので、これも班分けをしながらご希望を聞きながら各クラブに出席することになります。各クラブの例会を見られる機会はなかなかありませんので、これもぜひ楽しみに参加いただければ思

います。

続きまして5月に、協研修委員長にお願いをして、皆さんが楽しみにしている、僕の年度では2回目になります「炉辺会合とR L Iを活用した研修事業」をやりたいと思っております。しっかり、がっちりロータリーについて語っていただいて、有意義な時間を過ごしていただきたいと思います。

最後、6月までたどり着いたとしたら、これもしばらく開催できていない「野遊会」を開催したいと思っております。今のイメージとしては、阿寒町辺りに皆さんでバスに乗りながら野遊会に行きたいと思っております。これもぜひご準備していただければと思います。順調に進めば、この春にかけてかなりお酒を飲む機会が増えてくると思います。今から体調管理をしっかりしていただいて、いい5月・6月を過ごしていただければと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

ということで本日は、嵯峨記念奨学会の卒業生の皆さんの卒業例会となります。ここは毎年、良いお話が聞けて楽しみにしている例会です。先ほど、お話も聞いておりましたが3年間の間に多少コロナの影響を受けたかと思いますが、それぞれ素晴らしい高校生活だったのだと思います。それぞれ、釧路から出る方、残る方、いろいろ進路はさまざまだと思いますけど、お世話になったご両親、お世話になった方々、そしてこの故郷・釧路への感謝を忘れずに大いに羽ばたいていただければと思います。釧路ロータリークラブにもちょっとだけお世話になったかなと思い出していたければと思います。

本日はお話を楽しみにしております。よろしくお願ひいたします。

では、本日の例会よろしくお願ひいたします。

幹事報告 市橋多佳丞幹事

皆さま、こんにちは。幹事報告させていただきます。他クラブの今週の例会につきましてはお配りした例会案内のご一読をお願い申し上げます。

先ほど杉村会長からご案内がありました。4月第一例会を「職場訪問例会」としてJR北海道様にて執り行う予定となっております。また、会場の都合等々、お弁当の手配の関係もありまして、本日、皆さま方にご案内させていただき予定となっております。取りまとめの期間が短くなってきておりますが、皆さま方、ご出席をお願いできればと思っております。以上でございます。よろしくお願ひいたします。

転職のご挨拶

東京海上日動火災保険株式会社 釧路支社

杉浦 裕之君

東京海上日動の杉浦です。このような貴重なお時間

を頂戴しまして、誠にありがとうございます。

とうとう、ここでご挨拶をする時が来てしまいました。私は2018年4月に釧路に着任しまして、5月10日にこの歴史と伝統ある釧路ロータリークラブに入会させていただきました。以来、約4年間に亘りましてお世話になりました。

釧路を支えていらっしゃる経営者の皆さま、あるいは拠点長の皆さま、そういったロータリー会員の皆さまにあらゆる場面で可愛がっていただき、さまざまなことを学ばせていただき、この4年間の釧路生活が大変充実したものになりました。これも釧路ロータリークラブのおかげだと思ひ、感謝の気持ちでいっぱいでございます。

4月からは京都に本社がある宝ホールディングスという、宝酒造やタカラバイオをグループ会社に持つカンパニーなのですが、ここが、たまたま私どもが大株主になっていまして、重要取引先ということもあり、そこに出向させていただくことになりました。幸か不幸か単身赴任も解消し、奈良の自宅から30～40分かけて通勤させていただくことになりました。そこでも自分らしく、また頑張っていきたいと思っております。後任は、山口の徳山支社長をやっております小林が着任することになっています。おそらくお世話になることあるかと思いますが、ぜひ、私同様に可愛がっていただければ幸いです。

本当に4年間お世話になりしてありがとうございました。

嵯峨記念育英会委員会 清水 輝彦委員長

皆さん、こんにちは。ただいま、ご紹介ありました嵯峨記念育英会委員会委員長の清水です。

今日、これから卒業報告会ということで会を進めてまいりたいと思ひます。私は進行の方なのでご挨拶を長々する気はないのですが、卒業生の皆さま、ご家族の皆さま、おめでとうでございます。特にこのコロナ禍、いろんな事ができなかつたり、悔しい思いをしたりがいっぱいあると思うし、もしかするとこの先もう少し続くかもしれませんが、決して夢と希望を捨てずに元気で活躍していただければと思います。

それでは、この後の進行を西村智久さん、嵯峨記念育英会の業務執行理事をお願いしたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

嵯峨記念育英会業務執行理事 西村 智久君

嵯峨記念育英会の業務を担当しております西村です。本日は奨学生の卒業例会ということですが、昨年も出席者がいなくて3年振りの卒業例会ということで

大変嬉しく思っております。転勤族やベテランの方で「大好きな例会のひとつ」と言われるものに、嵯峨奨学生の入会と卒業生の例会があります。先日も皆さんに嵯峨記念育英会の議論していただいたところ大変盛り上がり、情報集会がとん挫もせず、1時間半も話をしていただいたということで、社会性がある委員会ですので今後ともよろしく願いいたします。

この度、卒業生の森山さんと桜井さんの願書を見ますと、二人とも入学した時には丸い眼鏡をしていたのですね。今はすっかりレディになっていますが、この成長を大変嬉しく思います。

進学の方と就職の方ということでございます。それぞれの抱負を、また未来に対しての夢を語っていただければと思います。二人とも元放送部らしいですから多分ペラペラと上手なスピーチが聞けると思います。皆さん、ご期待いただきたいと思います。

森山摩乙さんからよろしく願いいたします。

釧路北陽高等学校 3年生 森山 摩乙さん

こんにちは。眼鏡の話は恥ずかしいので忘れていただければと思います。

まずは皆さま、奨学金という形で私たちのご支援をくださりありがとうございました。私は中学生の時から教員になりたいと考えており、教育大学釧路校に進学したいと考えていたのですが、金銭面で進学を迷ってました。そこで、このような形で支援をしてくださったことで進学に乗り切ることができ、受験し無事合格し、4月から通わせていただくことになりました。

高校での3年間は1～2年生のときは生徒会や部活動などでたくさんいろいろな経験をさせていただき、3年生では進路活動に励みました。

4月からの大学生活では勉学に励むとともに、サークル活動などで充実した日々を送り、教員としてこの道東地域に貢献できるような行動をしていきたいと思えます。

よろしく願います。

釧路北陽高等学校 3年生 桜井 野々花さん

3年間、奨学金を支給していただきありがとうございました。

私が高校3年間で有意義に過ごし、進路を実現できたのもロータリークラブの皆さまのおかげだと思っております。

高校生活ではコロナウイルスにより学校行事が中止になって、部活動の大会がなくなってしまうなど、うまくいかないこともたくさんあったのですが、高校3年間をとおしてたくさん学ぶことができました。

私は先ほど紹介していただいたとおり、放送局に入部し2年生の時に局長を務め、初めて人をまとめるという立場に付きました。後輩をまとめたり、大会の計画を立てたりするなど、慣れないことがたくさんで、大変なこともあったのですが、改めて責任感の大切さなどたくさん学ぶことができました。私は4月から札幌市役所で働くこととなり、また新たな地でも頑張っていこうと思います。3年間、ありがとうございました。

嵯峨記念育英会業務執行理事 西村 智久君

ありがとうございます。ご希望があれば今の写真お送りしますがいかがですか。お二人が教育大学、札幌市役所、と大変優秀な卒業生に成長したことで、久々のヒットだと考えております。

私の紹介はこれで終了いたしまして、清水委員長にマイクをお渡しいたします。どうもありがとうございました。

嵯峨記念育英会委員会 清水 輝彦委員長

ありがとうございました。和気あいあいと楽しい雰囲気、お二方もちゃんと笑顔がこぼれて、とてもいい会だったなと思います。

あ、すみません、石田理事長からご挨拶いただく肝心なのを忘れていました。申し訳ありません。どうぞよろしく願いいたします。

ご挨拶 石田 博司理事長

まずはお二方、卒業おめでとうございます。私は20年ほど前に、こんな言葉に出会いました。それは、『幸せに生きるとは、苦勞の少ない人生を行くことではない。不幸があっても苦勞があっても平気で生きること』という言葉でした。「苦勞があっても平気で生きることが幸せ」という言葉にギュッと心をつかまれた気がしました。

振り返ってみると不幸や苦勞があった時、やっぱり「ついでない」とか「嫌だな」という気持ちで生きてきたのだと、自分でその生き方を反省しました。それまでの間には「艱難汝（かんなんなんじ）を玉にす」とか「若い時の苦勞は買ってでもせよ」という言葉は知ってはいましたが、どうも嬉しい言葉ではない、そんな嫌だなという本音だったのです。

例えていうならば、「艱難汝を玉にす」「若い時の苦勞は買ってでもせよ」というのが男親の厳しい言葉とすると、「苦勞があっても平気で生きていくのよ」は母の言葉のような感じが私にはしたのです。

その言葉がずっとそれから頭から離れなくて、いやでも自分の人生を振り返る言葉になったのです。振り返って気が付いたことです。苦勞というのは絶対に人にはあるものだ。苦勞があるからこそ人は成長すると

いうこと、自分を振り返った時に気が付いたのです。今、私も20～30年前よりはいくらか成長したかな。自分で自負するのですが、そのいくらかの成長の部分は辛かったこと、嫌なこと、苦しかったことが、今の私に育てたのだなとしみじみ思うのです。

どんな人にも、幸せそうに見える人にも、必ず苦勞があるのです。私は結構調べましたが、幸せそうな人を捕まえては「何かあった、なかったの」と聞くと、「実は君だから言うけどね」と言って、みんな苦勞して生きてきたのだなと、私の励みにもなりました。

ピカピカの二人の顔を見ていると、ふさわしい言葉かどうか知りませんが、私の人生観です。どんな人にも必ず不幸なこと、苦しいことがあるはずですが、でも、それがあからこそ人は成長できます。

はなむけの言葉になったかどうか分かりませんが、お二人の幸せをお祈りします。

ありがとうございます。

嵯峨記念育英会委員会 清水 輝彦委員長

まだ時間が若干ございます。ここで石田理事長より3月20日に行われました理事会に関係するお話がありますので皆さま、お聞きください。

では、よろしくお願いたします。

石田 博司・釧路ロータリー嵯峨記念育英会理事長

まずは先般の炉辺会合・情報集会では嵯峨育英会についての意見交換をしていただきましてありがとうございました。10のうち私は6つに参加いたしました。参加していないグループからも報告をいただきました。皆さま、大変真摯に真面目に真剣に討議をされて、ベテランのロータリアンからも「こんな情報集会、初めてだな」という声を何度も聞きました。さすが経済人の集まりだからなのか、それとも、基金が5,000万円あるから真剣に考えないといけないという責任感からなのか、分かりませんがとても参考になりました。

吉田潤司前理事長にいま申し上げましたけれども、「基金を崩してもいいでしょうか」と言ったら「構わないよ」というお返事だったのです。

ずっと嵯峨育英会の様子を見てきていまして、私が近年考えるのは「ありがたみが少なくなっている。それはどうしてか」ということがこの度やっとわかったのです。あまり教育熱心ではないですから、今の高校生の授業料免除を知らなかったのです。授業料が免除になっているから、それから物価の動向もあったりして、世の中での価値観で1万円の重みが昔とは違うと思うのです。

思い切って次の基金を値上げするのはどうかと思ったりしたのです。そのことも理事会に諮りましたし、炉辺会合・情報集会でもそういう意見を申し上げました。

それをイメージする時に一番の問題は、本当に基金を必要としている生徒・人材にどうしたら巡り会えるのだろうと。こういうつもりで例えば今は1万円だけでも、3万円、5万円、あるいは10万円という額を提示して、学校に「ふさわしい人を見つけてくれ」と言っても、恐らく学校同士で取り合いになるのではないかと思うのです。そうすると、まさか「母子家庭に限る」とも言えないでしょうし、非常に難しい。このままで行くと、どうしても片よりが出るのではないかと、一番差し上げたい人に行き着くのだろうか、という不安があります。

いま理事会で考えているのは、そこがクリアできるようないい方法が見つかるまで少しの間、新年度から基金の募集をお休みしてはいかがかなと思うわけです。これに特に強い反対がない限りはそうさせてもらいますし、これは皆さんからも毎年毎年、基金の寄付をいただいていますから、皆さま、われわれの育英会ですから。私一人の独断で決めるものではないので、あくまでひとつの考え方ですけれども、まずは特に異論がなければ、ちょっとお休みをして体制を組み直してみたい。

ひとつのアイデア・意見・考え方としては、高校生ではなくて、例えば釧路の公立大学に協力いただけるのであれば、釧路公立大学を受験する全国の高校に発信をしていただいて、「釧路ではこういう奨学金がありますよ」という案内をしてもらおうのはいかがでしょうかと思ったりしております。そうすると、選定についてもたくさん的高校生から選ぶよりは、1つの大学から選ぶ方がいいのではないかなと思ったりします。

もうひとつ、基金の取り崩しについては、これはいろんな意見あるでしょうけれども、私はどうも世界の経済、日本の経済ではこのままの同じシステムで行くとは思えないのです。大事に取っておくと「紙くず」になってしまうのではないかという気がするものですから、有効に使いたいと思ったりもするのです。

いずれにしても吉田潤司さんから受け継いだ以上、なにか自分が批判を受けても、身を切っても、何か有効な使い方をする役割があるのではないのだろうかかと、これはうぬぼれなのかもしれませんが、そういう思いがありまして皆さまに今日一言申し上げました。もし、これが「そう言わずに、しばらく今のままのシステムでやれ」という声が多いのであれば、そのように理事会に諮って考えます。

とりあえず、私の今の心境です。ありがとうございます。

2022.3.31 (木)
第32回例会
(通算3659回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副会長 浅川 正紳
幹事 市橋 多佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町5-3 ミツ輪ビル2F
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2021-2022年度
国際ロータリーテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022年度
RI会長 シェカール・メータ
第2500地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイRC)

月間テーマ	水と衛生月間
本日のプログラム	転勤族フォーラム「桐島支店長、釧路に転勤だってよ (担当：プログラム委員会)」
次週例会	職場訪問例会「北海道旅客鉄道株式会社 釧路支社」(担当：職業奉仕委員会)

- ロータリーソング：四つのテスト
- ソングリーダー：柿田 英樹君
- 会員数 103名
- ビジター なし
- ゲスト なし

会長の時間 杉村 莊平会長



みなさん、こんにちは。久々の夜例会で手順を把握できていませんで、もう会長あいさつかとところで、すみません失礼します。

3月31日というあわただしい日程での開催ですが、たくさんのメンバーに来ていただきましてありがとうございます。久しぶりに顔を拝見する方も何人もいらっしゃって、嬉しい限りでございます。ありがとうございます。

時節柄、ご異動の話も入って来ていますが、本日は工藤委員長が練り練った正にこの時期に合わせた転勤族の皆さんを対象にした例会となっております。工藤委員長恒例の小ネタが満載と聞いておりますので大変楽しみにしております。

大山さんは歓迎しているかどうか分かりませんが、いらっしゃいませんね、大山さんがモデルになって北陸銀行の表紙を飾っているということです。バンテリンに続いての主演ということで、皆さん、見習いながら、僕も見習いながら頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

本日はこういう例会ですが、釧路クラブの素晴らし

い雰囲気、文化を作っている大きな要因のひとつが転勤族の皆さんの存在だと言われております。吉田秀俊パスト会長がいつも「われわれ地元メンバーを土、転勤族の皆さんを風」に例えまして、「この風と土がこの釧路クラブの風土を作っているのだ」と表現されています。正にお山の大将であるわれわれ地元メンバーが、こうやってかろうじて品よく保っていただけるのも、毎年毎年、都会の風を連れて来てくれる上品で、礼儀正しい転勤族の皆さんのおかげだと常日ごろ感謝しているところでございます。本当にありがとうございます。

しかし、今日は上品で礼儀正しい転勤族のメンバーの皆さんがお酒の力を借りながら、仮面を脱ぎ捨て、釧路地方のことを辛辣に、辛口にトークしていただくと聞いておりますので楽しみにしております。会長としても今後のクラブ運営、もしくは釧路の街づくりについても参考にしたい意見が多々出るであろうと思っておりますので、一切の付度抜きに日ごろ思っていることをしっかりお話いただければと思っております。よろしくお願いいたします。

本日は夜例会です。皆さんで楽しくやっていきたいと思っておりますが、明日から新年度です。仕切り直しの新年交例会と気持ちを持って、改めて楽しんで突き進んでいきたいと思っております。本日の例会、よろしくお願いいたします。

幹事報告 市橋多佳丞幹事



皆さま、こんにちは。幹事報告をさせていただきます。他クラブの例会につきましては例会案内をご一読ください。

昨日、事務局より皆さまにご案内を流させていただきました「メイクアップ体験会」のご案内です。本来であれば5クラブにお伺いする予定でしたが、北クラブさんが「4月の例会プログラムで外部の方を受け入れる適当なタイミングがない。今回は残念ですがご遠慮いたします」というお話をいただきましたので、今回は4クラブで行います。皆さまにご案内が届いていると思いますので、ぜひ少なくとも1つはご出席いただければと思います。よろしくお願い申し上げます。

職場訪問例会のご案内も送付させていただいております。開催が来週となっておりますので早急にご返信をお願いいたします。

残念ながら3月31日付けで、大地みらい信金・片山君、NTTドコモ・吉岡君の転勤が決まったというご連絡を頂戴しております。本日の例会に参加できないか、お話をしてきましたが、どうしても公務等の都合で出席できないということで、皆さまに最後のご挨拶ができないことを非常に残念がっておりましたので、私からお伝えをさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。また、みずほ銀行の芦名君も転勤が決まっておりますので、本日ご出席いただいておりますので、のちほどご挨拶をいただこうと思っております。

以上です。

転勤挨拶

みずほ銀行釧路支店 支店長 芦名 健一君



みずほ銀行の芦名でございます。3月16日に人事異動の発令があつて、実は私は発令を受けていないのですが、後任の発令が

出ておまして、3月31日付けをもってみずほ銀行釧路支店長の任を解かれることになっております。

行先については、東京の本部と言われているのですが、明日の10時くらいに発令が出て正式に行先が分かる状況になっておまして、いま私自身がどこに行くのだろうとモヤモヤしている状況です。確定しましたら皆さまにはご案内させていただければと思っております。

ちょうど3年間、大変お世話になりました誠にありがとうございました。後ほど、転勤族の話で釧路のことが出ると思うので、僕は感想だけです。

釧路に来たときは、どんな土地か右も左も分からず来ましたが、釧路の方々は大変温かくて、よそから来た私にも快く迎えていただきました。その中で特にロータリーの皆さまにはいろいろな会があるときに、あるいは隣の席に座らせていただいたときに声をかけていただいて、話しやすくありがたかったなど覚えております。今まで転勤族なのでいろんな土地に住んでいるのですが、釧路ほど去り難いのを初めて感じております。

気候もいいですし、人の感情も温かい土地で去るのは残念なのですが、東京に帰ったら自分の周りの人々に釧路を薦めて、釧路の営業というか推薦をやってみたいなと思っています。いい土地の釧路を皆さんに知って欲しいと思えるほどにこの土地は魅力があると思っています。今後もプライベートも含めて遊びに来たいと思っていますし、何かの縁で皆さまと接する機会がありましたら相手をしていただけたらありがたいと思っています。

3年間、大変お世話になりました。ありがとうございました。

開会挨拶

親睦活動委員会 瀧波 大亮委員長

皆さん、こんばんは。親睦活動委員会委員長の瀧波でございます。2カ月ぶりの夜間例会ということで、私の司会も2カ月ぶりです。間違いなどあるかもしれ



ませんが、皆さまのご協力で楽しいひと時を過ごせませう、よろしくお願いいたします。

本日の『転勤族フォーラム「桐島支店長、釧路に転勤だってよ!?!」』を開会したいと思います。

早速ですが乾杯のご挨拶を、転勤族を代表して池田いずみ君、お願いいたします。

乾杯挨拶 池田いずみ君



皆さま、こんばんは。NTT東日本の池田でございます。この度は転勤族を取り上げた機会を設けていただきましてありがとうございます。

す。

この乾杯は工藤プログラム委員長からのご指名ですので、笑いをとるご挨拶をしなければいけないと思ひまして、大変プレッシャーを感じております。

転勤族の日本生命の廣部さん、東京海上日動の杉浦さんが先日異動になり大変寂しい思いをしております。また本日、みずほ銀行の芦名さんが最後の日ということで、最終日が転勤族がいじられる企画で良いのかどうか、この思い出が良い思い出になるのか、そうじゃないのかは分かりませんが、記憶に残ることと、もしかしてホームページに記録として残るかもしれないと思っております。

ホームページと言えば、自分が話したことが記録に残ることを分からずに最初のころ話しておりました。最近では気を付けているのですが、今回はクラブ会報・雑誌委員会の横田委員長が欠席ではありますが、このテープ起こしをした原稿を見まして不適切な内容は削除していただけるということで、この会に臨みたいと思ひます。

また、横田委員長は昨年度、一緒に副幹事をさせていただいて、今年度もクラブ会報雑誌委員会で同じ委員会ということで「横池ペア」を2年続けさせていただきましたが、来年度はついに別の委員会になりますので、ペア解散の危機を迎えております。ただ、同じ委員会にしてくださいとリクエストしているわけではございませんので、解散になるかどうかということですね。

それでは、本例会のご盛会と釧路ロータリークラブの益々のご発展をご祈念いたしまして乾杯をさせていただきますと思ひます。

皆さま、ご唱和をお願いいたします。

「乾杯」(拍手)

プログラム委員会 工藤 彦夫委員長

プログラム委員会の工藤です。本日の転勤族フォーラム、釧路ロータリーには転勤族が17名いるのですが、時節柄、転勤され



た方が6名と、年度末で今日は6名の方の参加です。本来、2回に分けてやる予定でしたが、時間が余ってしまいますのでパソコンを整理していたら2011年の時のビデオが出て来まして、これは面白いということでこれを10分くらい見ていただいてその後、フォーラムを始めたいと思ひます。

(ビデオ上映)

■本日のプログラム■

転勤族フォーラム「桐島支店長、釧路に転勤だってよ！」

プログラム委員会 工藤 彦夫委員長

これから転勤族フォーラム・パネルディスカッションを始めたいと思ひます。

本日の転勤族フォーラムは、杉村会長肝煎りの企画です。先ほど会長挨拶で言っていましたけれども、ロータリークラブの大きな役割を果たす転勤族さんにスポットライトを当てて、いろいろなこととお聞きしたいということが趣旨ですので、ご理解していただきたいと思ひます。

今回は6人の中で『ベストオブ転勤族』を選びたいです。面白い挨拶など、いろいろなことを考えながら、その審査委員長は杉村会長です、こちらに来てください。コップを持って来て、飲みながらやりましょう。今日は、審査委員長が『ベストオブ転勤族』を決めるということで大変楽しみですね。

事前にアンケートを取らせていただいておりますけれども、それではPR、いきましょう。マイクは2人に1つなので、終わったら自分で優しく拭いてあげてください。

みずほ銀行釧路支店 支店長 芦名 健一君



みずほ銀行の芦名でございます。先ほど申し上げたとおり今日で最後でございますので、ざっくばらんに話をさせていただきます

と思っております。本当に釧路は楽しいと思いつつも、書き捨てるように話をしたいと思ひます。

座右の銘は、「天使のように大胆に、悪魔のように緻密に」という、さかのぼると黒澤明監督の映画に行くらしいですけど、昔の上司に言われた言葉です。銀行員は結構ガチガチにいろいろ仕事をやりがちなのですけれども、そうではなく、半分は自由に大胆な発想を持ちながら「このようなことができれば面白いのではないか」「このようなことができれば社会の役に立つのではないか」を考えなさいということが「天使のように大胆に」でして、一方の「悪魔のように緻密に」は、皆さんからお金をお預かりして仕事をやらせていただいている立場上、ミスは絶対に許されないということで、ひとつひとつ自分がやることなすこと、確認をしながらしっかりやって行きなさいと昔の上司に言われたことが少し響いております、それを座右の銘にしております。

NTT 東日本-北海道 北海道東支店

釧路営業支店 支店長 池田いずみ君



会社のPRということで真面目に考えてきました。最近、ウイルスメールが多く来ていると思います。EMOTET（エモテット）と言うものです。当社にも来ていまして、知り合いの社員の名前で来て、その添付ファイルを開けてしまったらウイルスに冒されてしまうエモテットというウイルスです。

当社では、ウイルスに備えて、社員のトレーニングで不審メールを開かないトレーニングサービスがありますので、ご心配がありましたらぜひご相談ください。いま、ウイルスの世界では、セキュリティに対する考え方で、『ゼロトラスト』という考え方があります。「誰も信用するな」ということです。いままでは「外から来るものだけ」を抑えていましたけれども、働く場所の変化などで境界という概念がなくなり、「全てのアクセスを信用するな」ということで、不審な行動をするパソコンなどを検知するシステムもできております。知りたいという方がいらっしゃいましたらご相談をいただけたらと思います。会社のPRを終わらせていただきます。

座右の銘は「日は好日」です。来る日も来る日も、楽しく平和なよい日が続くこと、一日一日を大切に生きるという心構えです。

私はお茶を習っていて、この言葉が掛け軸にかけられておりまして、大切にしたいと思っている言葉です。

北洋銀行釧路中央支店 支店長 織田 亨君



北洋銀行の織田です。よろしく申し上げます。今日はこの会場に20分ぐらい前に入ろうかと思いましたが、今日はウチの送別会で、いまはコロナ禍なので、アルコールや茶菓子は一切抜きにして会議形式の『送別式』で、釧路中央支店には転勤者が5人いましたけれども、一言一言ご挨拶をいただいてという送別式が少々長引いたもので、ギリギリに会場入りをしました。すみませんでした。

やっぱり転勤族。いつも転勤者を出して慣れているつもりが、やっぱりその店を離れる職員の挨拶を聞くと一泣き二泣きしてきたので、今日は顔がボロボロですけれども少し感動をしながらこの会場に入りました。

今年の3月で、北洋銀行の釧路中央支店が丸2年になりました。歴代の支店長はちょうど丸2年で転勤をするものですから、私も4月1日付け・明日付けで転勤をするのかなと思っていたところが「もう少し釧路にいなさい」という指示が頭取からありました。それを伝えたところ、一応、喜んだフリをしてくれたのが釧路中央支店の職員で、本当に演技上手で「いや、織田支店長で良かった」と喜んだフリをしてくれて、本当に役者だなと思いました。

でも、本当に心から喜んでくれた人がウチの家内でした。私、单身なものですからウチの女房に「もう1回、釧路だわ」と言ったら本当に心から喜んでいました。ちょっと複雑な心境でしたけれど、そのようなところで、4月以降、また皆さんにお世話になりますので可愛がっていただければと思います。

会社PRと言ってもそんなにないのです。お客様のニーズ・お客様本位で行動をなささいよ、と言われております。だから、ガツクような職員はいませんが、私は昭和なものですから、ガツツイて、ガツツイて行くタイプでして、表面的にはやんわり皆さんの所にお邪魔しますけれども、内心はガツツイていますのでよろしくお願ひしたいと思います。

私、本当にポツチャリしていまして、このような体型ですけれども、子どものころから「将来は劇団四季の俳優になりたい」と思っていました。子どものころ、親に連れられて子どもミュージカルなどをよく観に行かされていて、いまでも憧れていますけれど、もし生まれ変わったら、やっぱりジャニーズやEXILEあたりに入りたいと本当に思っています。

日本放送協会釧路放送局 局長 小野 正晴君



小野でございます。今日、まさかこのような展開になると知りませんで、全く無防備でここにいてしまいました。コロナが多くて例会に参加をさせていただくことも控えていましたが、今日は2分間だけ会社のPRをさせていただくというメールをいただきましたけれども、このような難境でフォーラム形式になることは全く存じませんで、無防備で来てしまいましたので失言がありましたらどうかご容赦ください。

会社のPR、ご案内をさせていただければと思います。一般的に新年度は明日からですが、私たちの番組の新年度は4月4日から始まります。いまの朝ドラの『カムカムエブリバディ』は諸事情で4月9日まで放送して、11日から『ちむどんどん』という朝ドラが始まりますのでよろしくお願いいたします。

4月4日からいろいろな新番組が増えるのですけれども、NHK北海道の中でもローカル放送のニュースが現在は釧路・根室向けには午後6時50分から55分までの5分間を明日まで放送するのですが、新年度の4月4日からは十勝エリアと一緒にになり、6時40分～6時55分まで、金曜日はさらに5分間延長して午後6時40分から午後7時まで放送いたします。より放送の枠が広がりますので、いろいろと細かい詳しい地域情報を発信していきたいと思っておりますので、ぜひともご協力・ご支援をお願いいたします。

この過程の中で、一時、釧路放送局がなくなるのではないかなどの誤解も一部の方々に生まれて、そのようなことは全くございません。釧路放送局はきちんと残ります。

午後6時40分からの放送はスタートが帯広放送局から出す形にはなりますが、毎日必ず釧路放送局からも放送をきちんと出して、釧路の人間がこの釧路のニュースをお伝えすることを継続してまいりますので、いろいろな形でご協力・支援をお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。

私は、薬師丸ひろ子さんと全く同じ学年です。「セーラー服と機関銃」などの若いころはファンでなかったのですが、薬師丸ひろ子さんは歳を取るごとに段々いい感じに歳を取っている感じがあって、もう10年ぐらい前の「三丁目の夕日」という映画ですが、薬師丸ひろ子さんが初めてお母さん役をやった。東京タワーができる、まさに日本の一番の高度成長期の時代を描いた映画ですが、あの頃から薬師丸ひろ子さんの大ファンになりました。松山に転勤していた時は、大阪で開催されるコンサートに夜行バスに乗って行ったりしました。心がじんわりくる映画とは「三丁目の夕日」や「続三丁目の夕日」を挙げさせていただきます。

北海道電気保安協会釧路支部 支部長 篠原 実君



皆さん、こんばんは。北海道電気保安協会釧路支部の篠原です。よろしくお願いたします。

私も当然、転勤族ですからこちらに上

がっていますけれども、ご挨拶でも少しお話をしたかもしれません、単身赴任12年目ということで結構長い期間になります。

私が結婚をした年が昭和63年、平成と同じ年数を結婚生活で送っているわけですが、単身赴任が約1/3ということで、非常に仲は良いですが、離れているからこそ仲が良いという気がしますけれども、そのような感じで今を過ごしています。

来月の『地区協議会』が私の家がある旭川で実施されるので、私は「家に泊まるからホテルには泊まらない」とお話をしていたのですが、やっぱり次年度の役などありますので、皆さんとご一緒しなければということ、嫁と相談をして、家はありますけれども家に泊まらないで皆さんと一緒にホテルに泊まる、と変更をさせていただきました。そこで誤解いただきたくないことは、決して嫁と不仲で家に帰らないわけではないので、そこをお分かりいただければということです。会社関係ですけれども、前任の古谷からウチの会社のことは聞いているかと思いますが、大きく分けて3つの部門があるのですが、皆さんにご存じいただけているものは2つの部門です。『調査部門』と言いまして、北海道電力さんの委託で一般家庭を4年に1度回って漏電の調査を行っている部門と、私がいる『保安の部門』は、高圧で電気を受けているお客様は基本的に「電気主任技術者を置かなければいけない」という法規になっていて、それを契約に基づいての外部委託で行わせていただいております。

ロータリーの皆さまには、お世話になっていて、つい先日、私が事務所にいる時に電話がかってきて、ウチの事務員が取ったわけですが、聞いていると「拓殖不動産の杉村さんから電話が入っています」という声が聞こえてきました。事務員は社長さんだと分かっていないから、後から「社長だよ」と言っておきました。ということで、いろいろ私どもの業務もご理解をいただきながらご契約をいただいております。

関係する方々、どうもありがとうございます。この場を借りましてお礼を申し上げたいと思います。

北海道旅客鉄道釧路支社 支社長 山田 浩司君



JR北海道の山田です。皆さんには日ごろ鉄道をご利用いただき本当にお世話になっております。ご承知のように鉄道事業・公共交通事業・

交通はコロナの影響もあって非常に厳しい状況ですが、この東北海道エリアでは、釧網線・花咲線を含めて本当に全国でも有数な自然豊かな中を走っていく路線として多くの方にもご利用をいただいております。

3月12日にダイヤ改正をしまして、小野寺さんにはすごく共感していただけたと思います。このダイヤ改正はとて大きくて、261系という特急車両が新しく入って、283系という元々振り子列車として高速化を図ってきた特急列車がなくなることで、国鉄時代から走っていた40系の普通列車が根室線を走らなく

なり、新しいH100という列車が走るという大きな転機となるダイヤ改正を3月12日に実施しました。多くの鉄道ファンが本州からも来ていただきまして、「さよなら40」「さよなら283系」ということで多くの方に見送られた3月12日のダイヤ改正。これを踏まえて、そのような意味で、新たにこの道東エリアの鉄道も変わって行くことになっています。

来週、釧路運輸車両所を見にいただきますので、今日も打ち合わせをしてきて、特別な車両配置にしろもらい、ぜひ皆さんにこの東北道エリアの鉄道を見ていただく機会にしたいと思っています。

先ほども言いました釧網線・花咲線はとても自然環境も良く、景色も良い所を走って行く列車になるので、通勤族の皆さんにもその情報を発信していただき、多くの方にこの東北道エリアに来ていただけるように、私たちJR北海道も情報発信をしていきたいです。小野寺さんをはじめ、マニアの方々にも宣伝をしていただき、ここを盛り上げて行きたいと思っています。来週はその良い機会にしたいと思っています。よろしくお願いたします。

先週も杉村会長から「息子さんと『サウナー』で塘路のサウナに行っている」という話もありましたけれど、私は10歳で、父親に連れられてサウナに行っからずずっとサウナに入っています。最近のサウナーと言われるブームを、引いて見ている状況です。その、サウナーと呼ばれるのも嫌だなど思うくらいサウナに対しては強い思いがあります。

自分の息子も2人いますけれど、5歳から一緒にサウナに入っています。サウナに入られる方は分りますけれど、サウナの上段にいると一番熱いのです。ウチの息子も5歳から一番上段で、1回8分入ってその後水風呂に2分入って、外気浴3分という工程をだいたい7回～8回繰り返すということがウチの山田家のこれまで代々ウチの親父から引き継いできているサウナの入り方なのです。普通の方のサウナの入り方と違いますが、異常にサウナが好きです。

たまたま今の家の近くに『栄湯』という銭湯があり、そこに週に何回通っているか分かりませんが、サウナに行っています。サウナに入りながら地元の方という話ができます。

いまは皆さんと話をし、とても良い情報交換ができています。

通勤族から見た釧路の良い所、また釧路の将来性についての提言

工藤 彦夫プログラム委員長

今年度、会長方針が「我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。」ということで、「釧路を育む」をテーマにしていろいろプログラムをやってきましたけれども、通称「通勤族」と言われる方から「釧路の将来性」

や「このようなことをやったらいいのでは」ということをご提言いただきたいと思っています。

それでは、芦名さん、最後に思いっきり話して下さい。

みずほ銀行釧路支店 支店長 芦名 健一君

ありがとうございます。本当にお世話になりました。純粹に思っていることは「釧路はなぜこんなにアピールの仕方が下手なのか」と真面目に思っています。これほど気候に恵まれて、自然に恵まれてという中で、東京にいて発令で「釧路に」と言われた時に、幸い僕は昔ここに来たことがあるので、イメージが湧きましたけれど、全国の中で「旅行をしようか」「どこかへ行こうか」という時に、なかなかファーストチョイスになりにくいのも事実なのかと思っています。それは、なかなか打ち出し方も難しいのかもしれませんが、どこに焦点を置くかという話だと思っています。ここに来ると、初めて知ることがたくさんあります。僕が最初に思ったことは、『東家のそば』がこんなにたくさんあるとはここに来るまで知らなかったです。『鯨を普通に食べる文化』なども全然分かっていませんでした。そのような食文化もそうかもしれませんし、いろいろな体験的なところをもう少し東京、首都圏などで話があってもいいのかなと思っています。一方で強みだと思っていることは、知らないけれども知っていたら強いのは『航空』です。ピーチなどの格安がこんなに飛んでいるエリアが多分なくて、直行便もJALもANAもこんなに多いです。でも、僕も着任してから「おいでよ。釧路に」と言っても「遠いよね」と言われます。でも、僕は「実際は近い」と思っていて、そこのギャップをどう埋めて行こうかと思っています。

一方では、僕は一度来ると、これほどリピーターになるエリアもないと思っていて、そのような意味で、ぜひ周りの人にいろいろ言ってみたいと思っています。それが素直な気持ちの背景です。

夏もそうですし、冬も自然で雄大なエリアはなかなかないので、何かアピールの仕方なのかと純粹に思っています。

NTT 東日本—北海道 北海道東支店

釧路営業支店 支店長 池田いずみ君

昨日、とある自治体に行って、町長にご質問をいただきました。1時間ぐらいた話をして最後の方ですけれども「池田さん、データセンターを北海道が誘致しているけれども、どこが良いと思う」と言われて私は「旭川」と答えてしまいました。

「なぜ」と言うから「地震も少ないですし、地盤もしっかりしていますし、涼しいですし、土地もそれなりに安いです」。その町長は多分、自分の自治体の名前を

言ってほしかったとみえて「違うよ。貴女、どこ出身」と。「札幌です」。「だからだよね。データセンターに良いのはここ北海道だよ」と言われました。

よくよく考えるとそうだなと。なぜ私はすぐに答えられなかったかという、やっぱり地震や津波の心配があって、データセンターは厳しいかなと思いましたが、昨日お伺いして、やっぱり可能性を求めているいろいろ考えなければダメだと。

以前もお話をしたかもしれませんが、高度無線事業ということで、このエリア全部に光が来ましたので、そのような可能性があると思うので、しっかりそこを考えて釧路の発展に貢献できるようにこれからも取り組んで行きたいと思えます。よろしくお願ひします。

北洋銀行釧路中央支店 支店長 織田 亨君

私が生まれた所は赤平市です。父のお墓が芦別市にあります。本部に勤めている時は、美唄・砂川・滝川・赤平・芦別にずっと出張に行っていました。これはあまり大きな声では言えないので、忘れてほしいのですけれど、すごく寂しいです。赤平・芦別・滝川・美唄、とてもじゃないけれども、このような街なら住めないなというくらい寂しい街。銀行としては、きっちりそこを支えて行かなければいけませんけれども。そこと比較をしたら大変失礼でしょうけれども、この釧路は、海あり、山あり、食べ物が美味しい、自然資源は素晴らしい。可能性が山ほどあるような気がものすごくするのです。

ですから皆さん、赤平などに行ったことがあるか、ないか分かりませんが、釧路・道東という前にまず赤平・芦別あたりに行ってみたらこの街が素晴らしい街だということが絶対に分かると思えます。すみません。

日本放送協会釧路放送局 局長 小野 正晴君

私は、これまで地方を含めて鹿児島・愛媛・大阪・静岡・秋田に勤務しました。「釧路をこれからどうやって売っていくか」という時に、いわゆるグルメや美味しいものは、それぞれの土地がそれぞれ自慢のものを持っています。それを思うと、確かに美味しいものがたくさんあります。でもそこで売っていくことは、全国の中では難しいと思えます。

私がここに来て思うことは、やっぱり自然の素晴らしさ。いま、アドベンチャー・ツーリズムが言われていますけれども、私はそこだと思います。

私は鹿児島に勤務したとき、東京・大阪から屋久島もそのような面がありました。屋久島へ行くといったらものすごく大変で、直行便はありません。鹿児島へ行って船に乗る。鹿児島へ行って飛行機に乗り替えるということでした。

これから釧路は体験型のいろいろな自然の観光を売っ

ていくときに、東京から飛行機で1時間30分。直行便で、たかだか1時間30分ぐらいで来られて、これほどのいろいろな自然がある。単に自然を見るだけではなく、いろいろな形で体験をして、いろいろなガイドの人たちなどを介していろいろなことを知ってもらおう。そのような素晴らしさを知ってもらうことが、私はこれが釧路の一番の素晴らしさを売っていくところだと思っています。

私も1年8カ月ぐらいいて、本当にこの道東の自然が好きになりました。いま、今、北海道は非常にアドベンチャー・ツーリズムに力を入れていて知事が認定するアウトドアガイドの資格制度を作っているのは全国でも北海道だけです

ご存じの方が多くと思いますけれど、ネイチャーガイドなんて別に許認可制でもないから誰でもやろうとしたらできますけれども、その質を高めてリピーターを呼び込むことをやろうとしているのが北海道の事業だと思います。

落ちたらちょっと恥ずかしいのですけれど、私は、いまその資格を取ろうと思って勉強をしています。これまで筆記試験を2回受けて、何とかそこをクリアして5月に実技試験があって、そこに向けていま一生懸命勉強をしています。

やっぱり、そのような体験型の自然を売りものにして、いろいろな方々を呼び込むことが、道東の一番の良さなのではないか。

私、これまで9回、いろいろな所に転勤しましたがけれども、本当にそれが私の実感でございます。

これまで言った愚痴は全部忘れていただいて、そこをぜひとも皆さんにご説明させていただいて、今日のフォーラムを終わらせていただきたいと思えます。よろしくお願ひします。

北海道電気保安協会釧路支部 支部長 篠原 実君

道東の良さについては、私の前の4名の方がお話されておりましたので、全くそのとおりだと思っております。私の転勤族の中で、ちょっと関わりがあると思うことは、私の住んでいた街と駅です。

私は出身が北見なのです。北見を離れて保安協会に入ればしばらく経って駅が新しくなりました。最初の勤務地が旭川だったので、旭川にいる時は古かったのですが、旭川を出て道内を回っている時に駅が新しくなりました。そして旭川の次が十勝清水だったので、私が出てから駅が新しくなりました。清水から今度は函館へ転勤しまして、そこも私が出てから駅が新しくなりました。函館から今度は網走で勤務をしました。そこは出てから残念ながら駅は新しくなっていません。網走の後は小樽で、小樽は2回勤務をしたことがあります。小樽はご存じのとおり石原裕次郎さんが小学生時代に住んでいたということで、駅のホー

ムに石原裕次郎の等身大のパネルがありました。そこだけはそのままして置いてほしい気持ちはありますけれども、小樽はそのままが良いと思っております。その後、札幌へ転勤しまして、札幌はいま新幹線の関係でいろいろ工事の関係がありますので、そのうち新しくなるでしょうね。札幌から今度は根室へ行きました。根室は残念ながら今も同じような状況ですけれども、あそこはあそこで。一番北海道の最東端の駅は根室駅ではなく東根室駅です。東根室駅は駅というよりも乗降場なのですが、その近くにウチの事務所がございますのでご認識いただければと思います。根室の後、また小樽へ行きます、小樽の後、旭川。そしていま釧路に勤務をしている状況です。

こう見ますと、私が勤務をした所は駅がどんどん新しくなっていますので、ロータリーの例会でも駅の高架化のお話があって、すごく興味津々で聞いておりました。おそらく私は転勤族ですからあと何年釧路にいられるか分かりませんが、駅が新しくなって高架化になった時はぜひ再度訪れたいと思っている街でございます。その節はよろしく願いいたします。以上です。

北海道旅客鉄道釧路支社 支社長 山田 浩司君

前の方々が非常に熱く釧路のことを語られたので、少々短めに。特に小野さんがかなり熱く語られましたが、いつも小野さんのところで話す機会が多いのです。やっぱり釧路、この東北道の良いところは自然環境だと思います。国立公園もある中を当社も鉄道で釧網線・花咲線を走らせています。自然環境のひとつですけれども野生動物と遭遇できる鉄道は、釧路のこの釧網線と花咲線がナンバー1なのです。これは間違いなく、鹿、タンチョウ、オオワシ・オジロワシを100%見られる路線区はなかなかなくて、そのような意味では、観光路線としてこの釧網線・花咲線を活かして行きたいと釧路へ来て思いました。

いまお話があったように東北道の中心は釧路だと思っておりますので、その駅です。先日、転勤族の方のお話があった時に「転勤で来て3回泣く」があって、1つはやっぱり釧路へ転勤になった時に「ああ、釧路か」と泣く。釧路駅に立って「この故郷の景色に泣く」。そして帰る時にはやっぱり釧路にいたいと芦名さんが言っていましたけれど「やっぱり、残りたい」と泣く。この3回泣くという話を聞いて、そのうちの「釧路駅で泣く」に私はすごくショックを受けました。実は昨年「60年の歴史がある駅」で、全国でも非常に有数の駅ですけど、先ほど話があったように今後高架化を中心にコンパクトシティということが全国いろいろな地域で1つのキーワードになっています。その中で駅が中心になっていくべきだと思っておりますので、そこに私も寄与・貢献できるようにこれからも取り組んでいきたいと思っております。

どうもありがとうございました。

(会長より転勤族の皆さんへ記念品贈呈)

工藤 彦夫プログラム委員長

皆さんありがとうございます。それでは、審査委員長の総括とベストオブ転勤族の発表をお願いします

総括・謝辞・ベストオブ転勤族発表

杉村 荘平審査委員長

なんちゃって委員長の杉村でございます。本日はどうもありがとうございました。

まずは、皆さんもそうなのですが、工藤委員長、たまには褒めて上げます。素晴らしい設えで、細かい段取りもしていただき、ありがとうございました。昨年僕これをやりたくて工藤委員長にわがままを言って、本当に素晴らしい会だったと思います。ありがとうございます。

僕もいろいろ

フォーラムなど出ていますけれども、このように転勤族の方がフォーラムのパネラーになっ

ている場面もたくさんありましたけれども、やっぱりお酒を飲んでいることが良いですね。この本音がすごく良いと思います。何十回も出た中でも本当に良いフォーラムだったと思います。最後の皆さんにももらったご意見は僕らも大切にしていきたいと思っております。皆さんに本当に良いご意見をいただきましたが、どうでしょう。まずは、イニシャルが「O」のお二人のキャラが立っていたようですけれども。このOのお二人の中でどうするかですが、おひとりのOの方は、EXILEに入りたかったとか劇団四季がという意外な発見をさ



せていただきました。もうひとりのOの方のキャラが立ち過ぎて。

すみません、小野さんで、よろしく願いいたします。

工藤 彦夫プログラム委員長

本当に長時間でしたけれども、いろいろ貴重なご意見を聞かせていただきましてありがとうございます。これを参考にして北海道・釧路頑張って行きたいと思えます。ありがとうございます。皆さん大きな拍手をお願いいたします。

親睦活動委員会 瀧波 大亮委員長

小野さんと過ごした楽しい時間もいよいよ終わりを迎えることになりました。

最後は皆さんに感謝とお詫びの気持ちを込めてタクトを振るそうですので、皆さん、大きな輪を作ってください。

転勤族の皆さんは輪の中心に入ってくださいまして、まだまだウイズコロナですのでエアハンドシェイクをお願いいたします。

(手に手つないで)

閉会挨拶 SAA 部 龍珍君

お疲れさまでございます。やはりこの場に上がったらやらないといけないと思えます。

皆さん！元気ですか！（拍手）



元気があればロータリーも楽しい、元気があれば転勤族の皆さんも益々楽しくなるようなクラブづくりができると思っております。

今日は久しぶりの夜間例会で、楽しかったです。この英断をさせていただいた杉村会長は理事会でも、すごく悩んでいらしゃったのです。最短で皆さんとリア

ルで会って飲みたい、ということで、年度末の大変なときに。ほんと、大変ですよ。でも杉村会長は英断されました。ありがたいと思って感謝いたします。

先ほど、訳の分からない映像が出たと思うのですが、あれは2012-2013年度の伊貝会長、私は幹事の時だったのです。多分、滑ったと思うのです。あのシナリオは全部工藤さんですから。工藤さんが、「自分が作ったことをやってくれー」と当時の副幹事の樋口君に言って、樋口君がずーっとビデオを回していたという裏技があったのですが、画期的な新たなことをチャレンジしたという年度だったと思います。

今後、次年度・次々年度の方、クリスマス家族会で「俺のシナリオ、やれよ」と言われたら断ったほうがいいと思います。

そして最後、転勤族フォーラム、すごい企画。工藤さん、受けていました。でも最後は囁んでいましたけどね。何が素晴らしいかというと、6人の方が率直に自分の今の状況を話してくれた、これ、われわれのクラブがとても居心地いいということ、そして楽しいということなのですね。今後とも杉村会長、滝腰エレクト、後藤ノミニ、楽しいクラブを作ってもらえたらと。

一本で締めます。

転勤される方々、そしてまた釧路に入ってくる方々、今ここにいらっしゃる皆さん、そしてうちのクラブの全会員の皆さんのご多幸をご祈念申し上げまして1発で締めたいと思います。ご唱和をよろしく願います。

よーお！

パン

ありがとうございます。

本日のニコニコ献金

- 杉村 莊平君 久しぶりの夜間例会、宜しく願い致します。
- 市橋 彦佳丞君 久しぶりの夜間例会。皆様と楽しく過ごさせて頂きます。
- 工藤 彦夫君 本日の例会か親睦活動とプログラム委員会のコラボ例会です。宜しく願い致します。
- 前田 秀幸君 まん防明けて、ようやく仕事できるようになりました。今後ともよろしく願います。
- 中島 政徳君 二ヶ月ぶりの夜間例会、宜しく願い致します。
- 東堂 光春君 サッカー女子日本代表 U-15 に選ばれた娘がこの度宮城県の全国大会ベスト4の高校に無事進学出来ました。

今年度累計 494,000 円

■本日のプログラム■

職場訪問例会「北海道旅客鉄道株式会社 釧路支社」

奉仕プロジェクト委員会 小野寺 俊委員長



皆さん、こんにちは。奉仕プロジェクト委員長の小野寺でございます。私事ですが、皆さんご存知のように鉄道ファンでございます。私がこの場に立っている

のも何かの縁なのかなと思っております。釧路車両所は国鉄時代に「釧路機関区」、また「釧路運転所」という名で呼ばれていまして、私も小学校・中学校の時はよく通わせていただいています、非公式に。時効で許していただきたいのですが、今なら不法に見学させていただいて。そのころの職員さんはみんな優しいおじさんばかりで、友だち数人で侵入しても快く受け入れていただいで、機関車の運転台に乗せていただきました。そういうおらかな時代を経験させていただきました。

皆さんが中に入る機会は本当にはないですが、昔は年1回の『車両所祭り』をやっていました。子ども連れが多かったのですが、いろんな場所を見学させてもらえる日がありました。その時には見る機会あったと思いますが、それもなくなりました。見させていただく機会が一般的になくなったので、今日はとても貴重な体験をされるのかなと思います。

昨今ですと、特急車両のキハ283系が『おおぞら』から引退しました。まだ車両は残っているのかなと思いますが、あと、キハ40型という白に緑の線が入っているのも現役から外れたということで、それも最後に見るチャンスだと思います。しっかり皆さんの思い出に入れていただきたいと思います。

それで最後に小話をひとつ。「北海道旅客鉄道株式会社」はJR北海道さんの正式名称ですけども、これの旅客鉄道の「鉄」という字ですが、普通は鉄という字と金偏に失うという字ですが、JR各社さんは、正式な社名のロゴはその「鉄」だと「お金を失う」ということから縁起が悪いということで、失うの字が矢になっているのです。もし、敷地内の看板等ではそうなっていると思うので、皆さん興味を持って見ていただくとありがたいなと思います。

それでは、今日の見学会に際しましては山田支社長さんに大変ご尽力いただきました。

支社長様からご挨拶をいただきたいと思います。よろしくをお願いいたします。

北海道旅客鉄道株式会社 釧路支社

山田 浩司支社長



JR北海道の山田です。先週は「転勤族フォーラム」ということで転勤族に焦点を当てていただき、軽くいじっていただきましてありがとうございます。大

賞になられた小野局長は、今日はワクチン接種ということで残念ながら欠席でしたが、「先週、話した内容は一切忘れたい」と伝言いただいていますので、よろしくをお願いいたします。

今日は、釧路運輸車両所に訪問していただきまして、ありがとうございます。小野寺さんからは詳しい話もありましたけれども、昨年は『釧路駅開局120年』ということで例会でもお話をさせていただきました。この釧路運輸車両所も、そういう意味では白糠と釧路が結ばれて釧路駅が誕生して以来、前身の釧路機関区としてスタートしていまして、120年以上の歴史を持った設備・職場であります。

もともとはプリンスホテルの辺りに釧路駅がありまして、この設備につながっていたのですが、70年ぐらい前にこちらに引っ越し来て、今はこの状況にあるということです。

今日は、今年残念ながら運行できなかった「SL」ですとか、4月29日から運行します「ノロッコ列車」、これと同時に見られるのはなかなかないのですが、同時に見られるような配置にさせていただきました。中を見ていただけるようにしましたので、ぜひ写真を撮っていただいで。SNSに上げなければ写真を撮ってもいいですね。ぜひ、そういう所を見ていただければと思います。

私がここだけわがまを言って、見学コースに入れていただいたのが「車輪旋盤」という設備があります。昨年度、当社の列車と鹿の衝突が1,000件以上あります。そのたびにブレーキをかけるので、車輪が傷ついてしまい、その修繕をするのに、昔は車輪を外して修繕していたのですが、車輪をつけたままの状態です。それは特殊な設備になりますので、少し離れた所だったのですがそれをコースに入れていただきました。少し時間がかかるのですが、ぜひこの釧路車両所は、鉄道の事業にとっては重要な職場になりますので、皆さん見ていただいで、ご理解いただければと思っています。よろしく申し上げます。

最後、皆さんに配らせていただいたパンフレットなのですが、『えきねっと』という当社の新幹線など予約できるもので、もし、登録したい方がいらっしゃればスタッフを配置しておりますので、帰りにスマホで登

録していただければと思います。



(見学説明～3グループ編成～見学)

奉仕プロジェクト委員会 小野寺 俊委員長

皆さま、お疲れさまでございます。楽しい見学で時間が押してしましまして申し訳ございません。

今日、いろいろご説明いただきました。J R北海道の皆さまに感謝の意を込めて拍手をお願いいたします。

ありがとうございました。

2022.4.14 (木)
第34回例会
(通算3661回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副会長 浅川 正紳
幹事 市橋 多佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2021-2022年度
国際ロータリーテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022年度
RI会長 シェカール・メータ
第2500地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイ RC)

月間テーマ	水と衛生月間
本日のプログラム	地区研修・協議会に参加して (担当: 次年度理事会)
次週例会	講師例会「東北北海道スポーツコミッションの取組について」 (担当: プログラム委員会)

- ロータリーソング: 四つのテスト
- ソングリーダー: 石井 孝行君
- 会員数 102名
- ビジター なし
- ゲスト なし

会長の時間 浅川 正紳副会長



お食事中の方はそのままお続けください。改めましてこんにちは。本日はマスクをしたままお話をさせていただきます。

まず、三役席に会長と幹事がいないので寂しいのですが、ご報告だけさせていただきます。

先日の土日で旭川の地区協へ行ってきました。市橋幹事が翌日11日の夜中に少し熱っぽくなり、火曜日に病院へ行き「多分大丈夫だろうと思うけれど」ということでPCR検査を受けたら陽性となり、お休みとさせていただきます。

旭川の地区協へ行く時、市橋幹事の車に4人で行って、その中に会長と一緒にいたので、万が一ということで、本人は「全く大丈夫なのですが、今日はお休みさせていただきたい」と承っております。杉村会長においては、昨日と今日の2回、抗体検査を受けて陰性だったことも伝えてくれと言われておりますのでお伝えしておきます。

会長挨拶を預かっておりますので、代読をさせていただきます。

杉村 莊平会長挨拶を代読

皆さん、こんにちは。本日もご出席をいただきありがとうございます。ご報告があったかと思いますが、この度、市橋幹事がコロナに感染をしてしまいましたので、急遽、三役で協議をした結果、旭川での『地区研修・協議会』で一緒にいる機会が一番多かった杉村は例会へ出ない方が良さだろうという判断をし、本日はやむなく欠席とさせていただきます。

ご迷惑をおかけし大変申し訳ありませんが、本日の例会は浅川副会長と得地・田内両副幹事に運営をお任せいたしますので、皆さまの友情あるご協力をお願いする次第でございます。私自身は症状もなく至って元気でおりますので、心配はご無用でございます。

さて、先週の『職場訪問』例会は素晴らしい天気にも恵まれた中、山田支社長をはじめとするJR北海道の皆さんには本当にお世話になり、素晴らしい例会を開催できたことを心からお礼申し上げます。普段はなかなかお目にかかれない様々な車両や工場の内部などを見学させていただき、メンバーの皆さんも少年のように目を輝かせながら参加されていたことが印象的でした。本当にありがとうございました。

また、旭川での地区研修・協議会も多数の出席の下、有意義な2日間になったかと思っております。本日の例会で皆さんから詳しい報告があるかと思っておりますが、本会議では次年度ジェニファー E. ジョーンズ RI 会長、久木ガバナーエレクト、そして基調講演の菅原パストガバナーからも DEI (多様性・公平性・包摂性) につ

いての多くのご説明があり、R Iとしての今後の大きな柱になっていくことが改めて確認することができました。

また、第1分科会では邵次年度会員増強委員長から素晴らしいプレゼンがあり、釧路クラブのメンバーとして大変頼もしく聞かせていただきました。

ご参加いただいたメンバーは改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

来週からは元気に例会に参加させていただこうと思っております。本日の例会、どうぞよろしくお願いいたします。

という文章を小さなポイントの文字で送ってくれたので、自分で少し大きくB4に拡大しましたが見えづらく、聞こえづらく申し訳ございません。

誤解のないようにお話をしておきますと、旭川の地で市橋幹事が罹患したということも分かりませんので。ただ、地区研修・協議会の会場ではしっかりと消毒。分科会に入る時も消毒をするのに行列ができ15分～20分かかっていて、その辺は大変危惧されておりましたので、誤解のなきようにお願いいたしたいと思えます。

と言いながら、本来は三役と田内君とで1台の車で行く話をしていたのですが、私の方もリスクヘッチ考えて別々にと言えば格好が良いのですが、ただ単に単独行動で行くことにして、田内君も行けませんでした。もしそこで4人で行っていたら今ごろ得地君1人がそこに座っていたのだなど。それはそれで見てみたい気もしますが、やはりリスク回避ができて良かったと後から思っております。

私自身2回目の会長挨拶、2回目の点鐘で、2回目の点鐘は何とか上手く叩けたのでホッとしておりますが、多分、来週また杉村会長が必要以上に元気に来ると思えます。来週は申し訳ございません、私は出張でおりませんので、また三役席が埋まりませんが、決して一丁あがっている訳ではございません。まだまだ2カ月少々やる必要がありますので、これからも次年度の滝越年度に引き継げるよう一生懸命やってみようと思えます。

今日は、地区協に参加をされた方の報告会ということで、お時間がかかると思いますので、会長代理をこの辺で終わらせていただきます。

今日一日、どうぞよろしくお願いいたします。

幹事報告 浅川 正紳副会長

度々、失礼いたします。本来なら副幹事がやっても良いのですが、4年ぶりに幹事報告をやってみたかったですから。

1点だけ、後ほど出席委員会の報告にあると思えますが、次週4月18日と19日が『メイクアップ体験』例会となっております。お手元の例会案内をご覧ください

りまして、対象の方はお忘れなきようよろしくお願いいたします。

新入会員紹介 スポンサー 前田 秀幸君



それでは、新入会員のご紹介をさせていただきます。有馬流太郎君、事業所名はサントリー酒類株式会社。前任の長瀬支店長の後任でございます。

昭和46年6月5日生まれ、奥様だけです。ゴルフはやりません。麻雀はやりません。趣味はサーフィン。本来ですと、いままで五明さんと滝越さんがスポンサーだったのですが、五明さんがお亡くなりになった中で、前任の長瀬さんから私に紹介者というご指名がありましたので、僭越ながらご紹介をさせていただく形になっております。

先月、最初に会った時に第一声、思わず「イケメン」という声を発しました。それくらい本当に格好いいと思いました。昨日も、今日の紹介のために夜6時から1時まで、長時間にわたりご飯を食べながらリサーチをさせていただきました。久々に私も二日酔い気味で、心地良い昼間を迎えています。仲良くしてあげていただきたいと思っております。

では、有馬君から、よろしくお願いいたします。

新入会員挨拶

サントリー酒類株式会社 札幌支店

支店長 有馬流太郎君

ただいま、ご紹介いただきましたサントリー酒類の有馬と申します。昨日しっかりとたくさん飲ませていただき、少し嘔んでしまうかもしれませんがご挨拶をさせていただきたいと思えます。



この3月に、東京から転勤をして参りました。北海道は初めての勤務になります。この転勤の時にいろいろな方に挨拶をしましたが、みんながみんな「北海道は本当に良い所だよ」と。特に働いていた人、



住んでいた人は「もう一度働きたい、住みたい」とおっしゃっていました。そのような場所で働けることを本当わくわくしています。

その中で、この歴史と伝統のある釧路ロータリークラブに入会をさせていただけることは本当に光栄に思っております。担当エリアが全道ということになりますので、なかなか毎回ということは難しいかもしれませんが、できるだけ参加をさせていただき、皆さんとしっかりとコミュニケーションを図らせていただいて、何かお役立ちができたらと思っております。

これから、ぜひよろしくお祈りいたします。

新入会員へ歓迎の言葉 浅野 正伸副会長

有馬さん、ロータリーでは君付けで呼びますので、有馬君入会おめでとうございます。またありがとうございます。

住まいは札幌の方ですのでなかなかロータリーに参加をする機会が少ないかもしれませんが、何かの機会に参加をしていただいたり、また次年度10月に旭川で『地区大会』がありますので、その場でお会いできればと思いますので、これからもどうぞよろしくお祈りいたします。

委員会配属は、社会奉仕委員会になります。本日、菅原委員長、須藤副委員長がいらっしゃらないので、いつか会えると思いますので、その時にご挨拶していただければと思います。

■本日のプログラム■ 地区研修・協議会に参加して

篠原 実次年度副幹事



皆さんこんにちは。本日の例会『地区研修・協議会に参加して』の司会を担当させていただきます。次年度副幹事予定者の篠原でございます。どうぞよろしくお祈りいたします。

次年度2022-2023年度国際ロータリー第2500地区の『地区研修・協議会』は今月4月9日（土曜日）、10日（日曜日）、旭川市にて開催されました。釧路クラブからは29名のご登録をいただき、皆さんで参加をしております。

本日のプログラムでは、ご参加された方の中より3名の方にお話をいただきますのでお聞きください。なお、これよりのご紹介は予定者の文言は割愛し、次年度の役職名でのご紹介とさせていただきます。

それでは、本日お話いただく方を紹介させていただきます。

はじめに釧路ロータリークラブ滝越康雄会長エレクト、2番目は天方智順クラブ研修委員会委員長、3番目は清水輝彦副会長に締めさせていただきたいと思っております。

それでは、はじめに滝越会長エレクト、よろしくお祈りいたします。

滝越 康雄会長エレクト

皆さん、こんにちは。昨日、中島幹事からこのような事情だということで電話が入りました。そうしたら瞬間に登壇者、話す人がバタバタと減ってしまい、私は15分という約束をしてしまいましたから、ちょっと頑張ります。



今回このような非常事態で、コロナに市橋幹事が感染をしたということで、まずお見舞い申し上げますとともに、お大事にということです。旭川で元気だったので非常にびっくりしています。

今回の地区協議会は次年度のための催し事ですが、皆さまの多数のご出席に感謝しています。私の実力以上にお集まりいただき、また見た感じ開放感があって非常に楽しい夕べを過ごしたと思っています。また、私が行ったホテルで、すぐ天方さんとバッテリー会いました。わざわざ札幌から迂回してくださって、熱心さに重ねてお礼をいたします。

中島幹事の話をしてしまいましたが、幹事団、篠原副幹事・濱口副幹事は裏で綿密な作業をしていただきまして、本当に感謝しております。

開催準備の段階から「あるのか」と疑問視をしていて、五分五分だったので、私は3月4日に「これダメだ。潰してしまえ」と思って補佐に迂回して電話をしました。なぜそのようなことをするのかというと、久木次年度ガバナーにおいてはZoomで会話をしているものだから、そして地区の幹事さんとはサシで話しているから、遠く感じないものだから。こちら日程は詰まる・発表はしなければいけないと、タイムラグがあったので4日に掛け合って動いたら、その1時間前にきちんとメールが入っていたので、それでスムーズに行ったということです。何かを壊すことは得意なので、少し気をつけて動きたいと思っております。

2日間ありましたけれど、時系列でお話をさせていただきます。

私の机の中にバッジの箱があります。まず、ロータリーはバッジが好きですね。ひと月前ぐらいに中島幹事から「これ地区協議会用ですから」ということで、「はい」と受け取ったのです。うるさい中島幹事ですから、何かそうになったら怒られると思ってバッジのことばっか

り。あとは私は夜が不得意なものですから、夜の懇親会で話すスピーチのことばかり考えていました。旭川に向けて走って、旭川市内の信号で止まった時に「あっ、名刺を忘れた」、「それありますか」と。実際に名刺交換に行く場所ですから、『会長・幹事会』が始まってもしない訳をしながら態度は小さく「仕事の名刺しかないの、後から送りますから」ということで。そこで、会場では「コロナ感染防止のために動き回らないでください」とアナウンスが流れました。「これは、しめた」と、逆転して安心をして、済ませて来ました。

私が今回一番嬉しかったことは、各クラブガバナー補佐を紹介者にしての全会長挨拶でした。第7分区だから後の方じゃないですか。ずっと聞いていましたら、帯広でどこのおじさんか、大声で「私78歳です」とアピールしていました。最高齢で立候補をしてくれた訳です。私はそれを聞いてホッとしました。私も22年生まれで、数えたら75歳で萎縮していたのですが、もっと上がったということで、それが今回の大きな収穫でした。その壁が取れたことが何にも増してありがたかったです。

翌日のフォーマルな協議会の中身です。ご存じのとおり久木ガバナーエレクトは女性ですし、RI会長も女性で、女性・女性と。そして地区大会の講師も女性と。全部ウーマンで揃っています。

講話の中で、昨年と同じ話を聞いた記憶があります。復唱で分かりましたけれども、何か紛らわしいですよ、DIYやDEYとか。皆さんに覚えていただきたいのはDIYがホームマックで、DEYはロータリーですから。紛らわしいけれど、こうやって覚えた方が良いでしょう。最近のロータリーは英語で書けば良いけれど、略すからますます分かりません。誰かが「DEY」と言って、何だろうと思っても、略さなければ分かりませんが。そのようなことをビッシリ書いている辞典を見つけました。略字が多過ぎてプロでないとは分かりません。ましてや、あちらの文化のことですから略してあるとかえって分からないので、そのような状況です。

中身的に言えば、新入会員は世界で12万1,000人が入ってきています。でも退会は13万7,000人。それで1年以内の退会が1.3万人。少し表現が悪くて、小船井さんも怒るか分からないけれどザルで水をすくう状態なのです。もったいないことは、退会者の23%は「クラブ環境」を理由に退会。いわゆる入っても馴染めないということです。私も会合やいろいろ見て、「大衆の中の孤独」ということがあります。

100人500人いても、自分が知っている人が1人か2人いれば良いのです。全く孤立してしまいます。だからその心理において、やっぱり入りにくさがあると思います。できれば隣に座った人にどんどん声をかけ

て馴染んであげて。

ここは別に拒否をしている訳ではないし、和やかだけれども、やっぱり人間の心理で2・3人の足掛かりになる人がいれば助かりますけれども。やっぱりスポンサーないし、そのような声掛けが大事だという気がします。

最近、Zoomなどが多いですけど、サシで人間と話をすることは原点で大事だと思っております。

地区大会は、昨年勉強をしたとおりで、きちんとフォーマルなことをやっているけれど、実践は皆さんの協力なしではできません。会員を維持するということは、なかなか困難です。

終わって、帰りは小雨模様でずっと山道を走って、清水会員と中島会員が前の席で、私は後ろにいました。中島さんに家庭から電話が入って「パパ何時に帰るの」と。中島さんは中高年の部類ですからパパ・ママの世界ではないけれど向こうから「いつ帰るの。何時に帰るの」と打診が来るわけです。俺も来るだろうなど意地を張っていましたが1度も電話は来ないので、私も少し見劣りしたかと思っておりました。高速から降りる阿寒で、カーナビが優しい声で「お疲れ様でした。ご苦労様でした」ときました。それは中島運転手に対しての一言で、マイクの声だけど、ちょっとホッととして、家庭内での力のなさがバレてしまったという状況です。

二段構えで言いますと、地区協議会の中で久木ガバナーがウクライナ問題について発言をしました。このウクライナ問題は私が発言をしたことを言ったかなと思つて。

先ほど言ったZoomというシステムはRLIで3回ぐらい研修を受けました。自宅に缶詰で午前9時から午後5時まで、本当に抜けられません。サボることも一切なし。15分ぐらいの休憩をとって1日かかりました。Zoomの怖さは司会者との会話なので、ましてや自宅でコーヒーを飲みながら行っていますので、気安いい心が出てしまいます。どんどん発言させられて、「遠慮なくどうぞ」というものですから乗って発言しました。よく聞いてみたら多い時で40人から50人が聞いているわけです。普通だと会議室で20人もいたら控える発言を司会者とサシで、しかも私服で、みんなリラックスをした形で思い切ったことを言ってしまう、私はこのウクライナ発言もしてしまいました。

だって、ニュースではどんどん避難民のこと、こちらは奉仕・奉仕・奉仕と。どこかの庭掃除などのような話ばかりじゃないですか。「やりたいことと、やるべきことの段差があるのではないか」「募金を集めてウクライナへ送ると言っても半年かかるのではないか。それより早く立て替えてでも振り込むことが必要ではないか」とズバリ言ってしまいました。その発言が尾を引いたせいか、日曜日の久木ガバナーの中で、ウク

ライナの送金が出てきました。俺が言ってしまったなということで、別に反省もしていませんけれど、何かアクションを起こさないと。やっぱりロータリーがずっと冷えていることは、現実にはやるべきこととやりたいことの開きがあるので、何かその辺が核心かなと思って少しきつい表現ですけど、それが最終的に会議室がこのような状態ということで私なりの理解をしています。

行きも帰りも、私は乗り慣れない後部座席にいました。普段、運転をしているから分からないけれど、窓の外の風景を見ていると、何も無いから目が行って、こっちは「ロシアの北海道侵略がどうしたこうした」ですよ。考えたら、走っていること自体がそうなのかという一体感があるわけです。いろいろ考えてみたら、こんな所を取っても石油が出るわけでもガスが出るわけでもない、何をやるのだろうと、いろいろ紐解いてみたりしました。そして、旭川に着いたらピンと来たことは、昔、旭川に陸軍の第7師団があったじゃないですか。旭川は陸軍だから花街3・6街と繁栄するわけですよ。なぜ旭川か、と言ったらやっぱりサハリンなどの防衛なのですね、いま考えると。なぜ札幌からちょっとあるのかというと、やっぱり昔は北海道占領ということがあり得たので。これは後々私は会話の時間をたくさんいただくので話しますけれども、北の脅威は何か怖いと思います。

いろいろ調べているので必然的に起こるような、起こる条件なのですね。車の外の風景を見ながら、北海道が戦場だということのリアル感がありませんでしたけれど、書店へ行ったらそれだけですよ。

そういうことで、地区協議会からの延長でこのような話に結びつけて飛躍かもしれませんが、そのようなことを少しニュースと比べながら考える時代かなということです。

すみません。少々飛躍した話で申し訳ございませんでした。どうもありがとうございました。

クラブ研修委員会 天方 智順委員長



皆さま、こんにちは。久しぶりにここへ立たせていただきます。滝越次年度の高尚なる話の後で恐縮ですけど、先ほど今日入会をされた有馬さんのオリエンテーションを担当して、その中に、ロータリー会員としてやらなければいけないことの最初に「ロータリーバッジを付けること」と書いてあります。

忘れました。というのも理由があります。昨日、杉村会長から夕方4時から5時ぐらいに電話がありまして

「あの、市橋君がコロナになって、私が濃厚接触者で。そうだよ」と。その杉村会長と火曜日の夜に後藤君のお店でたくさん飲んでいたものですから濃厚接触者の濃厚接触者ということで、昨日の予定をすべてキャンセルして、すぐ薬局へ行って抗原検査キットを買い求めて、自分で検査をして鼻は痛いから口からやりましたが、どちらも痛いですね。オエツときますね。何とかセーフで、今日復帰しています。

杉村会長のセリフで「明日、例会を休みますから」と杉村会長がおっしゃいましたので、私はてっきり今日の例会は休みだと思っていました。だからバッジを付けていないのです。苦しい言い訳で本当に申し訳ございません。

地区研修・協議会です。久しぶりのリアル研修会ということで、旭川も久しぶりでした。かつて1年間、私は旭川市民だったものですからいろいろと懐かしい所もありまして、当時の駅は高架ではありませんでした。いまはご存じのとおり駅は高架になっています。新しい道路・新しい橋、すべてきれいな街並みになっていっていると思っております。かと言って、いま蝦名市長も駅の高架を問題にされていますけれど、それをここで論じるつもりはありませんけれど、旭川などを見てみますと、きれいだと思わざるを得ません。

最初の夜、札幌から寄ってだいぶ早く着いてしまって、先ほど滝越次年度が「早くからご苦労さまです。熱心だね」と。時間を潰してあそこへ行っています。そんなに熱心ではありませんでした、ということで申し訳なく思います。

最初の夜は久しぶりに28人～29人で『くしろナイト』たるものを経験しました。普段、例会へ出て一緒にテーブルにならない方、普段あまり長時間お話をされないメンバーとも久しぶりにいろいろなお話ができてすごく楽しかったです。米本さんや関向さん、そのような方とお話ができて本当に嬉しかったです。2次会も白幡さんがいらっしまったので、しばらく喋っていないので楽しかったです。

翌日の本会議ですけども、開会していきなりRI会長の英語のスピーチが流れて。私は英語のスピーチが苦手で、どうしてかという寝られないのです。語弊のないように言うておきますけれど、日本語のスピーチはきちんと聞いていますけれど、そのうちウトウトとしてしまいます。英語のスピーチは、頭の中が起きてしまいます。だから目を閉じてでも字幕なしできちんと聞けるかと思って、だいたい5割位か、能力も落ちたものだと思います。

「DEI」という目標が掲げられました。目標というか理念ですね。それも理解できます。先ほど滝越さんが言いましたけれども、多様性・公平さ・インクルージョンで、最後だけ英語ですよ。これを全部英語にするか、全部日本語にするか、統一してほしいもの

と思っています。辞書を引くと「インクルージョン＝包摂性」と書いています。包み込むということですか。小船井さんこれで良いですか。はい。多様性の理念から出ている言葉だということです。全部日本語か、全部英語にしてほしいものだと思って聞いておりました。

分科会、一生懸命聞こうと思ってトーヨーホテルへ中島幹事の導くままに行き、弁当を食べました。それ以降のことは覚えておりません。きっと良いお話が出たのではないかと考えております。

3年以上ぶりのリアルな会議で、何となく止まっていた、実際は止まっていないのしょうけれど、動いているところが見えない歯車が少しずつまた動き出したと思っています自分です。

唯一の心残りは、旭川ラーメンを食べられなかったことです。10月に行ったら食べてきたいと思います。以上です。ありがとうございます。

清水 輝彦次年度副会長



ただいま、ご紹介いただきました清水です。何を話そうかと思って、実は全然考えていなかったのですが。

地区研修と協議会については、天方さんと滝越さんがきちんとお話をされたので、僕はその隙間を縫って医者立場から今回の大会を見ていて、コロナのお話で、先ほど市橋幹事が罹ってしまったというお話を伺いましたけれども、僕の感想としてはやっぱり誰か出てしまったかが正直なところでは、

少し厳しい話ですけども、われわれ医療関係者の間では、ここ2年～3年、「集まって」ということがありません。ほとんどZoom、あるいは書面で行うかです。あれだけの人数が集まって大丈夫かなど。会議自体は話がありましたように消毒や検温などされていますけれども、人間が久しぶりに会った人やいろいろな方が集まると、どうしても余計なではなく一番大事なコミュニケーションが生まれて、そこで何か起きないかと少し心配をしておりましたが残念なことだと思っています。

ただひとつ、コロナが始まったところによく言われた「接待の店」や「女性が同伴をする店が・・・」といういろいろ言われたけれども、全然次元が違って、誰でも罹るのではないかと考えております。

これは、私ごとですけども、うちの病院は今のところ職員に1人もまだ出ていません。これは職員全員がひとり一人気を付けていて、早めに察知をして、危ないと思ったら自主的に休んだり、PCR検査、その

他を行って来ています。

僕も外来で診ていた患者さんが、実は後から陽性だと分かりました。僕は衝立をして外来の診察を行いましたが、距離は4mぐらい取っています。危ないので。マスクも着けていました。ただ、メガネは付けていなかった。防護衣ウインを着ないで行っていました。時間がかかる患者さんで、15分～20分話をしてしまったら濃厚接触にはならないかもしれないけれども、少し危ないということで、僕は3日間、病院の勤務ではスタッフと極力会わないように気を付けて行いました。職員も全員そのくらい気を付けて行って、いまのところは大丈夫です。全国で精神科の病院の約1/3でクラスターが出たり、感染者が出たりで、大変な思いをしていました。そのようなことがあって、僕は今回、気になったのです。

最初のころとは違って本当に身近に来ています。私の娘の小学校でも幾つかの学級が閉鎖になったり、「お友達の誰々ちゃんが・・・」みたいな話まで来ていて、本当にすぐそこまで迫って来ている、そのような時代です。

その中であれだけ集まって感じたことは、やっぱり対面はすごく大事ということで、また10月にもあるので、皆さんで行きたいと思いますが、この次は1人も出ないようにみんなでどうやって気を付けられるのか。やっぱり私もそうでしたけれども、少しの気の緩みで出てしまうところは非常に気になっております。いま言われていることは、ゴールデンウィーク明けの2週間後ぐらいがどうなるか。ただ、国を見てみると、これでまた「まん防」でしょうか。「緊急措置」を行う気はないのかという気もしますけれども、われわれも分かりません。

ただ、協議会へ行って非常に良かったと思うことは、久しぶりにあの雰囲気の中で勉強ができたことでした。それ以上に楽しかったことは、皆さんとご一緒してお話をして、一緒にお酒を飲めたということでした。2次会のナイト、僕は絶対行かないつもりでしたが、皆さんの顔を見たらやっぱり行きたくなって行きました。僕は立場上ということで、2次会も頑張ってマスクを着けていましたが、どうしても外して話をしたくなる気持ちも分かります。早くそのような日が来れば良いと思っています。

釧路から20数名、久しぶりということもあったのでしようけれども、みんな熱心に行かれて、今回参加いただけなかった方もまた10月にありますので、その時にはどうぞ一緒に楽しく安全に過ごせたら良いと思っています。

少し話が逸れてしまいましたが、私からは以上です。



地区研修・協議会スナップ



本日のニコニコ献金

- 浅川 正紳君 本日まさかの会長、幹事不在の例会ですが、副幹事と共に精一杯務めさせていただきます。
- 滝越 康雄君 地区協議会参加のメンバー大変ご苦勞様でした。無事とは言えない事が発生しましたが終了してほっとしています。
- 中島 徳政君 旭川の地区研修・協議会にご参加頂きありがとうございました。
- 吉田 秀俊君 先日初孫は小学校へ入学し、今日は愛犬の14歳の誕生日です。
- 村上 祐二君 次男が高校進学で釧路を放れ、夫婦で時間が出来たので英会話始めました。
- 石井 孝行君 長女が志望校へ入学しました。

今年度累計 389,000 円

2022.5.12 (木)
第35回例会
(通算3662回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副会長 浅川 正紳
幹事 市橋 多佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町5-3 ミツ輪ビル2F
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2021-2022年度
国際ロータリーテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022年度
RI会長 シェカール・メータ
第2500地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイRC)

月間テーマ	青少年奉仕月間
本日のプログラム	会員卓話「電子帳簿・インボイス対応研修」(担当：プログラム委員会)
次週例会	講師例会「いよいよ新時代へ～スポーツの力で切り拓く釧路の未来～」(担当：プログラム委員会)

- ロータリーソング：君が代・奉仕の理想
- ソングリーダー：横田 英喜君
- 会員数 102名
- ビジター なし
- ゲスト なし

会長の時間

杉村 莊平会長



皆さん、こんにちは。お食事の方はそのままお続けください。

久しぶりの3週空けての例会で、いつの間にかゴールデンウ

イークも終わり、5月に入り釧路も桜の花が咲くような暖かい時期になってまいりました。今日も10人くらいしか来なかったらどうしようかなと思ったのですが、多数の皆さんに来ていただいてありがとうございます。次週以降もぜひご出席いただければと思います。ぜひ、どうぞよろしく願いいたします。

少しご説明だけさせていただきますが、4月中旬に複数のコロナ陽性者の報告がありましたものですから、4月21日と28日の例会をやむなく休会とさせていただきます。それに合わせて、予定をしておりました炉辺会合とメイクアップ体験会も一旦延期とさせていただきます。急なキャンセルになり、ご準備いただいた皆さんには大変ご迷惑をかけたと思います。この場をお借りしまして、お詫び申し上げます。申し訳ございませんでした。

このコロナに関連しての休会の判断は大変難しいものがありますから、正直何が正解かは分からないところでありますが、三役、理事会で判断していくことで

ので、なにとぞご理解いただければ思っております。この1年間、振り返るのはまだまだ早いですが、コロナに多少苦勞させられている1年となってきました。改めて僕のこの1年間の今年度の思い・役割というのは、最近増加してきました若いメンバーにこの釧路クラブの素晴らしい雰囲気や楽しさをしっかり体感していただくこと。そして、その若いメンバーとベテランメンバーの融合を図りながら90周年を見据えながらクラブの一体感を育てていくことと考えておりました。ちょうど今年は85周年の年でしたので、クラブの歴史を紐解きながら、しばらくやっていなかった夜例会を含んだ夜の事業をうまく活用しながら90周年に向けて、次年度に向けて、少しでも上昇カーブを描いてバトンを渡せたらいいなと思ってやってきました。なかなか思うようにいかず、引き続き難しい判断が必要かなと思っている次第でございます。このままコロナが無くならない前提で考えていきますと、いよいよこのクラブ活動とコロナの共生・共存を模索していく時期に来ているのではないのかなと思っております。お隣の韓国でもマスクの義務をやめて、陽性者も隔離しない新しいステージにチャレンジしているようです。やはり、そういう形を含めて隔離するだけじゃない、共存していく仕組みを考えていかないといけないのかなと思っております。

どちらにしても難しい判断が続くところでございます。残りの今年度は2カ月を切りました。われわれは

しっかり判断させていただきながら、ご支持いただきながら続けさせていただければと思っております。

5月、6月のスケジュールを少しお知らせしたいと思っております。今日から普通どおりに例会を再開していきたいと思っております。5月末には夜例会も再開したいと考えております。延期したメイクアップ体験会は日程が迫ってきていて難しいと判断しまして中止せざるをえないと思っております。炉辺会合は理事会のご意見お聞きしながら6月頭からの再開で考えていきたいと思っております。改めて皆さんのご理解とご支援をよろしくお祈りしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

本日の例会は久々の例会ということで、満を持して甲賀先生からのインボイスに関する例会です。皆さんも言葉だけは知っていると思っております。まだまだ先のことと言わずに今日勉強させていただいて、それぞれの会社に持ち帰って早め早めの準備をしていただければと思っております。

僕の会社みたいな、駐車場や店舗管理をやっている所、いわゆる個人の方のお相手をしている大家さんとか、免税業者の方とお相手もしている所もとても面倒なことと聞いております。僕もしっかり勉強させていただきながらしっかり対策を立てていきたいと思っております。

どちらにしても、これから2カ月を切ったところで、今日からまた再開ということになります。改めて楽しんでロータリーをやりたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

幹事報告 市橋 亨 丞 幹事

皆さま、こんにちは。はじめに4月に私がコロナに罹ってしまいまして、皆さま方に健康不安を巻き起こしてしまいました



こと、大変申し訳なく思っております。申し訳ございませんでした。しっかり体調管理に気を付けてロータリー活動に邁進してまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

幹事報告ですが、他クラブの今週の例会につきましてはご一読をお願いいたします。5月のロータリーレートは1ドル130円となっております。

また、第7分区の会員名簿の変更依頼期限が5月9日で、先日期日が来ておりますが、まだ多少は受け付けていただければと思っております。もし変更等の情報がある方は事務局までお申し付けいただければと思っております。以上です。

新入会員の紹介

スポンサー 白幡

博会員

こんにちは。新しく仲間になられます伊藤さんをご紹介させていただきます。



伊藤 淳さん、日本生命の道東支社長

として3月に着任をされております。前支社長の廣部さんの後任でございます。本人は、名古屋でわれわれと同じロータリークラブの活動経験がございます。そういった意味では皆さんとともに活動できるかなと思っております。

北海道の勤務は初めてということですが、先ほどお話を聞いていますと奥さまと旅行に来ていたり、また先日もゴルフでいらっしゃっております。そういった意味では勤務は初めてですが、北海道を快く受け止めている方と思っております。

また、趣味はゴルフを楽しまれるということで、私どものクラブであるナユタの会にもすぐ入会されると思っておりますのでよろしくお願いいたします。それからお料理の方もお得意だと聞いております。特にお飲みの物はワインがお好きだと聞いております。地酒の福司も楽しんでいただけるかなと思っております。

それから、奥さまも日本生命に勤務をされておられて、現在は東京ということで、お二人は離れ離れになっております。先日もゴールデンウィークの時に釧路にいらっしゃっておりますので、機会があれば釧路に来ていただければと思っております。

最後になりますが、スポンサー・紹介者は天方会員と白幡でございます。

それでは伊藤さんからご挨拶を頂戴したいと思います。伊藤さん、よろしくお願いいたします。

伊藤 淳 会員



皆さん、こんにちは。この度、白幡様、天方様にご紹介を与りまして、この歴史と伝統ある釧路ロータリークラブに入会させていただきました。

本当にありがとうございます。先ほど、ご紹介いただきましたとおり、前任地は名古屋ということで名古屋の「あまロータリークラブ」に1年ほどですが所属させていただいておりました。まだまだロータリアンとしては初心者でございますので、いろいろとご教授いただければと思っております。

紹介にもありましたとおり、入社して32年目になり

まずけれども、内地での勤務がずっと続いたので勤務地としての北海道は初体験となります。会社で担当しているエリアが北海道の東半分の全てになりまして、四国の1.6倍の広さのエリアを担当しております。そういう意味では日本生命という会社の中で一番広いエリアを担当する支社を担当させていただいているということです。3月末に着任して、4月1カ月で自分の担当エリアをひと通り回らせていただいて、車の走行距離が3,000 kmを超えました。改めて北海道の大きさを痛感しています。

前任地の名古屋では繁華街のど真ん中で暮らしておりましたので、カラスの鳴き声、あるいは酔っ払いの叫び声とかで朝起こされることも多かったのですが、今は幣舞橋の近くに居を構えておまして、カモメの鳴き声で目が覚めるという爽やかな港町らしい朝を迎えることができます。

趣味はいろいろあります。先ほど言ったように夫婦が離れ離れに暮らしております。単身赴任生活12年目になり、別に仲が悪いわけではございません。至って仲は良いのですが、一定の距離感をとりながら暮らしております。そういう関係もありまして、料理が一番の趣味ということで、食べることも飲むことも大好きです。先ほど紹介いただきましたようにゴルフも大好きですので、いろんな場面で皆さんとご一緒させていただく機会を持たせたらと楽しみにしております。これからもどうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

歓迎の言葉と委員会配属の発表 杉村 荘平会長

それでは、伊藤君におかれましては釧路クラブご入会おめでとうございます。クラブを代表いたしまして心から歓迎を申し上げます。

いつも同じことばかり話をするのですが、クラブの出席は義務ではなく権利だと言われております。せっかく入ったロータリーですから、その権利を有意義に生かして一日でも早く馴染んでいただいて、また釧路地域にもなじんでいただいて、有意義な生活をしていただければと思っております。よろしくお願いいたします。

配属委員会は出席委員会で、樋口委員長でございます。何かあったら何でも言ってください。よろしくお願いいたします。

■本日のプログラム■ 「電子帳簿・インボイス対応研修」

プログラム委員会 工藤 彦夫委員長

プログラム委員会です。本日は電子帳簿、インボイスということで甲賀伸彦会員にお願いします。本来、横田君と二人でタッグを組んで、プロレス界でいうな

らばザ・ロード・ウォリアーズのように頑張っていたきたかったんだけど、かたくなに横田君が「僕は横池コンビがあり」



と、何かよく分からないことを理由にして断られましたので、今日は甲賀君お一人でということになります。よろしくお願いいたします。

甲賀 伸彦君



皆さん、こんにちは。久々の例会ということで。以前、壇上上がった時には「電子取引とか電子帳簿・インボイス、危ないですよ」とお話ししたら、会長の頭の隅に残っていらっしゃって「喋ってくれないか」と言われましたので、お話をさせていただきたいと思っております。

パワーポイントありますが今日は字も大きくして、皆さんの所にはそのままのレジメがありますので、このパワーポイントについては今、どこ喋っているか程度に見ていただければと思います。全部で22ページあり、あと25分しかないので1ページ1分のペースでやっていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

まず1ページ、今日どんなお話するかといいますと、時計文字の1番、電子帳簿保存法というものがありまして、その中に電子取引という項があります。これ、あまり皆さん聞いていないと思うのでこれについて前半お話をさせていただいて、2番目はインボイス。これは新聞紙などでちょろちょろ出てきている話で、実は「税率について、消費税の大改正」なんて言われていますが、僕ら税理士は非常に大きな大改正だと思っております。

「インボイスって何よ」という話ですが、漢字で書いて「的確請求書等保存方式」と。「等」とついているのは「請求書でなくてもいいよ」ということです。インボイスですね。

ここで消費税の話からします。皆さんがお預かりして、あるいは売り上げでお預かりする消費税、いわゆる「仮受消費税」から皆さんがいわゆる課税取引として払った消費税を引いて納税しているのです。ここの、皆さんが払った「仕入税額控除」をきちんとやらないと引けない状態になることが今日の最大のテーマであります。なので、ここが大事なところですよ。

あと、「電子インボイス」というのもあるのです。電

子的にインボイスを発行する制度がある。
いずれにしても1番、2番、電子的すなわち「紙のない時代」の話になります。本当は横田さんと一緒にお話したかったのですが、横田さんが「いやだ」ということで私が代表して紙のない時代の話をしていただきたいと思います。

スケジュールをご覧ください。実は平成3年と書かれておりますが、「電子帳簿」という話と「電子取引」という2つの話があります。この電子帳簿というのはすでに行われていて、例えば、うちの事務所のお客様については「総勘定元帳」というのは全くないのです。CDブックに焼き付けて最終のお渡ししていますので電子帳簿という形ですでに認定を受けています。ですから、うちの事務所も「紙のない事務所」ということです。

そこはいいのですが、次の赤で囲った部分「4月1日から5月12日」と書いてあります。実はもう電子取引の法律改正が4月1日にされたのですが、業界団体からの反対がありまして、多分、法人会さんとか青申会さんからそうなのですが「まだ準備できていないのに、無理」という話で、今日は荒井先生いらっやっていますかね。宥恕(ゆうじょ)規定、遊女じゃないですよ。この宥恕規定ですが、法律では寛大な心で許すと書かれています。「2年間待ってやるぞ」という意味だそうなんです。なので、後ほどご説明しますが、いずれにしてもしなければならない規定ですので、今はいいのですが、6年1月からスタートしなければならない。

今度は、インボイスになります。もうすでに登録期間が始まりました。この的確請求書発行事業者の申請がなされています。

僕の事務所は法人で消費税を払っている「課税事業者」なので登録をしました。実は僕は個人で行政書士も登録しております。ただ、そこは1,000万円をいっていない「免税事業者」です。甲賀伸彦行政書士事務所と皆さんがお取引すると、僕は免税事業者ですので、皆さん方は先ほどの仕入れ税額控除を取れなくなるのです。それはいかんということで、僕も個人で登録をしております。「免税業者が課税事業者にならないと的確発行事業者になれない」ということ、あとでまたお伝えします。いつからスタートかというところ令和5年の10月です。もう間近です。

まず、電子取引から始めたいと思います。電子帳簿にはこの3つがあるのです。先ほど言いました電子帳簿保存法がありまして、元帳とかを焼き付けて改ざんできないようにするという法律があります。これはずっと前からあります。あと、最近ではスキャナー保存、ドキュワークスなどを使ってスキャナーして保存して置く保存方法が電子帳簿保存法の中にあります。今回、言われているのが、例えば電子取引ですが、

Amazon、ペイペイとか使いますが、それについては印刷をしてはダメということです。「電子取引のまま保存しなければならない」という法律が7月1日からスタートしたのですが、宥恕規定でとりあえず今はいいけど6年1月からやらないといけなと言われて

います。
次のページ、これは法律の話なので面白くないのですが、皆さんのお仕事について必ずしなくてはならないことなので、お気を付けください。令和4年4月1日以降、事業年度に関わらず、何月決算であってもスタートしなきゃいけないということです。会社で電子取引の取引情報を受領した場合には電子データを紙に出力して保存することは認められておりません。電子媒体のまま、PDFやJPG、そういったもので保存して置いてください。

具体例が書いてありますがAmazonさんやペイペイ、僕も良く使わせていただいております。一番下に去年の12月までにやらなきゃいけなかったのですが、宥恕措置が設けられて2年間待ってあげますよということです。

次のページをご覧ください。電子取引とは何なのかですが、まずは電子メールに請求書や領収書がPDFで添付されて来るものがあると思います。メールのまま保存して置いてダメです。そのファイルをきちんと整理して保存して置かなきゃならないと決まりました。あるいはインターネットのホームページからダウンロードした請求書、例えばJALさん、Amazonさんなどもあるかと思えます。あるいはSuicaとかの交通系ですとか、4番目。あと大事なものは6番、僕も最初分からなかったのですが今のFAXは自動的に印刷しないでデータとして保存されます。うちの事務所もあるファイルサーバーに入れて、それを総務の人が担当する人に電子媒体としてメール添付で送ることになっているのです。それも電子取引なので紙に印刷してはいけないことになっています。

具体的には次ですが、「こんなのないか」というチェックリストをつけておきました。建設関連の方は「モノタロウ」などがあるのではないのかなと思います。保存としては最長2年プラス1週間くらいと言われて

います。
保存措置としては発行者あるいは事業者のスタンプ、あるいは訂正・削除の履歴が見られるもの、のどれか。いわゆる改ざんしたものではないのが分かればいいということです。保存期間は一応10年間ということです。これは商法・会社法の保存期間、税務署のあれと一緒にだと思ってください。

われわれの「TKC」という団体があります。税理士は大体78,000人くらいいて、TKC会員は11,800人おります。事務所的には、世の中には32,000の税理士事務所がありまして、TKCは約10,000人の事務

所があります。このシステムを使っている方は全然気にしなくてもできるのですが、そうじゃない方がほとんどだと思いますので、「対策2」を見ていただきます。一定のルールを決めて任意のフォルダに入れてくれるということです。メール添付のままではダメです。まず事務処理規定を会社の中で設けていただき、日付・金額・取引などの検索ができるようにしなければならないのです。安いメルコ、バッファロー、アイ・オー・データの外付けハードディスクがありますが、レイド(RAID)の組んでいないようなバックアップファイル、サーバーが飛んでしまったらダメなので、サーバーやクラウドに置くことも考えなきゃならないということです。

対策2としまして、一定のルールを定めて任意のフォルダに入れるということです。例えば、例1ですが、この日にもらったものだったら、「20221013_(国税省)_110,000」みたいなPDFのファイル名にしておかなきゃならないということです。「相手先」でソートかけるか、あるいは「各月」でやるか、その保存方法はどうでもいいのですが、まとめてやらなきゃならないことになります。

3番目、事務処理規定を作成し備え付けることが必要。これをやらないとどうなるかというと、青色申告が取り消しになります。青色申告の最大のメリットは、仮に皆さま方が赤字になればその欠損を今10年間繰り越すことができます。それが無くなるということは、赤字にできない、赤字になっても繰り越せないのが相当な悪い影響が及ぶと思います。

先ほどの「電子取引のデータおよび削除の防止」というのは国税庁のホームページに出ていますので参考にして規定を作ってくださいと思います。前半、電子取引の方は終わりました。

多分、皆さんが最も注目されているのがこの「インボイス」の方だと思いますので、こちらを10分くらいの時間をいただいて、お話をさせていただきたいと思います。

13ページをお願いします。もう一度言いますがインボイス制度は何かというと、日本語で言いますと的確請求書等の保存方式であります。Qの1、日本にもインボイス制度が導入されるそうですが、どのような制度ですか。ということで、Aの1、インボイス制度とは複数税率。すなわち8%や10%に対応した仕入税額控除の方式です。先ほど申しましたとおり、売上げで受け取っている消費税を全部払うわけにはいかないので、皆さんが払った仮払消費税のことを仕入税額控除と言いますが、これができるかできないかという話です。現行のは、区分記載請求書等保存方式という方式です。令和5年10月1日から導入されて、導入後は、売り手・買い手双方に新たな義務です。皆さま方の会社はしなければならないです。

インボイス制度です。皆さんが物を売る方と仮定してください。買い手さんから求められた時、「的確請求書発行をしなければならない」。売ったら必ず出さなきゃダメということです。一方、買い手はどうしなければいけないかというと、きちんとインボイスを持っていないと仕入税額控除ができませんので、その管理をしっかりしておかなきゃならないことになります。

これは「消費税はどうなっているの」という話です。納付する消費税額は売った時に預かった消費税から払った消費税ですが、今までは免税業者さんから買っても引けたのです。

例えば、皆さんが免税業者の中島菓子店でお菓子を買っているとします。免税業者の中島さんの部分の10%は引くことができ、払わなくてよかったのです。これからは免税業者の中島さんから買ったら、インボイス番号が書いていなければ、その消費税が引くことができなくなるのが最大の困ったことです。じゃあ、今のこの時期に皆さんは何をしなければならないかというと、まずは発行者としてのことをやらなければいけないと思っております。今年のせいぜい11月くらいまでにやっていただきたいなと思います。

まず、自社発行の請求書にインボイス制度に対応するものにするということです。じゃあ、何をしないといけないのかというのが次の話で、だいたい物事に見積もりがあって、注文書があって、納品書があって、請求書があって領収書という一連の取引で出てくる書類がこういったものかと思われま。

インボイスを何に使うかというと、先ほど言いましたとおり請求書等と書かれています。請求書じゃなくてもいいのです。納品書か領収書でもいいのです。右側の青い所のどちらでも構わないと言われてます。では、インボイスに何を載せなければならないのか。請求書とかに載せておくべきものはこの1.2.3.4.5.6でしたが、新たに必ず載せなければならないのが的確請求事業者さんになるともらえる番号、登録番号を必ず納品書・請求書・領収書に載せておかないといけません。ここに法人の皆さまはもうすでに税務署から法人番号13桁が与えられています。その前に「P」が付くだけです。じゃあ、Pを付けて請求書に載せていいかというとダメです。届け出をしないと載せちゃいけないのです。「的確請求書発行事業者」という届け出を税務署にしてください。それは注意深く顧問税理士の先生とよく検討してから出していただければと思います。

発行すると、税務署さんの中で登録番号Pと13桁を打ちますと、税理士法人トップマネジメントが出てきます。

これ、個人の方はどうするのですが、「個人の方については、マイナンバーカードは使わない」ということ

になりました。個人の方は先ほどの例で言ったのですが、村上さんが個人で事業を行っていたとします。そうすると、個人でまず登録番号をもらうことになりま。ただ、「村上祐二」と打つと、村上祐二さんがいっぱい出てきます。何の村上祐二さんか分からないので後で屋号を付けることになりますので、村上商店・村上祐二という番号が付与されるということになります。

インボイスを発行する時にどうするかというと、すでに皆さんは総額表示でお肉などの販売価格として出していると思います。今度、消費税の処理で「税率ごとにまとめて計算しなさい」と変わりました。ですから、システム改修が必要になってくると思います。

右側のようにそれぞれを足すと消費税もずれて、それはいけないということに決められています。

次のページ、納品書を的確請求書とする場合と請求書を的確請求書とする場合はどちらもありますが、納品書の場合は細かいのでリアルな消費税があります。納品書の場合、一発でバサッと行きますのでこんな感じになるということです。

ここから大事な話になります。20ページ。免税業者さんというのは、1,000万円以下の方です。いわゆる消費税はもらっているけれど、国に納めていない方なのです。先ほど、杉村会長からありましたが、個人で駐車場を貸しているとか、物件を貸している。事業者が消費税払っているのですが、貸しているという方がいるのです。ただ、持ち主は個人です。

例えば、菓子折りを持って行くのに免税事業者さんの中島菓子店で買ったなら、消費税を控除できないから、中島さんのところに行かないで違う方の所に行ってお菓子を買うことが考えられることになります。免税事業者のままだとインボイスを発行できませんので、僕も行政書士事務所は免税事業者ですがインボイスを発行できる状態にしました。土業の方、ここにもたくさんいらっしゃいます。池田先生もどうなのでしょう。

僕、売り上げは知りませんが、「免税事業者だったら、あなたの社会保険労務士事務所とお取引できないよ」ということがあるかもしれません。例えば、年間100万円払っているとしたら10万円控除できないわけです。大きいですね。

ここまで消費税のことをご理解されたら、国はなんでやっているか分かりますか。まず、インボイスを使うことで、すべての取引を洗い出したいというのがひとつです。もうひとつは、免税事業者はずるいなあと思っているということで、国はここをつぶしてきます。今の今やっている話じゃないかなと思います。

あと、簡易課税制度。1,000万円から5,000万円の方は、割合で、業種区分で、それを控除できるのですが、簡易課税制度の方はパーセント程度で仕入税額控除をしていますから、インボイスの補助は考えなくていいです。いわゆる本則課税の方が大事だということです。

それにしたって大変だよねというので、経過措置というのが最後認められております。平成5年10月1日に始まってから3年間については、仕入額相当の80%は見えてあげようじゃないか。あるいはその次の3年は仕入額相当の50%は見えてあげようじゃないか。6年過ぎるとダメですよ、となります。

いずれにしても最後に書いてありますとおり、請求書を受け取る都度、経理の方が、仕入れ先がPの入った的確請求書か、Pの登録番号が入っていない事業者か、で会社が払う税金も変わってきますので、そこを注意していただきたいということになります。1分くらい超過しましたが、これは法律の改正ですので顧問税理士さんとよく相談していただいて、11月くらいまでの準備をお願いしたいと思います。ご清聴どうもありがとうございました。

本日のニコニコ献金

- 杉村 莊平君 例会再開でございます。改めて、宜しくお願ひ致します。
- 浅川 正紳君 久しぶりの例会司会です。嘸まないように頑張ります。
- 市橋 彦佳丞君 本日より例会再開になります。いろいろとご迷惑おかけして申し訳ありませんでした。
- 木村 豊年君 長期滞任研究会会長、無事卒業させて頂きました。感謝です。

今年度累計 535,000円

2022.5.19 (木)
第36回例会
(通算3663回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副会長 浅川 正紳
幹事 市橋 多佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町5-3 ミツ輪ビル2F
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2021-2022年度
国際ロータリーテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022年度
RI会長 シェカール・メータ
第2500地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイRC)

月間テーマ	青少年奉仕月間
本日のプログラム	講師例会「いよいよ新時代へ～スポーツの力で切り拓く釧路の未来～」(担当：プログラム委員会)
次週例会	夜間例会「ロータリアン格付けチェック NIGHT」(担当：親睦活動委員会)

- ロータリーソング：四つのテスト
- ソングリーダー：藤井 敬亮君
- 会員数 102名
- ビジター なし
- ゲスト なし

会長の時間 杉村 莊平会長



皆さん、こんにちは。本日も多数のご出席をいただきまして本当にありがとうございます。釧路もやっと暖かくなってきた感じが、できればこのままコロナ前の生活のような形に戻って、観光客も戻り経済活動も以前のように戻ってくれればと思っている昨今です。

そう思って新聞を拝見していましたら、2つほど釧路地域に関する気になる記事がありましたのでご紹介したいと思います。

1つは、今日の中島さんの話にも出てきますが、弟子屈町のお話で「弟子屈町で地域課題を民間ベースで解決して行こう」と、街づくり会社がつくれワインやチーズを作ったり、ふるさと納税の事務代行などを行って地域活性化に取り組むという記事が出ておりました。最近、例会でもご案内をしました川湯温泉駅前の活性化や川湯温泉街の再開発計画など、人・物・金が確実に弟子屈町に集まってきているような感じがしております。第2の富良野・ニセコのように思ってくれればと思って、とても明るい記事だと期待をして読みました。

もう1つ、これは真逆のことで、わが釧路市に関する記事です。4月末の人口が16万1,855人で、前年比2,700名ほど減少しているということです。分母が小さくなってきているのに人口減少がなかなか止まらないということで、20万人を切ってしまうと心配をしていたのがついこの間のような気がしますが、それから4万人も減少してしまっています。

あまり暗い話をするのは良くないかと思えますけれども、逆に臭いものにフタをして見て見ぬ振りをするのが一番よくないと思います。われわれの活動も地域あつての活動ですので、改めてこの現状をしっかりと見て、危機感を共有して地域活動に取り組んで行かなければと思っている今日この頃でございます。

私も若い頃から多少地域活動・街づくり活動に携わっておりまして、振り返って見ると、フォーラムや市長に提言などのようなことは結構行いましたけれども、その先になかなか辿り着けないのが課題であり、思うに街づくり活動というものは最終的には自らリスクを負って具体的な行動にたどり着く、具体的な行動を起こしていくことが大事で、そのような人間が何人も現れてくる街こそが活力がある街になると思っていました。話が長くなりましたが、何を言いたいかというと、今日の講師の中島さんこそがまさに自らリスクを負って具体的な行動を立ち上げた方でございまして、私の知っている限りではアイスホッケーの選手で釧路

に戻ってから苦勞をして自分の仕事を立ち上げたい
で、スポーツに関する街づくり活動をずっと続けて来
られ、今回の大きな成果に結びつけた方だと思っ
ております。昨今、元気がないこの釧路において、わ
れわれ地元の間が傍観者にならず、いかに地域活
性化の主体者になれるかが大事なことだと思
います。今日の中島さんのお話を聞けば、その
ヒントをいただける最適な講師であると思っ
ております。本日の講演を楽しみにして
おります。どうぞよろしくお願いいたします。

幹事報告 市橋多佳丞幹事

皆さま、こんにちは。
幹事報告をさせていただきます。他
クラブの今週の例会は、お手元
にお配りしております例会案内
をご覧ください。



昨日、6月の例会スケジュールを皆
さまに送付させていただきました。その
中で、6月2日にクラブアッセン
ブリーを夜間に行う予定です。ご
案内は本日、皆さまに送付の予
定となっておりますので、ぜひ
多くのご出席をお願い申し上
げます。

また、6月4日土曜日に『野遊
会』を行う予定となっております。
場所は『岸壁炬燵』にて開催を
させていただきます。本来であれば
バス等をチャーターして、皆さ
まと1～2時間程度の旅を楽し
むところでございますが、コロ
ナ禍ということもありましてバ
スでの移動は避けて、現地集
合・現地解散となります。MOO
の岸壁炬燵へ、多くの皆さま
でお集まりいただければと思
っております。こちらのご案内
を本日もしくは明日には配信
できると思いますので、よろ
しくお願い申し上げます。

■本日のプログラム■

講師例会「いよいよ新時代へ～スポーツの力で切り拓く釧路の未来～」

クラブ運営委員会 中島 徳政委員長



プログラム委員長が欠席のため、本日の
例会の講師を改めてご案内させ
ていただきます。会長があれ
だけ喋ると、喋ることが一切
ない感じで

ございます。本日の例会は、『い
よいよ新時代へ～スポーツの力
で切り拓く釧路の未来～』とい
うことで、NPO法人東北海
道スポーツコミッション理事
長の中島仁実様をご講師で
ございます。つい最近、釧路
町に『あしはらの杜』という
施設がで

きて、そちらの運営をされて
います。それでは中島様、よ
ろしくお願いいたします。

NPO法人東北海道スポーツコミッション 理事長 中島 仁実様

皆さんこんにちは。
東北海道スポーツ
コミッションの中島
でございます。本日、
『いよいよ新時代へ
～スポーツの力で
切り拓く釧路の未来



～』というテーマでお話を
させていただきます。釧路
クラブの例会にこうしてお
招きいただきまして光栄
でございます。杉村会長、
市橋幹事をはじめ釧路
クラブの皆さま、本当に
ありがとうございます。
本日、頑張っていきたい
と思います。よろしくお
願いいたします。

それでは、私の紹介をして
いただきましたが、簡単
に私の方からも自己紹介
させていただきます。

1974年釧路生まれの48歳
です。ずっとアイスホッ
ケーを続けまして、2001
年にコーチのライセンス
を取ろうとカナダのバン
クーバーに渡りました。人
生設計もいろいろと変わ
りまして、2003年、バン
クーバー現地に刺繍プリ
ントを行うユニフォーム
の製作会社を設立しまし
た。その後、永住権も取
ってずっとカナダに住ん
でいようと思っていたの
ですが、2011年、東日
本大震災で、メルトダウ
ンで「もう日本には住め
ない」と言って日本の方
々が西海岸にもものす
ごく流れて来たのを見て
、私には親も仲間もいる
この釧路にやっぱり戻ら
なければダメだという気
持ちになりまして2013
年に帰国。そして、ユニ
フォーム製作の会社、現
在文苑にあります株式会
社プロパフォーマンスを
設立しました。その3年
後に仲間と集まって、ス
ポーツで地域を盛り上げ
るという「東北海道ス
ポーツコミッション」を
設立することになりました。

私たちは、これは昭和から
のキーワードだと思います
けれども『体育からスポ
ーツへ』という本当に日
本にとって大切な部分だ
と思いますけれども、元々
日本のスポーツは軍隊を
強化するためにできたも
のが日本のスポーツの原
点です。第二次世界大戦
後、それが「体育」とい
う形で受け継がれました
が、現代の先進諸国、特
に先進諸国のスポーツと
比べると非常に矛盾が多
く、日本政府でも「何と
かこの矛盾を解決しよう
」と様々な取り組みを行
います。

2004年、文科省が主導
になって『総合型地域ス
ポーツクラブ』を立てる
試みをします。これはや
っぱり部活動。どちらか
というと部活動は、軍隊
的状況の昭和の時代の
スポーツだったので、地
域に移行しようとする
取り組みをするのですが
、上手くは行かなかった
ことに

なります。

地域スポーツクラブとはどのようなことかという、欧米各国のように多種目・多世代・多志向、「いろいろな種目をやりましょう」「いろいろな世代の人たちが楽しみましょう」、そして、ここがすごく大きな違いですけれど「プロを目指す人も、楽しむ人も、いろいろな志向を網羅しよう」というのが総合型地域スポーツクラブです。

これによってスポーツ人口をどんどん増やしていこう、健康国家になろう、と目指したのですが、どうしても馴染みが生まれず、地域スポーツクラブは作られては潰れ、作られては潰れ、と上手く行かなかったなっています。2010年には、スポーツ立国戦略の下で『観る、する、支える』というテーマで国が取り組むのです。

こちらはスポーツ実施率というデータで、「週1回以上スポーツを行う人」が何%いるかという、全国で2割もいないのです。80%の人が「スポーツは行わない」、もしくは「あまり好きではない」、もっと言えば「全然好きではない」という方々が8割いるのに、『観る、する、支える』はスポーツを行う側の目線だったと、いま僕自身もそう思っています。やはり8割の人に『観たくなる、したくなる、支えたいくなる』というアプローチが必要だったということで、この取り組みもあまり上手くは行っていなかったと思います。

2016年は『スポーツ省』ができた年です。この年「スポーツで稼ぐ」と明言しました。これはまさに産業化を目指して経済を活性化しようとしたのですが、これもあまり上手く行かなかったと思っています。

参考資料で、これは日米の比較です。左は人口の比較、約3倍でずっとこの20年推移しています。真ん中GDPの比較、これは4倍程度でずっと推移しています。アメリカと日本の国の大きさ的にも妥当というところです。右が日米のスポーツ産業比較です。1998年では同じく3倍位でしていたが、この18年の間になんと12倍に差が開く。このようなデータがあります。

また、左のグラフ、プロ野球市場規模です。1995年で、市場規模がメジャーリーグと日本のプロ野球市場規模はほぼ同じだったのですが、15年間のうちに約3.7倍に差が開いている。右側のプロサッカー市場規模は、イギリスのプロリーグ「プレミアリーグ」とは1996年の時点で、市場はほぼ同じだったのが、16年間のうちに4.5倍と日本のスポーツ産業はものすごく先進諸国に遅れをとったと言われています。これが、私が住んでいた北米のスポーツ施設です。ご覧のとおり野球会場、バスケット会場、その裏には食べたり飲んだり遊んだり、すごくいろいろな所でお金を使う仕組みができています。

これは日本製紙アイスアリーナです。この規模の施設ですら、お金を使う所は自動販売機と小さい立ち食い

そば屋が1軒。まさにお金を使う場所がないという矛盾があったのです。ですから左側の方は試合に興味があっても楽しめるスタジアム。いま日ハムの『ボールパーク構想』がこの考え方を取り入れようとしています。

日本の施設は、ほとんど教育委員会管轄の教育施設となっているので、「産業化」を謳っているけれど、教育の一環となると常にこの矛盾は解決できず、利益を生む施設・利益を生まない施設がはっきりしていて、産業化は上手く進めていないのが現状であります。

また、さらに「スポーツで稼ぐことは地域にとっては悪だ」と、このように僕は感じています。皆さんがそう思っているだろうと感じています。つまりスポーツは美学であり美しいもので、「スポーツを食べ物にしてお金を稼ぐなんて」ということがとても根強く残っていて、これがまさに体育であった弊害と思っています。

決してお金を稼ぐことは悪いことではなく、産業化とは消費を生んで、そこに雇用を生む、そしてその余剰金で子どもたちの育成環境を整えて、施設を修繕していくという目的ですけれど、どうしてもこの「悪」というところが抜けきらず産業化が進まない現状であります。

2017年には、スポーツ省が「スポーツコミッションをどんどん立てて行こう」という動きを始めます。これは見づらいですけれど、2020年東京オリンピックが決まった時にスポーツ省は「170団体、全国のスポーツコミッションをつくっていきましょう」という動きをしていました。われわれは結構早めにできあがったのですけれど、170団体いろいろ各地でできてきました。これも実はあまり機能しませんでした。というのも、あるイベントやある大会を誘致するためだけにできあがったコミッションなり協議会は、その大会が終わった後に結局尻つぼみになってしまう。名前だけになってしまう。

その当時、スポーツ省の審議官も言っていましたけれども、持続的に街に効果をもたらすスポーツコミッションでなければならないのですが、その活動ができていないのは私たちもそのようにお褒めをいただきましたが、日本全国でも数少ない。やはり、スポーツで街を活性化していくコミッションがどんどん増えてほしいと言われておりました。日本のスポーツを変えようと政府はいろいろ頑張っていて、ことごとく失敗。と言うとおこがましいですけど、上手く行かなかった中で2019年12月、ついに『まち・ひと・しごと総合戦略』・地方創世にスポーツという文言が正式に取り入れられることとなります。

2021-2022 Kushiro Rotary Club Bulletin 3

これはわれわれにとってすごく大きな進歩だと。単に趣味・娯楽であったスポーツが街の地方創世に一肌脱ぐという位置付けになったことはすごく大きな一歩だと思いました。いまたくさんある地域の社会課題をどうやってスポーツで解決できるかに目線が行くようになります。

例えば、学校部活動の限界。こちらは平成 21 年の全国アイスホッケー大会のトーナメント表です。この当時はほぼ全部、単独校で出ています。ただ、平成 27 年の大会表を見ると単独校は景雲中学校と鳥取中学校のみ、景雲中学校もついに昨年合同になってしまいました。アイスホッケーに限らず、どこの高校も中学も単独校で出ることが難しくなってきました。これ、何が一番問題かと言いますと、チームによっては 9～10 校の合同チームになる。この 9 校の中の 1 校が 1 人の部員であっても 1 人の顧問を付けなければならぬ。働き方改革を政府が謳っているのに 1 チームのアイスホッケーに 10 人の顧問がいる。ものすごく矛盾した状況になっている。また、1 回の練習をするのに 9 校から親御さんが送迎をしなければならない。つまりもう部活動としては完全に崩壊をしている。これはメスを入れなければならないというところです。

また、少子高齢化による税収減ということで、2019 年度の人口で、60 歳以下は 76,000 人が 65,000 人を支える図式がしっかりできていたのですが、2040 年度になると 40,000 人が 54,500 人を支える時代が当然やってくることになります。これは街にとってはとても深刻な問題だと言えるかと思えます。

また、高齢者の介護医療費の財政圧迫です。このグラフ、青が平均寿命、赤が健康寿命、その差が不健康な期間になります。全国平均では男性 9.13 年、女性 12.68 年となっていますが、釧路を見てみると男性 13.8 年、女性 18.9 年、この期間が不健康な期間になる。つまり財政が圧迫されているのに介護医療費をどんどん投入して行かなければならない。これも街にとって非常に深刻な問題と言えるかと思えます。

また、地域共生社会の実現とよく言われていますけれど、社会的弱者と呼ばれる生活困窮者、生活保護を受けている方、そして高齢者、障害者、そして子どもたち。この社会的弱者の方々を包括的に支援していかなければならない。これはどこの市町村も掲げるひとつの社会課題だと言えるかと思えます。

このようないろいろな地域の問題をスポーツの力で解決していこうと、それが『まち・ひと・しごと総合戦略』に入った一番の国の目的であり目標であります。趣味・娯楽であったスポーツが遂に街を変える力があると。

私たちも、単にスポーツ振興・アイスホッケーを盛り上げようではダメだな、これから自分たちで街のため

に何ができるだろう、と考えるようになりました。そこで、東北北海道スポーツコミッションが様々なアイデアを出しながら、いろいろな取り組みを考えていくわけです。

そもそもスポーツコミッションとはどのような団体なのか。「スポーツを通じた地域振興を目指す組織」が定義です。具体的にいうと、いろいろとありますが、赤文字で書いてある「スポーツ振興」と「スポーツツーリズム」、つまり合宿・大会誘致を行ってたくさんお金を落としてもらおう。これがスポーツコミッションの最初の構想でした。ただこれは最初であって、やっぱり持続的にいかなければならないので、これだけで立ち上がったコミッションは結構各地でも潰れていたり、活動をしなくなったような団体も非常に多いようです。

簡単に図で説明をすると真ん中のパズルの所、スポーツ団体・行政・NPO・観光業者というところがタグを組んで、地域の組織を作って、大会・合宿を誘致して、右側の「スポーツを通じた地域の活性化」、つまり経済活性化につなげて行こうということが、このスポーツコミッションの考え方の最初でした。

私たちの東北北海道スポーツコミッションも、そのアイデアに自分たちで共感をして、「カナダの高校生を呼ぼうではないか」というのが最初の活動でした。私がカナダで指導者の勉強を行っている時に、日系カナダ人、ルーツを日本に持つ親御さん、お爺ちゃんやお婆ちゃん、その子どもたちが作る日系カナダ人高校生アイスホッケーチームと知り合って、「監督をやってくれないか」と言われて監督をやった時に、日本遠征の企画をする際に「ぜひ私の故郷である釧路に行かないか」と声をかけたことがこの事業の始まりでした。

写真の下は、その時に何十年ぶりに集まった仲間たちが「ぜひ手伝おう」と、この事業を手伝ってくれました。そこがこのスポーツコミッションの事業の始まりで、仲間たちが集まってスポーツコミッションの設立に向かって行くことになります。

この事業事態は、単にアイスホッケーの試合をするだけではなく、せつかく 1 週間滞在してくれるのであれば、ホームステイをさせてみたり、いろいろな学校を訪問して剣道など武道の体験をしたり、いろいろな文化を学んでもらう、という取り組みをしました。どうしてもアイスホッケーの大会で来ると、アイスホッケー選手としか交流をするタイミングがないのですけれど、ではなく、地元にいるいろいろな高校生にこの経験をしてほしいという思いでこの企画をしました。また、『霧フェス』に参加をさせていただいたり、ルーツが日本ということで運動会を開催したり、といろいろな経験をさせていただきました。1 週間、一行にはとても楽しんでいただきました。

これは官公庁の資料です。住んでいる人 1 人平均で

年間に125万円を平均で使うそうです。それを外国人観光客8人が来ると、人口1人が減る。その分をカバーできると官公庁が算盤で弾きました。われわれも、これで経済効果が生まれるだろうというのが最初でした。実際1週間このプログラムを行った後に、ものすごい数の人たちが関わって、ものすごい人たちが「素晴らしいプログラムだった」と1週間ずっと笑顔でいたのを見た時に、われわれが考えていた経済的効果以上にこの街にもたらした社会的効果がとても大きかったと私たち自身が実感しました。スポーツコミッションの最初の定義では、みんな経済的な効果をもたらそうと活動をしますけれど、それに影響を受けた子どもたちの中では、カナダに留学をしてカナダ人と結婚をした子もいるので、今でも連絡を取っています。その意味ではグローバル化の手助けにもなったり、子どもたちの経験に寄与できたところは私たちの活動がこれからどんどん変わっていく機転になったのかと思います。

本格的な活動を行っていきこうと、まなぼっとの横に『坂の上会館』という閉館が決まった旅館に、「ぜひお貸しください」とお願いをして、スポーツ合宿所の運営をスタートしました。夏場合宿を誘致しても長期滞在者がたくさんいてホテルが満室ですから、どうしても「誘致をしても宿泊場所はありません」という矛盾した状況が続いていた中で、この合宿事業に一步進むことになりました。

その経験を活かして先月、釧路町の運動公園内に『B型就労支援事業所 Villa あしはらの杜』という合宿所をオープンさせていただきました。こちらはスポーツ合宿所と一般も営業できるレストランです。ここで働いている人たちに障害者の方を雇用させていただいております。私たちが考えたことは、地域が抱える福祉の課題を何とかスポーツで貢献できないかという思いで、自分たちの合宿所運営の経験も活かしながらこの『B型就労支援事業所 Villa あしはらの杜』を立ち上げる計画に行き着いたわけです。

また、『くしろウインターパーク』も運営をさせていただきました。この目的は、どうしても寒い冬、観光コンテンツが非常に少なく観光事業が見込めない。また、寒いので引きこもりがち、子どもたちは寒いので家でずっとスマホやっている。「健康については問題だ」というこの季節に国際交流センターの前の遊歩道を凍らせてイルミネーションできれいに飾って、日本初の周遊型アウトドアリンクを作ることにして、2年運営をさせていただきました。残念ながらコロナの影響で自分たちの目標の数字はまだ達成できていませんが、こちらも市民の健康維持という社会課題、そして冬場の観光で釧路の冬のメインコンテンツになり得るだろうという思い、信じて活動しております。そのウインターパーク内にスケートダウンヒル競技の

体験ができる場所を作っております。スケートダウンヒル競技とは何かです。単にアイスホッケーの格好をした人間がスキーと同じようにダウンヒルで競争をするのですけれども、実はこれをいまオリンピック正式種目に申請をしております。『2030年札幌オリンピック』が決まりそうな時ですから、われわれもすぐ考えて、アイスホッケー・カーリング・女子アイスホッケー・フィギュアの全部を考えてもおそらく釧路には何の競技も来ないだろうと仮定しました。せっかくのオリンピックが釧路に来ないので、僕らがテレビを観ているだけでは街に何も影響が生まれません。ということであれば、この競技がオリンピック種目になってくれることを信じて、この競技をいち早く取り組もうと、このコンテンツをウインターパークの中につくらせていただいています。何とかオリンピック誘致ができればと、いまから種を蒔いているような状況でございます。そして、私たちはスポーツ庁の補助金をもらって動き始めてはいますけれども『釧路ヴィエルマキ構想』という構想があります。ヴィエルマキとはフィンランドの人口450人の街の名前です。この450人の小さな村に国の政策で体育施設・トレーニング施設・ホテル・勉強会場のすべてをここに集約して、世界中のいろいろなアスリートがここで育成できるような育成拠点をつくっています。通年を通して人がワンサカ集まるような街がこの450人のヴィエルマキという街です。それを見た時に、「釧路でこれができないか」がこの釧路ヴィエルマキ構想でした。アイスホッケー競技におけるこのアジアは、世界に比べてものすごくレベルが低いです。このアジア地区を強くするという大義名分の下に、選手・レフリー・指導者・トレーナー、すべての人がこの釧路に来て勉強をする。原則コミュニケーションを英語で、いろいろなメンタル・フィジカル・ドーピング・栄養学、様々なものを学ぶために毎年ここに集まるという仕掛けができないかということがヴィエルマキ構想です。

さらに、そこで勉強をした人たちが様々な提携先の海外の強豪国に行ける図式ができれば、黙って1年中を通して釧路に人が集まる仕組みができる。これが経済的な面から見ても、人材育成という面から見ても、街に大きな効果をもたらす事業ではないかと思って活動しております。

ちなみに、2012年、安倍首相が公言したこの青文字で書かれている『スポーツを通じた国際協力・交流』、『人材育成拠点の構築』、『アンチ・ドーピング推進体制の強化・支援』、まさにこれ1つだけでも網羅していれば安倍首相に認定をされる仕組みでした。この釧路ヴィエルマキ構想は政府の構想すべてを網羅するスーパープログラムだと自分たちでは考えております。

その他に、このヴィエルマキ構想を含めてですけれ

ど、世界中から子どもたちが集まってここで試合をしたり、いろいろな活動をしたり、交流をしたりすることを世界にネット配信することができれば、その家族・友達・様々な人たちが見てくれるだろうと思いました。そのために『北海道スポーツチャンネル』を運営して、ついでに釧路のいろいろな魅力を同時発信していきたいと活動もしております。

また、お手元にあるかと思いますが、様々な活動で頑張る子どもたちのモチベーションアップにつなげようと『Member+Over (メンバーオーバー)』というフリーペーパーを発刊しております。こちらは幼稚園から高校生まで約 35,000 人全員の手に渡るようになっております。

私がカナダにいる時に一番思ったことは、大人がスポーツを楽しむ環境がしっかりできているために、スポーツを楽しんでいるお父さんを見て子どもがアイスホッケーを始めたりサッカーを始めたり、と。日本のスポーツを、社会人のスポーツを生業化して行かなければスポーツは振興しないし普及して行かないということで、アイスホッケーのビアリーグも運営しております。

最終的には、私の目標でもあります。これは『スヌーピー』の原作者、チャールズ・M・シュルツさんを追悼するオールドタイマーの世界アイスホッケー大会。カリフォルニアで毎年行われます。釧路でこのようなビアリーグアイスホッケーだけではなく様々なスポーツのビアリーグが開催できればと考えております。という感じで様々な活動を行って参りましたが、ここでものすごい私たちの活動の追い風になるニュースが先月、飛び込んで来ました。「中体連が要件緩和」ということで、学校単位で固執をしていた中体連がついにクラブチームの参加を認めるビッグニュースが出てきました。僕はこれを戦後最大の改革だと思っております。

先進諸国のスポーツは元々学校スポーツ単位でした。それに限界を感じた時にしっかりと地域に移行させました。それぞれの地域が、Aリーグ・Bリーグ・Cリーグとそれぞれに目的があるリーグを作る。プロを目指したい人・競技を楽しみたい人・運動を楽しみたい人、すべての人の志向を網羅するには地域移行がないとできない。日本はとてこれに遅れた所で、総合型地域スポーツクラブが中体連の要件緩和によって実現性が出てきたわけです。

地域スポーツクラブができれば部活動の子どもたちはもちろん、高齢者が体を動かす場所が増えることになると思います。そうすると介護医療の問題、健康寿命

の問題も解決することも可能になると思います。また、地域スポーツクラブを行政目線で見たときに、人口が減っていくと街はコンパクトにしていくべきと言われています。そして、その中核となる空間とは『スマート・ベニュー概念』といって、地域の既存になる施設を使うべきだと言われています。まさに地域総合型スポーツクラブができることによって、そこがスポーツ・英語教室・カラオケ教室・囲碁クラブなどすべての市民の憩いの場になる要素を持つことによって、この中核となる交流空間をつくることのできる。つまり地域が抱える社会課題をスポーツと地域がコラボレーションすることによって介護医療費削減・子どもたちの健康増進・学力増進・トップアスリート育成、スマート・ベニュー化による地域の利便性向上・地域コミュニティの確立、このような社会課題の解決が可能になると思っております。

地域が持つ様々な資源にスポーツを掛け合わせることで、社会課題を解決し地域を活性化することのできる。つまりスポーツを活用した地方創世ができると思います。趣味・娯楽であったスポーツが釧路の未来を切り開く力を持っている。まさに釧路の未来とは釧路の子どもたちの未来であると思っております。これからもこの地域のためにスポーツを最大限に活用して、この町に元気をもたせられるように頑張って参りたいと思っておりますので、皆さまのご支援・ご声援をよろしくお願いいたします。

ご清聴ありがとうございました。

会長謝辞 杉村 杉村 莊平会長

中島さん大変素晴らしいお話を本当にありがとうございました。あっという間の 30 分でして、皆さんもワクワクしながらご覧になったと思います。

こうして見ると釧路もまんざらでもない。夢があると考えられるのではないかと思います。中島さんが言うように、スポーツで稼ぐと言いますか、社会課題をスポーツで解決することがやはりキーワードなのだろうと思います。われわれとしてもスポーツに限らず、当初に言ったように地域課題を民間ベースで解決することにリスクを負って考えていくことが大事になるのだろうと思っております。アイスパーク構想もありますし、われわれもぜひ協力できるところは協力をしながら夢のある釧路づくりに邁進をして行きたいと思っております。本日は、本当にお呼びして良かったと思っております。ありがとうございました。

本日のニコニコ献金

■杉村 莊平君 例会出席者が戻ってきたことを祝して

今年度累計 535,000 円

2022.5.26 (木)
第37回例会
(通算3664回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副会長 浅川 正紳
幹事 市橋 多佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町5-3 ミツ輪ビル2F
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2021-2022年度
国際ロータリーテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022年度
RI会長 シェカール・メータ
第2500地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイRC)

月間テーマ	青少年奉仕月間
本日のプログラム	夜間例会「ロータリアン格付けチェックナイト」(担当：プログラム委員会委員会)
次週例会	「クラブアッセンブリー」(担当：次年度理事会)

- ロータリーソング：我等の生業 ■ ソングリーダー：山田 浩司君
- 会員数 102名
- ビジター なし
- ゲスト なし

会長の時間 杉村 莊平会長



皆さん、こんばんは。3月の転勤族フォーラム以来の夜例会ということで、ご出席いただきまして本当にありがとうございます。

今日は手短に行きたいと思います。振り返ってみますと、やはり今年度もコロナに影響された1年間だったと思っております。コロナから得た教訓の1つを挙げれば、普段当たり前にあると思っていたことが実は当たり前ではなくて、貴重なことだったのだと気付かせてくれたことかなと思っております。ロータリー活動しかり。毎週に当たり前にあると思っていた例会、特にこうしてお酒を飲み交わしてじっくりとお話しができる夜例会のありがたみを見直したことだと思っております。

そういう意味では、今日の夜例会から始まって6月にかけて、クラブアッセンブリー、野遊会、情報集会と立て続けに、ロータリーを知ってロータリーを楽しもう、親睦を深めよう、という事業が続くこととなります。コロナに気を付けながら予定どおり開催することができて、いい期間にしていきたいと思っております。特に野遊会につきましては、恒例のバス移動を今回は

コロナ対策で取りやめにして、集まりやすい岸壁炉端での開催しております。若いメンバーにはかなり無理をさせていただいて、ベテランメンバーにはお散歩がてらお気軽に、多数のご参加をぜひお待ちしております。どうぞよろしくお願ひしたいと思っております。こういうロータリー活動ができるということに感謝しながら、迫ってまいりました6月30日のゴールに向けて気を引き締めて頑張っていきたいと思っております。改めましてご協力をよろしくお願ひしたいと思います。

さて、本日の例会ですが、親睦委員会の黄色いハッピーが今日はすごく目立つ感じですが、本当に頑張っただいただいております。この間も、親睦委員会にちょっと顔を出させてもらいました。滝波委員長にはコロナの影響を最も受けやすいご職業・お仕事柄にもかかわらず、本当に出席率の高い委員会を数多く開催していただいております。見て分かるようにとても結束力の高い、素晴らしい委員会運営をいただいております。1年を振り返ってはまだ早いですが、この場をお借りしましてご苦労おかけしていますことにお礼を申し上げます。ありがとうございます。今日も瀧波委員長、親睦委員会が凝りに凝った、ねりに練った企画をいただいているようでございます。騒ぎ過ぎにはくれぐれも注意しながら全員で楽しみたいと思っております。

本日、よろしくお願ひします。

幹事報告 市橋 多佳丞 幹事



皆さま、こんばんは。私から幹事報告をさせていただきます。他クラブの今週の例会につきましてはお配りしていま

す例会案内のご一読をお願いします。いま杉村会長からありましたが、本日の夜間例会はマスク会食の励行をお願いします。

また、野遊会の返信期日が迫っておりますので、皆さま奮ってのご参加のお願いを申し上げます。一度返信された後、参加できるようになった方がおりましたら奮ってご参加をお願い申し上げます。

また、釧路南ロータリークラブ創立 50 周年の例会が 6 月 10 日開催でご案内が来ております。こういうご時世ですので杉村会長が当クラブを代表してスポンサーとしての参加となっておりますことをご報告申し上げます。

以上となります。本日、1 日どうぞよろしく願いいたします。

転勤報告

北海道旅客鉄道(株) 釧路支店 山田 浩司 会員



J R 北海道の山田です。この度、6 月 1 日付で札幌に戻ることになりました。2 年間、ロータリークラブで活動させていただきました。まさにコ

ロナの真ただ中だったので、活動が自粛、マスクをしてお会いする機会も多かったのです。最初は顔を覚えていただけないこともありましたが、最近ようやく顔を覚えていただけて、いろんな方から声をかけていただく機会も多くなったので、もう 1 年は釧路にいたいと思う機会があったのですが、今回の異動となりました。

札幌に戻って、北海道全体で J R 北海道グループとしての仕事をします。J R 北海道グループはスローガンとして「住んでよし、訪れてよし、北海道」を目指していて、それにわれわれがどう貢献できるかということ掲げています。釧路に住ん



でみて、本当に住んでみなければ分からないことがあって、まさに釧路が「住んでよし、訪れてよし、北海道」の代表だと思いました。

先般、転勤族の方々の皆さんが仰っていたように、この釧路の可能性も高いと思います。これから将来に向けた街づくりが釧路もどんどん進んでいくと思います。その中で J R 北海道グループとしてもいろいろ貢献していきたいと思います。

また、引き続き皆さま方の協力をいただいて、J R 北海道の事業も展開していきたいと思っています。どうぞよろしく願いいたします。どうもありがとうございました。

■ 本日のプログラム ■

夜間例会「ロータリアン格付けチェックナイト」

親睦活動委員会 瀧波 大亮 委員長

こんばんは。親睦委員会の瀧波です。先ほどの会長ご挨拶にもありましておとり 2 カ月ぶりの夜間例会で、親睦活動委員会の



メンバー全員で準備を重ねてまいりました。いろいろ不手際があるかもしれませんが、皆さんに楽しんでいただけるよう頑張っておりますのでどうぞよろしく願いいたします。

それでは開会のご挨拶をクラブ運営委員会中島委員長、よろしく願いいたします。

開会のご挨拶

クラブ運営委員会 中島 徳政 委員長



たびたびすみません。クラブ運営委員長中島でございます。

本日は、格付けチェックということで親睦委員会が

練りに練ったプログラムになっておりますので皆さん、お楽しみいただければと思います。

いろいろといじる形になると思いますがご立腹にならないようお願いしたいなと思っております。これを持ちまして開会の挨拶とさせていただきます。

本日はよろしく願いいたします。

乾杯のご挨拶

吉田 秀俊 パスト会長

皆さん、こんばんは。実は私、4 月に新型コロナウ

イルスに感染して、何とかここに顔を出せるようになりました。そういう状況ですから目立たないように大人しくしているつもり



りだったのですが、瀧波委員長から先ほど今日の挨拶をお願いされましたので、病み上がりの身で大変恐縮ですけれど後ほど乾杯の音頭とらせていただきます。早いもので杉村年度も残すところ1カ月余りと、ゴールも近づいてまいりました。昨年同様、今年度も新型コロナウイルスの関係で例会とか新委員会事業もなかなか思うように進まない部分もあったかと思えます。そんな状況下ですけれど、今日は久々の夜間例会であります。存分に皆さんに楽しんでいただきたいと思います。

今日の例会プログラムはロータリアン格付けチェックということで、私を含めまして、皆さんが映す価値のないロータリアンにならないように節度を持って今日の例会を楽しんでいただければと思っております。最後になりますけれど、杉村年度が無事に帰港できますこと、そして本日の例会を開催していただきました親睦委員会の皆さまに感謝を申し上げ、そして私が申すのもなんですけれど、本日まで参加の皆さんが新型コロナウイルスに感染しないように心からご祈念申し上げます。ご唱和を願います。

「乾杯」

ありがとうございます。

司会 前田 秀幸会員



皆さん、こんばんは。そろそろ余興の時間とさせていただきます。最近、髪を伸ばしマスクをすると誰にも気づかれない

そんな快樂に味を占めている前田が久々に司会を進行させていただきます。

それでは、さてロータリアン格付けチェック、ベーシック春の3時間いや30分スペシャルこれから始まります。

(ロータリアン格付けチェック 春の30分スペシャル)

(手と手をつないで)

締めのご挨拶 滝越 康雄会長エレクト



こんばんは。今日はすっかり楽しませていただきました。心底、楽しみました。親睦委員会の皆さまは本当にご苦労様でした。

なかなか技術が高くなって、後をやる方が大変な気がします。

あと、大山事務局員はとても安心感を与えてくれます。あと、中島次年度幹事も私をサポートしてくださいますし、地区と人脈が築きあがってきているので、頑張っていきたいと思えます。

少しスケジュールを聞いて、さっき数えたら6月～7月で50件あるのですよ。いろんな出なきゃいけない場面があるので、グロッキーです。

先週かな、本箱から何か話題がないかなと拾ったら、立川談志の本が出てきたのですよ。落語だから面白いだろうと思って見ていたら、なかなかうまいこと言っているのです。「分相応な大役は、一皮むけば災害である」と。まさに私、いま災害の真最中なので、スケジュールこなすだけで精一杯でございます。この本は、舟木さんから電話が来る前に読んでおけば良かったなと思っても後の祭りです。受けた以上、頑張っていきたいと思えます。

いま、世間はコロナだ、その次に戦争だ、と非常に悪い材料ですけれど、終戦後世代というのは元々サバイバルとアゲインストで生きて来ています。とても抵抗がある世代ですので、これを乗り切って頑張っていきたいと思えます。

いずれにしても将来またある格付け、会長格付けが絶対に来ると思うので、その時に悪い点とらないように準備していきたく思いますのでよろしく願いいたします。

間もなくアッセンブリーが始まりますけど、質問もお手柔らかにお願いします。

では、三三七拍子をお願いします。ご起立ください。

本日のニコニコ献金

- 杉村 莊平君 夜間例会開催を祝して。コロナに気を付けましょう。
- 市橋多佳丞君 本日、久しぶりの夜間例会。宜しくお願い致します。コロナに気を付けて、マスク会食をお願い致します。
- 木下 正明君 一番下の娘の就職が決まりました。

今年度累計 544,000 円

例会スナップ



2022.6.2 (木)
第38回例会
(通算3665回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副会長 浅川 正紳
幹事 市橋 多佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町5-3 ミツ輪ビル2F
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2021-2022年度
国際ロータリーテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022年度
RI会長 シェカール・メータ
第2500地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイRC)

月間テーマ	ロータリー親睦活動月間
本日のプログラム	「クラブアッセンブリー」(担当：次年度理事会)
次週例会	「嵯峨記念育英会奨学生 新入生報告」(担当：嵯峨記念育英会委員会)

- ロータリーソング：君が代・奉仕の理想
- ソングリーダー：吉田 英一君
- 会員数 102名
- ビジター なし
- ゲスト なし

会長の時間

杉村 莊平会長



皆さん、こんばんは。本日も多数のご出席をいただきましてありがとうございます。まずは、先週の夜例会のお礼を兼ねま

して、釧路クラブが誇る各方面のプロフェッショナルな人たちとそうでもない“なんちゃって”の人たちの多大なる応援のおかげで大変楽しい素晴らしい例会ができたと思っております。改めまして親睦委員会の皆さんにはお礼を申し上げます。明後日には、また野遊会がありますので、引き続きお世話になりますがどうぞよろしくお願いいたします。

いよいよ6月になりまして、気のせいかわかなく今年度組は、少し表情が柔らかくなって、次年度組は、何となく表情が険しくなってきたかなでございしますが、本日はいよいよ『クラブアッセンブリー』です。特に僕が思っていることで、今年をあえて夜にクラブアッセンブリーをやらせていただきました。この夜にクラブアッセンブリーをやるのが、釧路クラブが誇る・釧路クラブが持っている規律と寛容の精神を本当に表しているのがアッセンブリーだと思っておりますので、本日は特に若いメンバーには、この釧路クラブが持つ歴史と伝統を実感していただければと思ってお

ります。ぜひこの機会に勉強していただき今後の糧にしてもらえればと思っております。

今日のクラブアッセンブリーですが、釧路クラブは年に4回の協議会を開催しております。1つ目は今日。次に『ガバナー公式訪問』の時にいきます。その次に1月、『上期を振り返って』をやりまして、最後は6月末に『1年を振り返って』というクラブ協議会を開かせていただいております。

今日は、その大事な第1回目のアッセンブリー、クラブ協議会でございますので、本日このアッセンブリーで、手元にあるこの会長方針や予算・活動方針などをしっかりと議論して共有をしていくことによって、滝越年度が勢いよく、素晴らしい1年を滑り出すことができることと、また1年を通して安定した活動ができる糧になることが今日1日のしっかりとした議論だと思っておりますので、本日は皆さまの友情溢れる活発な議論をお願いいたしまして、本日の会長挨拶とさせていただきます。

本日はよろしくお願いいたします。

■本日のプログラム■ クラブアッセンブリー

中島 徳政次年度幹事

次年度副会長の清水が遅れていて、まだ会場に入っていないのでアッセンブリーを次年度の三役で始めたいと思います。

それでは、まず会長から。



滝越 康雄会長エレクト

こんばんは。ご苦勞様です。R I 第2500 地区釧路ロータリークラブ 2022-2023 年度対応の『クラブアッセンブリー』を開催いた



します。いま幹事からありましたが、このアッセンブリーの司会を副会長と分け合っと思ひまして、後ほどバトンタッチしますので当分、私に対応をさせていただきます。よろしくお願ひします。

次年度の三役と副幹事を紹介申し上げます。

会長は私、滝越です。よろしくお願ひいたします。続きまして、副会長・清水輝彦君。幹事・中島徳政君。副幹事・篠原実君。同じく副幹事・濱口憲太君、以上です。この5名でしっかり体制を維持して行きますので、皆さんのご協力をよろしくお願ひします。(拍手)

続きまして、式次第の会長方針の説明に行きたいと思ひます。このままで説明をさせていただきます。冊子の2ページ、3ページに私の方針が載っていますので読み上げます。

釧路ロータリークラブは、1936年に設立されました。当時の時代背景は中国大陸の「盧溝橋事件」、国内の「二・二六事件」であります。ロータリークラブの1905年創設時代の背景は、「ロシア革命」と「日露戦争勃発」です。市民社会でのロータリークラブの活動は、国際情勢とは真逆に戦争とは無関係の別天地のアメリカで誕生したと思ひます。

また、2020年以來の新型コロナ感染症はまさに国難と言えます。私たちにはこの感染症を乗り越える力があります。まさに数年間の過去を乗り越え、少しでも前向きに平和な日常生活に戻す転機の時期にあります。

今年度は、釧路ロータリークラブにおいて、国際情勢や感染症を乗り越えたところにある活動的なロータ

リーを取り戻すことを目指したいと考え、今年度のクラブスローガンを『創り出そう身近な奉仕を 友情・愛情そして熱意で』と。

続きまして、われわれの基本にある「超私の奉仕」を胸に日々の穏やかで充実したロータリーを実現するために会員皆さまのクラブに対する友情・愛情をさらに高め、熱意を持って活動をしてまいりましょう。そして釧路ロータリークラブの歴史と伝統を積み重ねて行きましょう。



続きまして、2022-2023年度国際ロータリー・ジュニアフェアー E. ジョーンズ会長は、テーマに『イマジンロータリー』「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするため」を掲げ、人々の世話をし、奉仕をする、という誰かの人生だけでなく自分の人生も豊かになる奉仕プロジェクトへの積極的な参加を会員に呼びかけています。

国際ロータリー第2500地区久木佐知子ガバナーは「ともに紡ごう！ロータリーの未来へ」という地区スローガンを掲げ、大きな夢を紡ぐために会員に呼びかけております。

国際ロータリークラブ会長テーマと地区スローガンに沿う形で次なるクラブ活動目標を掲げたいと思ひます。

クラブ活動目標

1. 例会プログラムの充実
2. 例会プログラムとして釧路市の地政学研究
3. 会員増強と会員の連帯感の醸成
4. ウイズコロナ時代に向けての奉仕の検討をする
5. ロータリー財団米山記念奨学会への理解と寄付推進
6. インターアクトクラブ、ローターアクトクラブへの協力
7. 台北中央ロータリークラブとの関係維持
8. My Rotary への登録推進
9. 地区が進める新クラブ（衛星クラブ）の調査・研究

以上でございます。

滝越 康雄会長エレクト

続きまして、幹事より「クラブ概況及び会務方針」についてご説明申し上げます。

クラブ概況及び会務方針説明

中島 徳政次年度幹事

幹事をさせていただきます中島と申します。よろし

くお願いいたします。説明は着座にて行わせていただきたいと思ひます。クラブ概況及び会務方針です。クラブの定款細則に基



づき、会長方針に従ひ、各委員会の連絡を密にして会員各位のご協力とご指導をいただきながらクラブ運営が円滑に進行できるように努力をしてまいりたいと思ひます。

ただ今の正会員としては100名で作らせていただいております。現在支社長様方の転勤等によりまして、先週の日山支社長がいらっしゃらなくなり事実上は99名ですが、J Rの日山支社長と東京海上の新しい方がご入会をされて101名になる予定ですが、この時点100名で考えさせていただきます。

会員の平均年齢は38.6歳、最年長が93歳・最年少が38歳です。年齢の分布はその下を見ていただければと思ひます。全員、昭和生まれです。

クラブの在籍年数の分布も、1年目・2年目という形になっておりまして、平均が12.4年となっております。

クラブの財政につきましては、全て予算に基づいて運営をさせていただきます。クラブの細則に従ひ会費は年額150,000円とし、上期・下期でそれぞれ75,000円ずつ納入をいただきたいと思ひます。新入会員の入会登録料は30,000円。

ニコニコの目標達成額ですが、いままで800,000円が2～3年続いておりましたけれども、現実として600,000円行くか行かないかがいまの実情になっておりますので、確実に600,000円を超えてという形で目標額設定をさせていただきますと思ひます。ニコニコにつきましては、後ほど紹介いたしますけれども今年度の収入では、2年前の舟木年度のニコニコが収入になりまして、私たち次年度が集めるニコニコに関しましては、次々年度の収入に入る形になっております。

理事会は、会長エレクト、直前会長を含めて11名で構成しております。委員会活動につきましては、別途に記載をさせていただきますと思ひます。

7番目、クラブ協議会です。第1回目は本日6月2日の『クラブアッセンブリー』です。第2回目が7月14日『ガバナー公式訪問』になっております。『クラブ協議会』と『ガバナー公式訪問』を受けたいと思ひます。第3回目が1月12日『上期活動報告と下期活動計画について』。第4回目が6月22日『年間活動の総括』をさせていただきますと思ひます。総会は12月1日に『年次総会』を、『クラブフォーラム』

と『情報集会』は適時開催させていただきたいと思ひます。また、適時開催されます『会長・幹事会』に参加をして連絡を密にとってまいりたいと思っております。

クラブに関する資料の作成は例年どおり作成させていただきます。

例会に関しましては、毎週木曜日12時30分からということで、いままでどおりビジターフィーも昼例会で2,000円・夜例会は5,000円で、いままでどおりです。例会は禁煙。『クリスマス家族会』は12月8日木曜日とさせていただきますと思ひます。『新年交礼会』は1月5日。最終例会『キャンドルパーティー』は6月19日です。『新入会員歓迎会』上期・下期1回ずつ開催予定です。

その他としまして、例会のプログラムの充実を図りたいということ。それから『創立86周年』になりますので、歴史の理解を深める例会を行いたい。それから会員増強と退会防止に努めたいと思っております。本年度クラブ研修リーダーをクラブ研修委員会とは別にお願ひさせていただきます。その活動も含めてセミナーを開催したり、ロータリー活動への理解を深めていただきたいと思っております。

それから本年度、滝越会長エレクトが思っております地元経済の理解を深める、現況を見てわが商売にも役立つようなことを例会の中で実施して、もしこれがコロナ禍の中で新しい奉仕につなげることができればということで、その考察をして行きたいということでございます。

インターアクトとローターアクト、嵯峨記念育英会に関しては例年どおり。

ロータリー財団米山記念奨学会に関しても例年どおりです。

また、国内他のクラブとの友好関係も同じです。それから『地区大会』に参加を促すということで、例年どおりの活動方針となっております。

委員会名簿を次に付けております。現在のものご理解をいただければと思っております。

各委員会の発表についてはクラブ活動計画書をご一読ください。

清水 輝彦次年度副会長

ありがとうございました。申し訳ございません。副会長予定者の清水です。以後の進行を私がやらさせていただきます。

それでは、ここから質疑応答に移りたいと思ひますが、ご意見のある方は挙手をしてご発言いただければと思ひます。

いかがでしょうか。

質問：吉田 秀俊君

何もないようなので、私から1つ質問をさせていただきます。文献費の中で、第7分区の会員名簿を100冊購入予定していますけれども、現時点で100名の会員がおりますので、会員拡大の意味で純増5名を目標にしておりますし、その間の出入りもあるかと思っておりますので、少し余裕を持って発注をしておいた方が良いのではないかと考えているのですが、いかがなものでしょうか。

答弁 滝越 康雄会長エレクト

最もなご意見ですので、対応したいと思います。

質問 杉村 荘平会長

僕の時も、会長方針の所で国内他クラブとの関係構築を入れていましたが、このコロナで具体的なことができずに終わっておりまして、大変申し訳なかったです。滝越会長エレクトもこれを入れていますが、何か具体的なお考えなどがあればお聞きできればと思います。

答弁 滝越 康雄会長エレクト



国際関係、ことに台湾、その他があったら出向きたいと思っておりますけれども、コロナの情勢にかこつけるのではなく、私の考

えは正直に言ひまして、国際奉仕も分かりますけれども、それ以前にこの釧路という地盤がムード以前から落ち込んで、国際奉仕よりも地元でテコ入れするような意味の奉仕活動、奉仕という意味においては経済も含みますけれども、まず地元を支えるような奉仕の向きにしたいと思ひました。

国際奉仕、台湾との関係がこれから進行していく中で、台湾へ意向が向いている会員もいらっしゃいますので、それは考慮して行きたいと思ひます。特段、水のために東南アジアへ行くようなことはいまのところ考えておりません。国際奉仕の部分よりも地元志向の奉仕活動を何か考えたいと思ひております。

質問 杉村 荘平会長

ありがとうございます。ちょっと伝わらなかったかもしれません、国内他クラブとの連携で何か考えることはあるのでしょうかということ。

答弁 滝越 康雄会長エレクト

国内他クラブ、どのクラブと密なのか文献を見てもなかなか現れて来ないので、以前、舟木年度もそうで

したけれども全く新しい対応で実現するのも考えの一端で行いたいと思ひます。海外から見たら遙かに労力が少ないので、ここには書いていませんけれども考えて行きたいです。活動目標の項目が多いので申し訳ありませんけれども、過去の歴代会長の意向で未完成の部分もあろうかと思うので、人脈もたどりながら実現できればと思ひます。以上です。

質問 木村 豊年君

昨年のクリスマス例会について少し。昨年ということではなく今年ということになりますけれども、少し反省をするところがあったのではないかと考えております。

それは、普段お世話になっている家族の方々を楽しませようという趣旨であったということです。その中で、家族の方々が今回参加したその会費5,000円を返して、結局くじ引きに該当しなかったことで大変ガッカリしていたということがありますので、そのようなことがないように。ある会員の方々はいただいて、家族の方々がいただけなかったということがありましたので、みんなが楽しく公平に、せっかくお世話になった家族を招待したわけですから、家族の方々にも何かプレゼントをする。お持ち帰りいただく、だからお金は返さないということで、今年行っていたかと思ひます。趣旨、分かりましたでしょうか。

答弁 滝越 康雄会長エレクト

分かりました。ご家族の方の接点が数少ないものですから、ことに『年末家族会』は、行きやすさ・楽しさをお子さん方からイメージが湧くような、親近感が湧くような企画を親睦委員会が主になりますけれども対応して行きたいと思ひます。大人の会が基本ですけれども、数少ないお子さん方、メンバーも声をかけながらお呼び立てしている背景もありますので、そのところに重点をおいて実施したいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

質問 木村 豊年君

分かりました。よろしくどうぞ。

清水 輝彦次年度副会長

貴重な意見ありがとうございました。他にいかがでしょうか。他に何かご意見や確認事項その他、おありではないでしょうか。

ないようですので、それでは、もうそろそろお時間も迫ってまいりますので、クラブアッセンブリーはこれにて閉会したいと思います。

長時間お付き合いいただき、また司会の不手際にお詫びを申し上げます。どうもありがとうございました。それでは、司会を現三役にお返ししたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

浅川 正紳副会長

皆さま、お疲れ様でございます。プログラムの方は以上で終わらせていただきます。

それでは、ここで釧路ロータリー嵯峨記念育英会石田理事長より本年度のご報告がでございます。石田理事長、よろしくお願いいたします。

釧路ロータリークラブ嵯峨記念育英会

石田 博司理事長

嵯峨育英会よりご報告を申し上げます。昨年、吉田前理事長よりボタンタッチをいたしまして、理事長をさせていただいております。その前から評議委員でありましたので、嵯峨育英会について幾らかは知識があって、それを元感じていたことが、いま1カ月10,000円という給付金では少なくはないだろうか、と提案を申し上げましたら、それは20,000円でもよろしいでしょうと。さらには、基金も崩していったらよろしいでしょうか、と言ったらそれも良いでしょうと了解をいただきました。その点は、昨年、皆さまの前でもお話を申し上げているところであります。



それで、昨年は『情報集会』で嵯峨育英会について皆さまにお話し合いをいただきました。その報告をいただきまして、とても大変ありがたい熱心な討議をいただいたことに感謝いたします。

昨年は、「今年の春からの新給付は1年ちょっと休みます」と申しあげましたけれども、その休むという理由は、一番欲しがっている学生・生徒にどのようにたどり着くかということ、その選考の方式が非常に不安だったからです。しかも、10,000円が20,000円になるわけですから応募も多いだろうとも思いましたので休もうと思いましたが、これは休んでもダメだと。とにかく動いてみてどのような反応でも体で感じなければいけないということで、これは事後承諾と言いますか、いま報告申し上げますけれども今年度は20,000円で学校にご案内を申しあげました。

そうしましたら、20,000円という額がヒットしたのか分かりませんが9名の生徒からの応募がありました。学校の推薦と本人のレポートを添えて9名の応募がありまして、慎重に選考いたしましたけれども、おひとりだけ外れていただき8名の方に給付をいたします。ですから8名×20,000円で160,000円。さらに、皆さまの情報集会の中でも「釧路公立大学の生徒にも給付をしたらどうだ」という意見もありまし

た。それも最もだと思いましたので、西村理事の知り合いという公立大学の事務局長を交えて、公立大学の生徒にも給付が行くようなことも考えております。ですが、このペースで給付をしていきますと、育英基金が10年程でなくなります。これについて、私の独断ではありませんけれども、意見を言わせていただきます。

私は芸能関係の財団も理事長を仰せつかっていて、同じことを考えるのですが、いまの経済状況・システムがいつまでも続くとは考えられない。そうすると気が付いたらお金がタダの紙くずになってしまうこともあるのではないかと。それより、いま必要としている方に届けたいという思いがあるのです。だから基金芸能太鼓の財団でも申しあげるのですけれども、「財団の基金がなくなったら解散するように」と道から言われていますので、そのことを踏まえて、必要な方に届くようにしたい。それは嵯峨の場合でもそうです。

ですが、これはもうワンマンでできることではないので、今後、いちいち申し上げますから皆さまからの意見も上がって来ると嬉しいのです。そして、熱心に活動をしていきます。

これは、私の人生観ですけれども、金品を差し上げる時とは、差し上げる方の思いが伝わるものだと思います。直接手渡しでなくても。お下げ渡しみたいな、上から目線で出た金品は受け取った者がなにか嫌な気がするし、心から思いが乗ったものというものは生き生きとしてその人を喜ばせるという。これは僕の人生観なものですから、嵯峨育英会も将来の日本を背負う子たちのためにいま生活にいささかの困難がある方に届くように誠意を持って活動をしていきたいと思えます。ですが、金額も上げましたし、底が突いてきます。次の段階として、お願いですけれど。嵯峨育英会と嵯峨家は釧路クラブの誇りです。嵯峨久さんと晃さんの親子が釧路ロータリークラブのチャーターメンバーであります。そのお二方が、昭和36年に1,000万円余りの基金でスタートしました。昭和36年の1,000万円は現在の貨幣価値で1億円程になります。これはすごいことだと思います。その時はロータリークラブを関係なしに嵯峨家としてやっていたことですから、その思いに触れるときに胸が熱くなると思いますか、胸が震えます。その嵯峨さんの思いを何とか持続したい。ですから形だけ10,000円を細々とするのではなく、スパンと喜ぶ金額を差し上げたいのが私の思いでありました。基金が尽きかけた時にはおそらく交代の時期だと思いますけれども、釧路クラブの皆さんからこの誇りある嵯峨育英会を釧路クラブとして持続させて行こうではないかという気運が盛り上がった時に、新たな事業として嵯峨育英会が再スタートすることもあったら良いと思えます。とりあえず、今年は8名の方に給付をさせていただきます。

この給付を踏まえて、来年からは学校1校に1人という方法はどうかなどをみんなで協議をしながら行きたいと思えます。いずれにしても、片親家庭といえますか、向学心・向上心はあるけれども不自由にしている生徒がいることは事実です。そこに何とか光を当てたいのが理事長としての考え。これは理事・評議員もほぼ同じ意見でありますので活動をして行きます。どうぞ、ご理解をいただきますようお願いいたします。ありがとうございます。

本日のニコニコ献金

- 杉村 莊平君 いよいよ、やっとクラブアッセンブリーです。宜しくお願い致します。
- 浅川 正紳君 残り1ヶ月です。つまらないように司会進行を目指します。
- 市橋 夢佳丞君 今年度も残り1ヶ月となりました。気を引き締めて頑張ります。宜しくお願い致します。
- 滝越 康雄君 いよいよです。未だにこんな恐ろしい役職を受けて壇上で話す自分自身のイメージができません。
- 中島 政徳君 先週の事は忘れて、本日のアッセンブリー頑張ります。宜しくお願い致します。

今年度累計 558,000 円

2022.6.9 (木)
第39回例会
(通算3666回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副会長 浅川 正紳
幹事 市橋 多佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2021-2022年度
国際ロータリーテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022年度
RI会長 シェカール・メータ
第2500地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイ RC)

月間テーマ	ロータリー親睦活動月間
本日のプログラム	「嵯峨記念育英会奨学生 新入生報告 & 規定審議会報告」(担当：嵯峨記念育英会委員会)
次週例会	「2021-22年度下期情報集会報告会」(担当：クラブ研修委員会)

- ロータリーソング：四つのテスト
- ソングリーダー：篠原 実君
- 会員数 102名
- ビジター なし
- ゲスト なし

会長の時間 杉村 莊平会長



皆さん、こんにちは。お食事の方はそのままお続けください。本日も多数のご出席いただきましてありがとうございます。

先週のクラブアッセンブリーですが、多数のご出席いただきましてありがとうございます。滝越年度の方針と予算が示されまして、次年度への準備がしっかりできたと思っております。次年度、キャビネットの皆さまには大きな行事が終わったということでお疲れさまでございました。

また、先週の土曜日には今年度中にやりたいと思っておりました野遊会が30名以上の出席のもとに、何とか開催することができました。コロナの影響でバス移動を避けて岸壁炉端で開催としたのですが、お陰様で天気にも恵まれまして、小船井パストガバナー、吉田パストガバナーもご出席いただき親睦委員会のサプライズな企画もあり、大盛況で終わったのかなと思っております。また、ご出席いただいた方、本当にありがとうございました。

さて、6月入りまして残りの例会が今日を入れて4回となりました。本来でいけば名残惜しむ時間を惜しみながら思う存分会長挨拶を楽しみたいところでござい

ますが、これもコロナの影響で例会のスケジュールがとてつもないくらいタイトになってきておまして、キャビネットからは「会長挨拶は極力短めに」という非情な指示が出ております。せつかくの最後を思う存分楽しみたい会長挨拶を今月はできない状況に追い込まれておまして、ご勘弁いただければと思っております。

今日は報告を1点だけして終わりたいと思っております。今日は報告会があります。本日は嵯峨記念奨学生の報告会がありますが、その後、小船井パストガバナーから「規定審議会について」のご報告をいただくことになっております。皆さんお気付きかもしれませんが『ロータリーの友』の今月号が規定審議会特集となっております。小船井パストガバナーが日本のロータリアンを代表して、ドーンと「規定審議会の理解のために」ということで素晴らしい文章を寄せております。

改めていつも気軽に接していただいております。私たちがなかなか深く考える機会がないのですが、小船井さんのような方がわがクラブにいらっしやって、こういうふうに気軽に簡単にご説明を聞ける環境にいることに改めて感謝すべきだなと思っております。まだご一読されていない方は必ずお読みいただければと思っております。

本日は非常にタイトな例会内容になっておりますが、どうぞよろしく願いいたします。

幹事報告 市橋多佳丞幹事

皆さま、こんにちは。幹事報告させていただきます。杉村会長からもありましたが、本年度の例会も残り4回となっております。



そろそろ皆さまのパーソナルボックスの整理をお願いできればと思っております。再来週の例会を目的に皆さまのパーソナルボックスで残っているものは整理させていただく予定となっております。本日、もしくは来週中にはお持ち帰りいただきますようお願いを申し上げます。

また、他クラブの今週の例会については配布しておりますものをご覧ください。

また、本例会終了後は次年度の理事会をローズホールにて行う予定となっております。皆さまのご出席をお願い申し上げます。

私からは以上です。

■本日のプログラム■

嵯峨記念育英会奨学生 新入生報告 & 規定審議会報告

嵯峨記念育英会委員会 清水 輝彦委員長



ただいま、ご紹介いただきました嵯峨記念育英会委員会の清水です。

本日は新しく嵯峨記念育英会の奨学生とられました方を皆さまにご紹介するとともに皆さんで激励をする会を行いたいと思っております。

全部で8名選ばれましたが今日は7名の方が出席です。例年より人数が多いことについては前回のクラブアssenブリーの後、石田理事長からご説明がありましたので略させていただきます。

さっそく、おひとりずつご紹介し、登壇いただいで簡単なスピーチいただきたいと思います。1分ぐらいで皆さまのお気持ちをお話しいただければと思います。

さっそく、おひとりずつご紹介し、登壇いただいで簡単なスピーチいただきたいと思います。1分ぐらいで皆さまのお気持ちをお話しいただければと思います。

門真 奈々さん



門真奈々です。本日はご挨拶の機会をいただいたこと嬉しく思います。

これからの3年間の学生生活では、勉学や部活動に励み、自

らの時間を大切にして充実した時を過ごしてまいりたいと思っています。

改めまして、この度は奨学金のご支援をいただき誠にありがとうございました。

佐藤 結奈さん



佐藤結奈です。本日は奨学生に選んでいただき感謝しています。ありがとうございます。

私は幼いころから看護師になりたいという夢を追って、高校卒業後は看護学校へ進学するという目標を持っています。ですので、学校での勉強はもちろん、家での学習にも全力で取り組みたいです。本日はありがとうございます。

佐藤 桃笑さん



佐藤桃笑です。本日は奨学生に選んでいただきありがとうございます。私は看護学校への進学を目標としているので、まずは学校での勉強に

全力で取り組みたいと思います。本日はありがとうございました。

中越 歩君



本日はこのような会にお招きいただき誠にありがとうございます。

私はこれからの3年間で勉学に励むとともに、学校での人間関係の構築や、あらゆることに努力をし、自分を高めていきたいと思っています。この度は奨学金の選抜に選んでいただき誠にありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。

谷地中有菜さん



谷地中有菜です。本日はお招きいただきありがとうございます。高校では勉学に励み、貴重な時間を過ごしたいと思

奨学生に選んでいただき、ありがとうございました。

山内 優月さん



いす。よろしくお願ひします。

山内優月です。本日は奨学金を給付していただくことになり、本当にありがとうございます。高校では部活と勉強の両立を頑張っていきたいです。よろしくお願ひします。

田村 隼人君



を続けて、必ず人間性を成長させ、社会に貢献できるような人間になりたいと思っています。今回はこのような会にお招きいただきありがとうございます。そして、これからもご支援、そして田村隼人の応援をよろしくお願ひいたします。

田村隼人です。私は高校生活において自分は文武両道という目標を持ち、今後3年間をとおして勉強そして自分が小さいころから続けているアイスホッケー

釧路ロータリークラブ嵯峨記念育英会

石田 博司理事長

嵯峨育英会の石田と申します。今日は皆さまのテーブルに『嵯峨育英会の歩み』としてプリントをお配りしております。ご覧いただいたことと思ひます。嵯峨久さんという方がおりましたが、非常に貧しくて思うような学びができなかったことをご子息の晃さんにきつと常々仰っていたと思うのです。嵯峨久さんが亡くなった1年後に、うまくお金が回っていた嵯峨家が、貧しい家庭のために嵯峨育英基金を設立されました。お二方ともこのロータリークラブの設立メンバーであります。晃さんも早めに亡くなられたので、それまで嵯峨家が生徒さんの選定などをしてきたわけですが、それができなくなってとても困ったということで嵯峨家からわがロータリークラブに運営を任されて今日があるわけです。私たちは年間いくばくかのお金を嵯峨基金に積み立ててはおりますが、その昭和36年当時の、今の貨幣価



値で1億円というお金を拠出された嵯峨家と晃さんの気持ちを思うと、僕はとてもとても深い愛情に溺れてしまいそうな気になるのです。ですから、われわれロータリークラブは嵯峨家からお預かりをして歴代の生徒さんにお金をお渡してきましたけれど、それはお金ではなくて、嵯峨久さんと晃さんの愛情をお届けしてきたのだと思うのです。幼いころに愛情たっぷりに育った子どもは気持ちがとてもおおらかで明るく育つと聞きます。どうか嵯峨家の愛情をたっぷりと受け止めていただいて、その愛情でこの地域のため、日本のため、世界のために大きく羽ばたいていただくことを心から祈念いたします。おめでとうござひます。

値で1億円というお金を拠出された嵯峨家と晃さんの気持ちを思うと、僕はとてもとても深い愛情に溺れてしまいそうな気になるのです。

ですから、われわれロータリークラブは嵯峨家からお預かりをして歴代の生徒さんにお金をお渡してきましたけれど、それはお金ではなくて、嵯峨久さんと晃さんの愛情をお届けしてきたのだと思うのです。幼いころに愛情たっぷりに育った子どもは気持ちがとてもおおらかで明るく育つと聞きます。どうか嵯峨家の愛情をたっぷりと受け止めていただいて、その愛情でこの地域のため、日本のため、世界のために大きく羽ばたいていただくことを心から祈念いたします。おめでとうござひます。

■本日のプログラム■ 規定審議会報告

小船井修一パストガバナー



予定では15分という時間を頂戴していたつもりですが、20分以上になりました。どうぞよろしくお願ひいたします。

私にとっての規定審議会は2010年に地区の代表議員としてシカゴで参加して以来、5回参加しています。5回連続で参加している方はあまりいないという感じがします。

規定審議会とはどういうものかは皆さまご存じの方が多いたと思ひますが、規定審議会の審議する内容は制定案や決議案などいろいろありますが、基本的には組織規程、国際ロータリーの定款と細則、そして標準ロータリークラブ定款の3つをどのように改正・改定するのかを審議する場が3年に一度シカゴであります。代表議員は524名、地区から1人が選出されて、シカゴで約1週間、缶詰になりながらホテルで審議をして決定をしていくという流れの会合であります。基本的な話ですが、私どもの釧路ロータリークラブは80年以上90年近くになっていますが、国際ロータリーに加盟する時の条件はお金を払うとか払わないとかは当然ですが、1つは組織規程、先ほど申し上げたR I定款・細則ならびに標準ロータリークラブ定款を遵守することを前提に入会しています。その組織規程を破ってクラブ運営をすると加盟停止、ある意味ではクラブの消滅になるという意味があることを知っていたらただければと思ひます。

スライド10数枚用意しました。このスライドは『ロータリーの友』6月号の中で、8ページから11ページに4ページにわたって、滝澤さんという兵庫の代表議

員が世話人の代表としてのレポートを掲載しております。滝澤さんは京都大学出身の弁護士なのですが、規定審議会のレポートということでこれお読みいただければ結構だと思っています。

この6月号の中には規定審議会の歴史を6ページにわたって説明しております。これの資料ならびにコメントは私が出させていただいて、この青い所は私の文章であります。それから、ロータリーの友には以前に4ページで職業奉仕についての寄稿をしたことがあります。恥ずかしいのですが、2ページにわたって、「規定審議会の理解のために」ということで今回、久しぶりに寄稿させていただきました。

釧路ロータリークラブが規定審議会にどう関わっていたのかを皆さんはご存じないと思います。私が釧路ロータリークラブとしての情報を持っているのは2001年からですので、この2001年から2022年までの規定審議会では、釧路ロータリークラブは7件の制定案ならびに決議案を出しております。地区では釧路北ロータリークラブが3件、そして門別港ロータリークラブは1件の合計11件しか出しておりません。変な言い方ですがそういう中で釧路クラブは7件出していると。ほとんど私の方でご提案させていただいて、クラブの理事会で承認を得て提出したものであります。7件中3件が採択されております。釧路北クラブが3件のうち2件採択され、紋別は0ということで、私どもの11件のうち5件が採択されている制定案ならびに決議案だったと思います。

2022年の規定審議会の開催は4月11日から15日まで5日間です。アメリカのイリノイ州シカゴのハイアットリージェンシーシカゴはダウントウンの中にあるシカゴ川の川縁にあります。

参加代表議員は522名、先ほど申し上げた各地区から1名、パストガバナーの資格を持った方で地区の大会あるいは地区研修協議会の中から皆さまからの投票を得て選出された方たちです。後ほどご紹介しますが直接会合に参加が324名、日本から9名。バーチャル参加は198名、日本から25名。ちなみに2500地区の代表議員は釧路ベイロータリークラブの葎本パストガバナーでした。葎本パストガバナーはバーチャル参加で、東京のホテルで缶詰めになって投票をしたと聞いております。この規定審議会は全てリアル開催になります。全世界からバーチャルで参加した方は、シカゴ時間で朝9時に始まり夕方5時に終わるのですが、日本時間ではその前日の夜11時から、終了が朝の7時の参加になり葎本パストガバナーは5日連続で徹夜をしたということを皆さまにお知らせします。

COLというのは規定審議会の意味の略語ですが、22年のCOLは前例のない審議会となりました。COVID19の感染拡大のため直接会合とオンラインによるバーチャル参加のハイブリット方式での開催と

なって、国際ロータリーにとってパンデミック後、最初の大規模な直接会合でした。

ヒューストンでの世界大会は今朝、無事に4日間を終えています。ハワイと台湾がバーチャルになりましたので、世界大会も今回3年ぶりにハイブリット方式で開催されております。

それで、制定案の事前審査が初めて実施され、事前審査の結果3件が同意案件とされました。この制定案の事前審査というのは、2016年の規定審議会で決議審議会が分離されて、決議審議会はオンラインで毎年開催されることになりました。決議案というのは手続き要覧に関係のない決議をするための案件なのですが、それを毎年オンラインで開催する中で、3年に1度、今の事前審査という形で決議審議会の後に制定案に出されたものに関して、事前に代表議員の皆さまから賛否を問うスクリーニングができるようになりました。それが初めて2022年の規定審議会で実施されて、3件が同意案件として審議されない中で採択されたのであります。

93件の制定案が出されました。審議の結果ですが、その中で撤回されたのが13件。それから採択の中には修正採択、同意案件とか3つあるのですが29件、30.8%が採択され、否決されたのが51件。半分以上が否決されたということでありました。

これは私が3月の例会で概略についてご説明させていただいたことではありますが、国際ロータリーは国際ロータリーの全体の組織を変更するための試験的プロジェクトというものを企画し、その名前SRF (Shaping Rotary's Future) 計画ということでプロジェクトを企画しています。その企画する中で、規定審議会での試験的プロジェクトをするかしないかについての審議を経なければ実行できません。そのために国際ロータリーの理事会は「22の71番、クラブの管理の試験的プロジェクト」という制定案を提出しました。

具体的には3月にお話した内容とダブるのですが、2030年までに今までの地区という組織を変えて、リージョンあるいはセクションという形で、ガバナーという名前は残るかどうか分かりませんが、地区制度を変えながら管理組織を大改革すると。リージョンは例えば日本を1リージョンにするとセクションは100カ所ぐらい。2500地区でいくならば帯広・釧路ぐらいの所が1つのセクション単位になるのかなと思います。

そういう組織構造を変えるための試験的な形で、それがより効果のあるものなのか、あるいは効果がないものなのかを試すためにプロジェクトを実施することが立案され、今回は324対150で採択されました。ちなみに黄色で入れてありますが、「RIBI」というのはイギリスとアイルランドの地域をRIBIという

ひとつの単位があります。詳しく言うと大変申し訳ないのですが、1930年ころR I B Iが国際ロータリーから独立した管理組織として資金・人事も含めて特権的な権利を持っていたのですが、そのR I B Iとオーストラリアならびにニュージーランドの2つのゾーンが今回試験的プロジェクトという形で認められたのであります。

今後、試験的プロジェクトを2023年から2028年まで実施して、2028年の規定審議会において審議され、試験プロジェクトとして正式に採用するか・しないかが決定されます。その意味で、先の話のきっかけとして今回の規定審議会の中で重要な案件で、これは将来の8年、10年先の国際ロータリーのあり方を変えていくスタートになったという意味で皆さまご記憶いただければと思います。

また、重要な案件の中で「22の46、人頭分担金を増額する件」。これは変な言い方ですが、アメリカがインフレ率8~9%のインフレの状況の中で、なおかつわれわれは円安で今134~135円となっています。われわれの円の価値は下がっている中で人頭分担金がまた値上げされるということと同時に金額が大幅に増えました。来年度はまだ変わっていませんが、再来年度の2023-2024年度から37.5ドルに4ドル上がるのです。そういう意味で3年間の中で11ドルの人頭分担金が値上げされることが決定されました。ちなみにライオンズクラブの人頭分担金はこの半額です。そういう意味では国際ロータリーの分担金は高い方にあるのかなというのが私の認識です。

次に、日本の地区・クラブの関心項目として滝澤さんは2つ選びました。左側の「R I 事務局長の任期・報酬など」ということで。皆さんご存じかと思いますが2019年の規定審議会でR I 国際ロータリーの事務総長はC E O (Chief Executive Officer) ということで最高経営責任者という名前になりました。私どもは、基本的には事務総長は会社のトップではないだろう、われわれをサポートする事務側のトップだろう、という認識だったのです。そういう認識の中で、日本全体としてはC E Oに呼称を変えることに反対でした。そういうことは事務総長が国際ロータリーの中での最高の権限を持ち、事務局が国際ロータリーを経営するような形になりかねないということが反対の理由でした。2019年の日本として事務総長がある意味での権力を持つような立場になるべきじゃないという前提の中で、今回、またこういう形で制定案を日本から出して、関心に高いものになったと思います。

下に書いてありますが、「40万ドル超えない」。日本でいくと事務総長の給料は年収5,000万円を超えてはいけないということ。なぜかという国連の事務総長も40万ドルであり、アメリカの大統領も給料は40万ドルであり、そういう奉仕団体あるいは公的な

団体でのトップということ。それから、会社を営んでいるカルロス・ゴーンではありませんが、C E Oが何億円という給料をもらう所とは違う組織だろうと。そうあるべきだということの制定案を出したわけであり。

今の事務総長は、国際ロータリーからの給料と財団からの給料の2つももらっています。合計で70万ドルです。私どもでは「高給取りだ」ということの前に、国際ロータリーという組織は営利団体ではない。企業としてではなくて奉仕団体。あるいは団体の中での事務総長としては高給を取り過ぎるということを出したわけであり。あえなく否決されております。

それから国際ロータリーの理事会の提案、これは様々ございます。簡単に申し上げますが「22の27番、R I 理事会にロータリアンの元役員身分をはく奪することを許可する件」、これは大もめにもめたのです。審議に1時間以上かけて、「理事会に付託」となったわけですが、翌日「理事会に付託は止めてもう一度審議に回そう」という修正案が出まして、「22の27番」は採択されております。これは2019年で、元会長がR Iを提訴したという事件が起きています。これについてお話しするのは長くなりますので、詳細は申し上げます。

そういう国際ロータリーに反旗を翻す元の役員とはR Iの理事以上の方々ですが、そういう方たちの資格、要はそういう処遇はしないという権限を持つという意味では、私が先ほど申し上げた国際ロータリーの事務局側あるいは理事会の権限強化、そういう意味でいくと厳しい言い方かもしれませんが、全体主義的な運営が加速されていると私は感じております。

採択された制定案の中で「22の15番、衛星クラブの会員に関する規定を改正する件」。今までは「衛星クラブの会員はスポンサークラブの会員である」と書かれていました。例えば、釧路北クラブが釧路北衛星ロータリークラブを作りました。釧路北衛星ロータリークラブの会員は釧路北ロータリークラブの会員ですが、その釧路北衛星ロータリークラブに釧路クラブから推薦して入会をした場合には釧路クラブのメンバーに加えることができるという制定案であります。

もう1つが、「地区に対して訴訟を起こしたクラブを、もしくはローターアクトクラブを加盟停止する権限を理事会に与える件」。これは圧倒的に多数で採択されましたが、これは2500地区でいくならば、紋別港ロータリークラブのあるパストガバナーがいろんなことやる中で「提訴するぞ」と脅しに使っていました。そういう意味で提訴することに関して大きな禍根を残さないためにもこういう抑止的な策が必要ということで採択されたと思います。

最後に、規定審議会終了後の流れであります、これ

は 2022-2023 年度の話であります。経過報告は閉会 10 日以内にホームページ上で公開し、2 カ月以内に 6 月中旬に報告書が送付され、この報告書が届いていると思います。報告書の中に「反対の場合には、その反対投票をしてくれ」という文言がジョン・ヒルコー事務総長からの書簡に入っているはずですが、この 2 カ月以内にクラブとして決定された制定案に反対だという意思を示すと、世界中のクラブの 5% 以上が反対で投票した場合には効力の一時停止であり、その一時停止したあとの郵便投票によって反対票が過半数の場合は無効が確定するのであります。確定した制定案は 7 月 1 日から有効でありまして、た

ぶん組織規程に関わるものは英文で 7 月 1 日に発表されます。日本語版は既にご案内あると思いますが 9 月くらいになると思います。中島次年度クラブ幹事にもお話しましたが、標準ロータリークラブ定款が改定された場合は、釧路ロータリークラブもその改定された標準ロータリークラブ定款を採用しなければいけません。それに関してご準備をお願いしたいと申し上げております。よろしくお願いたします。30 分になりました。これで終わらせていただきます。

本日のニコニコ献金

- 杉村 莊平君 お陰様で野遊会が大盛況に終わられました。
- 土橋 賢一君 ご無沙汰しております。
- 伊貝 正志君 道新 6 月 1 日のビジネス探訪に当社が紹介されました。

今年度累計 572,000 円

野遊会スナップ (2022 年 6 月 4 日)



標準ロータリークラブ定款の変更点

第 6 条 五大奉仕部門

ロータリーの五大奉仕部門は、本ロータリークラブの活動の哲学的および実的な規準である。

1. 奉仕の第一部門であるクラブ奉仕は、本クラブの機能を充実させるために、クラブ内で会員が取るべき行動に関わるものである。
2. 奉仕の第二部門である職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うこと、そして自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれる。
3. 奉仕の第三部門である社会奉仕は、**地域社会における積極的平和を目指すことにより**、クラブの所在地域または行政区域内に居住する人々の生活の質を高めるために、時には他と協力しながら、会員が行うさまざまな取り組みから成るものである。
4. 奉仕の第四部門である国際奉仕は、書物などを読むことや通信を通じて、さらには、他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じて、他国の人々とその文化や慣習、功績、願い、問題に対する認識を培うことによって、国際理解、親善、**積極的**平和を推進するために、会員が行う活動から成るものである。
5. 奉仕の第五部門である青少年奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、**積極的**世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものである。

第 7 条 会合

第 3 節 — 理事会の会合。理事会のすべての会合後 **60** 30 日以内に、書面による議事録を全会員が入手できるようにすべきである。

第 10 条 出席

第 5 節 — 出席規定の免除。次のような場合、出席規定の適用は免除されるものとする。

- (b) 一つまたは複数のロータリークラブのロータリー歴と会員の年齢の合計が 85 年以上であり、少なくとも 20 年のロータリアン歴があり、出席規定の適用を免除されたい希望を、書面をもって、クラブ幹事に通告し、**理事会が承認した場合これらの要件が満たされているかのみが考慮に入れられた場合。**

第 13 条 会員身分の存続

第 2 節 — 自動的終結。

- (a) ~~例外。~~会員が、会員資格条件に欠けるようになったとき、会員身分は自動的に終結するものとする。~~ただし、会員が本クラブの所在地域外、もしくはその周辺地域外に移転~~

釧路ロータリークラブ提出立法案

2001年から2022年まで、2500地区から提出された立法案は

釧路 RC7件、釧路北 RC3件、紋別港 RC1件、合計 11件

制定案 5件

16-82 従来型クラブと E クラブの区別をなくす件

通常のクラブの例会を時によってはウェブ上でも開催し、あるいは E クラブ例会を時によっては、オンラインだけではなく、実際に顔を合わす例会を開催することもできる

355 : 145 にて採択

16-87 地区番号に地理的呼称を付記することを認める件

地区大会あるいは地区決議会において地区内クラブの過半数の承認を得れば、その地区番号に地理的呼称（国名、州名、県名、地域名など）を付記してもよい。

272 : 236 にて採択されたが、理事会から再審査動議がありセコンドをカード方式にて否決された

19-47 ガバナーノミニーの資格条件を改正する件

ガバナーエレクトの資格条件にガバナー補佐等の地区運営経験を持つことを規定する

249:255 にて 6 票差で否決

19-73 試験的プロジェクトに関する規定を削除する件

「試験的プロジェクト」は 2016 年 COL での柔軟性の導入によって「歴史的使命が終了」したことを認識し、試験的プロジェクトに関する規定を削除する

96:412 にて否決

22-58 制定案に関連する締切日を改正する件

立法案に対する提出締切日を、現在より 6 ヶ月遅らせ、立法案の作成により時間的な余裕を与える。（事務手続で上程されなかったが、偶然チリから同じ制定案が上程された）

215:257 にて否決

決議案 2件

17R-34 日本（釧路）ローターアクターの RI 人頭分担金を減額するための立法案を将来の審議会に提出することを検討するよう RI 理事会に要請する件 **235 対 251 にて否決**

17R38 日本（釧路）投票機器の使用方法を審議会代表議員に研修することを検討するよう RI 理事会に要請する件 **340 対 144 にて採択**

2022.6.16 (木)
第40回例会
(通算3667回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副会長 浅川 正紳
幹事 市橋 多佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町5-3 ミツ輪ビル2F
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2021-2022年度
国際ロータリーテーマ



幸せしよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022年度
RI会長 シェカール・メータ
第2500地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイ RC)

月間テーマ	ロータリー親睦活動月間
本日のプログラム	「2021-22 年度下期情報集会報告会」(担当：クラブ研修委員会)
次週例会	「一年を振り返って」(担当：理事会)

- ロータリーソング：我等の生業 ■ ソングリーダー：須藤 隆昭君
- 会員数 103名
- ビジター なし
- ゲスト なし

会長の時間 杉村 莊平会長



皆さん、こんにちは。本日も多数のご出席をいただきましてありがとうございます。お食事の方はお続けください。

6月1日から始まりました10組の情報集会も無事終わりました。本日の報告会でございます。5月末に夜間例会を再開してから『野遊会』、この『情報集会』と事業を立て込ませましたので、少しコロナの心配をしておりましたが、いまのところ報告は上がってきておりませんので、ホッとしているところです。

また、この情報集会を今年度はぜひとも3回やりたいと思っていたところ残念ながら2回になってしまいましたが、「充実した情報集会ができた」と聞いております。本当に皆さんのご理解とご協力をいただきまして情報集会を開けたことをお礼申し上げます。ありがとうございます。

さてこの情報集会、僕の今年度のスローガンでもありますけれども「我がロータリーを楽しむ」をテーマに話をさせていただきました。あえて「ロータリーを楽しむ」ではなく「我がロータリーを楽しむ」と『我が』を付けさせていただいております。

これはロータリーに対して受身になるのではなく、自

分から積極的に楽しんでやろう。もっと言ったら、ロータリーを使い倒してやろうというぐらいの気持ちでロータリーに望んでもらえれば、ロータリーから豊かな心を得られて、結果として豊かな人生になってくれたら素晴らしいという思いでお話をさせていただいております。

僕が思う「ロータリーを楽しむ第一歩」とは、ロータリーに対する難しい議論がいろいろありますけれども、まずはそこではなく例えば午前中に「今日の例会、出席をどうしようか」と迷った時に「やっぱりみんなの顔を見にロータリーへ行こう」と思えるかどうか。またロータリーが終わった時に「よし、また来週もロータリーへ来ようか」と思えるかどうかだと思っております。

僕自身もそうですが、そのようにロータリーを楽しんでやろうと思ってロータリーに望んで行くと、だんだん雰囲気も変わってきてロータリーに対する見方も世界も変わって来るように思います。

今日の報告会でもいろいろな意見が出てくると思いますが、それをしっかりみんなで共有することによってそれぞれが今以上にロータリーを楽しんでもらい、結果として我がロータリークラブがより一層素晴らしいクラブになってくれたらと思っております。

前は、皆さんが気を使い過ぎて各グループが早回り過ぎて時間を余したということがありますので、話

したいことをじっくりと話していただければと思って
おります。

最後になりますが、先週の金曜日に釧路南クラブさ
んの40周年記念例会に招かれまして、皆さまを代表
しまして、乾杯の挨拶の任を果たしてまいりました。
途中、大きく1回嘔んでしまいましたが、無事に何と
か南クラブさんから感謝状と記念の品をいただいてお
りますので、皆さまにご紹介をして終わりたいと思
います。

この感謝状ときれいなグラスを記念にいただいてき
ましたのでご報告をさせていただきます。

それでは、今日よろしくお願いいいたします。

幹事報告 市橋多佳丞幹事



皆さま、こんに
ちは。幹事報告を
させていただきます。
各クラブの今週
の例会につきま
しては、お手元の
例会案内をご一読

お願いいいたします。

また、釧路東ロータリークラブさんから、
2022-2023年度より例会の会場を釧路センチュリー
キャッスルホテルさんに移すということです。例会の
開催日は火曜日に変更はないというご案内が来てお
りましたので皆さまにお知らせします。

また、先週も皆さまにお伝えしましたが、皆さまの
パーソナルボックスの整理をぜひ本日もしくは来週お
願いいいたします。来週の例会終了後に皆さまのパー
ソナルボックスを一度整理させていただきます。

また、パーソナルボックスの上にあります。『My
Rotary』や『ガバナー月信』の今年度分が余っており
ますので、お持ちでない方はぜひお持ちになっていた
だければと思っております。

以上でございます。

新入会員紹介 スポンサー 西村 智久君



大地みらい信用
金庫釧路支店片山
支店長の後任とし
て本日より入会
いたします吉田容
広さんをご紹介
いたします。

年齢は54歳です。同い年の奥さまがいらっしゃ
います。お子さんは独立をされたお二人がいるそう
です。ゴルフはやりませんが、マージャンはやる
ということです。どなたかお誘いいただきたいと思います。

吉田さんのロータリーは、別海ロータリーから始ま

り、釧路西ロータリークラブ、さらには中標津ロー
タリークラブと11年のキャリアをお持ちであります。
皆さま方より詳しいかもしれませんが、ここは釧路ク
ラブ、すべてのスポンサークラブでありますので、親
クラブの意地で皆さん先輩振っていただきたいと思
います。

釧路クラブには、3人の吉田さんが既にいらっし
やいます。素晴らしい吉田さん・普通の吉田さん・ど
うかなという吉田さん、それぞれ違いますのでどのよ
うな吉田会になるか皆さま、楽しみに見ていただ
きたいと思います。

それでは、吉田さん、どうぞ。

新入会員挨拶

大地みらい信用金庫釧路支店 支店長 吉田 容広君



皆さん、こんに
ちは。ただいま西
村先輩より紹介
いただきました「ど
うかなという吉田」
になると思いま
すが、大地みらい信

用金庫の釧路支店長としてこの4月に着任いたしま
した吉田容広と申します。よろしくどうぞお願いい
いたします。

いま、スポンサーの方からもご紹介がありましたが、
実は経験だけは・回数だけはございまして、これが私
の人生で4つ目のクラブ入会となりますが、入会の手
続きから本日に至るまで、そしてこの席に立たせて
いただけるまで、すべてが今までと全く違うような形
で、さすがに伝統と歴史のある釧路クラブさんだと感
激しているところでございます。

これから何ができるか分かりませんが出席をす
ることで、皆さんと一緒に頑張ってもらえたらと思
っていますので、どうかよろしくお願いいいたします。

新入会員へ歓迎の言葉 杉村 荘平会長

吉田君、入会おめでとうございませぬ。クラブを代表
しまして歓迎申し上げます。

『ロータリークラブの出席は義務ではなく権利だ』と
言われております。せっかく入った釧路クラブでござ
いますので、有意義に楽しんで過ごしていただければ
と思います。

もう11年ということなので、大丈夫だと思います
が、最初の3カ月ぐらいいがなかなか大変なところだ
と思いますが、それを乗り切ってもらえればすごく良
い体験ができてくると思えます。どうぞ頑張ってください。

所属委員会は職業奉仕委員会として、正・副委員長
がいまいらっしゃいませぬ。西村君と尾越君がスポ

サーとなります。何かありましたら何でも聞いてもらえればと思います。
どうぞよろしくお願ひいたします。

■本日のプログラム■
2021-22 年度下期情報集會報告會」

クラブ研修委員会 天方 智順副委員長

皆さま、こんにちは。情報委員の天方です。会長からもありましたが、6月1日からあまり時間がない中で皆さんにお忙しい思いをさせたのではないかと考えておりますが、多くの皆さんにご参加いただきました。ありがとうございます。



事前にご案内は行っていると思いますので、開催日時、場所、参加人数、誰々が参加をされましたは言わなくても結構ですので、中身だけ充実した発表をお願いします。

会長もおっしゃっていましたが、今回は時間が余ったので、公平を期するため今回はAグループからでしたが、今回は下のJグループから行きたいと思ひます。J・I・H・Gの順番で、最後がC・B・Aとなります。その都度「次は何グループお願ひします」というアナウンスはしませんので、皆さんロータリーの友情を十分に発揮していただき、すぐ登壇をしてスピーチしていただければと思ひます。

それでは、Jグループの発表者・石井さん、よろしくお願ひいたします。

Jグループ 石井 孝行君



情報集會Jグループのサブリーダーの石井と申します。トップバッターですので、手短かに発表いたします。本會合のテーマである『ロータリーを楽しむ』について冒頭、脇委員長より「釧路ロータリークラブは自由なクラブです。今日は個々の楽しみ方について語り合う場にしてください」とご挨拶をいただき、おごそかに會合がスタートいたしました。

出席者7名が順番にロータリーの楽しみ方やロータリーでの思い出について発言し、時間の経過も忘れる程の活発な會合となりました。

主な発言として出た内容は、「転勤族にとってロー

タリークラブは憩いの場として始まり、例会を通して奉仕の精神を知っていった」。また「30年前のロータリークラブはすごく怖い人が多かった。クラブの規律も厳しく、昔は木曜日に仕事を入れなかった。例会出席率は100%の世界。『クリスマス家族會』も家族全員出席していた。その後だんだんと仕事優先が可能となって今に至っている」。また「お寺で『座禅會』を行い、『ボーリング大會』『マージャン大會』など楽しい思い出がたくさんあった」。『趣味を通じてロータリークラブでの友だちを増やしてはどうか』という話も出ました。「炉邊會合のような小グループの集まりは、テーマ以外の話も活発にできるので話しやすい」。また昔は『家族集會』と言って會員宅で會合を行っていたそうです。これはその會員の奥さまが大変だったという話を聞いております。「入會当初は出席率が低かったけれど、台湾へ行ってから楽しくなり、そこからロータリークラブでの人付き合いが始まった」という方もいました。「親睦委員會でのつながりからロータリークラブへの参加が始まった」。「ロータリークラブは目的ではなく手段と考える」。また「商売道具としてメリットを期待して入會すると長続きはしないだろう」という話も出ました。等々ほんの一部ですが、発表をさせていただきました。

美味しい食事のおかげでお酒も進み、會の後半では大道住職や白崎さんによる釧路の古い歴史話に耳を傾け、仏教から遊郭の話まで盛り上がりお開きとなりました。このようにテーマに沿った話とテーマから外れた話、これこそが釧路ロータリークラブの楽しさであることを体感しました。

最後に、大道住職が先代よりお寺を引き継いだ時、大変ご苦勞をされた奥さまとの會話で発言された住職の言葉で締めたいと思ひます。「だますも、だまされるも50-50」、以上でJグループの発表を終わります。

Iグループ 藤井 敬亮君



Iグループサブリーダーの藤井です。よろしくお願ひいたします。石井さんのお話を聞いていると、面白い話を用意して来なかったのではどうしようかと思ひていますが、とりあえず用意してまいりました内容をお話しさせていただきたいと思ひます。

情報集會は、6月13日月曜日つい最近、キャッスルホテルで行いました。「ロータリーを楽しむ」について、脇クラブ研修リーダーより「ロータリアンそれぞれのロータリーとの関わり方と温度差があるが、それをどう乗り越えて楽しむのか。人のつながりを中心

に考えてみよう」とという言葉で始まりまして、本当に和やかに進んだと思います。

その話の内容では、「釧路ロータリーでは既に気軽な関係性がある。このような楽しい気軽な環境を育んでお互いに楽しみを見つけて行こう」という意見がございました。中には、『何鉄』かは分からないけれども「鉄道クラブをつくろう」というような意見などもありました。具体的には、「例会などに参加をする義務感が先ほどのように気軽ですけれども、どうも義務感がゆるいので例会に対しても欠席が多くなる。ゆるいがゆえにそのハードルをどう越えて出席に結びつけることができるだろうか」という問題が出されました。「きっかけがあれば、そのゆるさが楽しさに変わるのではないか」という意見がありました。またグループリーダーより「ロータリーに入会したことを例えるならば、ポルシェ・フェラーリを買ったけれど、まだ乗り方が分からない。満足感はあるが、どこまで自分を出して良いのかその振り幅が分からない。やはり出席をして自分も含めたそれぞれのパーソナリティーが分かってから初めて楽しめるのではないか」という意見が出されました。「このきっかけとパーソナリティーを図るうえで『地区大会』などの遠征に参加することで、その解決の糸口となるのではないか」と話されました。他に「昼の例会において座る席が決まってしまうので、各テーブルの中に3年未満などの新人席を作ってはどうか」という意見。「同期だけが座るテーブルを作ってみてはどうか」という意見。配属された「委員会ごとのテーブルを作ってみてはどうか」という意見もありました。

清水パストガバナーから若い頃のお話なども出まして、昔の情報集会はリーダーの自宅で行っていたそうです。そのお宅の奥さまが料理を作ってもてなしていたという時代がありました。勝手に冷蔵庫を開けたり、サイドボードの高級ブランデーなどを勝手に飲んだり、そのような本当に気軽な集まりだったそうです。でも、清水先生は「基本は日本酒で、ワインはあまり飲まなかった」とおっしゃっておいりました。そのような昭和の話などから、やはり人と親しく接するための環境づくりがロータリーを楽しむことについて必要ではないかという情報集会でした。

ありがとうございます。以上です。

Hグループ 西村 智久君



Hグループより発表をさせていただきます。Hグループはやんごとなき事業によりリーダー、サブリーダーとも不在の中、臨時リーダー荒

井剛弁護士の下、少ない人数でありましたが、楽しく開かせていただきました。

まず、結論から申し上げます。ロータリーに興味を持つことがロータリーを楽しむ第一歩だ。交流が深まればロータリーに興味を持ち楽しむことにつながるという結論の具体的な4点をいまから発表させていただきます。

僕はいま親睦委員会に配属されているのですが、夜間例会を担当するというのでその打ち合わせが大変楽しい委員会になる。このようなことをみんなに味わってもらいたいということで、「親睦委員会が夜間例会を担当するのではなく大委員会単位で夜間例会を年に1回ぐらい担当してみてもどうか」をまず提案したいと思います。

2つ目に、先ほども出ましたが、「自由席は固定化につながるということで、強制的に担当委員会、50音、名前などに」。以前はありましたが、最近全くの自由席ばかりで、固定化しているということになりました。

3つ目、「地区大会などに時々貸し切りバスを使ってみるだけで行ってはどうか」ということも出しました。

4つ目、これが一番面白いと思いますが、「趣味の会をたくさん発足させろ」であります。いまは、ゴルフしかないようですが、以前は田中正己さんが主催する釣りクラブもありましたし、舟木さんが主催する囲碁クラブもありました。何でもいからそのような集まりを開ければ良いと思います。これが一番良いと思いますが、「夫婦同伴可の旅行の会を立ち上げて、年に1回みんなで旅行に行こう。これを誰か企画してくれませんか」であります。そのようなことが実現すればよりロータリーを楽しむことができると考えるHグループでありました。

以上で発表を終わります。ありがとうございます。

Gグループ 得地 哉君



Gグループサブリーダーの得地です。よろしくお願いたします。

私は入会3年目ですが、この場にはなぜか4回も立っ

ています。来年はぜひリーダー・サブリーダーからは外していただきたいと思ひます。天方次年度委員長にお願い申し上げます。よろしくお願いたします。

それでは、発表をさせていただきます。当日は4名と少し寂しい出席者数でしたが、クラブ研修委員会より協委員長をお迎えし、肉を焼く、そして焼ける肉を食べることに忙しいながらも、とても熱い議論が交わされました。以下、さまざまな話を私なりにまとめ

す。
やはり一番重要なことは、例会や各種事業・委員会などへ積極的に出席し、より多くのメンバーと関わることだと思います。多くのメンバーと関わり、いろいろな人と親しくなることが楽しくなる近道なのではないでしょうか。コロナ禍でなかなか他人と接触できない中、途中、休会もありながらロータリーで集まれることはとても重要でありました。人は人とのつながりの中でストレスを感じたり、リラックスできたりしますが、ロータリー、特に釧路クラブは安寧の地と言っても過言ではない友情に満ちあふれたクラブだと思います。中には、「家庭で余されてもロータリーでは優しく迎えてくれて楽しい時間を過ごすことができる」という話もありました。ご本人様が実際に余されているかは分かりませんが、私自身、余されてはいませんけれども何となく分かる気もしました。

また「例会・各種事業・委員会などへ出席すること」。すなわち、自分自身が積極的に関わることによりロータリー活動の内容・役割をより知ることもなり、それによってより楽しくなっていくのだと思います。ロータリーは、行くのがちょっと面倒くさいと思っていても行ってみると楽しい、そのような場所だと思います。ロータリーを楽しむためには、まず参加することに尽きると思います。以上のような内容でした。

私も次年度は、ゆっくりご飯を食べられますし、いろいろなテーブルに座ってたくさんの皆さまとお話をして、より一層ロータリーを楽しみたいと思います。雑ぱくですが、以上でGグループの発表を終わらせていただきます。

ありがとうございました。

Fグループ 小野 正晴君



Fグループの小野です。よろしく願いいたします。

Fグループの中村君が今日どうしても来られないということで、私、リーダーが

報告をさせていただきます。この「ロータリーを楽しむ」というテーマで会合を持ったのですが「楽しさの原点は会員同士が交流を持てる場所、もうこれに尽きる」というような話で、一言で、終わってしまいました。

「そのためにも例会にはできるだけみんな出席しよう」という話になりました。この出席について「わが釧路ロータリークラブでは、強要をしないことが良い伝統だ」と。他クラブでは、強要や無言・有言の圧力をかけている所もあるようですけれども、一方で、「欠席しがちの会員が一定数いることは決して望まし

い状況ではない」という意見もありました。欠席が続くと、結局そのご本人自身が出席しづらくなるので、出席を働きかけることも重要ではないかということです。そのためにも「会員を増やすことも大切だけれども、出席率を上げること。幽霊会員を作らないことも大切ではないか」というような意見も出ました。

では、出席率を上げる。それが結果として交流を深めるためにはどのようなことが考えられるのか。どのようなことが大切かという話に移って行きました。

まず1つは、「例会のプログラムが充実していることもロータリーを楽しむ上で非常に重要な要素だ」と。プログラムが友だちを増やす楽しみにつながるということが重要ではないか。その中でもやっぱり夜間例会は、ある程度アルコールも入りますので、自分をさらけ出すことで、交流が深まることもある。ただ、「4月の『通勤族フォーラム』で、かなり自分をさらけ出し過ぎて反省をしている会員もいましたので、そこは注意が必要ではないか」という意見も出ました。まさに、こうした『炉辺会合』や『野遊会』などもアルコールが入る機会になるので、ぜひともこのような機会を増やしてほしい」という意見が出ました。

2つ目は、「大きなイベント。例えば『地区大会』などを釧路で行うと非常にメンバーの結束が強まる」。主催をすることは大変だけれども準備を含めて参加することはいろいろ楽しい。また終わった後の飲み会でも交流がとても深まるということもありまして、「そのためにも、わがクラブからぜひともまたガバナーを出したい」ということで、後藤君が名乗りを上げていただいたということでございます。Fグループとして「後藤ガバナー実現のために今後結束を固めていこう」という申し合わせをいたしました。

最後に、他のグループでもあったようだけれども、「ロータリーに部活のようなものがあったとしても良いのではないかと。ゴルフは『NAYUTAの会』がありますけれども、他にいまも出ましたけれども、釣りや旅行・アウトドアなど。一部の出席者からは皆さんもう忘れているかもしれませんが『シャーロック・ホームズ部』というものを作ってはどうか」みたいな意見も出た次第でございます。

以上、Fグループの報告をさせていただきました。ありがとうございました。

Eグループ 柴崎 主税君



こんにちは。Eグループサブリーダーの柴崎です。『炉辺会合』に6名が集まりました。どちらかというキャリアの長い方3名、そして

私やリーダーのようにキャリアの短い者が3名です。キャリアの長い方たちから先ほどのお話にあったように、田中さんの釣りクラブのお話、あるいは小船井さんからとにかく楽しかった話などいろいろ出してくれました。その中で私が「あっ」と思ったことは、その時のメンバーはみんな地元出身でしたけれども、釧路クラブにいれば転勤族、各社の支店長の人たちと交流を持てる機会があることも釧路ロータリーの集まって楽しめるいいところだなと感じをしていました。

話をしていく中で、先ほどの発表であったようないろいろな楽しかった話をしていましたが、自分は楽しんでるのかというところがありまして、「ちょっと楽しめていない」話をさせていただきました。

リーダーの小西さんもそうでしたけれども、入会をすべしすぐコロナになって休会があったり、夜の例会がなくなったりが続いて少し足が遠のいたりしていました。しかも、昼に出て来ても『黙食』みたいな形で、「コミュニケーションを取るのに良い集まり」という話でしたけれども、自分はコミュニケーションを取ることがこんなに下手になったのかと思いましたが、そうではなく、「しゃべってはいけないという状況」があったので、ちょっと残念な感じがしています。

ただ、先日の野遊会に出席しましたが、非常に楽しかったです。さらには先日の炉辺会合もとても良いお話を聞いてとても楽しかったと感じております。

ゆるい集まりではありますが、「できる限り出席をすることが楽しむことの第一歩だ」という話もされておりましたので、今後は天気が悪いから出席をやめようかではなく、天気が悪くても出席をしているいろいろな方とコミュニケーションを取ることによって楽しめる機会が増えてくるのではないかと感じました。田中さん、小船井さん、及川さんから良い話を聞かせていただきまして大変勉強になる炉辺会合でした。これからも少し頑張ってみてみたいと思っております。以上です。

Dグループ 須藤 隆昭君



皆さん、こんにちは。Dグループのサブリーダー、須藤と申します。わがDグループも大ベテランの方がほとんどで、私とリーダーはそれほど経験がないということで、このような場でなければお話を直接聞くことがない人とテーブルを一緒にできたことが私としてはとても良かったです。

このロータリーの良いところは、全体の話の中でも普段に会えない人に会えたり、話をすることができない

人と話せたり、いろいろ触れあうことができる場所だと聞き、そこに参加をした僕自身がまずそのように思わせてもらいました。

ベテランの方が多かったために歴史的な、昔はこんなこともあった、あんなこともあったという話の中で、活発に意見は交換されました。他の方もおっしゃったように「釧路クラブは、他のクラブに比べてすごくゆるやかで、仲良く、とてもコミュニケーションが取りやすい会だ」と言われて、僕はここしか知らないから分からないのですけれども、ほとんどの方がそのように言っていることから間違いなことだと改めて思いました。

個人個人の主体性や状況など、例えば僕が入った時も「仕事もちろん大事だから、大事な仕事がある時はそちらを優先して良いですよ」と言われたこともちょっと肩の荷が下りたような感じもありました。やっぱり「参加すること、出会うこと、ここへ来ることが、楽しさのひとつになっていくのですよ」と言われて、確かに来る度に知らない方と会えたり、少し親しくなった方とお話ができたりすることで、敷居が高いと思っていた当クラブが少しずつ楽しめるようになってきました。

さらに、「ゴルフの会などがあったり、夜例会の後に二次会の場所へ行ったらグッと距離が近くなるよ」と言われて、僕も入ってすぐコロナがあったりして夜例会、特に二次会へ行けない状況でしたけれども、数少ないながら二次会へ行った時には本当に近くに座って「あっ、なるほど」と思うことをたくさん聞いたことがとても良かったです。

他では、例会の時の意見がありました。「言っていることがよく聞こえないことがある。音響が弱いのではないか」「マイクの音をもう少し大きくしてほしい」「文字が小さくて読みづらい」などもあったので、いろいろな配慮をしながらやっていければと思いました。

あとは「テーブルが固定化して『好きなところに座っていいですよ』と言われると何となく決まってしまうことがあった」、いろいろな意見がありましたけれどもそのような案も素晴らしいと思いました。

私が行ったお店は八千代本店で、2階は初めてだったので。この情報集会で嬉しいと思うことは、普段に行ったことがない何となく敷居が高いと思っていた所にも気軽に行けますので、今回の10グループの中で私がまだ行っていないのは田中さんの所だけだったので、次回はぜひ田中さんの所に当たるようにと思いました。そのようなことを言う前にいつも苦勞をかけている妻を誘ってまず2人で行こうと思いました。

楽しむことは、参加したり触れあったりということで、「出席したいと思う例会が増えれば良いと思う」は他の方と同じで、私も、たくさん知り合っ

歴史や経済で活躍されてきた方のお話をこのような場で聞ける機会が増えればとても嬉しいと思いました。

以上で発表を終わります。

Cグループ 伊藤 淳君



Cグループ発表者の伊藤です。よろしくお願ひします。私は5月に入会をしたばかりでして、まだ1カ月と少しで、今回『情報集会』と

はどのような会なのかよく理解をしないまま参加させていただきました。お店に行ってから今回は「ロータリーを楽しむ」ということを考える会だと教えていただきました。

とは言っても3名+脇委員長という会でしたので、終始和やかに、通常の例会ではなかなかメンバーの方の人となりやご意見を伺う機会はないのですけれども、今回、このような機会を設けていただいたことによって、いろいろ深くその人について知ることでもでき、とても良かったと思っております。

私からは、発表と言うよりは個人的な意見ばかりになってしまうのですが、少しお話をさせていただきます。

私は30年以上、1つの会社でしか働いたことがなく、日常の周りは会社の人間だけで1日が終わっていくような毎日を送っているのですけれども、この釧路ロータリーに入らせていただいたおかげで仕事とは関係ない、いろいろな方とお付き合いができる、刺激を受けることができることが本当に素晴らしいことで、そのようなことこそ「ロータリーを楽しむ」ことだろうと思います。

それから私は転勤族なので、このロータリーがこの釧路を知る一番良い最高の場ですし、転勤をしてからもこの釧路の素晴らしさを人に伝えられるようになるように、自分自身がこの釧路ロータリーを楽しんでいきたいと思っております。

今回は「ロータリーを楽しむ」ことを考えるという場でしたが、考えるというよりは体感をするということで、私は参加させていただきました。

以上です。

Bグループ 二宮 拓人君



Bグループのサブリーダーの二宮です。今回はなかなか難しいテーマでして、当グループでは結論が

出ないことを懸念した真面目な篠原リーダーが、あらかじめ『あんちょこ』を用意してくださいました。中身は関東のクラブ会長やガバナーを務められた方のお言葉で、時間の都合でご紹介はしませんけれども今回のテーマにピッタリな非常に素晴らしい言葉が書いてありました。

集会は、冒頭から篠原さんの思惑とは全く逆に「今日の結論はこれでいいね」みたいな感じになりまして、すっかりゆるんだ雰囲気が始まりました。ただ篠原さんの次に真面目な私は、諸先輩方の会話からロータリーを楽しむためのコツを何とか汲み取ろうと必死で議論に耳を傾けましたので、その中から私なりに重要と感じたポイントを3つに絞ってお話をさせていただきます。

まず、会の冒頭は、先日の野遊会で泥酔して記憶がない方を中心に自分探しの旅と申しますか、「当日、自分が何かをやらかしていないか」を探るための情報交換で盛り上がりました。野遊会を所用で欠席してしまった私は、その楽しい会話を聞いておりました。「ロータリーを楽しむためにまずは参加しなければいけない。そして記憶を失ってみることもたまには大事である」と感じて痛く反省をしました。これが気付きの1点目でございます。

2点目です。こうしたたわいない議論だけでなく、当クラブの運営についての真面目な議論もありました。「最近、クラブの役職や例会当日の役割について頼みやすい人に依頼が集中しているのではないか」という意見がありました。「より多くの仲間をロータリーの活動に深く巻き込み、それをみんなで楽しむ点では頼みやすい方だけでなく幅広い方に積極的に声をかけるべき」といった議論がありました。

この他にもためになる諸先輩方のお話が山ほどあったのですけれども、残念ながら歴史と伝統あるこの釧路ロータリークラブの昼例会にはややふさわしくない内容も含まれておりましたので、これ以上は割愛させていただきます。

そうした話で大変盛り上がりました。このたわいない議論から二宮は一体何を報告するのだろうと大変心配そうな篠原リーダーを尻目に夜は更けていきました。

その中で、私自身が感じたことは、このように確たる結論もない議論をお酒も交え和気あいあいと行うことこそロータリーの楽しみ方のひとつではないか、これが気付きの3点目です。

なお、当日、私はサブリーダーとして先輩方の金言を一言も聞き漏らすまいと、そうした強い責任感からお酒はビール2杯で我慢をいたしましたので、次はぜひとも役回りから外していただき、後顧の憂いなく記憶をなくすくらいロータリーを楽しみたいと思った次第でございます。

以上でございます。

Aグループ 田内 康章



Aグループリーダーの田内です。よろしくお願いたします。今回の情報集会Aグループは、6月7日に今回のテーマ

「ロータリーを楽しむ」を掲げておられます杉村会長を筆頭に6名で実施しました。

まず、皆さんの意見の中で、「ロータリーを楽しむということは会員のみみんなに会いに行きたくなる」「例会に出たくなるようになること」「人とのつながりのキッカケは100名規模の釧路だからこそできること」という話になりました。

「大人の居場所として、紳士的な素敵な集まりの場と捉え参加する」という意見が出ました。その中で「楽しむためには、大変なこと面倒なことも多々あるが、楽しみを自分で探し、自ら進んで参加していくことで居場所ができる。その最初のハードルを越えられるかが重要」という話になりました。「ロータリーに入会しなければ、人のために労力や時間を費やすことがな

かった。まさに奉仕の精神を持って取り組んでいくことが大事」という話に感銘を受けました。

その一歩を踏み出すことで趣味の仲間も増えていく。羽田野さんは「ロータリーに入会をしてからゴルフを始め、今ではドブプリはまっています」。柿田さんは「自宅でガーデニングを行うことが趣味」とのことでした。クラブ研修リーダーの脇さんは「ゴルフも上手でガーデニングもすごい」という話になり、皆さんが脇さんの話で結構盛り上がりしました。

当日、脇さんは途中からの参加でしたけれども、参加されるまでは昔の武勇伝やこの例会の中でどこまで言っても良いのか分からないような内容で、皆さんとても盛り上がりおりました。

最後に、柿田さんから「テーマの『ロータリーを楽しむ』は、当日の情報集会そのものではないか」とおっしゃっていただいて締めさせていただきます。

とても楽しく実りのある情報集会でした。

以上、ご静聴ありがとうございます。

2022.6.23 (木)
第41回例会
(通算3668回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副会長 浅川 正紳
幹事 市橋 多佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町5-3 ミツ輪ビル2F
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2021-2022年度
国際ロータリーテーマ



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022年度
RI会長 シェカール・メータ
第2500地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイ RC)

月間テーマ	ロータリー親睦活動月間
本日のプログラム	「一年を振り返って」(担当：理事会)
次週例会	「キャンドルパーティ」(担当：理事会・親睦活動委員会)

- ロータリーソング：それでこそロータリー
- ソングリーダー：池田いずみ君
- 会員数 102名
- ビジター なし
- ゲスト なし

会長の時間 杉村 莊平会長



皆さん、こんにちは。本日も多数のご出席いただきましてありがとうございます。

年度も最終盤に入っ
て先週・今週にかけ
て最後の会長・幹事会、そしてパスト会長会を無事に和やかに楽しく終わらせていただいたところです。いよいよ帰る港が近づいてきて、目の前に来たなという感じでございます。

あとでゆっくりお話ししますが、会長・幹事会の中で1つ報告しなければならない点があります。お聞きいただければと思います。

以前から話は聞いておりましたが釧路北クラブさんが衛星クラブを新しく立ち上げてまして、その数が33名でスタートということです。増強も北クラブさんは頑張っておりまして、正会員が11名の純増ということです。北クラブさんは今年度68名のスタートで33名の衛星会員をプラスして、11名の純増正会員をプラスすると来年度は112名からのスタートとなります。

RIの方針で「衛星会員は正会員メンバー扱いでいい」という表現ですので、112名スタートということです。長く保ってまいりました2500地区内のトップクラブ

としての地位は、一時は譲ることになりますが、釧路クラブとしては全く動じることはなく、このまましっかりやっていけばいいのではないかなと思っております。

僕は釧路クラブの良い特徴を『規律と寛容』と表現させていただいておりますが、これをいい機会にして釧路クラブの中で釧路クラブの良さ・あり方・方向性をしっかり議論をして、これからの90周年、100周年に向けてクラブを熟成させていくことが大事だろうと強く思っております。釧路クラブは釧路クラブらしく、しっかりやって行けばいいのではないかなと思っております。報告でございます。

もう1つ、先週「情報集会報告会」をさせていただき、皆さんから本当に良いご意見をいただきました。その中で「旅行部を作ってはどうか」というご意見が1つ2つあったと思います。僕も何年も前からそういうのがいいだろうと勝手に思っておりました。

ちょうど5月末から6月のぐらいいにかけて当年度の慰労と新年度の激励を兼ねて年に1回、年ごとにテーマを分けて、今年は「神社・仏閣巡りをしましょう」、「来年は日本各地の美味しいものを食べに行きましょう」とか、「お芝居やコンサートを見に行くツアーにしましょう」と強制もなくて希望者の皆さんで親睦を深めるのが非常に良いのではないかなと思っておりました。

来年以降、私に多少時間ができますので旅行担当幹事

に市橋君を指名して旅行部づくりに邁進できるかどうか分かりませんが、市橋君も今聞いたばかりで、受けてくれるかどうか分かりませんが、そういう活動をして行きたいと思っております。またあとでお話しますので今日はそれぐらいにします。今日は「1年を振り返って」となります。どうぞよろしく願います。

幹事報告 市橋 亨丞 幹事

皆さま、こんにちは。幹事報告をさせていただきます。他クラブの今週の例会につきましてはお手元にお配りしております



例会案内のご一読をお願いいたします。また、先ほど臨時理事会を開催させていただきました。職業分類を1つ開設する運びとなりました。「フィットネスクラブ」という職業分類を開設させていただきます。詳細につきましてはホワイトボードに貼り出しておりますのでご一読をお願いします。それに伴いまして入会申込者の周知をこの例会後に皆さま方に送付させていただきますので、併せてよろしく願います。また、先週などご案内しておりますが、本例会の終了後に皆さまのパーソナルボックスを整理させていただきますので、皆さまの持ち物など入れたままになさらないように、本日必ずお持ち帰りいただきますようお願いを申し上げます。以上となります。

転勤挨拶 池田 いずみ 会員

皆さん、こんにちは。NTT東日本の池田でございます。2018年7月にこちらに入会させていただきました。4年間お世話になりましたがこの度7月1日付けで異動することになりました。



入会した時はガバナー年度の前年ということでPETSの司会をさせていただき、翌年は本番の地区大会で司会をさせていただき、大変良い思い出になりました。地区大会に向けては、釧路ロータリークラブの方が事前準備から皆さんが一致協力して取り組まれた姿を見て素晴らしいと感じたのを今でも思い出します。

また、翌年はプログラム委員長をさせていただきました。2カ月前にプログラムを出さなきゃ駄目ということでいつも切羽詰まって、仕事より大変だなと思っ

たのですが、何とか乗り切ることができました。12月、どうしても人を呼ぶことができない時に切羽詰まって『釧路ロータリアンの重大ニュース』というのを企画させていただきました。昨年12月、工藤さんに再度採用していただいたのを嬉しく思いました。ただ、工藤さんの方が100倍、私のより面白かったです。

その次の年は副幹事をさせていただきました。会社では考えられないような異例の出世をさせていただき、大変嬉しくは思っているのですが、前の席ってすごく大変だと思いました。いつもシナリオを作るのですが、まず作る段階から何かを忘れていて、一番忘れちゃいけない謝辞とかも忘れてしまって、ご迷惑をかけたことを今でも思い出します。来た当初は幣舞橋を渡って来る時、緊張して足取りが重かったのですが最近では軽やかな足取りで、夜例会でも楽しくお酒も皆さんとご一緒にさせていただけたのですが、今回をもって転勤ということでとても残念に思います。



最後に嵯峨記念育英の奨学生の選考委員会にも加えさせていただきまして、本当に良い活動しているな、この奨学金が役に立っていただけの方がこんなにいるのだと、ひしひしと感ずることができました。

次の職場は116というコールセンターです。センター自体500人ぐらいいるのですが、私の所は100人ぐらいの部隊だと聞いております。場所は札幌スクエアビルに入ることになっております。もし、近くにいらっしゃったらぜひお声がけください。

後任は男性で澤田という者が来ます。入会させていただきましたら変わらぬご厚情をいただけたらと思います。

最後になりますが、釧路ロータリークラブの益々のご発展をご祈念申し上げましてご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

■本日のプログラム■ 一年を振り返って

杉村 莊平 会長

あと2回というところまでやってきました。前から話していましたが、今年度365日内閣ということで7月1日から始まって6月



30日までフル稼働でございます。この6月にたどり着いて、「6月だな、もう少しだな」という感覚だったのですが、この6月の5回が長くて「まだかな、まだかな」という感じです。マラソンに例えれば、やっと競技場に入って来てあと1周、この1周が長いのです。まだまだ終わった感じしないのですが、あと2回ということで、今日が無事終われば何となく終わりモードになってくるだろうなと思っています。

そう言いましても、改めてこのコロナの中、皆さんに苦勞かけてここまで何とかたどり着きましたこと、本当に感謝・お礼を申し上げます。ありがとうございます。

また、今日ご欠席ですが、天方さんには指名会長として大変お世話になりました。思い起こせば3年前に五明さんのお庭でよく分からないご指名をいただいてから、こんな杉村で本当に会長が務まるのかと悩んでから3年となりまして少し感慨深いものがあります。本当に天方パスト会長にはお礼を申し上げたいと思います。

また、今年度の理事者の皆さん、特にこのコロナの中、現場を抱えておりました小委員長、委員長の皆さんには本当にご苦勞かけたと思いますので、お礼を申し上げます。そして、そこにいますキャビネットの浅川副会長、市橋幹事、田内副幹事、得地副幹事には、コロナで休会が出たり、プログラムが変更になったり、本当にバタバタさせてご苦勞かけたと思います。本当にありがとうございました。

今年度が始まる時の僕のキーワードは「85周年、コロナからの離陸、釧路クラブへの関わり方、疲弊する地域への関わり方、釧路クラブの良さの再評価から増強」ということが僕のキーワードでした。これを表したのが『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む』というスローガンでございます。前から何回も言っているように、クラブに対して受け身になるのではなくて、自分から釧路クラブを使い倒すくらいの感覚でロータリーに向かい合ってもらって、その結果、ロータリーから豊かな心を得られて、その心を自分の家庭・職場・地域に還元していく、そういう循環を作られたらいいなと思ってスタートしました。そんな中で今年度85周年でしたので、85周年をうまく活用してクラブの歴史を振り返りながら、そして夜の事業の活用を大いに図りながら、ロータリーをみんなで楽しんでもらってコロナからの離陸を図って行きたいと考えておりました。

やはり、コロナの影響を受けた1年間となってしまいました。9月の時点では10カ月夜例会が行えないところまでできました。少し話しましたが、若手のメンバー、入会の浅いメンバーから「夜例会を経験したことがない」「そもそもロータリーでお酒を飲んだことがない」「交流を図れたことがない」と意見も出

始めて、ロータリーの存在意義が問われて、退会者がこれから続々出てきてしまっただけではどうなるか、と思ひ悩みました。こういう状況の中で、ロータリーを楽しむにはどうしたらいいのだろうか、オンラインの例会を開催するだけが解決策なのか、この頃がロータリーのあり方について一番悩んだところでした。

8月に佐藤委員長の頑張りでも野球大会が対外的な事業として開催ができました。また、何とか10月には夜例会が開催できて、これは非常に大きい出来事だったと思っています。このおかげで11月に85周年の例会を無事に開くことができました。パストガバナー、パスト会長の皆さんに素晴らしい挨拶をしていただきました。12月にはクリスマス会を開催できて、これは手前味噌ですがかつてない素晴らしい出し物をお見せできたのかなと自負しております。また下期になってからもコロナの影響は多々受けながらも合間で「新年交礼会」、「格付け例会」、「転勤族フォーラム」なども開催していただきました。あとはJRの職場訪問、地域・まちづくりに関する例会など素晴らしい例会を行っていただいて勇気づけられ、良かったと思っています。

振り返ると、例会を開くのが当たり前ではなかった1年だったからこそ、例会のありがたみが分かった1年だったと思っています。それも本当にお世話になったことに感謝・お礼申し上げます。

もうひとつは増強です。これもテーマとして今年度大きい目標に掲げていたわけですが、村上委員長など皆さんのご協力のおかげで、目標5名だったのですが先ほどの臨時理事会で無理やり通しましたが11名の増強で、目標の倍以上の増強を図ることができました。本当にありがとうございます。増強について、第一の目的は数を増やして仲間を増やすことですが、増強に副産物が2つあると思っています。それは、増強する側の意識の向上と成長だと思っています。長ければ1年、2年に亘って嫌がられている候補者の所に通ってロータリーの話をして、場合によっては自腹を切って飲み連れて行ってお酒を飲ませて口説いて、増強を図るわけです。そうこうしているうち、嫌でも自分でロータリーのこと考え出します。考えないと話ができませんか。自分でロータリーのこと考え出しますし、もっと言ったら苦勞してロータリーに入れた新入会員から自分の背中を見られているプレッシャーになります。そうすると自分もしっかりロータリーをやっているかなきゃと思います。その意識の向上、そして自分の成長につながるのではないかなと思っています。

ですから増強については数だけを追うわけではなくて、クラブと自分の成長のために増強を行うという意識を持っていただいて、次年度以降もしっかり頑張っていたいただきたいなと思います。

さっき言った北クラブがどうしたからどうかという問

題ではなく、自分たちのクラブを成熟させていくために増強は必要だと思います。

先日、増強した側とされた側の5人ぐらいがある居酒屋でお酒を飲む機会があり、大いにロータリー談議に花を咲かせたところでございます。こういう循環をクラブの中に少しでも多く作っていくのが増強の素晴らしいところではないかなと思っています。改めて、これもお願いしたいなと思います。

最後になります今年度、「ロータリーを楽しもう」とさんざんお話ししてまいりました。自分でロータリーを楽しもうと言うには自分がロータリー楽しんでいないといけないうわけです。では、自分がロータリーを楽しむにはどうしたらいいのかをひたすら考えていたわけです。ある時ふと例会に出て、この例会の時だけ「皆さん、元気ですか？楽しみましょう」と言っても全然ダメで、やっぱり自分の身の回り、家庭であり、会社であり、地域であり、そういうところで自分の人生を楽しめていないと「ロータリーだけ楽しみましょう」と言っても全く話にならないと気づきました。最近、気づいたばかりで実践はまだまできておりませんが、僕の言葉でいうこの人生を楽しむ循環、すべてがつながっているロータリーを元にして、自分の家庭も会社もつなげて楽しんでいく循環をこれからの人生の目標として、来年度以降も微力ながら大好きな釧路クラブのためにお役に立てるように頑張りがちながら、先ほど言った旅行部も何とか考えながら人生を楽しむサイクルを作っていければなと思っています。

1年間、お世話になりました。ありがとうございました。

市橋 亨 佳 丞 幹 事

1年を振り返ってということでは皆さんの時間を貸していただければと思います。

改めて、釧路ロータリークラブ



旅行部幹事を拝命しました市橋と申します。1年が終わって、1周回ってまたそこに戻ってくるからということで、杉村会長には大変感謝を申し上げます。本当に皆さま、1年間私にご指導・ご鞭撻をいただきましたことに感謝申し上げます。ありがとうございます。

年次総会で拝命をして、皆さんにご承認をいただいからあつという間の1年半だったなと思っています。1週間・1週間というものは本当に早く過ぎて行きます。例会が終わるとすぐ次の例会の準備に入るという職責上のこともありまして、本当に息づく暇もなく1年間走り続けることができたと思っています。

す。

前期で青島前事務局員が体調不良によりお辞めになられたタイミングもありましたけれども、大山現事務局員がすぐ来ていただきまして、クラブの運営にそれほど悪影響を及ぼすことがなかったのは不幸中の幸いななと思っています。

運営の責任者という立場で皆さま方の活動、運動にすぐ作用することが必要最低限できたのではないかなと思っています。

コロナウィルスにも左右された1年でして、年度当初に48回の用意しておりました例会は6回ほど休会せざるを得なくなりましたので、来週の例会を含めて42回開催することができる予定になっています。何とか皆さまにご満足いただけるような内容を提供したいと思ひ頑張っけてまいりました。ぜひ、来週のキャンドルナイトも皆さまお楽しみいただければと思っています。滝波委員長をはじめとする親睦委員会の皆さま方には最後の最後までご苦勞おかけしますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

また、この例会に皆さまにお越しいたいで、皆さまの顔を拝見することが私自身1年間楽しくて、皆さまとお会いしていろいろな話をさせていただくことを幹事という役職をとおして学ばせていただきました。指名していただきました杉村会長には本当に感謝を申し上げます。

また、浅川副会長には幹事職の先輩という立場もあり、大きなところから小さなところまで、時にはすごく細かいところまでアドバイスをいただきました。そこまで気を使ってこそその釧路ロータリークラブなのだ、と感じさせていただきました。そして、田内、得地副幹事には、途中で事務局員さんが交代するイレギュラーの中、普段やらなくていいようなことでも、しっかり「大丈夫ですよ、やりますよ」と率先してやっていただいた2人の副幹事には感謝を申し上げます。ありがとうございます。

そうやって皆さま方に支えていただいた1年間ありがとうございました。大委員長の皆さま、そしてパストガバナー、パスト会長の皆さまに何度もお電話させていただき、時には無茶なお願いをさせていただいたこともございます。そんな中、皆さまには笑顔で「分かった、やるよ」と言っていただきました。本当に感謝・感謝の1年ありがとうございました。この感謝を皆さまに来年以降しっかりお返しできるように頑張っけてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

以上で私の1年を振り返ってスピーチとさせていただきます。ありがとうございました。

クラブ運営委員会 中島 徳政委員長



クラブ運営委員会の委員長を拝命しております中島でございます。

1年間、釧路ロータリークラブの愛情で包んでいただいて、この友情ありがたいなと思って1年間を過ごさせていただいております。

何回も出てきておりましたが、今回48回を年度当初に予定しておりました例会は、上期に4回、下期に2回、コロナのために休会ということで今日が41、来週が42回目の例会になると思います。

うちの委員会は出席委員会、親睦委員会、プログラム委員会の3つの委員会があります。まず、出席委員会に関して。樋口委員長は私が何も言わなくても全てを回していただけるという自信を持っていて、私は1年間何もしていないのは樋口さんのおかげだと思っております。どうもありがとうございました。

それからプログラムです。工藤委員長がやはりキャラと言いますか、思いっきりいじっていただきまして、やっぱり転勤族フォーラムが一番合ったのかなと思っております。あれは工藤さんじゃなければできない、工藤さんだから成り立った会だったと思います。ぶっちゃけていただいた転勤族の皆さん、お名前は出しませんが、会社での立場など大変だっただろうと思っております。本当に皆さんありがとうございました。工藤さんも本当にありがとうございました。プログラムの変更の時に電話かけたら「いいよ、わかった。こうしたらいいのだろう」と、あの一言にすごく安心感がありました。ありがとうございます。

親睦委員会です。親睦委員会は来週、最後のキャンドルが残っています。夜間例会の前に必ず、親睦委員会の滝波委員長をはじめ石田副委員長、松井副委員長で集まっていたら。大変出席率が高くて、本当のことを言うと例会よりも親睦委員会の方が楽しいのではないかなと思っておりました。昨日もこの原稿を作ろうと思って「一次会で帰ります」と言ったのですが、レラの誘惑に負けて昨夜も行ってしまって、あまり深く考えないでここに立っております。

親睦委員会の皆さんには、先ほどありましたけれど、新入会員の皆さんが夜間例会でできなかった分、僕らの年齢で言う「飲みニケーション」ですが、ああいうもので親睦をまた深めていただいて、今日もたくさんの方が入り口の所で青タスキをしていただいて、大変ご協力ありがとうございます。

そんな形で1年間、させていただきます。

村上祐二君がいっぱい喋りたいと言うので、私はこの辺にさせていただきます。本当に1年間、釧路ロータ

リークラブの温かい友情に感謝を申し上げて、挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。

クラブ広報・会員組織委員会 村上 祐二委員長

皆さん、こんにちは。クラブ広報・会員組織委員会の委員長を務めさせていただいております村上です。



うちの委員会は広報・雑誌委員会の横田委員長、会員・増強の五十嵐委員長、この2つの委員会とともに1年間活動してきました。

まず、横田委員長です。本当に1年間の大活躍で頭が上がらないのです。ご存じない方もいらっしゃるかと思いますが、少し言いますけれど、こうやって例会の記録写真を撮るのはもちろんですけど、その後に例会の議事録のチェックを毎回毎回する委員会でもあります。私は、年度当初に横田委員長だけにやらせてはいけないなと思って頑張ろうとしていましたが、電話が鳴ったり、お客さんが来たり、ああでもないこうでもないやっているうちに、横田委員長から「先に議事録のチェックをしました。〇〇を修正しました」と、そんなのがずっと1年間コンスタントにあって、本当に大活躍で頭が上がらないところであります。ありがとうございました。

会員増強です。実は先週も会員増強に行ってみりました。その時の話を少しさせていただいて1年間の振り返りとさせていただきます。

1週間前ですけども、今年度入会したある会員から「共通の知人がいたので、その方を口説きたい」という話があったのです。「いいね、あの方だったら釧路クラブにぴったりだね。夜6時半に私が居酒屋を予約しておくのでそこで落ち合おう」という流れだったのです。

当日になったら、その会員から電話があって「村上の予約名だとダメだ」と言うのです。話を聞くと、私に「6時半に来るな。6時半から勧誘対象者にロータリークラブとは別の話で盛り上げて温めておくから、村上さんは7時半に来てくれ」と言うのです。話をよく聞くと、「私が偶然居酒屋に入って来たことにしよう」と言うのです。小芝居を打てと。

そういうのは苦手なのだけれど、彼がそう言うなら仕方ないと思って予約名も変えて、その対象の方にバレないように、7時半ピッタリに会場に着いて居酒屋を開けた瞬間、「村上さん、偶然ですね」と言うのです。あまりにもそれが早かったものですから、気おくれた感じで緊張しながら、「やあ」とか言って、「どうですか一緒に？」と矢継ぎ早に彼が言うので

すね。「それでじゃあ、一緒に」と。
「今日は何か用事があったのですか」って言うから、「これが用事だけ」と思いながら、まあ、これは飲んで雰囲気変えるしかないなと思って。ロータリークラブの話を見せていただいて、こんな素晴らしい会なのだ話をさせてもらいました。

対象の方はサウナの愛好家としてその界限では有名な方なのです。彼のサウナ話をひとしきり聞いた後に、「実は、予定なのだが8月に、釧路ロータリークラブの例会に東京のサウナ愛好家が講師として来る。どうだ、聞いてみないか」と言ったら、「めっちゃめっちゃ聞きたい、その方は鶴居の山奥でサウナ付き宿泊施設を建設する予定でいる」という話で盛り上がり、「その例会にぜひ来たい」と言うのです。「じゃ、ロータリークラブに入会しないといけない。入会して下さい」と言うと、案外すんなりと入会が決まったのですよ。

僕の隣で相変わらず小芝居を続けているのが今年度入会した彼です。その時にふと思出したのは、ちょうど1年前の同じ居酒屋の同じ席で似たような時間帯でした。隣にいて小芝居を打っている彼がその時、私と市橋幹事が「ロータリークラブは良い所だ。釧路クラブは良い所だよ、どうだ、入らないか」と言ったら「私、入りません。仕事が忙しいので入りません」と断って・断って・断っていたのが彼です。

その彼が、隣で、私にそんなこと言いながら新しい方を勧誘したという話でした。

私は、来年プログラム委員会を担当させていただきます。この会員の増強に関しては来年もまた積極的にやっていければと思います。一からのご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます1年間のお礼とさせていただきます。どうもありがとうございました。

得地 哉副幹事

皆さん、こんにちは。予定が二転三転して結局回ってくることになりました。村上大委員長の面白い話の後で、面白い話ではないです。

思えば、2年近く前になるでしょうか、杉村会長がアポなしで会社にいらっしゃったのです。杉村さんが会社に来るときは、私に何かのお願いごとか「やれ」と

いうことで。昔の団体の時も「役職をやれ」とか、このロータリーにお誘いいただいた時も「ロータリーに入りなさい」と。先ほど会長が話



していましたが飲みの席など一切なしに、会社にアポなしで来て「やれ」と。私も昔からの先輩なので「分かりました。はい、喜んで」と言わせていただきました。ロータリーに入るのは何年かゴネますけど。

そんな感じなのですが、1年間副幹事をやらせていただいて大変楽しかったです。いろんな見ることができない経験ができたと思っています。先ほど幹事がおっしゃっていました事務局さんがいらっしゃらない時期に、事前に行って田内君と幹事と3人で準備したのが結構楽しくて、われわれの“きずな”もそこで深まったと思いつつやっておりました。

コロナでできないことも多かったのが事実だと思います。その中でも48回のうち42回ができたということ。また、皆さんはこういうパーテンションもあり、お食事がお持ち帰りになったり、いろんな障害がありながら皆さんで集まれたのはとても楽しかったと思います。

来年、私はいろんな席に座りたいと先週も申し上げました。いろんな席に顔を出していきたいと思いますので、ぜひ嫌な顔せず迎えていただければと思います。以上でございます。今年1年間ありがとうございました。よろしくお願いたします。

司会 皆さん、ありがとうございます。

田内副幹事と副会長の私は来週のキャンドルナイトでお時間を若干いただきましてお話させていただければと思います。

次週例会は本年度最後となります。6月30日18時より、当ホテルにて親睦活動委員会担当によるキャンドルパーティを開催いたします。



本日のニコニコ献金

- 杉村 莊平君 いよいよラス前です！
- 浅川 正紳君 今年度、最後の昼例会の司会です。噛まない様頑張ります。
- 市橋 尹佳丞君 1年間、お世話になりました。まだまだ、決算等残っていますので、これからも宜しくお願ひします。
- 中島 徳政君 1年間ご協力ありがとうございます。
- 村上 祐二君 釧路高専5年生の長男が大学へ編入合格しました。
- 得地 哉君 1年間本当にお世話になりました。ありがとうございます。
- 田内 康章君 1年間ありがとうございました。

今年度累計 389,000 円

2022.6.30 (木)
第42回例会
(通算3669回)

2020-2021年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン『我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。』

第85代会長 杉村 莊平
副会長 浅川 正紳
幹事 市橋 多佳丞
編集責任者 クラブ会報雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町5-3 ミツ輪ビル2F
☎ 0154-24-0860 📠 0154-24-0411

2021-2022年度
国際ロータリーテーマ



幸仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-2022年度
RI会長 シェカール・メータ
第2500地区ガバナー
漆崎 隆 (釧路ベイ RC)

月間テーマ	ロータリー親睦活動月間
本日のプログラム	「キャンドルパーティ」(担当:理事会・親睦活動委員会)
次週例会	「ガバナー補佐及びクラブ会長・幹事表敬訪問」(担当:理事会)

- ロータリーソング: それでこそロータリー
- ソングリーダー: 荒井 剛君
- 会員数 102名
- ビジター なし
- ゲスト なし

会長の時間 杉村 莊平会長



皆さん、こんばんは。ほんとに最後になりました。今日が来ると何となく短かったかという気がしないでもないのですが、何とかたどり着くことができました。ありがとうございます。

改めまして、最後です。先週もお話しましたが、この1年間本当に頑張っていたいただいたキャビネットの皆さん、理事者の皆さん、そして多くのメンバーの皆さん、本当にありがとうございました。

今日は特にたくさんの方に出席をしていただきまして、特に清水大先生、そして舟木直前会長には体調の優れないなか足を運んでいただきまして感謝しております。ありがとうございます。

とにかく、コロナにとらめっこの中、どうやればこのクラブの雰囲気を保つことができるか、どうやればクラブを楽しんでもらえるか、を悩み続けた1年でしたが、そういう中でも今日は42回目の例会でございますが、42回の例会を開催することができたことを誇りにしたいと思っております。それもこれも皆さんのおかげでございます、これも話をしますと先週になってしまいますので、先週はたっぷり話をさせていただきましたので、本当に感謝、お礼申し上げます。

終わりにしたいと思います。

ひとつだけ先週お話をすることができなかったことがありました。

ご存じのとおり昨年の秋口ぐらいから青島事務局員の体調が優れなくなりました。その頃、本当に市橋幹事には大変苦勞をかけた時期が続いておりました。その時期に、大山さんが気持ち良く事務局員に復帰をしていただいたこと、大変ありがたく思っておりました。そのバトンタッチの前後に、青島さん・大山さんには苦勞をかけたところでございますが、大山さんには、本当に何事にもこやかに対応をいただき事務局の機能を軌道に乗せていただきました。いまいませんが、クラブを代表して大山さんには感謝、お礼したいと思います。後で来ると思っておりますので、皆さんもぜひお礼をしていただければと思います。どうぞよろしく願いいたします。

明日からいよいよ滝越年度となります。本当にもうすぐでございますが、これから1週目「表敬訪問」、2週目「ガバナー公式訪問」ということで、一気に全開モード突入となりますが、今年度と同じようにぜひ滝越年度も応援をしていただきまして素晴らしいスタートが切られること、そして爽りの多い素晴らしい充実した1年になるように、ぜひ応援をしていただければと思っております。どうぞよろしく願いいたします。

最後になりますが、明日から僕は普通のおじさんと

いうことで、挨拶ネタも考えず、気楽にロータリーを楽しんでいきたいと思っています。

とにかく1年間ありがとうございました。今日は、皆さんと本当に楽しみたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

幹事報告 市橋多佳丞幹事



皆さま、こんばんは。私から幹事報告をさせていただきます。まず漆崎ガバナー事務所から「ガバナー事務所閉鎖並びに直前ガバナー事務所開設のお知らせ」が来ております。詳細につきましてはホワイトボードに貼らせていただきますので、後ほど目を通していただければと思います。

また、ホワイトボードの下にテーブルを用意いたしまして、いくつかのロータリーグッズを置いてあります。こちらはこの例会場と事務局の整理をした時に出て来た、以前に皆さまにお配りできなかったロータリーグッズの余りです。ぜひ皆さま、手にとって必要なものは持ち帰っていただければと思います。

また、ニコニコ袋も置いておきますので若干で構いません、お心付けをいただければ幸いです。よろしく願い申し上げます。

他クラブの来週以降の例会につきましては、お手元の幹事報告をご覧くださいいただければと思います。

1年間、私の早口で非常に聞きづらい幹事報告を皆さまにお聞かせいたしまして申し訳ございませんでした。本当に皆さまには1年間大変お世話になりました。誠にありがとうございました。

以上で幹事報告とさせていただきます。

司会 浅川 正紳副会長



本日は、夜間例会のためここで一度締めさせていただきますが、私の司会も本日いまこの司会で最後となります。

7月1日から始まりまして、本日6月30日までビッチリと例会がございまして、大変聞きづらい、滑舌が悪い司会で申し訳なかったと思います。いつも工藤さんが厳しい目でこちらを見ているものですから囁んで



しまうのですが、囁む度にニヤニヤしながらご指摘いただいたことを楽しく思い出しました。

本当に1年間ありがとうございました。後ほど少しお話をさせていただきますが、ありがとうございました。

杉村会長、最後の点鐘をよろしく願いいたします。

■本日のプログラム■

キャンドルパーティー

開会挨拶

クラブ運営委員会 中島 徳政委員長



1年間、本当にありがとうございました。クラブ運営委員長をさせていただきました中島でございます。こんなにたくさんの方がいると緊張します。きちんとネクタイをしてくれば良かったと思って反省しております。

最後の『キャンドルパーティー』ということで、ぜひ杉村荘平会長を含め三役の皆さんを労っていただければと思います。

本日、よろしく願いいたします。

乾杯挨拶 舟木 博直前会長

皆さん、こんばんは。今日は、皆さんの顔を久しぶりに見させていただき本当に嬉しい気持ちでいっぱいです。私の不徳から病気をしま



して皆さまには大変ご迷惑をおかけしたことで、それからあれもやりたかった、これもやりたかったということを頭はずっと思い描いていましたけれど、反省といろいろな楽しいこと、いま杉村会長の終わりをを見ていて俺もキャンドルをやりたかったなと思っておりました。

今日は、久しぶりに皆さんの顔を見て、お酒は飲めませんが少し舐めてみたいと思いますのでよろしく願います。そのような訳で、美味しいお酒でみんなと乾杯したいと思いますので、よろしくご唱和願います。

それでは、今年1年の杉村年度の大成功と、そして滝越年度に期待を馳せて乾杯したいと思います。

「乾杯」

例会 100%出席者表彰

出席委員会 樋口 貴広委員長

皆さま、こんばんは。出席委員会の樋口です。少し



だけお時間をいただきまして、今年度の「100%出席者」を発表し、記念品を贈呈したいと思います。

今年度の例会数、先ほど杉村会長からもありましたが、42回ございました。例会100%出席者は残念ながらいらっしゃいませんでした。メイクアップを含んだ100%出席達成者は22名。22名の中には、新入会員でありながら42回を超えた方がいらっしゃいましたのでその方も含めて記念品をお渡しいたします。それでは、お名前をお呼びいたしますので記念品をお受け取りください。

まず、青田敏治君・浅川正紳君・石田博司君・市橋多佳丞君・小野寺俊君・小船井修一君・佐藤貴之君・篠原実君・杉村荘平君・邵龍珍君・田内康章君・滝越康雄君・瀧波大亮君・田中正己君・得地哉君・中島徳政君・西村智久君・村上祐二君・吉田潤司君・吉田秀俊君・脇弘幸君・濱口憲太君。以上、22名の方でした。皆さま、いま一度大きな拍手でお祝いしてください。

釧路ロータリー事務局 大山 葉子事務局員

昨年、急にご連絡をいただき、随分昔の浦島太郎みたいな者で良いのでしょうかという感じでしたが、何とか6カ月経ちました。この後はもっと若い方に務めていただきたいと思いますのでよろしくお祈りいたします。次の方が来られるまで、何とか頑張りたいと思っております。どうもありがとうございます。



釧路センチュリーキャッスルホテル 川口様



釧路ロータリークラブの皆さまには毎年毎年このようにお品物をご用意いただきまして誠にありがとうございます。

会長をはじめ役員の方々は、コロナ禍で本当に身動きが取れない中、考えることもたくさんあり大変だったかと思われま。1年間、お疲れさまでした。そしてこれからもキャッスルホテルは、皆さまにより良いサービスや会場・美味しいお料理をご提供できる

よう頑張りたいと思っておりますので、どうぞよろしくお祈りいたします。

1年を振り返って 浅川 正紳副会長



1年を振り返ってということで。先週、会長・幹事とお話をしていたと思いますが、私はその間に入ってうまく進める役割だと思って1年

間やっておりました。

ただ、始まる時にはコロナ感染の話になっておりまして、その時はいまのオミクロン株ではなくデルタ株ですから必ず入院や重傷化ということで騒がしい状態だったと思います。特に私も飲食業なので、飲食業というだけでいろいろなことを言われました。私の所は、お持ち帰りがほとんどですが、それでも日中、電話が店に来て「なぜお前の所、飲食業が営業しているんだ」という状況の7月だったことを覚えています。ですから、もしロータリークラブで感染者が出たら大変なことになる。必ず会長の名前が出てしまいますので、それだけは避けたいと思って、どちらかという慎重に例会を行った方が良いのではないかとということで、杉村会長と年度はじめには怒鳴り合いの話し合いをさせていただいた覚えがあります。

その時も、杉村会長の「絶対やりたい」ということは分かっておりましたので、何とかできる方法をということで、会長が私に指示をいただいたのは、「コロナが始まってから2年間の全ての例会の出席率と内容を調べてみましょう」ということでした。その時にどのような宣言、どのような指導があったかを全部探しました。それで、これくらいの人に来てくれるのではないかと最初の1カ月～2カ月で組み立てて、それを元に市橋幹事がホテルの席の数を用意しました。ですから最初の数回は親睦活動委員会の方のお席がなかったりして大変ご迷惑をおかけして申し訳ございませんでした。なかなか数字が掴めないものですから。最近もそうですけれども、席が空いていてお弁当だけが残っていることがあります。「SDGsの観点からどうか」と思って会長に私から「出席を取って、少しでもお弁当の数を無駄にしない方が良いのではないですか」と言いましたが、やはり杉村会長は自分の会長基本方針の「ロータリーを楽しむ」というところで、「出席を取ってしまうと来づらくなってしまうから、できるだけ簡単にスムーズに気軽に参加してもらえたいから出席は取らずに行きましょう」ということでしたので「では、そうしましょう」と。ただ、無駄な部分もあって、ホテルにはご迷惑をおかけして

本当に申し訳なかったと思いますが、これからもその辺も含めてまだ厳しい時が続くかと思います。

先週の例会で市橋幹事は私が「非常に細かく指導をする」とネガティブな情報を流しておりましたが、本当は逆でして、市橋幹事があまりにも完璧にやるものですから私は何も言うことがないのです。たまに「これどうなっている」と言うと、「大丈夫ですよ」と軽く言われるものですからちょっと可愛くないと思ひまして、細かいところを突っ込んだりするのが多分そのような指摘を受けたのかと思います。多分私は幹事経験者で副会長に選ばれたと思ひますけれど、完璧すぎて何も言うことがなく私の出番がなかった1年だったと寂しく思っております。

また私、出張が多くて、今日もお昼まで札幌にいて、車で急いで帰って来たのですが、今日もし間に合わなかったら得地副幹事に代わってもらおうと、LINEで今日の内容を流してお願いをしていましたが、何度か副幹事のお二人には司会進行をやっていただきました。私よりスムーズにやっていただいたと聞いております。本当にお世話になりました。

この会長、幹事、副幹事のお二人と私の5人で1年間やってまいりましたが、この5人でやっとできた私は本当に感謝しております。大変仲良く5人でやっておりまして、誕生日が来れば「みんなで出し合ってネクタイを」と。先週、私と得地君が締めていたネクタイはこの5人の中での記念品でした。そして今日、私が締めているネクタイ、得地君と田内君もそうですが、先週の第1回ご苦労さん会があった時に杉村会長からいただいたネクタイを今日も締めさせていただいております。この5人で仲良くやりまして、LINEグループもありますが、明日になったら市橋幹事のことですからもう解体するのではないかと思います。私だけ抜かれていたらどうしようかと思ひますけれど、その辺は後でゆっくり市橋幹事とお話をしたいと思ひます。

結びになりますが、この1年間、一番お世話になったのは会員の皆さまだと思っております。本当に私は滑舌が悪いものですから所々引っかけたり、会長の代わりに点鐘を行ったらほとんど音が聞こえない点鐘だったという事で、皆さん笑って済ませていただきましたので本当に気持ち良く1年間過ごすことができました。

心からお礼を申し上げまして、私の1年間を振り返ってとさせていただきます。どうもありがとうございました。

奉仕プロジェクト委員会 小野寺 俊委員長

皆さま、お疲れ様でございます。「元気ですか」、邵さんのマネをしてみました。今年度奉仕プロジェクト委員長をさせていただいた小野寺でございます。



大委員長ですので、あまり大したことはしませんでしたけれども、職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕と各委員会の委員長また委員

の皆さまには、1年間コロナで事業が中止になったり大変な1年の中でも事業を作って実行をしていただき大変感謝をしているところでございます。

杉村会長には、理事会等で毎回生意気な口を叩いて大変ご迷惑をおかけしたと思ひているところでございます。

上期の振り返りの中で、「会長の後ろから鉄砲を撃つても追い込む」みたいなことを生意気にも言いたけれども、春先からコロナの自粛が明けて、やっと平常運転に戻って杉村会長の背後からカラシニコフで撃つこともなく、今日を迎えられたことが良かったと思ひます。浅川副会長、また市橋幹事にも大変お世話になりました。

1年間、大変お世話になりました。ありがとうございました。

ロータリー財団・奨学推進委員会 甲賀 伸彦委員長



元気ですかー。はい、ありがとうございます。二番煎じで。間違えるといけないので“あんちょこ”を持ってきました。ロータリー財団・奨

学推進委員会の委員長を仰せつかりました甲賀でございます。

先ほどの出席100%で、四大委員長のうち他の委員長の方は受賞されましたが、くしくも私は100%できません、杉村会長には本当に申し訳ないと思ひている次第でございます。

今回は、コロナということで、あまり財団の活動ができませんでしたけれども、唯一の心残りが、始まりの活動計画の話をする時に私が出張になり、栗林さんに代打で出てもらったことが本当に悪いと思ひています。あとは、『ガバナー公式訪問』の際も栗林さんに話をさせていただいたという、とんでもないことをしてしまったと思ひている次第でございます。

話は変わりますが、皆さんご存じかは分かりませんが、先日『パスト幹事会』がございました。このパスト幹事会とは来年の中島幹事を応援する会ですけれども、そのパスト幹事会の会長として長年ご尽力されてきました滝越さんが最後の参加ということでした。長い間温めていただきましてどうもありがとうございました。

た。
パスト幹事会を辞めるには、誰かが言っていましたけれども、会長になるか釧路ロータリークラブを辞めるしかないそうです。その中で、残っている方が、佐藤茂良さん、川本さん、僕が3番目みたいですがけれども、ずっとパスト幹事会の会長を狙っていこうと思っております。今後パスト幹事会もあると思いますので、中島さんよろしくお願ひいたします。
つまらない話しかできませんでした。杉村会長を支えられたかどうかは分かりませんが、来年に向けて今日は良い日になれば良いと思っております。
どうもありがとうございました。

田内 康章副幹事



皆さま、こんばんは。今年1年間、副幹事を務めさせていただきました田内でございます。

私、本日でロータリークラブ入会丸2年が経ちます。その中で、1年間副幹事として、約半年間予定者で、副幹事の職に携わらせていただいたのが、私のロータリー人生の7割ほどになったところなんです。この忙しさがなくなることが寂しいような、嬉しいような、嬉しいような気がしております。

私の1年間を振り返って一番の思い出は、やはり『クリスマス家族例会』で水着を着て踊ったことだと思っております。理事会で動画を皆さんに見ていただきながら「これをやりたいです」と言った時に、皆さんの驚きの顔と、こいつイカれているのかという目が忘れられません。終わってしまえば本当に楽しかったですし、絆も生まれて本当にやって良かったと。私の釧路人生の中で一番の思い出になることは間違いないと思っております。

例会の中での思い出としては、休会やコロナ禍の中で人数の増減や出席率の増減があって、用意をしていたお弁当が足りなくなった時には、私たち副幹事・幹事がカレーライスを食べるのですけれども4週にわたってカレーライスを食べたことが本当に良い思い出だと思っております。

あとは、「いただきます」をしてから「例会を再開します」までが短い時で8分ほどです。8分間でご飯を詰め込む、早食いのスキルを培えたことがひとつの良い思い出だと思っております。

コロナ禍なので、皆さまはマスクをしての対面がありますけれども、最初のころは、皆さまのお顔とお名前を覚えることができませんでしたが、この副幹事という職に就かせていただき皆さまからお声をかけていただいたり、覚えていただけたりで会長が掲げておりま

す「我がロータリーを楽しむ」を体現できたことが本当にありがたかったです。

先日、5人会といいますか、お疲れさま会を行いました。その時に浅川副会長から「下の名前で呼んでいいよ」と言っていたので、本当に1年間頑張った良かったと思っております。

本日、欠席をされている皆さま、そして出席をされている皆さまを含めまして、釧路ロータリークラブの皆さま、そして杉村会長、市橋幹事、得地副幹事、浅川副会長もといマー君、今年1年どうもありがとうございました。

今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。失礼いたしました。

(杉村年度三役から滝越年度三役へバッジ交換)

(滝越年度三役から杉村年度三役へ花束贈呈)

滝越 康雄会長エレクト



こんばんは。いよいよこの時期が来てしまいました。とちらないように安全策を考え、原稿を読ませていただきます。このような立場に

なったことを光栄に感じております。小さく、なくしそうなこのバッジでございますが、意味する重さは計り知れないと思ひます。

向こう1年、最善を尽くして後藤会長エレクトにこのバッジを無事に渡せるように頑張っていきたいと思ひます。

メンバー諸兄のご支援をよろしくお願ひします。以上でございます。

先ほど、甲賀さんから幹事会の話がありましたけれども、私も何年いきましたかね。卒業は会長にならないと終わられません。みんな、追い越し禁止ではないけれど追い越して行って。実をいうと会長職の話があったのは今回で3回目なんです。いろいろな事情があって断っていましたけれど、もう75歳というところロータリーでもいささか定年で最後でございますので、思い切って表現したいと思ひます。

以前も申し上げましたけれど、杉村現会長とは20年、後ろの後藤エレクトとは23年でございます。この年代ギャップを普通は新旧と言ったら新しくなるのが普通だけれど、釧路クラブは申し訳ないけれど旧にガッチリ返ります。

ただ旧とは言っても時代的にバカにはできません。この20年と言ったら終戦後生まれですから昭和の激動

期を記憶していますので、後の20年よりは激しかったです。それをひとつ証言する場でもあるし、いろいろいま資料を集めたり、私もスピーチで頑張りたいと思いますのでお楽しみください。

このようなことを言うけど、非常に面白い資料を集めて、昭和という時代と平成・令和とコントラストの比較をすることに興味を持つ1年にしたいと思いますのでよろしく願いいたします。

以上です。

(杉村年度1年間の活動ダイジェスト上映中)

親睦活動委員会 瀧波 大亮委員長



さあ、今年度1年間を全うしました杉村 莊平 会長、いまBIGBOSSが入場し皆さまのテーブルにキャンドルの明かりを灯します。皆さま、

大きな拍手でお迎えください。

(杉村会長・BIGBOSSのキャンドルサービス)

感謝状贈呈 市橋 亨 丞幹事



釧路ロータリークラブ2021-2022年度会長 杉村 莊平 殿貴殿は、規律と寛容をキーワードに「我がロータリーを楽しむ。我が地域を育む。」とスローガンを掲げ、創立85周年の記念すべき年をコロナからの離陸と時々着陸を繰り返しながら7月1日に始まった第1回目例会より本日第42回目を迎えられました。

週一で訪れる会長挨拶のため、日夜情報収集にいそしみ、日曜日にはこっそり出社し下準備をされた結果、「お山の大将から賢者へ」や「〇〇〇〇」など数々の名言を生み出されました。

また「女装は嫌がるが、スクール水着はOK」という分かりづらいこだわりを持ちながらも、クリスマス例会の余興でのリーダーシップは今年度一番の成果をもたらしました。

ギリギリまで判断に苦慮し近場での開催に踏み切った野遊会でしたが、思いのほか好評で、かつ一番テンション高く楽しまれていたのも貴方でした。

明日からは、いっちょあがらずにロータリーを楽しむための伝道師になられますことを切に望みます。

最後に、貴方が調べ上げた釧路ロータリークラブの歴史よりロータリーを好きになる5箇条をここに記します。

1. まずロータリーを知ること。

2. クラブメンバーと親しみ合うこと。

3. 一役持つこと。

4. 卓話や会報に積極的に参加すること。

5. 家族ぐるみの付き合いをすること。

まずは、新設されるであろう旅行部・部長としてさらなるリーダーシップを発揮され、今後もクラブの活性化に務めてください。

1年間、大変お疲れさまでした。そしてありがとうございました。

2022年6月30日釧路ロータリークラブ会員一同お疲れさまでございました。

こちらは、浅川副会長と私、そして副幹事の2名から1年間の労苦を労っての記念品となりますので、どうぞお使いください。よろしく願いいたします。

(浅川副会長・市橋幹事・田内・得地両副幹事から杉村会長へ記念品贈呈)

会長謝辞

すみません。ありがとうございます。

たくさん言いたいことはありますが、まず、このスーツでございますが、ご紹介しておきます。今回



「新庄の格好を」ということになりまして、そのようなスーツを持っている人はいないだろうと思いましたが、「待てよ、石田さんが持っている」、早速お願いをしまして、すぐ会社に届けていただきました。袖を通したらピッタリで何も直していない。この日のために用意をいただいたのかというぐらいのこのスーツ、本当にありがとうございます。

また、先ほど入って来たら村上祐二君が、ああ（感極まって言葉に詰まる）（会場から頑張れコール）泣くのに1000点とか、この話は止めます。すみません。本当にありがとうございました。こんな格好、こんなと言ったら石田さんに怒られますね。

6月に入って「もう終わりだね」と言われていました。本当に2回・3回・4回、先週は「本当に終わったようなものだね」と言われていましたが、先ほどバッジ交換をした時にやっとホッとしました。いまこのように「終わったな」という気がしました。

今年は、ロータリーを楽しむということが、僕の役目だと思って頑張っていて、こんな杉村で本当にできるのかと思いながら務めさせていただきました。先週も話をしましたが、天方さんがいなかったの

2年前の五明さんのお庭でよく分からない「杉村、うなぎ食うか」という指名を受けて、いまだに指名だったのかよく分からないですけれども、そこから2年間お世話になって、何とか僕でもできるかなと思いながら務めさせていただきました。市橋幹事・浅川副会長・田内・得地両幹事には本当にお世話になってありがたいと思いました。

せっかくこうやってもらえるのであれば、僕も多少は成長しなければダメだと思いながら頑張ってきたつもりです。多少は成長できたかなと思って、この機会を与えていただいた皆さんには感謝の念しかありません。ありがとうございました。

とにかく泣いてばかりいられません。僕などはどうでも良いので、本当にこのクラブにいさせていただき、改めてこのクラブの素晴らしさを実感できたつもりです。このご恩を少しでも返せるように、このクラブを少しでも良いものにできるように次年度からも微力ながら頑張っていきたいと思えます。

ほんとにお世話になりました。ありがとうございました。

(手に手つないで) 斉唱

締め挨拶

天方 智順パスト会長

元気ですかー。すみません、テーブルからのリクエストがあったもので。つられやすい私でございました。何より BIGBOSS、お疲れさん。ノミニーの時から杉村会長は、ずっと会長挨拶のことを気にされていました。「どうやってネタをみつけるのですか」とか。ちょっといい加減な私ですから、私

が会長時代はその日まで何も考えませんでした。あらかじめネタを拾う時もありましたけれど、「そんなに肩を張ってやるものではないと思うよ」というアドバイスだけはしたつもりです。ご本人なりにいろいろ考えて、本当に滑舌の悪い副会長と、やたら早口の幹事と、その中で立派な挨拶をされていたのではないかと思います。

会長が終わって例会へ来る楽しみは、皆さんに会うことがまずひとつですけれど、次の会長さん、次の次の会長さんがどのような会長挨拶をするのかが私にとっても楽しみです。そのことに関しては、杉村会長は立派にされたのではないかと思います。

残念なことは、私の年度から始まった「コロナ休み」が丸2年以上、杉村年度まで続いてしまいました。来月からは滝越年度でございます。もう大丈夫かなと心の中で思っている自分がいます。

まずは、昨年の7月1日から今日まで「365日会長」を立派に務め上げた杉村年度と今年度チームの健闘を称え、皆さんでどうでしょう、久しぶりに三本締めをしたいと思えます。

それでは、杉村会長、お疲れ様でした。滝越さん、頑張ってください、という願いを込めまして大トリ締めさせていただきます。

お手を拝借、よーお

(三本締め)

ありがとうございました。



キャンドルパーティスナップ



